

群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第141集
関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第13集

上栗須寺前遺跡群 I

藤岡扇状地扇端部における奈良・平安時代を中心とした集落址の調査

第3分冊《自然科学分析・写真図版編》

1 9 9 3

群馬県教育委員会
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
日本道路公団

(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第141集
関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第13集

上栗須寺前遺跡群 I

藤岡扇状地扇端部における奈良・平安時代を中心とした集落址の調査

第3分冊《自然科学分析・写真図版編》

1 9 9 3

群 馬 県 教 育 委 員 会
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
日 本 道 路 公 団

写真図版目次

- PL.1 藤原区穴地区(4AⅠ区)全景
 PL.2 藤原区穴地区(4AⅠ区)全景
 PL.3 4AⅠ区01・02号住居
 PL.4 4AⅠ区03・04号住居
 PL.5 4AⅠ区06・07号住居
 PL.6 4AⅠ区08・09号住居
 PL.7 4AⅠ区10号住居、4AⅠ区11号住居
 PL.8 4AⅠ区12・13号住居
 PL.9 4AⅠ区14・15号住居
 PL.10 4AⅠ区16・17号住居
 PL.11 4AⅠ区18・19号住居
 PL.12 4AⅠ区21・22号住居
 PL.13 4AⅠ区23~25号住居
 PL.14 4AⅠ区26・27号住居
 PL.15 4AⅠ区28・30号住居
 PL.16 4AⅠ区32・33号住居
 PL.17 4AⅠ区34号住居
 PL.18 4AⅠ区35・36号住居
 PL.19 4AⅠ区37・38号住居
 PL.20 4AⅠ区39・40号住居
 PL.21 4AⅠ区41・42号住居、03号竪穴状遺構
 PL.22 4AⅠ区43・44・56号住居
 PL.23 4AⅠ区45・46号住居
 PL.24 4AⅠ区47・48号住居
 PL.25 4AⅠ区52・53号住居
 PL.26 4AⅠ区54・55号住居
 PL.27 4AⅠ区57・58号住居
 PL.28 4AⅠ区59・60号住居
 PL.29 4AⅠ区61・64号住居
 PL.30 4AⅠ区65・66号住居
 PL.31 4AⅠ区01~08号竪立柱建物
 PL.32 4AⅠ区09~16号竪立柱建物
 PL.33 4AⅠ区17号竪立柱建物、02~05号竪穴状遺構、竪立柱建物・櫓判・垣根全景
 PL.34 4AⅠ区01・04号溝、01~03・05号土坑、4AⅠ区02号溝
 PL.35 4AⅠ区07・08・10・206・208・801号土坑、01~03・19号墓坑
 PL.36 4AⅠ区04・05・07・08・10~12・15号墓坑
 PL.37 4AⅠ区01号井戸、4AⅠ区02号井戸
 PL.38 藤原四反歩地区(4B区)全景
 PL.39 藤原四反歩地区(4B区)全景
 PL.40 4B区01・02号住居
 PL.41 4B区03・04号住居
 PL.42 4B区05号住居
 PL.43 4B区06号住居
 PL.44 4B区竪立柱建物群全景、01~05号竪立柱建物
 PL.45 4B区08~11号竪立柱建物
 PL.46 4B区01~04号溝
 PL.47 4B区05・06・08~11号溝、旧河道
 PL.48 4B区01・03・15・16・18・19・25・32・137・142・233・234・242号土坑
 PL.49 4B区244~246・271~300・327・337・375・385号土坑
 PL.50 4B区386・429~433・436・442・1085~1088号土坑
 PL.51 4B区469・478(19号竪立柱建物P4)・551・602・607・608・651・652・673号土坑
 PL.52 4B区672(23号竪立柱建物P8)・705・706・721・830・838号土坑
 PL.53 4B区01・03~05号墓坑
 PL.54 4AⅠ区01・04・06・07号住居出土遺物
 PL.55 4AⅠ区08・09号住居、4AⅠ区10号住居出土遺物
 PL.56 4AⅠ区11・14・15・16・17・21号住居出土遺物
 PL.57 4AⅠ区18・21号住居出土遺物
 PL.58 4AⅠ区21・22号住居出土遺物
 PL.59 4AⅠ区23~26号住居出土遺物
 PL.60 4AⅠ区26号住居出土遺物
 PL.61 4AⅠ区26号住居出土遺物
 PL.62 4AⅠ区26・28号住居出土遺物
 PL.63 4AⅠ区28~30・32号住居出土遺物
 PL.64 4AⅠ区32~35号住居出土遺物
 PL.65 4AⅠ区36・37号住居出土遺物
 PL.66 4AⅠ区37~40号住居出土遺物
 PL.67 4AⅠ区41~43号住居出土遺物
 PL.68 4AⅠ区41・43・44号住居出土遺物
 PL.69 4AⅠ区45~48号住居、02号井戸出土遺物
 PL.70 4AⅠ区52~55号住居、02号井戸出土遺物
 PL.71 4AⅠ区55・57号住居出土遺物
 PL.72 4AⅠ区57~61号住居出土遺物
 PL.73 4AⅠ区61・64・65号住居出土遺物
 PL.74 4AⅠ区66号住居、05号竪立柱建物、08・437・566・745・801・1274号土坑、01号溝出土遺物
 PL.75 4AⅠ区01号溝、02号井戸、散布範囲、4A区旧河道出土遺物
 PL.76 4AⅠ区旧河道、グリッド・表探、4B区01~05号住居出土遺物
 PL.77 4B区05・06号住居出土遺物
 PL.78 4B区06号住居、01・02号溝、06・19号竪立柱建物出土遺物
 PL.79 4B区04・05・11・15・16号溝、31号竪立柱建物、25・32・246・327・352・361・369・375・561・705・777号土坑、表探出土遺物
 PL.80 4B区04号溝、137・705号土坑、旧河道、グリッド出土遺物
 PL.101 藤原清太地区(5A区)全景
 PL.102 5区全景、5区東側三角地
 PL.103 5区01・02号住居
 PL.104 5区03・04号住居
 PL.105 5区05~07号住居
 PL.106 5区08・09号住居
 PL.107 5区08~11号住居
 PL.108 5区10・11・34・37号土坑、01号溝井、01~03号溝土遺構
 PL.109 藤原清太地区(5A区)全景
 PL.110 5A区04号溝、13・15号住居
 PL.111 5A区01号住居
 PL.112 5A区01~03号住居
 PL.113 5A区03号住居
 PL.114 5A区04~06号住居
 PL.115 5A区07~09号住居
 PL.116 5A区09・10号住居
 PL.117 5A区10~12号住居
 PL.118 5A区12・13号住居
 PL.119 5A区14~17号住居
 PL.120 5A区17・18号住居、04・06・07号溝
 PL.121 5A区02~04・08号溝
 PL.122 5A区04~07号溝、01・02号竪立柱建物
 PL.123 5A区87・201~206・221・241・242・247~249・251号土坑、土坑群
 PL.124 5A区256・257・270・275・283・284・289・290・292・293・313・331・333・334号土坑
 PL.125 5A区378・379・402・404~406・413・414号土坑、01号溝

坑

PL.126 下大塚北原地区(5B区)全景
 PL.127 5B区全景、グリッド遺物出土状態
 PL.128 5B区01号住居
 PL.129 5B区02・03号住居
 PL.130 5B区03～06号住居
 PL.131 5B区06・07号住居
 PL.132 5B区08～10号住居
 PL.133 5B区11・12号住居
 PL.134 5B区12・13号住居
 PL.135 5B区14・15号住居
 PL.136 5B区01号独立柱建物、18・20・59号土坑、01号土器掘り
 PL.137 下大塚北原地区(6区)全景
 PL.138 6区独立柱建物群、傾造部分全景
 PL.139 6区01号住居
 PL.140 6区02・03a号住居
 PL.141 6区03a・03b号住居
 PL.142 6区03b・04号住居
 PL.143 6区05号住居
 PL.144 6区06号住居
 PL.145 6区07号住居
 PL.146 6区08号住居
 PL.147 6区09号住居
 PL.148 6区10～12号住居
 PL.149 6区11～13号住居
 PL.150 6区13・14号住居
 PL.151 6区14～16号住居
 PL.152 6区16号住居
 PL.153 6区06・17号住居、01・02号独立柱建物
 PL.154 6区03～08・12～14・18号独立柱建物
 PL.155 6区09～11・15～17・19号独立柱建物
 PL.156 6区独立柱建物群
 PL.157 6区01・02・04・06号溝、247・248号土坑
 PL.158 6区07～09号溝、01号井戸、222号土坑
 PL.159 6区247～249・280号土坑、01～04号基坑
 PL.160 6区05～07号基坑、基坑群
 PL.161 6区08～10号基坑、北壁基本土層、水田址
 PL.162 6区水田址
 PL.163 本駒堂台地区(7区)全景
 PL.164 7区全景、溝群
 PL.165 7区01・02号住居
 PL.166 7区02・03号住居
 PL.167 7区03・04号住居
 PL.168 7区04・05号住居
 PL.169 7区06号住居
 PL.170 7区07・08号住居
 PL.171 7区01・07～09号住居
 PL.172 7区10・11号住居
 PL.173 7区11・12号住居
 PL.174 7区12・13号住居
 PL.175 7区13・14号住居
 PL.176 7区15・16号住居
 PL.177 7区16・17号住居
 PL.178 7区17・18号住居
 PL.179 7区19号住居
 PL.180 7区19・20号住居、01・02号溝
 PL.181 7区02～04・06号溝
 PL.182 7区01・04・05・07・12・14・16・17号土坑
 PL.183 7区21・28・33～38号土坑
 PL.184 7区43・46・55・65・74・79・113～115号土坑、02号溝縁辺ピット群
 PL.185 7区02号溝縁辺ピット群、103・110～118号土坑
 PL.186 7区119・120・123号土坑、02号溝縁辺ピット群、01号基坑、

01号粘土
 掘り
 PL.187 5区01～03号住居出土遺物
 PL.188 5区06・07・09号住居、5A区02号住居出土遺物
 PL.189 5A区02・03号住居出土遺物
 PL.190 5A区03号住居出土遺物
 PL.191 5A区03・04・05～10号住居出土遺物
 PL.192 5A区10・12～14・17号住居出土遺物
 PL.193 5A区14・17号住居、378号土坑、5区02・11・33・68号土坑出土遺物
 PL.194 5区11・33号土坑、グリッド、5A区203・313号土坑、02・03号溝出土遺物
 PL.195 5区・5A区グリッド・表採、5B区01・02号住居出土遺物
 PL.196 5B区02・06・09～11号住居出土遺物
 PL.197 5B区11～13・15号住居出土遺物
 PL.198 6区01号住居出土遺物
 PL.199 6区02・03a号住居出土遺物
 PL.200 6区03a・03b号住居出土遺物
 PL.201 6区03b号住居出土遺物
 PL.202 6区04～09号住居出土遺物
 PL.203 6区09～12・14～16号住居出土遺物
 PL.204 6区16号住居出土遺物
 PL.205 6区16号住居、07号溝、5B区01号土器掘り出土遺物
 PL.206 5B区01号土器掘り、18号土坑、6区160・222・280号土坑、01・04・07号基坑出土遺物
 PL.207 6区08号基坑、5B区グリッド出土遺物
 PL.208 5B区グリッド、7区01～05号住居出土遺物
 PL.209 7区05～07号住居出土遺物
 PL.210 7区07～09号住居出土遺物
 PL.211 7区09・11号住居出土遺物
 PL.212 7区12号住居出土遺物
 PL.213 7区13～15・19号住居出土遺物
 PL.214 7区19・20号住居、01～03号溝出土遺物
 PL.215 7区04号溝、01号粘土掘り、08・09トレンチ、グリッド出土遺物
 PL.216 7区33号土坑、01号溝、02・08・09トレンチ、グリッド・表採出土遺物、商編み石
 PL.217 商編み石
 PL.218 商編み石
 PL.219 商編み石
 PL.220 商編み石、敷物梁材

V 自然科学分析

1 上栗須寺前遺跡出土須恵器の胎土分析

群馬県工業試験場 小 沢 達 樹
群馬県埋蔵文化財調査事業団 岸 田 治 男

(1) はじめに

考古学は、その学問生成の端緒から型式学的操作によって、遺物に相対的時間を与えることに成功し、かつ遺物の地域差による集団動向の抽出にもある程度の成果を収めている。そのうえ近年における周辺諸科学の進展により、学際的な協力による考古学の多大な成果も期待できる状況が生まれつつある。本稿の胎土分析も土器の産地推定法として、有力な武器になると考えられている。

特に群馬県では、各地の古窯跡群の調査研究が進み、生産地である窯跡から出土する須恵器の胎土分析による古窯跡群の特定もある程度可能となってきた。上栗須寺前遺跡群の位置する藤岡地方は、古代から窯業の盛んな地域で、本郷埴輪窯跡は6世紀中頃から生産を開始しており、その後8世紀段階になると、下金井地区で須恵器の生産が始まり10世紀の始め頃まで継続すると考えられている。また周辺の古窯跡群では吉井古窯跡群や乗附古窯跡群が知られている。

上栗須寺前遺跡群は、須恵器生産地に近接する消費地としての性格をもつ遺跡で、そのような遺跡の消費須恵器の搬入先の究明は興味あるところである。そこで分析資料には須恵器の各器種を網羅し、時期については8世紀初頭から9世紀中葉のものを各区から抽出した。

上栗須寺前遺跡胎土分析資料観察表

No	住居番号	遺物番号	器 種	時期	①胎土 ②焼成 ③色調	内 容
983	509	0020	須恵器坏蓋	3期	①細砂 ②還元 ③灰色	堅く焼き締められており、断面は暗灰色で微小な白色粒子と片岩系鉱物を含む。
984	503	0055	須恵器钵跡	3期	①細砂 ②還元 ③暗灰黄	焼き締めは甘く、断面は暗褐色で微小な白色粒子と石英粒子と片岩系鉱物を含む。
985	503	0057	須恵器坏	3期	①細砂 ②還元 ③灰色	堅く焼き締めをもち、断面は暗灰色で極小の白色微粒子と黒色微粒子が全体に含まれる。
986	603a	1090	須恵器坏	5期	①細砂 ②還元 ③灰白	堅く焼き締められ、断面は灰色で黒色粒・黒色微粒子と白色極小微粒子が全体に含まれる。
987	603a	1095	須恵器高台付碗	5期	①細砂 ②還元 ③灰色	堅く焼き締められ、断面は暗灰色で片岩系鉱物の白色粒子と石英粒子を全体を含む。
988	603a	1116	須恵器坏蓋	5期	①細砂 ②還元 ③灰色	堅く焼き締められ、断面は暗灰色で白色微粒子と石英粒・片岩系鉱物が含まれる。
989	616	1273	須恵器壺	6期	①細砂 ②還元 ③暗灰色	焼き締めが甘く、断面は暗褐色で白色微粒子と石英粒・片岩系鉱物を含む。
990	611	1186	須恵器坏	5期	①細砂 ②還元 ③黄灰	堅く焼き締めで、断面は灰色を呈し白色微粒子と片岩系鉱物・石英粒と黒色粒子を全体を含む。
991	611	1190	須恵器坏蓋	5期	①細砂 ②還元 ③灰色	焼き締めは甘く、断面も灰色で白色微粒子と黒色微粒子を含み片岩系鉱物も見られる。
992	5A03	0205	須恵器坏	7期	①細砂 ②還元 ③灰色	堅く焼き締めで、断面も灰色で細長い黒色粒と黒色微粒子が全体に含まれ、石英粒も見られる。
993	5A03	0207	須恵器坏	7期	①細砂 ②還元 ③灰色	堅く焼き締めで、断面は暗灰色を呈し白色微粒子が全体に含まれ、黒色粒子も散在する。
994	5B12	0481	須恵器壺	7期	①細砂 ②還元 ③暗灰色	焼き締めは甘く、断面は灰色で白色微粒子と黒色微粒子が含まれている。
995	711	0631	須恵器坏蓋	6期	①細砂 ②還元 ③灰色	堅く焼き締められ、断面も灰色で細長い黒色粒子と白色微粒子と片岩系鉱物を含む。

V 自然科学分析

No	住居番号	遺物番号	器 種	時期	①胎土 ②焼成 色調		内 容
					①胎土	②焼成 色調	
996	705	0743	須恵器 高台付椀	8期	①細砂	②還元	③灰色 堅く焼き締められ、断面も灰色で白色極小微粒子を含み僅かに片岩系鉱物を含む。
997	705	0744	須恵器 高台付椀	8期	①細砂	②還元	③明赤褐 焼き締めは甘く、断面も明赤褐色で白色極小微粒子を含む。
998	705	0747	須恵器 環	8期	①細砂	②還元	③灰色 堅い焼き締めで、断面も灰色を呈し細長い黒色粒と白色微粒子と石英粒・片岩系鉱物を含む。
999	705	0753	須恵器 鉢	8期	①細砂	②還元	③褐色 焼き締めは甘く、断面も褐色で白色粒と白色極小微粒子と片岩系鉱物を含む。

(2) 分析方法及び測定条件

蛍光X線分析 分析用試料は各試料を10mm以下に粉砕し、2～3gを径2.5cmの円板に成型して使用した。測定条件は、次のとおりである。

蛍光X線分析装置、理学電気研製KG-4型

X線管球：銀対陰極 40kV, 30mA

分光結晶：Fe, Sr, RbにはLiF(2d=4.028Å)

Ca, K, Ti, Si, AlにはEDDT(2d=8.808Å)

MgにはADP(2d=10.648Å)

検出器：LiFを使用したとき、S・C

EDDT, ADPを使用したとき、P・C

測定数：1

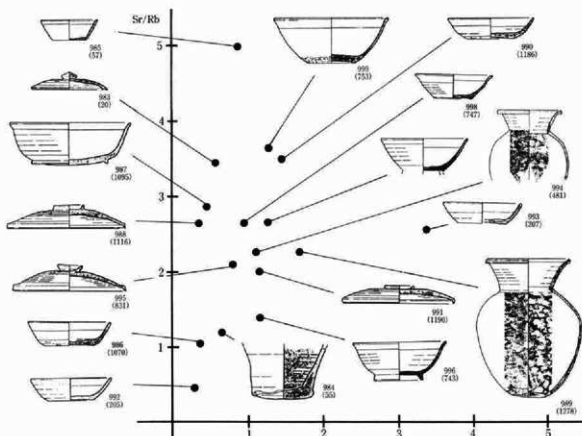
計数法：Fe, Ca, K, Ti, Sr, Rbはチャートにより、Si, Al, Mgは定時計数法によった。なお走査速度は4/minとした。

波高分析器：横分方式

測定線：FeK β , CaK α , KK β , TiK α , SiK α , AlK α , MgK α , SrK α , RbK α 各1次線を使用した。

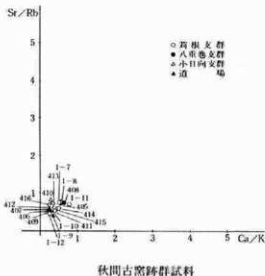
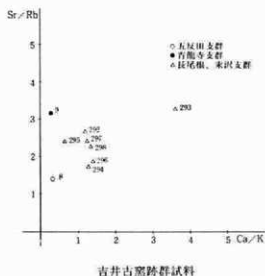
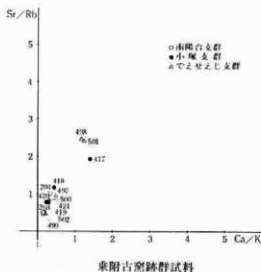
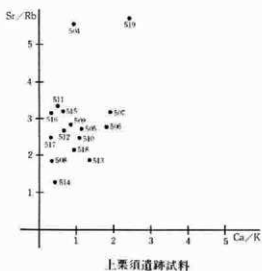
X線照射面積：20mm ϕ

標準試料：群馬県埋蔵文化財調査事業団から依頼を受けた土器6点(分析通番試料295, 310, 336, 345, 360, 380)を化学分析し、標準試料とした。



第1図 寺前遺跡群(6・7区)胎土分析値

1 上栗須寺前遺跡出土土須恵器の胎土分析



V 自然科学分析

表 寺前遺跡試料 胎土分析値一覧

	SiO ₂ (%)	Al ₂ O ₃ (%)	Fe ₂ O ₃ (%)	TiO ₂ (%)	CaO(%)	MgO(%)	K ₂ O(%)	Ca/K	Sr/Rb
983	71.35	19.86	4.57	1.01	0.66	1.02	1.24	0.53	3.43
984	71.35	18.07	4.88	1.14	0.85	1.55	1.27	0.67	1.20
985	68.11	21.22	6.14	1.15	0.85	1.40	0.58	0.87	5.00
986	74.11	15.43	5.44	0.79	0.54	1.22	1.43	0.38	1.08
987	71.89	18.02	6.10	1.02	0.67	0.70	1.35	0.49	2.88
988	72.50	17.30	3.87	0.76	0.70	1.08	1.98	0.35	2.63
989	58.54	14.81	7.82	1.28	2.39	3.25	1.41	1.69	2.27
990	71.83	18.82	5.89	1.13	1.34	1.49	0.91	1.47	3.50
991	64.75	16.61	7.89	1.25	1.20	1.90	1.07	1.12	2.00
992	73.41	18.43	6.49	0.93	0.43	1.11	1.57	0.28	0.46
993	62.37	12.10	6.91	1.06	3.10	1.25	0.92	3.38	2.56
994	70.36	16.55	7.15	0.91	0.99	1.12	0.90	1.10	2.17
995	69.33	18.76	6.91	1.17	0.95	1.50	1.19	0.80	2.10
996	61.28	18.48	8.97	1.25	1.66	2.98	1.40	1.19	1.40
997	56.19	17.77	9.32	1.38	1.50	2.37	1.29	1.24	2.63
998	65.06	21.80	6.00	0.96	1.24	2.27	1.35	0.92	2.63
999	58.23	18.90	8.02	1.22	1.58	2.84	1.21	1.30	3.67

表 上栗須遺跡試料 胎土分析値一覧

	SiO ₂ (%)	Al ₂ O ₃ (%)	Fe ₂ O ₃ (%)	TiO ₂ (%)	CaO(%)	MgO(%)	K ₂ O(%)	Ca/K	Sr/Rb
504	67.4	22.5	4.20	0.89	0.84	0.42	1.11	0.92	5.51
505	65.8	18.7	5.60	1.15	0.97	1.01	1.03	1.13	2.70
506	59.6	16.9	6.8	1.25	1.92	2.90	1.27	1.85	2.77
507	59.0	17.8	8.4	1.21	1.89	2.55	1.30	1.92	3.18
508	68.1	20.5	3.85	0.91	0.48	0.72	1.60	0.37	1.86
509	65.8	21.1	6.71	1.33	0.87	1.48	1.13	0.89	2.62
510	65.4	16.7	5.72	1.04	1.09	1.09	1.30	1.10	2.42
511	69.9	19.1	5.2	0.93	0.66	1.03	1.64	0.50	3.33
512	65.8	19.6	5.25	0.92	0.90	1.14	1.60	0.70	2.67
513	61.4	17.9	9.4	1.36	1.25	2.25	1.06	1.43	1.84
514	68.6	17.4	4.1	0.97	0.60	1.02	1.71	0.44	1.26
515	69.4	20.2	6.55	0.96	0.59	0.80	1.03	0.69	3.03
516	69.8	20.2	3.62	0.92	0.40	0.43	1.45	0.34	3.13
517	66.6	23.4	2.75	1.05	0.32	0.53	1.32	0.39	2.18
518	54.1	16.6	6.35	0.92	1.13	1.18	1.48	0.94	2.13
519	58.9	18.5	6.90	1.08	1.69	1.09	0.83	2.42	5.71

表 秋間古窯跡群試料 胎土分析値一覧

	SiO ₂ (%)	Al ₂ O ₃ (%)	Fe ₂ O ₃ (%)	TiO ₂ (%)	CaO(%)	MgO(%)	K ₂ O(%)	Ca/K	Sr/Rb	
0-07	66.9	23.0	4.48	1.09	0.46	1.69	1.19	0.53	0.78	
角根支群 (I~III号窯灰層)								0.55	0.77	
1-08								0.79	0.71	
1-11								0.24	0.46	
1-12	68.9	20.0	4.76	0.89	0.30	1.14	1.75	0.39	0.55	
411	76.0	15.8	3.83	0.88	0.49	0.88	1.75	0.31	0.64	
412	61.6	26.3	8.95	1.38	0.38	0.88	1.70	0.31	0.64	
413	69.9	19.8	5.13	0.96	0.40	1.00	1.52	0.36	0.68	
414	65.0	20.9	8.21	1.03	0.51	0.82	1.42	0.50	0.58	
415	66.9	18.9	7.15	0.92	0.44	0.86	1.31	0.46	0.58	
416	71.1	20.7	3.95	0.98	0.24	0.93	1.24	0.27	0.68	
八重巻支群								0.64	0.72	
405	71.6	20.5	6.50	1.03	0.61	0.53	1.32	0.26	0.51	
406	72.3	21.3	4.43	0.85	0.37	1.06	1.95	0.26	0.51	
407	73.8	17.1	5.05	0.92	0.40	0.69	2.03	0.28	0.54	
408	71.6	19.0	5.75	1.01	0.73	0.89	1.57	0.64	0.75	
小日向支群								1.69	0.23	0.48
409	74.2	19.5	3.95	0.95	0.58	0.84	1.69	0.23	0.48	
410	74.6	15.1	4.42	0.93	0.45	0.82	2.19	0.28	0.79	
道場								0.35	0.40	
2-08								0.31	0.56	
2-10	68.9	13.9	5.24	1.00	0.35	1.20	1.57	0.31	0.56	

表 乗附古窯跡群試料 胎土分析値一覧

	SiO ₂ (%)	Al ₂ O ₃ (%)	Fe ₂ O ₃ (%)	TiO ₂ (%)	CaO(%)	MgO(%)	K ₂ O(%)	Ca/K	Sr/Rb
南陽台支群	203 75.2	16.2	2.75	0.99	0.29	1.28	2.25	0.14	0.51
	204 69.6	20.6	4.26	0.96	0.52	0.77	1.64	0.36	1.00
小塚支群	417 66.9	18.0	4.25	0.97	1.18	1.17	1.15	1.41	1.82
	418 70.2	15.7	5.61	0.87	0.61	0.97	1.85	0.45	1.15
	419 69.3	17.5	6.45	0.78	0.44	0.88	2.78	0.22	1.00
	420 72.7	16.6	4.25	0.81	0.35	0.64	1.96	0.24	0.78
	421 71.6	18.8	3.75	0.88	0.36	0.83	1.53	0.32	0.75
でえせじ支群	497 66.6	21.1	5.82	0.90	0.45	1.18	1.16	0.46	0.97
	498 68.4	17.6	5.35	1.27	1.09	1.18	1.20	2.45	
	499 75.4	17.0	3.12	0.82	0.19	0.38	1.71	0.13	0.47
	500 69.6	21.8	4.00	0.82	0.33	0.90	1.39	0.31	0.85
	501 69.4	17.2	6.02	1.26	1.11	1.07	1.08	1.25	2.40
	502 73.1	17.2	5.20	0.82	0.31	1.11	2.13	0.18	0.48

表 吉井古窯跡群試料 胎土分析値一覧

	SiO ₂ (%)	Al ₂ O ₃ (%)	Fe ₂ O ₃ (%)	TiO ₂ (%)	CaO(%)	MgO(%)	K ₂ O(%)	Ca/K	Sr/Rb
五反田支群	x-1 67.3	17.7	3.00	0.74	0.53	0.83	2.13	0.33	1.40
青鹿寺支群	x-2 69.8	20.2	3.30	0.87	0.36	0.49	1.54	0.30	3.16
長尾根・未沢支群	292 71.3	17.0	4.02	0.95	1.39	0.82	1.55	1.19	2.65
	293 57.5	21.3	7.45	1.15	2.19	0.60	0.78	3.68	3.28
	294 81.8	18.0	7.80	1.17	1.51	2.50	1.55	1.28	1.71
	295 63.7	23.8	6.70	1.21	0.66	0.73	1.35	0.65	2.39
	296 60.3	18.0	6.00	1.20	1.73	3.23	1.62	1.41	1.85
	297 71.3	15.7	4.25	0.68	1.39	0.70	1.47	1.25	2.40
	298 65.7	17.2	7.52	1.15	1.75	1.67	1.71	1.35	2.23

(3) まとめ

上栗須寺前遺跡群出土須恵器の胎土分析により、含有量が地域特性を示すRb, Sr, K, Caの4元素(三辻1958)の値を、Rb/SrとK/Caの2因子を両軸にとった2次元分布図上にプロットしたのが第1図である。この結果を該遺跡の東方に位置する同時期の集落遺跡である上栗須遺跡資料と須恵器生産地の吉井古窯跡群資料、藤岡古窯跡資料、乗附古窯跡群資料、秋間古窯跡群資料とを比較検討することから、上栗須寺前遺跡群出土須恵器の様相を考究するのは今後の課題として、目に留まった事実だけを整理しておきたい。

- ①上栗須遺跡と該遺跡の須恵器は、分析資料の散らばり具合から、ほぼ同様の供給先からの搬入品である可能性が高い。
- ②供給先の特定は、未だ藤岡市下金井古窯跡群の全貌が明らかになっていない現在では困難だが、鮎川をひとつ隔てた近隣の吉井古窯跡群の領域と多くの部分でクロスしており、製品の大部分が吉井近辺のものである確率が高い。
- ③器種別に見ると須恵器坏蓋と須恵器高台付碗が近く、須恵器甕もまた別のまとまりの範疇に入り、ひとり須恵器坏だけが大きな散らばりを見せている。

この事実は何を意味するのであろうか。それらは、今後の古窯跡資料の増加をまつとともに、消費地における実態を究明するなかから、生産地と消費地との古代流通の様相解明の一視点として生かしていこうと考えている。

【参考文献】

- 1) 「窯跡出土須恵器の蛍光X線分析」『考古学と自然科学』11号, 1978, 三辻利一
- 2) 「土器の胎土分析」『塚廻り古墳群』(群馬県教育委員会) 1980, 花岡祐一, 石塚久明
- 3) 「村土遺跡出土土器を中心とした胎土分析」;大塚川遺跡・村土遺跡」(群馬県埋蔵文化財調査事業団) 1986, 花岡・中沢
- 4) 「胎土分析」『上栗須遺跡・下大塚遺跡・大塚遺跡』(群馬県埋蔵文化財調査事業団) 1989, 花岡・斎藤利昭

2 寺前遺跡の地質調査

古環境研究所

1. はじめに

遺跡の立地について検討を行うためには、遺跡の位置する地域の地形について微地形スケールでの地形学および地質学による調査が必要となる。今回、藤岡市寺前遺跡の発掘調査に伴い、寺前遺跡の位置する藤岡台地とその周辺地域について野外地質調査を行い、これらの観点からの検討が行われるようになった。調査の対象とした地域は、具体的におおよそ高崎市街地南部以南で埼玉県神川村以北、吉井町黒熊以东で埼玉県本庄市街地以西である。地質調査は現地において5日間の日程で行われた。

2. 地質調査結果

調査対象地域の地形的な調査には、新井(1962)、Yamazaki(1984)、杉原重夫(1988)などの調査がある。しかしいずれの研究においても、とくに中位以上の地形面の形成年代についての記載が充分ではない。

今回の野外地質調査の成果を、地形学図(第3図)として示した。調査対象地域はおおよそ山地および丘陵、河岸段丘、氾流地積面、沖積低地、現河床に大きく区分される。なお、調査対象地域南西部の藤岡市西平井付近には丘陵や河岸段丘を斬って発達する活断層が認められた。

(1) 山地および丘陵

調査対象地域の山地はおもに古生代の三波川変成岩類から構成される。また丘陵はおもに侵食作用によって形成されたものであり、おもに板鼻層と呼ばれる第三紀中期中新世の水成層などから構成されている。

(2) 河岸段丘

河岸段丘には、高位より低位のものまで、多くの段丘面がある。高位より大きく高位段丘、中位段丘、下位段丘と3区分する。高位段丘は藤岡市黒熊や埼玉県児玉町宮内原周辺に認められる。少なくとも2段の段丘面に区分することができる。これらの高位段丘の形成年代については、今回の調査でも段丘構成層の上位に良好なテフラの露出が確認されていないため現在までのところ不明である。しかし地形の開析状況などから中期更新世に形成された南関東地方の多摩面に対比されるものと考えられる。なお、詳細については不明であるが、烏川右岸高崎市上根小屋付近に認められる段丘も高位段丘に対比されるものかも知れない。

中位段丘は、藤岡市緑葉付近に認められる。この段丘面についても高位段丘と同様に段丘構成層の上位に良好なテフラの露出が確認されていないため形成年代は現在までのところ不明である。しかし開析の程度や他の段丘面との関係などから後期更新世の比較的前期に形成された南関東地方の武蔵野多摩面に対比されるものと考えられる。なお赤城山南麓地域において、この段丘面に対比される段丘の形成年代は約5~4万年前と考えられている(早田, 1990)。

低位段丘は高位(I面)と(II面)の段丘にさらに細分される。前者は藤岡台地や本庄台地と呼ばれる段丘化した扇状地性の段丘で特徴付けられる。藤岡台地はおもに鮎川の堆積作用によって形成されたものである。寺前遺跡は本地形面上に位置している。一方本庄台地は、神流川の堆積作用により形成されたものである。ただし神流川により形成された扇状地性の段丘は現神流川左岸の藤岡市神田から小林にかけての地域にも残されている。これらの扇状地地形の発達期あるいは開析期に堆積したと思われる。低地の構成層には約2.1~2.2万年前に南九州始良カルデラから噴出した始良 Tn 火山灰(AT, 町田・新井, 1976)が認められる(群馬県埋蔵文化財調査事業団, 1989)。このことから、より高位のI面は約2万年前前後に形成された可能

性が大きいものと考えられる。

より低位のII面は、鮎川や神流川の両岸に断片的に認められる。これらの地形の断面は確認されなかった。したがってその形成年代について詳細は不明であるが、他の段丘との関係などから更新世末期頃かも知れない。これら中位の段丘は鯛川の両岸にも認められる。

(3) 泥流堆積面

鳥川左岸に広がる地域には、厚い泥流から構成される高低2面の泥流堆積面が広がる。高位の台地は前橋市周辺から高崎市周辺にかけて広く広がる前橋泥流堆積物により構成されている前橋台地と呼ばれる地形である。その地形は厳密には前橋泥流堆積面が積積直後に広く侵食されてきたものであるが、泥流堆積物の層厚が10mを超えるほど厚く実際に侵食のために低下した高度が小さいと思われるため堆積面と考えると差し支えないものと思われる。前橋泥流の堆積年代は、最近では約2万年前と考えられている(早田, 1990)。微地形スケールで細かくみると前橋台地の地形は、榛名火山に起源をもつ小河川沿いの自然堤防と、その背後の後背湿地から構成されている。

低位の泥流堆積面は、井野川低地帯のほとんどを占めて広がるものである。ここでは利根川により形成されたと考えられる井野川低地帯(早田, 1990)を構成する礫層を覆って軽石を比較的多く混じえる層厚3m程度の泥流堆積物が認められる。早田(1990)はこの堆積を「井野川泥流堆積物」と呼び、その層位について約1.5万年前の浅間一白糸軽石(As-SP, 町田ほか, 1984)の上位と考えた。しかし最近では約1.3~1.4万年前の浅間一板鼻黄色軽石(As-YP, 新井, 1962, 町田ほか, 1984)のさらに上位にあると考えている。約1.1万年前の浅間一総社軽石(As-SJ, 早田, 1990, 1991)との層位関係については不明である。

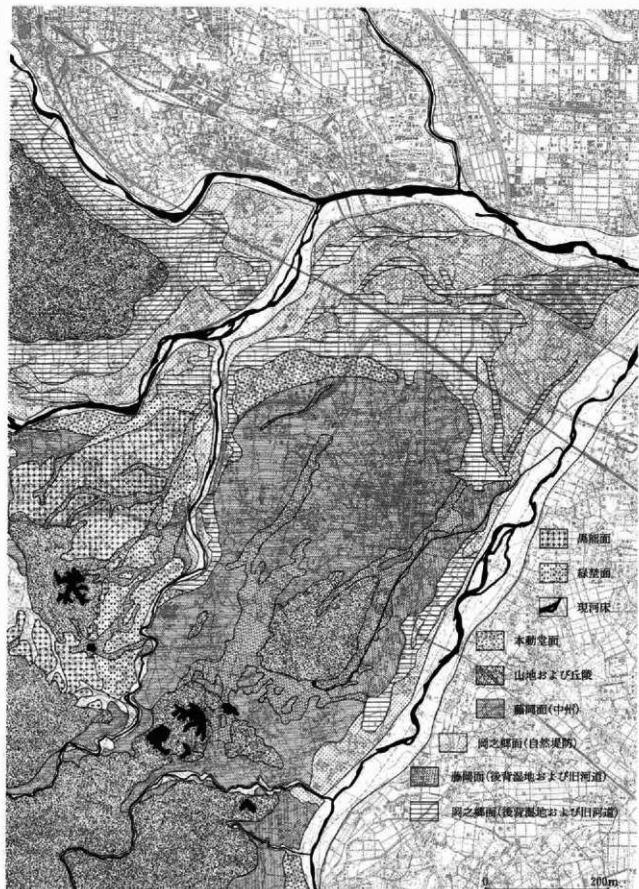
(4) 沖積低地

広瀬川、鳥川、鯛川、鮎川、神流川、そして井野川などの河川沿いに各々広がる完新世に形成された細長い低地である。沖積低地は、高位のI面と低位のII面に区分できる。鮎川や神流川の下流部ではI面に対比される扇状地が認められる。各々鮎川扇状地、神流川扇状地と呼ばれるものである。これらの扇状地は大きく旧中州と旧河道から構成されている。とくに前者の占める割合が大きい。また旧河道では現河床と比較して蛇行の度合いが大きい特徴が認められる。扇状地の形成年代については不明な点が多いが、扇状地形成時期にはおそらく河床勾配が現河床の勾配より小さかったため、このような違いがあるものと推定される。河床勾配の違いの要因には、利根川との合流点の位置が当時現在よりも下流にあった可能性のあることも関与しているのかも知れない。

広瀬川沿いには、広瀬川低地帯と呼ばれる広い沖積低地が広がっているが、この地形は現在の広瀬川により形成されたものではなく、天文年間(1532~1554年)頃現在の位置に河谷そのものの移動を引き起こしたと考えられている利根川により形成されたものである。広瀬川低地帯では、1108(天仁元)年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ(As-B, 新井, 1979)がのる高位のI面と低位のII面が認められる。すなわちII面の離水時期は1108(天仁元)年より新しい可能性が考えられる。

(5) 現河床

河川沿いに認められる河床のうち現利根川では、とくに江戸時代以降にも激しい流路移動が認められたようである。1783(天明3)年の浅間火山の噴火に伴い吾妻川から利根川沿いを流下堆積した天明泥流堆積物は河道を埋め、玉村五科より下流で流路を変化させたようである。



第3図 地形区分図

3. ま と め

藤岡市寺前遺跡の周辺地域において野外地質調査を行い、地形区分を行った結果調査対象地域の地形は、山地および丘陵、河岸段丘、泥濘堆積面、沖積低地、現河床に大きく区分された。地形によってはさらに細分されるものである。これらの成果は、地形学図に示した。また今回の調査においても、中位以上の地形面の形成年代についての資料が得られなかった。今後の調査が期待される。

文 献

- 新井房夫(1962) 関東盆地北西部地域の第四紀編年, 群馬大学紀要自然科学編, 10, p.1-79.
 群馬県埋蔵文化財調査事業団(1989) 本郷山根遺跡, (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団報告集, 第81集, 162p.
 町田 洋・新井房夫(1976) 広域に分布する火山灰—給良 Tn 火山灰の発見とその意義—, 科学, 46, p.339-347.
 町田 洋・新井房夫・小田静夫・遠藤邦彦・杉原重夫(1984) テフラと日本考古学—考古学研究と関係するテフラのカatalog—, 古文化財編集委員会編「古文化財に関する保存科学と人文・自然科学」, p.865-928.
 早田 勉(1990) 群馬県の自然と風土, 群馬県史編, 1, p.35-129.
 早田 勉(1991) 浅間火山の生い立ち, 佐久考古通信, no.53, p.2-7.
 杉原重夫(1998) 藤岡市滝前・滝下遺跡とその周辺の自然—とくに地形・地質について—, 滝前・滝下遺跡調査会編「滝前・滝下遺跡」, p.240-279.
 Yamazaki, H(1984) On the relationships between active faults and Basin-Forming movement. Geogr. Rept. Tokyo Metropol. Univ. No.19, p.67-78.

3 上栗須寺前遺跡テフラ検出分析

古環境研究所

1. 分析の目的

藤岡台地を構成する砂礫層の上位には、洪水に由来する粒堆積物や土壌の堆積が認められる。これらの堆積物中には、多くの降下テフラが含まれている。それらのテフラについて特徴を把握し、示標テフラとの同定を行うことにより、堆積物中に時間軸を設定することができる。ここでは、寺前遺跡の土層についてテフラ検出分析を行いテフラを検出するとともに、その特徴から示標テフラとの同定を試みる。

分析の対象とした地点は、4 B区、5 A区、6区の3地点である。

2. 分析の方法

分析は、次の順序で行われた。

- 1) 試料15gを秤量
- 2) 超音波洗浄装置により、泥分を除去
- 3) 80°Cで恒温乾燥
- 4) 実体顕微鏡下で、特徴を観察

3. 分析結果

(1) 4 B区

土層断面を地質柱状図にして、第5図に示す。ここでは、5cm連続で採取した試料のうち、奇数番号の試料を対象として、すなわち5cmおきに分析を行った。分析結果を、表1に示す。

試料番号1～5には、淡褐色の軽石が多く含まれている。軽石の最大径は、4mmである。軽石の発泡は、あまり良くない。斑晶として、斜方輝石が認められる。また、試料番号7から17にかけての層準には、スポンジ状によく発泡した1mm程度の軽石が少量含まれている。

(2) 5 A区

土層断面を地質柱状図にして、第5図に示す。また、分析結果を表2に示す。ここでは、敵状の遺跡を直接覆う7cmの降下軽石層（試料番号2）が認められた。このテフラには最大径11mmの比較的粗粒の黄白色軽石がとくに多く含まれている。比較的よく発泡している。

この地点では、埋没した谷が確認された。谷によって斬られた地層中には、層厚11cmの黄褐色の軽石に富む暗灰色シルト層（試料番号3）がある。この地層には、最大径3mmの黄白色細粒軽石が比較的多く含まれている。軽石には、微細な斑晶が含まれており、発泡の程度は良くない。

(3) 6区

土層断面を地質柱状図にして、第5図に示す。また、分析結果を表3に示す。この地点では、2層準にテフラが認められた。これらのうち上位のテフラ（試料番号1）は、層厚3cmの灰色細粒軽石層である。このテフラには比較的良く発泡した黄白色軽石がとくに多く含まれている。軽石の最大径は、6mmである。本テフラは、その特徴から5 A区の試料番号2に対比される。

下位のテフラ（試料番号2）は、暗灰色土壌中に多く含まれる黄灰色軽石である。軽石の最大径は6mmで、発泡の程度はあまり良くない。この軽石は、4 B区の試料番号1～5に含まれる軽石に対比される。

4. 考察—示標テフラとの同定

寺前遺跡におけるテフラ検出分析の結果、4層のテフラが認められた。上位のテフラには、比較的粗粒の黄白色軽石が多く含まれる。軽石の最大径は11mmで、比較的良く発泡している。これからの特徴から、本テフラは1783(天明3)年に浅間火山から噴出した浅間A軽石(荒牧, 1968, 新井, 1979)に同定される。なお、本テフラの直下には、5A区において畝状の遺構が検出されている。

その下位のテフラは、淡褐色の軽石に富むテフラである。軽石の直径は、6mmである。発泡の程度は、あまり良くない。本テフラは、その特徴から1108(天仁元)年に浅間火山から噴出した浅間Bテフラ(As-B, 荒牧, 1968, 新井, 1979)に同定される。6区では、As-Bの下位の層準に、水田の可能性のある遺構が検出されている。

下から2層目のテフラは、最大径1mm程度の白色軽石粒である。スポンジ状によく発泡している。珽品鉱物は、認めることができない。6世紀初頭に榛名火山から噴出した榛名—渋川テフラ層(Hr-S, 早田, 1989, 噴出年代は、坂口, 1986)のうちの降下テフラ(新井, 1979のFA)に対比される可能性がある。ただし本テフラは純層で認められず、また量も少ないため降灰層準について詳しく議論することはできない。

最下位のテフラは、谷によって切られた地層中に認められる最大径3mmの黄白色軽石である。軽石の発泡の程度は悪く、また微細な珽品が多く認められる。このテフラには、ほかに斜方輝石が多く認められることから、完新世に浅間火山から噴出したテフラに同定されると考えられる。とくに約4,500年前に噴出した浅間D軽石(As-D, 荒牧, 1968, 新井, 1979, 早田, 1990)、あるいは寺前遺跡の発掘調査に伴い、直下の土壌から8190±170y.B.P(Gak-14945)の値が得られた軽石層(群馬県埋蔵文化財調査事業団, 未公表資料)に対比される可能性が考えられる。今後、屈折率測定などを行ない、同定のためのより詳細な分析が必要である。

5. ま と め

寺前遺跡におけるテフラ検出分析では、4層のテフラが認められた。4層のテフラのうち、上位の2層は浅間A軽石(As-A)、浅間Bテフラ(As-B)にそれぞれ対比される。As-Bの下位のテフラは榛名—渋川テフラ層(Hr-S)に、最下位のテフラは、浅間D軽石(As-D)あるいは約8,200年前の浅間火山起源のテフラに同定される可能性が考えられる。

【参考文献】

- 新井河火(1979) 関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層。考古学ジャーナル, No157, p.41-52.
 荒牧重雄(1968) 浅間火山の地質。地質研専報, 14, p.45.
 坂口 一(1986) 榛名二ツ岳記録F A・F P層下の土層と遺跡。群馬県教育委員会編「瓦礫北原遺跡・今井神社古墳群・瓦礫南原遺跡」, p.103-119.
 早田 勉(1986) 6世紀における榛名火山の2回の噴火とその災害。第四紀研究, 27, p.297-312.
 早田 勉(1990) 群馬県の自然と風土。群馬県史通史編, 1, p.35-129.

V 自然科学分析

表1 寺前遺跡4 B区のテフラ検出分析結果

試料	軽石の量	軽石の色調	軽石の最大径(mm)
1	+++	淡褐	4
3	+++	淡褐	3
5	+++	淡褐	3
7	+	白	0.4
9	+	白	0.5
11	+	白	1
13	+	白	0.4
15	+	白	1
17	+	白	1
19	-	-	-
21	-	-	-
23	-	-	-
25	-	-	-
27	-	-	-

表2 寺前遺跡5 A区のテフラ検出分析結果

試料	軽石の量	軽石の色調	軽石の最大径(mm)
2	++++	黄白色	11
3	++	黄白色	3

表3 寺前II遺跡6区のテフラ検出分析結果

試料	軽石の量	軽石の色調	軽石の最大径(mm)
1	++++	黄白色	6
2	+++	淡褐	6

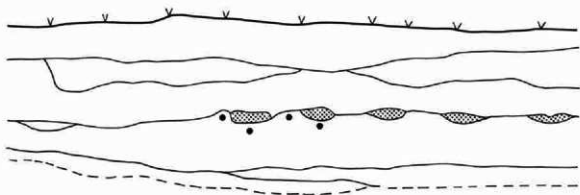
++++:とくに多い

+++ :多い

++ :中程度

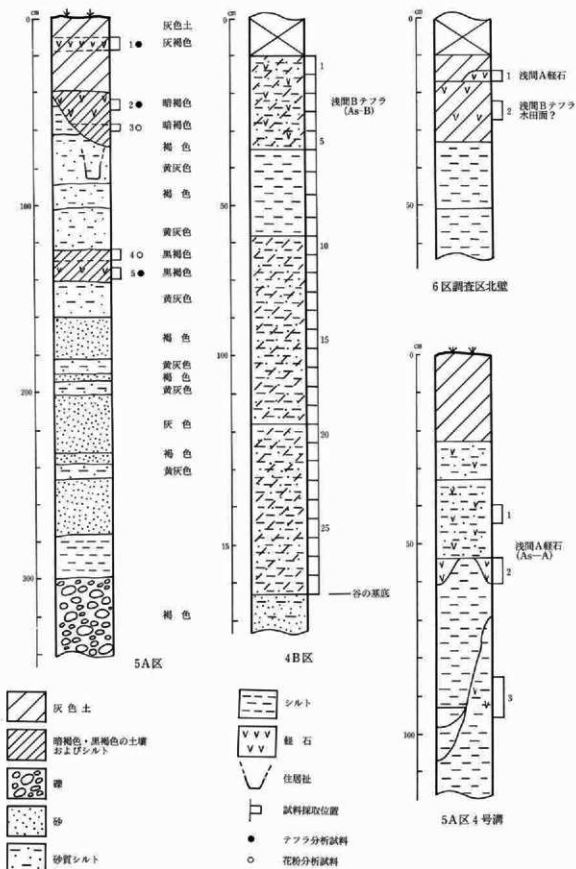
+ :少ない

- :認められない



- 1a : 褐灰色土 As-A 風土
- 1b : 褐灰色土 As-A 塊状に多量に含む、しまり弱い
- 1c : 褐灰色土 As-A 主体、島、筋状
- 2 : 暗褐色土 風化白色軽石含む
- 3 : 灰黄褐色土 鉄分の沈着あり、黄色土層粒含む、粘性強い
- 4 : 褐色土 灰黄褐色土、黄褐色土層粒含む、しまり弱い

第4図 テフラ分析試料採取位置



第5図 地質柱状図

4 上栗須寺前遺跡のプラント・オパール分析

1. はじめに

寺前遺跡では、浅間Aテフラ層の直下から畝状の遺構が、また浅間Bテフラ層の直下から水田状遺構が確認され、それぞれ当時の畝跡および水田跡と見られていた。この調査は、プラントオパール分析を用いて、これらの遺構におけるイネ科栽培植物の検討を試みたものである。

2. 試料

試料は、浅間Aテフラ層直下の畝状遺構（5A区）については、畝部および溝部から各2点を採取した。また、浅間Bテフラ層直下の水田状遺構（6区）については、田面部および畦部から各2点を採取した。採取にあたっては容量50cm³の採土管を用いた。第5図に5A区の土層断面図と分析試料の採取箇所を示す。試料数は合計8点である。

3. 分析法

プラント・オパールの抽出と定量は、「プラント・オパール定量分析法（藤原，1976）」をもとに、次の手順で行った。

- (1) 試料土の絶乾（105℃・24時間）、仮比重測定
- (2) 試料土約1gを秤量、ガラスビーズ添加（直径約40μm、約0.02g）
※電子分析天秤により1万分の1gの精度で秤量
- (3) 電気炉灰化法による脱有機物処理
- (4) 超音波による分散（300W・42KHz・10分間）
- (5) 沈底法による微粒子（20μm以下）除去、乾燥
- (6) 封入剤（オイキット）中に分散、プレパラート作成
- (7) 検鏡・計数

同定は、機動細胞珪酸体由来するプラント・オパール（以下、プラント・オパールと略す）をおもな対象とし、400倍の偏光顕微鏡下で行った。計数は、ガラスビーズ個数が300以上になるまで行った。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計数されたプラント・オパールとガラスビーズ個数の比率をかけて、試料1g中のプラント・オパール個数を求めた。

また、この値に試料の仮比重と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重、単位：10⁻⁹g）をかけて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出した。換算係数は、イネは赤米、ヨシ属はヨシ、タケ亜科はゴキダケの値を用いた。その値は、それぞれ2.94（種実重は1.03）、6.31、0.48である（杉山・藤原，1987）。

4. 分析結果

プラント・オパール分析の結果を表1に示す。なお、分析試料からは多様なプラント・オパールが検出されたが、ここでは稲作跡等の検証が主目的であるため、定量はイネ、ヨシ属、タケ亜科、ウシクサ族（ススキやチガヤなどが含まれる）、キビ族（ヒエなどが含まれる）の主要な5分類群に限定した。

5. 考 察

(1) 稲作の可能性について

水田跡(稲作跡)の検証や探査を行う場合、一般にイネのプラント・オパールが試料1gあたりおよそ5,000個以上と高い密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している。また、その層にプラント・オパール密度のピークが認められれば、上層から後代のものが混入した危険性は考えにくくなり、その層で稲作が行われていた可能性はより確実なものとなる。以上の判断基準にもとづいて、各地点ごとに稲作の可能性について検討を行った。

5A区では、浅間Aテフラ層直下から検出された畝状遺構の畝部および溝部について分析を行った。その結果、すべての試料からイネのプラント・オパールが検出された。このうち、畝-2ではプラント・オパール密度が4,300個/gと比較的高い値であり、その他の試料では800~2,900個/gと比較的低い値である。なお、いずれも直上を浅間Aテフラ層で覆われていることから、上層から後代のものが混入した危険性は考えにくい。したがって、同遺構で稲作が行われていた可能性が考えられる。

6区では、浅間Bテフラ混層直下から検出された水田状遺構の田面部および畦部について分析を行った。その結果、すべての試料からイネのプラント・オパールが検出された。密度は田面部で900~2,900個/g、畦部で2,100~3,100個/gと比較的低い値である。したがって、同遺構で稲作が行われていた可能性は考えられるものの、上層や他所からの混入の危険性も否定できない。

(2) イネ科栽培植物の検討

プラント・オパール分析で同定される分類群のうち、栽培植物が含まれているものには、イネ以外にもキビ族(ヒエなどが含まれる)やムギ類、ジュズダマ属(ハトムギが含まれる)などがある。このうち、同遺跡では5A区の溝-2からキビ族が少量検出された。同族には、ヒエやアワ、キビなどが含まれるが、現時点ではプラント・オパールの形態からこれらの栽培種と他の野・雑草を識別するに至っていない(杉山ほか, 1988)。

また、イネ科栽培植物の中には未検討のものもあるため、不明としたものの中には栽培種に由来するものが含まれている可能性が考えられる。5A区の畝-1, 2から検出されたプラントオパール(写真No7, 8)は、群馬県内の他の畝跡においても普通に検出されており、その検出状況などから栽培種に関係するものである可能性が考えられている。これらの分類群の給源植物の究明については今後の課題としたい。

6. ま と め

以上のように、浅間Aテフラ層直下から検出された畝状遺構、および浅間Bテフラ混層直下から検出された水田状遺構では、いずれもイネのプラント・オパールが検出され、稲作が行われていた可能性が認められた。

また、前者の畝状遺構からはキビ族や栽培種に関係すると見られるプラント・オパールが検出され、イネ以外にもなんらかのイネ科植物が栽培されていた可能性が認められた。

なお、プラント・オパール分析で復原できる植生は現在のところイネ科植物に限定されるため、根菜類などの畠作物は対象外となっていることに留意されたい。

V 自然科学分析

【参考文献】

- 杉山真二・藤原宏志(1987) 川口市赤山陣屋跡遺跡におけるプラント・オパール分析。赤山—古堀堀堀一、川口市遺跡調査会報告、第10集、p.281-298。
- 杉山真二・松田隆二・藤原宏志(1988) 機動細菌珪酸体の形態によるキビ族植物の同定とその応用—古代農耕追究のための基礎資料として—。考古学と自然科学、20、p.81-92。
- 藤原宏志(1976) プラント・オパール分析法の基礎的研究(1)—数種イネ科栽培植物の珪酸体標本と定量分析法—。考古学と自然科学、9、p.15-29。
- 藤原宏志(1979) プラント・オパール分析法の基礎的研究(3)—福岡・板付遺跡(夜臼式)水田および群馬・日高遺跡(弥生時代)水田におけるイネ(*O. sativa* L.)生産総量の推定—。考古学と自然科学、12、p.29-41。
- 藤原宏志・杉山真二(1984) プラント・オパール分析法の基礎的研究(5)—プラント・オパール分析による水田址の探査—。考古学と自然科学、17、p.73-85。

表1 プラント・オパール分析結果

5 A区

試料名	深さ cm	層厚 cm	仮比重	イネ 個/g	(籾総量) t/10a	ヨシ族 個/g	タケ亜科 個/g	ウシクサ族 個/g	キビ族 個/g
畝-1	—	—	1.41	2,900	—	900	21,200	2,900	0
畝-2	—	—	1.43	4,300	—	800	17,200	1,700	0
溝-1	—	—	1.55	2,300	—	700	26,200	1,500	0
溝-2	—	—	1.57	800	—	800	29,500	7,300	1,600

6区

試料名	深さ cm	層厚 cm	仮比重	イネ 個/g	(籾総量) t/10a	ヨシ族 個/g	タケ亜科 個/g	ウシクサ族 個/g	キビ族 個/g
水田面-1	—	—	1.48	900	—	900	13,600	6,300	0
水田面-2	—	—	1.59	2,600	—	0	22,400	3,500	0
畦-1	—	—	1.48	3,100	—	0	12,400	3,100	0
畦-2	—	—	1.58	2,100	—	0	24,100	8,000	0

IV 成果と問題点

藤岡扇状地先端部から北の低湿地にかけて占地する上栗須寺前遺跡群では、弥生時代遺構の存在は確認できなかったが、縄文時代から古墳・奈良・平安時代・中世を経て現代まで、連続して人間の営みが痕跡となって残されていた。該報告書で扱う窪塚竈穴、四反歩、清太、下大塚北原、本動堂台地区では、古墳時代末から奈良・平安時代・中世までの遺構・遺物が数多く検出され、幾多の事実が明らかになってきた。本章ではそれらの事実成果と、いくばくかの明らかになってきた問題点を列挙していき、詳説及び考察については後日の機会を待ちたい。

1 遺 物

(1) 土 器

土器は、煮沸用具の土師器甕や羽釜を基準に、それらの煮沸用具と共存する土器群から土器組成を認定し、14期の土器組成群に分類した。そして、土師器甕を基準に共存する各土器群の消長や形態変化から土器組成の画期を見だし、廃棄された竈穴住居址が埋没する時間内に打ち捨てられた土器組成群に14期の順序を与えてみた。以下その特徴に触れてみたい。

1期～1類土器組成

該期の土器組成は6・01住出土の器内の厚い土師器長胴甕タイプと共存するもので、土師器環は横攸環で線縁が甘くかつ体部も浅く小型化する傾向をもつ。球形胴甕は底部に台を有するタイプである。この時期に鮎川を隔てた隣町の吉井町矢田遺跡では、天井部が高くカエリをもたない須恵器環蓋とそれを受ける身環が確認されている。

2期～2類土器組成

該期の土器組成は5A・17住出土の器肉が若干薄くなる土師器長胴甕タイプと共存するもので、土師器環は小型化した種の甘い横攸環にかわって、体部の湾曲する8世紀型の環が主流になる。須恵器は大壺とカエリのある天井部の高い環蓋の出現が2期の画期であるが、1類と2類の間に位置付けられる4A・54住には、カエリをもちさらに天井部の高い古式の須恵器環蓋が存在する。

3期～3類土器組成

8世紀初頭に位置付けられる該期の土器組成は5A・14住を基準資料とし、前段階の土器様相とは表情がだいぶ異なり律令の様相を帯びてくる。土師器甕は長胴甕の要素は残るものの、器肉が薄く口縁部が横に広がり、頸部斜めケズリの胴部に影らみをもつ。土師器環は法量の3種分化のみられる体部の湾曲する8世紀型のもの、体部がS字状に屈曲し大きく開く盤状環の2タイプがあり、盤状環の存在が該期の特徴である。須恵器は、宝珠鈕とカエリを有する須恵器環蓋と、身環で体部が直線的に立ち回転ヘラ切り調整の底部をもつ。また須恵器環にも大小の2種分化が見られる。

4期～4類土器組成

該期の土器組成は、焼失の後ある時間差を置いて洪水砂により埋没した4B・04住の土器組成を基準資料としている。土師器甕は3類の長胴甕に比べ高さが2/3程度に縮小し、体部には斜めヘラケズリが施される。土師器環は体部の湾曲する環の法量分化が2種にとどまり、盤状環も

土器組成群

14期の順序

6・01住

矢田遺跡

5A・17住

2期の画期

8世紀初頭

5A・14住

律令の様相

3種分化

2種分化

洪水砂

4B・04住

2種分化

IV 成果と問題点

存在する。土師器鉢や土師器台付甕の出現も4類土器組成の特徴である。須恵器は坏、缸蓋、甕、摺鉢が見られるが、土器組成の主体にはならず供献具としての機能を果たすものと思われる。

5期～5類土器組成

6・03a住
6・03b住
「くの字状」
口縁

該期の土器組成は6・03a、6・03b住の土器組成を基準資料としている。土師器甕は前期よりもさらに短胴化が進み、胴部が太くなり、口縁が明瞭な「くの字状」となる。貯蔵用と考えられる球形胴甕と須恵器大甕が混在するが、主流は球形胴甕である。土師器坏は体部が湾曲するタイプで量分化は認められず、土師器鉢は4類の口縁が外反するものから幾分内湾気味のものとなる。須恵器缸蓋はリング状紐が出現し、カエリを有する小型のものと端部にカエリを有する大型のものが共存する。須恵器高台付碗は、付け高台とケズリ出し高台で底部の張り出すものの2種類がある。須恵器坏は底部へラ削り調整である。

6期～6類土器組成

6・16住

該期の土器組成は6・16住の土器組成を基準資料とする。土師器甕の高さは5類と同様だが、口縁部が直立する傾向を示し、コの字口縁甕の前期段階の兆候をみせる。土師器坏は体部が湾曲するものと直線的に開くものが共存するが、いずれも平底化する。土師器鉢は体部が湾曲し、口唇部が直立する。須恵器缸蓋はボタン状紐で端部が直角に折れる。須恵器坏は回転糸切り底をもち、貯蔵器としては須恵器大甕が主流となる。

7期～7類土器組成

5A03住
7・12住
「つ」の字状」
口縁

該期の土器組成は5A・03、7・12住の土器組成を基準資料とする。土師器甕は、6類段階の甕が若干変化し頸部が「つ」の字状のものとのコ字口縁甕が併存する。土師器坏はいずれも平底だが、体部が湾曲するものとS字状に屈曲するものと直線的に開くものに分かれる。7類土器組成の特色は、しっかりした高い高台を有する須恵器高台付碗の存在で、体部が湾曲して大きく開くものと直線的で深いものの2タイプである。

8期～8類土器組成

4A141住
7・13住
コの字口縁

該期の土器組成は4A・41、7・13住の土器組成を基準資料とする。土師器甕は、すべてコの字口縁甕となり、土師器台付甕もコの字口縁となり、コの字口縁甕の最盛期である。土師器坏は、ほぼ体部が直線的に開くものに取替される。該期の土器組成の特色としては、須恵器高台付皿の出現がある。須恵器高台付皿は10期までで続する。

9期～9類土器組成

5A・02住

該期の土器組成は5A・02住の土器組成を基準資料とする。土師器甕はコの字口縁甕の終末段階で、頸部と口縁部が不明瞭になるものや頸部と体部の境が不明瞭になるものの2タイプが見られる。土師器坏はほとんどみられなくなり、僅かに須恵器坏と形態の類似したものが残るが、食器の主体は須恵器坏に移る。

食器の主体

10期～10類土器組成

4A・28住
4A・34住
7・10住

該期の土器組成は4A・28、4A・34、7・10住の土器組成を基準資料とする。土師器甕はまったくの球形胴となり、前期のコの字口縁甕と比較すると、頸部や口唇部の厚さが特徴的である。須恵器坏は直線的に大きく開く体部をもち、該期から灰釉陶器の出現が確認される。

灰釉陶器

11期～11類土器組成

該期の土器組成は4A・44住の土器組成を基準資料とする。土師器甕は前期からの球形胴甕の頸部がさらに立ち、全体に器内が厚くなり、口唇部先端に沈線が巡る。須恵器環は大型化し、高台碗と変わらなくなるが、主体は須恵器高台付碗となる。この期から羽釜型甕が出現する。羽釜型甕

12期～12類土器組成

該期の土器組成は4A・55住、4A・66住の土器組成を基準資料とする。土師器甕は作りが雑になり、羽釜と併存するが煮炊器の主役の座を羽釜に譲り渡す。羽釜はしっかりした作りのもので容量に大小がある。

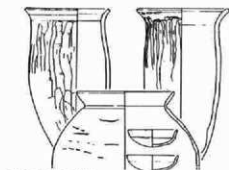
13期～13類土器組成

該期の土器組成は7・19住の土器組成を基準資料とする。土師器甕は消滅し、煮炊器は羽釜が、食器器は須恵器高台付碗と土師質土器が担うようになる。土師質土器はこの期でその役割を終えるものと思われる。

14期～14類土器組成

該期の土器組成は5B・01住の土器組成を基準資料とする。羽釜はその作りが極めて雑になり、煮炊具としての役割を別の用具にとって変わられる様相を示す。須恵器甕は焼きが甘く、酸化炎焼成を思わせるものである。該期の特徴は高台碗の大型化とカワラケ状の酸化炎焼成で糸切り底の小型環の出現である。

各期の時期については確定した資料をもたないが、群馬県内の基準資料と目される「萬年通寶(760)」の出土した松井田町愛宕山遺跡4号住の須恵器の年代を796～810年(總貫1992)とすると、上栗須寺前遺跡の5A・03住を基準資料とする7期の7類土器組成は、後出する要素も考え合わせへ9世紀第1四半期の範囲で考えたい。また、吉井町黒熊中西遺跡10号住では「元 黒熊中西遺跡



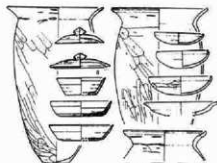
1期-1類土器組成



3期-3類土器組成



2期-2類土器組成



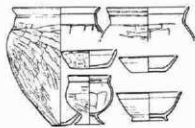
4期-4類土器組成

IV 成果と問題点

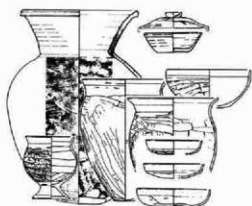
元慶四年 慶四年(880)銘の刻まれた砥石が出土している。まだ詳しい資料批判等の検討はなされておらず無批判な時間設定はできないが、出土土器の比較から11期の11類土器組成が類似しており、11期を10世紀前半あたりに考えてみたい。最後に上栗須寺前遺跡群周辺のこれまでの成果から、該遺跡の継続期間を演繹すると、集落の開始する1期を7世紀前半に、終末段階の14期を11世紀前半に推定したい。



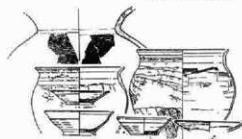
5期-5類土器組成



9期-9類土器組成



6期-6類土器組成



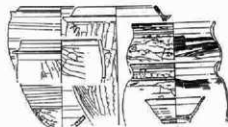
10期-10類土器組成



11期-11類土器組成



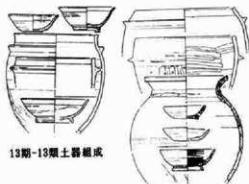
7期-7類土器組成



12期-12類土器組成



8期-8類土器組成



13期-13類土器組成

14期-14類土器組成

(2) 金属製品

出土金属製品は鉄製の刀子19点、鐵5点、鎌4点、釘5点、火打ち金3点、拵子1点、そして金環1点、鉄製馬具1点、鉄製不明品2点である。該遺跡の金属製品の出土は2期段階から確認され、7期段階で出土率のピークを迎え、13期段階まで出土が確認される。また金属製品の住居内出土率は86%で、この数字の示すものについての検討は後日の課題である。22ページの住居別出土遺物一覧表を見ると、鉄製品を6個体以上出土しているのは4A・26、4A・44、5A・03住で、これらの住居址はいずれも30㎡を超す大型住居である。このことの意味についても後日の課題としたい。

a. 刀 子

刀子は3期段階から確認され、出土率のピークが8期で、11期までの出土が確認される。刀子は19例中僅か1例が住居外の出土で、住居内の出土率が95%にのぼり、統計的にも住居内での使用が裏付けられる。

b. 鉄 鎌

鉄鎌については5個体検出されている。2期の4A・04住からは逆刺の顕著な三角形鎌、6期の4A・26住と7期の5A・03住からは圭頭形鎌、11期の4A・44住からは柳葉形鎌、12期の4A・60住からは逆刺のある長三角形鎌である。これらの鉄鎌は各住居址に1個体の出土であり、とても武器としての使用は考えにくい。また4A・60住を除いて、各住居址はどれも35㎡内外の面積を有する大型住居で、出土遺物量・質ともに同時期の住居から傑出しており、地域の有力者の居宅が想定できる。古くから弓矢には辟邪の威力があるとされ、古代東国集落には新築住居の安寧と居住者の平安を願う建築儀礼、すなわち家を支える柱穴に鉄鎌を埋納したり、屋根裏に矢を射る儀礼が存在した(松村1993)との推論があるが、地域の有力者にその建築儀礼が継承されて普遍化したとすれば、上栗須寺前遺跡の単独で大型住居内から出土する鉄鎌の意味について、ある程度の解釈が成立する余地があるだろう。

(3) 石製品・土製品

a. 砥 石

砥石は19個体検出されている。上栗須寺前遺跡における砥石の出土状況の特色は、比較的小型の砥石が住居外(溝・土坑・溜池)から出土しており、その割合は50%に近い。また中には携帯用に小穴を穿っているものも見られる。砥石は当然刀子等の刃物に使用されるもので、刀子の出現時期と符丁を合わせるように3期から確認されている。今後の課題としては、他の遺跡との比較の中から、該遺跡の住居外からの砥石出土の割合の高さの意味するものについて考察したい。

b. 紡 錘 車

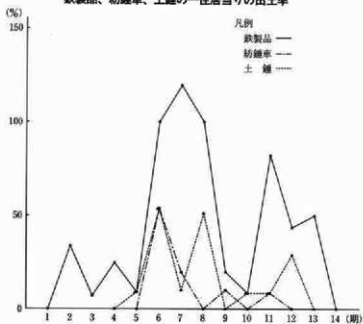
紡錘車は10個体確認されており、砥石の出土状態とは異なり90%が住居内出土である。紡錘車の出土状況の特徴的なことは、6期に該遺跡の出土量の半分以上が集中しており、9世紀前半にピークのある吉井町矢田遺跡のありようとも若干の違いがある。

c. 土 錘

土錘は17個体確認されて、1個体を除いてすべて住居内出土である。土錘は5期から出

IV 成果と問題点

鉄製品、紡錘車、土器の一住居当りの出土率

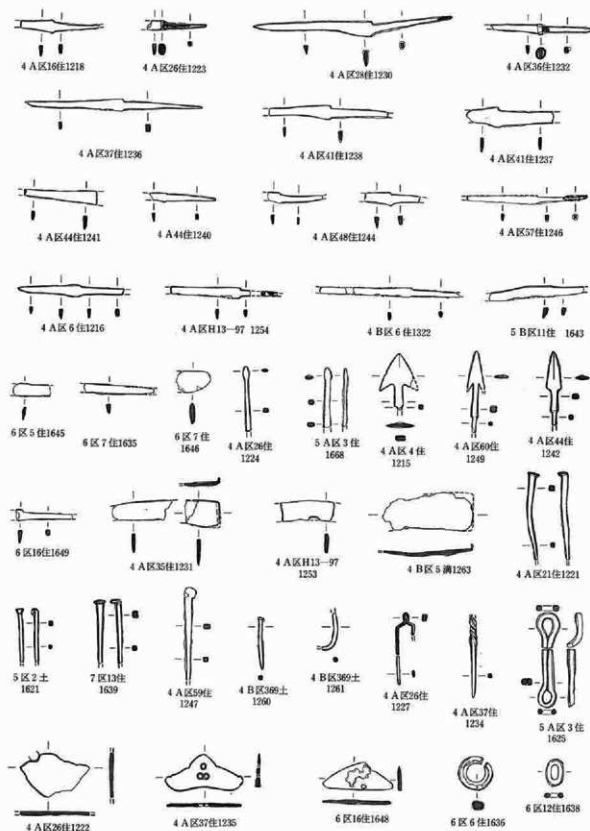


住居別出土遺物一覧表

区	住居番号	鉄製品	紡錘車	土器	石製品	墨書	金環
4A	4号住	△	▲	■	□	●	○
	6号住	△					
	11号住					●●	
	14号住				□		
	15号住				□		
	16号住	△					
	17号住		▲				
	21号住	△		■	■		
	22号住			■		□	
	26号住	△△△ △△△ △					
	28号住	△					
	35号住	△			□		
	36号住	△					
	37号住	△△△			□		
	38号住	△			□		
	41号住	△△		■	■		
	42号住	△		■			
	43号住	△			□		
	44号住	△△△ △△△		■			
	48号住	△△			□		
47号住	△			□			
48号住	△△						
58号住	△		■	■			
57号住	△	▲					
58号住	△		■				
59号住	△						
60号住	△△						
4B	06号住	△					

区	住居番号	鉄製品	紡錘車	土器	石製品	墨書	金環
5A	2号住	△	▲	■	□	●	○
	3号住	△△△ △△△ △△△	▲▲	■	□		
	4号住	△					
	6号住					●	
	7号住				□		
	8号住	△			□		
	10号住				□□		
	12号住				□		
	13号住	△					
	6号住	△					
	11号住	△			□		
	15号住	△			□		
	6区	2号住	△△			□	
4号住		△			□		
5号住		△			□		
6号住		△			□		○
7号住		△△					
8号住					□□		
9号住		△			□		
10号住					□		
12号住		△	▲				
16号住		△△ ▲▲			□		
7区	2号住		▲▲		□		
	4号住				□		
	5号住					●	
	7号住					●	
	11号住					●	
	12号住				□□		
	13号住	△		■	□		
	14号住				□		
	19号住	△					

1 遺物

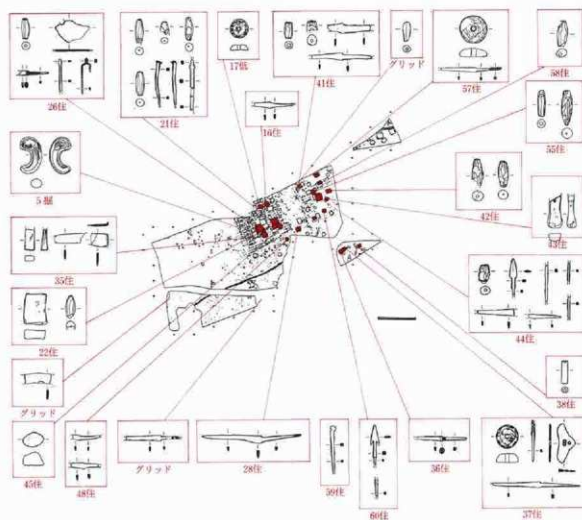


第6图 金属製品集成图

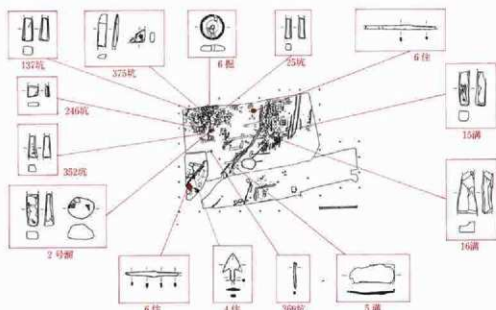
IV 成果と問題点



第7图 石及び土製品集成图

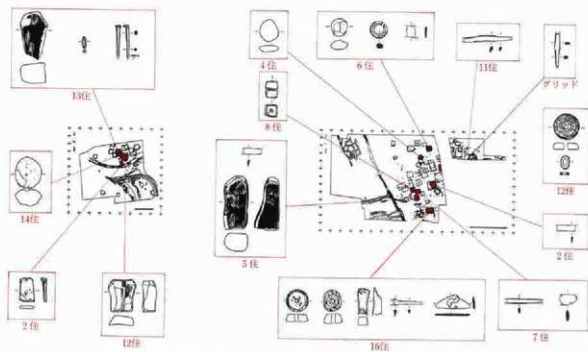
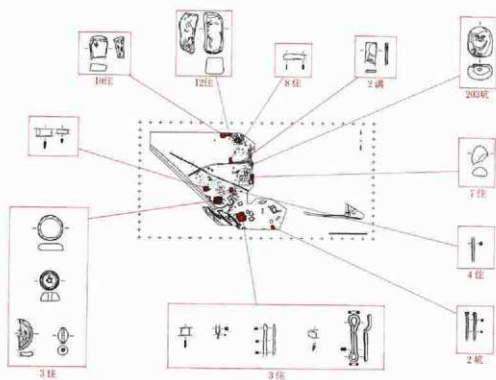


第8図 篠塚狐穴地区(4A I区)遺物分布図



第9図 篠塚四反歩地区(4A II・4B区)遺物分布図

IV 成果と問題点



第10図 下大塚北原地区（5B・6区）・本勲堂参地区（7区）遺物分布図

現し、12期まで検出されている。出土遺跡地の分布には大きな偏りが見られ、全体の80%強が4A区から出土している事実は上栗須寺前遺跡群II、IIIの報告と合わせて考える必要があらう。

(4) 遺物の住居址内分布について～特に土師器甕の接合関係

遺物は住居址内での出土位置と発見状態、個体の遺存状態、その遺物の帰属時期、火災の有無など住居廃絶時の状況、他の遺物との関係などの検討をへて、基本的に遺棄・廃棄・流入という類型に大別される(桐生1993)。土師器甕の出土状態を接合関係から見ると、平面的には竈を中心にした長三角形や長平行四辺形状の分布が見られる。また垂直分布は、竈から遠方へ行くにしたがい徐々にレベルを下げる傾向のものが多い。このことは、土師器甕の多くが竈に遺棄された形で存在し、住居廃絶後の電解体時に壊されて四散したものと考えられる。またその後の埋没過程の中で、さらに変化に富んだ流入状況も加わり、接合分布として図示したような様相を示すものと思われる。

接合関係

垂直分布

2 遺 構

(1) 竪穴住居址

第12図の竪穴住居址時期別形態分類図によると、竪穴住居址の面積はそれぞれ5㎡(極小型)、15㎡(小型)、25㎡(中型)、35㎡(大型)、45㎡(超大型)を中心とする10㎡程の領域にまとまる傾向がある。

形態分類図

7世紀段階では、超大型住居と中型住居と極小住居の組み合わせで、一般的には中型住居がこの時期の藤岡地方の民衆の住まいを示している。中型住居のほぼ4倍の面積の45㎡に近い超大型住居である5-03住は、隔絶した住まいのありようから、7世紀末における該地域の首長住居の候補のひとつであらう。

7世紀段階

首長住居

8世紀段階になると、超大型住居、大型住居、中型住居、小型住居、極小住居というように、5種類もの異なる面積を有する住居址が確認される。この時期も中型住居の割合が多いが、大型住居も普遍的で超大型住居の隔絶感はない。

8世紀段階

9世紀段階は、大型住居、中型住居、小型住居の3種類で、中型住居が数では突出している。この時期の大型住居は地域の首長層の住まいと考えられ、6区時期別遺構分布図からも理解されるように、掘立柱建物と数棟ほど竪穴住居の周囲を囲む景観が想定される。また該期の大型住居の特徴として、竈の左側の壁が外へ張り出す傾向が見られる。この傾向は神流川を越えた埼玉栗見玉地方の大型住居でも看取される。

9世紀段階

10～11世紀段階では、すべて小型住居と極小住居で構成され、首長層の住まいは掘立柱建物に収斂されていくものと考えられる。小型住居のひとつの特徴として指摘できるのは、横長住居の比率の高い傾向である。これは竈の左側の空間を寝間と推定した場合、どんな小さな住居でも人が横になる空間が必要不可欠で、その空間を確保するために横長住居の必然性が出てくるものと考えられる。

10・11世紀段階

横長住居

(2) 掘立柱建物跡

上栗須寺前遺跡の掘立柱建物は、5期段階に総柱建物の倉庫として出現する。それ以降竪穴住居址と併存しながら、12期段階ころから首長層の居宅は応付きの掘立柱建物となり(4A区

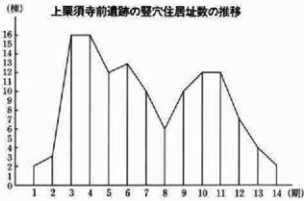
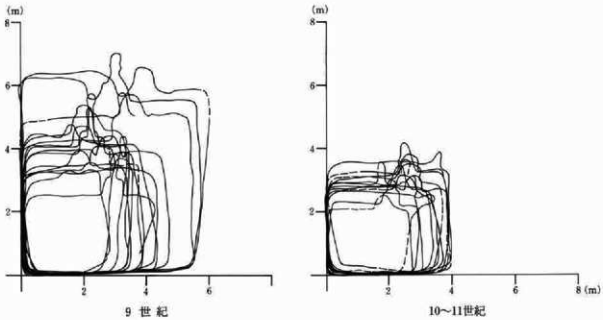
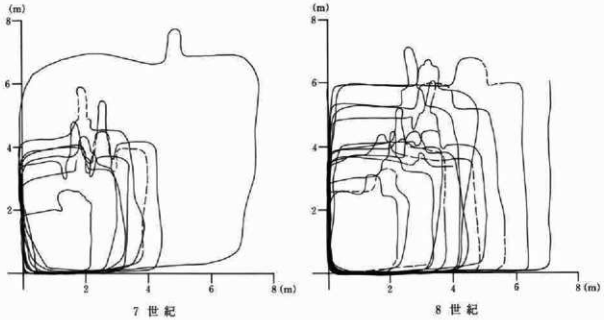
掘立柱建物

底付き掘立

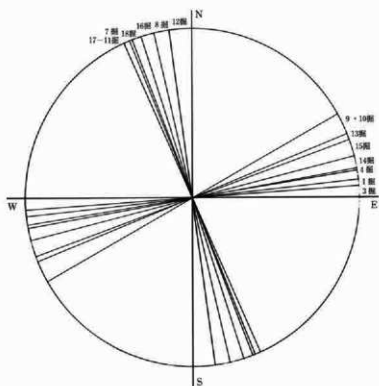
IV 成果と問題点

中世掘立	掘立柱建物群)、副屋等を備え周囲に柵や塀を構えるものとなる。そして、4 B区に見られるような中世掘立柱建物跡が展開していく。
主屋	4 A区の掘立柱建物跡について考えると、方位のパラツキは約25度の範囲に入っており、主軸方位の違いから分類すると、3期程度に分けることが可能である。第13図掘立柱建物跡比較図から、面積の卓越した11掘立、7掘立、13掘立が主屋と考えられる。4 A区掘立柱建物跡の面積は概略大中小に分かれ、その差は使用目的に起因するものであろう。今回の稿では4 A区の柵列を伴う掘立柱建物跡群については、その変遷図も図示できず分析も何等加えられないが、後日改めて触れてみようと考えている。
方形区画遺構	(3) 方形区画遺構 (37ページ参照) 該遺跡では方形区画遺構と推定されるものが4遺構確認されている。4 A I区の柵列に囲まれた掘立柱建物群、4 A II区の05溝と07溝で囲まれた方形区画、6区最南端の02、04、07、08溝の区画、7区02溝の直角に曲がる区画が耕地図の地割りから方形区画が想定される。
中世居館	また小字名を拾ってみると、調査地の西から東へかけて前屋敷、稲荷屋敷、原屋敷、鍛冶屋敷、番匠屋敷と中世居館を想像させる地名が、ほぼ標高80~90mの等高線上にのっている。確認された遺構と地名・伝承等との考究は今後の課題である。
50mの柵列 半町四方	a. 4 A I区方形区画遺構 該遺構は南側を約50m程の柵列が巡り、東側にも一部分柵列が回っていたものと考えられる。北側は調査区外で不明だが、およそ半町四方の方形区画が推定される。また掘立柱建物跡の方位や切り合いから3期の変遷が予想される。4 A I区の最終末竪穴住居址が12期であるからして、13期段階の10世紀後半にはすでに成立していたものと考えている。
柵列	b. 4 A II方形区画遺構 該遺構は西側と北側を幅1m程の05溝で囲まれ、南側を柵列で限られているが遺構はさらに南へ広がる可能性がある。東側には柵や溝は確認されず浅い小谷が存在し、区画線を兼ねていると思われる。区画の東西線は小谷までを含めると約25mを数え、南北線も25m位あるとすれば南郭の存在の確率が高い。時期に関しては、遺物が皆無であるので特定できない。
鍛冶屋敷	c. 6区方形区画遺構 該遺構は6区最南端に位置し、その大部分は調査区外で方形区画の東北隅を確認したにすぎない。この辺りの小字地名は中世居館を想像させる鍛冶屋敷であり、耕地図の地割りからも方形の区画が推定できる。平面図を見ると6・02、04溝が直交し、該方形区画遺構の外郭線と想定できる。また外郭線の外側の鬼門の方角に当たる東北隅には、北宋銭が埋納された中世墓群が検出されており、方形区画遺構との可能性を考慮する必要がある。
中世墓群	d. 7区方形区画遺構
稲荷屋敷 本勧堂城	該遺構は7区東南端に位置し、方形区画の北西隅が7・02溝として確認されている。稲荷屋敷という小字名をもち、北西方向350mには中世城郭址とされる本勧堂城が存在する。耕地図の地割りからも方形区画が窺え、あたり「台」という地名に似つかわしく比高差3mの台地上に立地する。
	この遺構の内部には、周辺の竪穴住居址では古期(5期)に属する7・20住が存在し、該方形区画遺構の上限の時期と思われる。下限については、溝内に墨書のある須恵器坏底部と回転糸

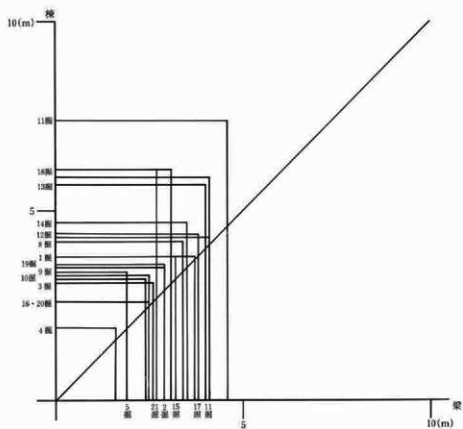
第12図 竪穴住居址時期別形態分類図



IV 成果と問題点



獨立柱建物跡方位



第13圖 獨立柱建物跡比較圖

切り底の須恵器坏があり、埋没土の土層断面上部にはAs-B軽石層がレンズ状に厚く堆積している様相から(該溝は12世紀初頭にはほぼ埋まり切ってしまった)、埋没開始を10世紀中頃と考えると、国府機構の成立期から衰退期と符合する活動時期を有する遺構と言うことができる。 国府機構

(4) 集落変遷

上栗須寺前遺跡群は藤岡扇状地の扇端部を東から西に向かって巨大なトレンチを穿ったようなもので、扇状地上の微高地と小谷とが繰り返して立ち現れる遺跡景観を示している。下大塚北原地区の6区は小谷内に位置し該遺跡に人が居住を開始した1期から10期まで、継続して人々の生業の痕跡が随所に見られ、いわば上栗須寺前遺跡のごく普通の家族集団の変容が追える遺跡である。以下その変遷について若干の論述を試みたい。

1期

2棟の竪穴住居が20m程の距離をおいて並んで存在する。01住と10住である。どちらも小型住居だが、01住は柱穴と貯蔵穴を穿ち、遺物も土師器壺を中心に多いが、10住は柱穴もなく貯蔵穴のみで遺物は極端に少ない。この2棟の住居は、柱をもちっかりした造りの01住(壁も立っている)を主屋に、10住を副屋にした集落景観が想定できよう。

3期

1期に人々の居住が開始されたが2期に一旦断絶があり、再び3期には2棟(06住、09住)の竪穴住居が東西に10mの距離をおいて並列して出現する。面積から言えば09住のほうが大きく主屋としての条件を備えているが、06住の出土遺物の中に金銅製の金環が含まれているため判断が難しい。いずれにしても、南に入り口を有する2棟の竪穴住居が並んで存在する集落空間である。東側の微高地には同期の竪穴住居が数棟たわろしている。

5期

4期にも断絶をみた該地区の集落が、5期には大きくa, b, c 3小期の変遷を遂げる。 3小期の変遷
a期は45㎡もの超大型住居である11住と、倉庫とみられる総柱の掘立柱建物及びすぐ東に近接する2棟の掘立柱建物群である。ここでは当然巨大な11住が主屋で、11住のすぐ南には柵列が結われ、居宅の区画意識が窺われる。

b期は03b住を中心にして鍵の手状に掘立柱建物が配され、17掘立柱は東柱痕をもち床ばりの可能性も考えられる。柵列はさらに西に伸びて南側の空間との区画意識を際だてている。

c期も03a住を中心にして掘立柱建物が聳立する様相をしめし、竪穴住居1棟にたいして掘立柱建物複数棟という基本パターンは変わらない。柵列も僅かながら南側に認められる。

6期

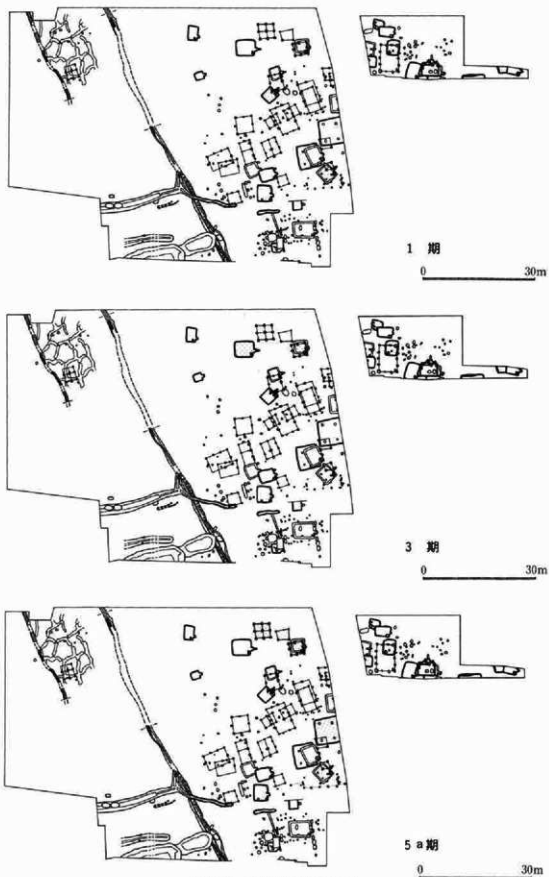
該期はa, bの2小期に分かれる。 2小期の変遷

a期は主屋と目される02住の縮小の故か、東西に立ち並ぶ掘立柱建物群の北側に、10㎡強の面積の04住が建てられる。6区の掘立柱建物は、この時期に大きい面積をもつものが多い傾向にある。柵列は南側と西側に一部認められる。

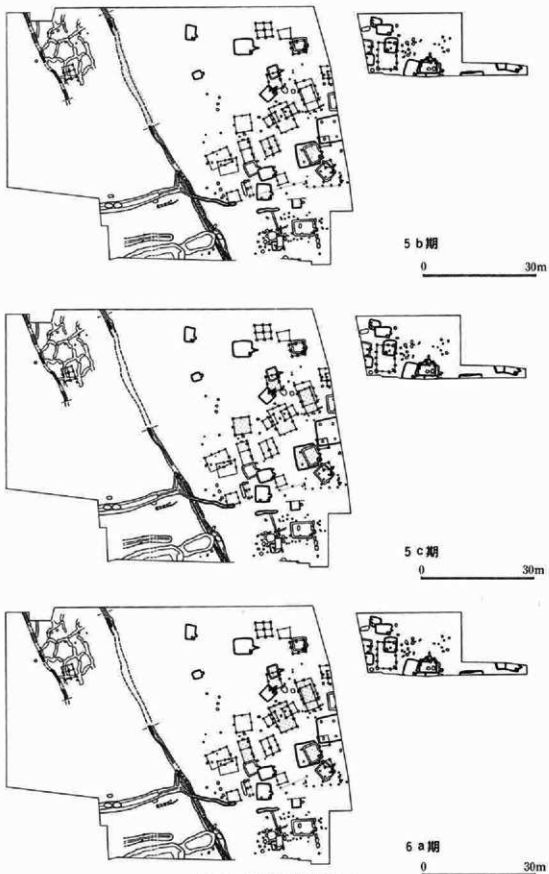
b期は南側の一角に16住が見られるだけだが、16住は5期段階からしきりに意識された南空間の敷地を有する別の集団に属する竪穴住居の可能性が強く、副屋としての掘立柱建物はさらに南に展開するものと予想される。

7期

IV 成果と問題点

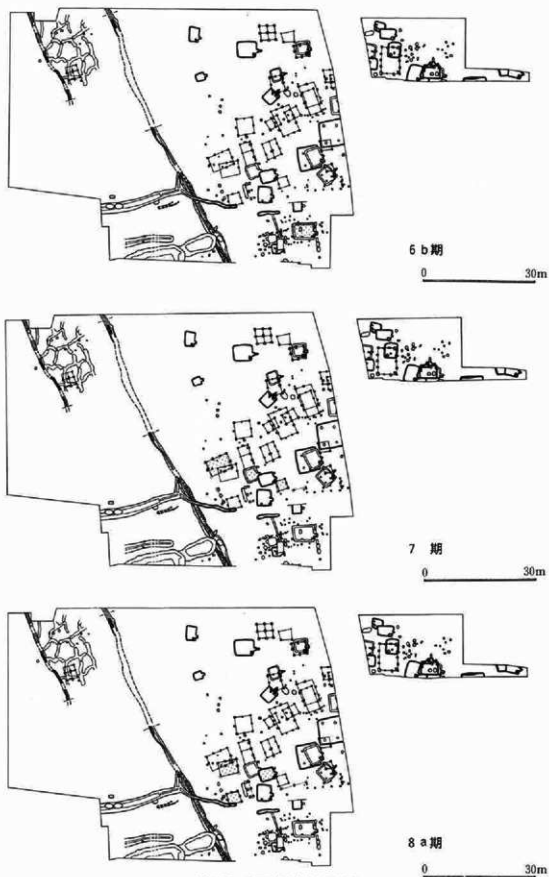


第14図 6区時期別遺構分布図



第15図 6区時期別遺構分布図

IV 成果と問題点



第16図 6区時期別遺構分布図



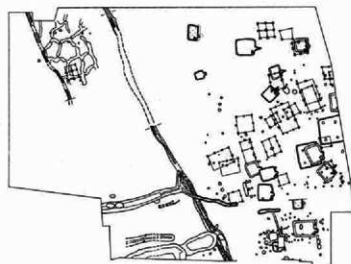
8 b 期

0 30m



9 期

0 30m



10 期

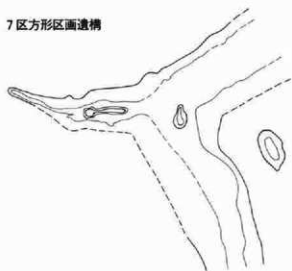
0 30m

第17図 時期別遺構分布図

IV 成果と問題点

住居パターン	該期の住居パターンは、竪穴住居1棟に対して掘立柱建物2棟の組み合わせで、基本的にはこのパターンが9期段階まで継続する。主屋は依然竪穴住居の可能性が高いが、すでにこの期あたりから主屋と副屋の位置が逆転して、竪穴住居が電屋として機能し始めた可能性もある。
面積格差	13掘立と08住との面積格差は2倍近いものがある。
2小期の変遷	8期 該期はa, bの2小期に分かれる。
主屋	a期, b期ともに櫛列を挟んで、掘立柱建物2棟と竪穴住居1棟で構成され、この様相からは主屋(寝屋)が掘立柱建物で、竪穴住居が電屋と考えるとその狭さにも合点がいく。また07住
電屋	は火災に会った可能性があり、それゆえに近接する敷地内に別の電屋(05住)を築造したとすると矛盾がない。
律令体制の崩壊	9期 該期は竪穴住居1棟と掘立柱建物2棟の基本パターンは変わらないが、竪穴住居も掘立柱建物も東側に移り、その面積規模は矮小化され、昔日の面影は既がない。律令体制の崩壊が地方の農民層の活力をも奪い取った故の現象と理解できるのだろうか。
極小竪穴住居	10期 該期になるとこの小谷では、全く矮小化された極小竪穴住居2棟しか見当たらず、掘立柱建物は姿を消してしまう。そして11期以降住居は営まれず、中世厨館がこの地に築かれるまで、耕地として利用されていたものと考えられる。 上栗須寺前遺跡群では14期まで竪穴住居址が確認されているが、その最終末に近い時期のもは一律に微高地上に展開している。そのことから類推すると、6区でみた集落の構成員はおそらく東側の微高地上に居を移し、生業を継続したものと調査事実から推測している。
7c初頭	(4) ま と め 上栗須寺前遺跡群は前述したように、扇状地の扇端部を東西に横切るために、微高地と小谷とが繰り返し立ち現れる地形的特徴をもっている。7世紀の初頭に扇状地上に営まれ始めた
8世紀前半	人々の生活を竪穴住居址の推移からおおまかに概観すると、8世紀前半に微高地上に爆発的に増加した奈良時代のムラは、後半になると小谷の沖積地にも広がりを見せる。この傾向は9世紀初頭にも見られるが、9世紀前半に洪水に襲われた影響からか、その後は極端な竪穴住居の減少をもたらし、一応の回復が確認されるのは9世紀末葉になってしまう。しかしながら、小谷の集落は9世紀後半になってもその打撃から立ち直れず、微高地に居を移して10世紀を迎える。6区の集落変遷から窺えることは、洪水を画期に竪穴住居から掘立柱建物への主屋の役割変換が行われた可能性が高い。そして徐々に竪穴住居はその役割を終え、掘立柱建物を中心とした建物構成が主流となり中世を迎えるものと思われる。
9世紀前半	
9世紀末葉	
10世紀	
集落変遷	
中世	6区の中世は土層断面の観察から推測すると、浅い小谷全体に水田耕作が開始され、徐々に耕作域を拡大していった様相が窺える。

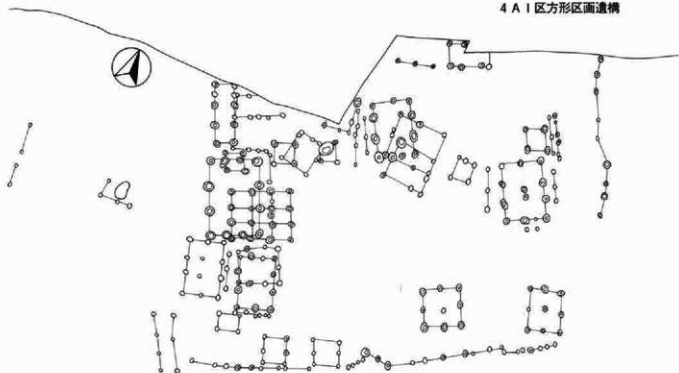
7区方形区画遺構



方形区画遺構一覽

(1 : 400)

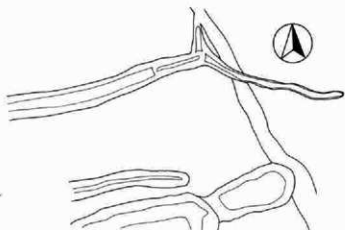
4 A I 区方形区画遺構



4 A II 区方形区画遺構



6区方形区画遺構



報告書抄録

フリガナ	カミクリステラマエイセキグン
書名	上栗須寺前遺跡群 I
副書名	関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	第13集
シリーズ名	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告
シリーズ番号	第141集
編集者名	岸田 治 男
編集機関	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
所在地	〒377 群馬県勢多郡北橋村大字下箱田784-2
発行年月日	西暦1994年3月25日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		北緯 °' "	東経 °' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
カミクリステラマエイセキグン 上栗須寺前	アヅマシ 藤岡市	10209	10005	36°15'45"	139°04'20"	19920401) 19931025	11,398 2,822 1,139 2,730 1,125	道路建設
	シノブカキツツアサ 篠塚 孤穴		—00301					
	シノブカキツツン 篠塚 四反歩							
	シノブカキイ 篠塚 清太							
	シノブカキイ 下大塚 北原							
カミクリステラマエイセキグン 本 勸 堂 台								

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項
上栗須寺前	住居	古墳時代	竪穴住居	7棟	土師器 土師器・須恵器	方形区画遺構
		奈良・平	竪穴住居	140棟		
		安時代	掘立柱建物	56棟		
	溝	中世	掘立柱建物	25棟		
		平安時代	溝状遺構	64条		
		中世	溝状遺構			
		方形区 画遺構	平安時代	方形区画柵列	1ヶ所	
	中世	方形区画溝	3ヶ所			

竪穴住居址形態一覧表

(m)										(m)									
住居番号	東西幅	南北幅	長短比	面積(m ²)	方位	柱穴	形状	幅位置	階	住居番号	東西幅	南北幅	長短比	面積(m ²)	方位	柱穴	形状	幅位置	階
4A01	2.40				N118°E	0	楕長	南壁南	3	4B03	2.50				N 69°E	0	縦長	東壁中	10
4A02	2.59				N 10°E	0	楕長	北壁東	4	4B04	2.50	2.18	0.87	4.86	N 77°E	0	縦長	東壁南	4
4A03					N 55°E	0	?	東壁	6	4B05	3.10	4.00	0.78	(11.30)	N 60°E	0	楕長	東壁南	4
4A04					N103°E	0	楕長	東壁南	2	4B06	2.80	2.86	0.98	7.82	N 88°E	0	方形	東壁南	6
4A06	4.05				N 67°E	0	?	東壁南	11	5 01	2.90	3.74	0.78	(9.13)	N 81°E	0	楕長	東壁南	14
4A07	3.38				N 25°E	0	楕長	北壁中	3	5 02	2.96	2.36	0.80	9.93	N 67°E	0	縦長	東壁南	3
4A08	2.50	2.48	0.99	5.38	N 56°E	0	方形	東壁南	6	5 03	6.60	6.50	0.98	43.82	N 70°E	4	方形	東壁南	3
4A09	3.30	4.20	0.79	12.47	N 84°E	0	楕長	東壁中	9	5 04	1.76	2.06	0.85	4.68	N 82°E	0	縦長	東壁南	3
4A10	2.42	3.34	0.72	7.51	N 92°E	0	楕長	東壁南	9	5 05	2.32	2.72	0.93	7.50	N 67°E	0	方形	東壁南	2
4A11	3.14	4.20	0.75	12.22	N 69°E	1	楕長	東壁南	7	5 06	2.62	5.10	0.51	(13.97)	N 72°E	0	?	東壁南	1
4A12	2.58	2.43	0.94	6.64	N 56°E	0	方形	東壁南	4	5 07	2.40				N 69°E	0	?	東壁	11
4A13	2.88				N 89°E	0	?	東壁南	12	5 08	2.90	2.18	0.75	7.53	N 72°E	0	楕長	東壁南	3
4A14	4.02				N 95°E	0	?	東壁南	12	5 09	3.40	3.26	0.96	11.28	N 60°E	0	方形	東壁南	3
4A15	4.13	3.22	0.78	12.54	N 72°E	1	縦長	東壁中	5	5 10	1.0	2.24			N 76°E	0	?	東壁南	3
4A16	3.26	3.30	0.99	10.62	N 65°E	0	楕丸	東壁南	5	5 11		2.50			N 90°E	0	?	東壁南	11
4A17	3.54	2.70	0.76	7.88	N 78°E	6	縦長	東壁南	11	5 12					N 4°E	0	?	?	—
4A18	3.17	2.80	0.88	(6.86)	N178°W	0	楕長	南壁東	2	5A01	2.46				N 97°E	0	?	東壁中	1
4A19	2.80				N 95°E	0	?	?	5	5A02	3.44	3.10	0.90	9.77	N 89°E	2	縦長	東壁南	9
4A21	5.30	4.70	0.89	18.40	N 72°E	2	方形	東壁南	6	5A03	5.00	5.00	1.00	28.77	N 98°E	4	方形	東壁中	7
4A22	3.40	3.40	1.00	11.85	N 78°E	0	方形	東壁南	10	5A04	2.46	3.38	0.73	8.31	N 92°E	0	楕長	東壁南	10
4A23	4.10	3.95	0.96	15.58	N 70°E	0	縦長	東壁南	7	5A05	2.48	2.46	0.99	7.69	N 67°E	0	方形	東壁南	—
4A24	4.30	4.16	0.97	17.11	N 69°E	0	縦長	東壁南	7	5A06	2.12	3.76	0.56	7.97	N 72°E	0	楕長	東壁南	12
4A25					N 88°E	0	?	?	6	5A07	2.74	3.10	0.88	8.49	N 77°E	0	楕長	?	9
4A26	6.20	5.70	0.92	33.32	N 67°E	0	楕長	東壁南	6	5A08		3.92			N 85°E	0	?	東壁南	12
4A27	2.35				N 68°E	0	楕長	東壁南	—	5A09	2.90	2.86	0.99	8.29	N 84°E	0	方形	東壁南	4
4A28	3.40	3.20	0.94	10.49	N 76°E	0	縦長	東壁南	10	5A10	3.68	3.54	0.96	12.04	N 92°E	0	?	東壁南	3
4A29					N 81°E	0	?	東壁	8	5A11									—
4A30	3.30	4.80	0.69	16.48	N 71°E	0	楕長	東壁南	8	5A12	2.82				N 94°E	0	?	東壁	3
4A32	2.52	2.86	0.88	7.07	N 80°E	0	楕長	東壁南	10	5A13	2.54	3.12	0.81	8.98	N 85°E	0	楕長	東壁南	13
4A33	3.40	2.66	0.78	8.70	N 67°E	0	縦長	東壁南	7	5A14	3.66	2.98	0.81	10.90	N 81°E	0	縦長	東壁南	3
4A34	2.54	2.46	0.97	6.06	N 75°E	0	楕長	東壁中	10	5A15	2.82				N 85°E	0	?	?	4
4A35	4.10	4.52	0.91	17.97	N 67°E	2	楕長	東壁南	5	5A16		3.74			?	?	?	東壁南	—
4A36	3.53	2.80	0.79	9.27	N 66°E	0	縦長	東壁南	6	5A17		3.60			N 67°E	1	?	東壁南	2
4A37	2.88	2.40	0.83	6.57	N 65°E	0	楕長	東壁南	7	5A18	3.72				N106°E	4	方形	東壁南	7
4A38	2.34	2.34	1.00	7.33	N 75°E	0	方形	東壁南	7	5B01	3.13	3.64	0.86	11.75	N 94°E	0	楕長	東壁南	14
4A39	4.06	3.90	0.96	15.46	N 62°E	0	楕長	東壁南	6	5B02	3.34				N102°E	0	?	東壁	10
4A40					N120°W	0	?	?	10	5B03	3.56				N 97°E	0	?	東壁	11
4A41	2.90	3.08	0.94	(7.55)	N 76°E	0	方形	東壁南	8	5B04	5.68				N 89°E	0	?	?	—
4A42	4.04	2.92	0.72	11.39	N 73°E	0	楕長	東壁南	6	5B05		2.64							—
4A43	2.50	2.34	0.94	5.87	N 96°E	0	楕長	東壁南	6	5B06	4.20				N 91°E	0	?	東壁南	4
4A44	5.00	5.50	0.91	27.43	N 72°E	4	楕長	東壁南	11	5B07		3.32			N102°E	0	3	?	—
4A45	3.70	4.20	0.88	(14.90)	N 74°E	1	楕長	東壁中	5	5B08									—
4A46	2.60	3.10	0.84	7.87	N 67°E	0	楕長	東壁南	11	5B09	4.28	3.30	0.77	16.76	N 1°W	0	楕長	北壁西	3
4A47	2.54	3.46	0.73	8.45	N 66°E	0	楕長	東壁南	7	5B10					N 7°W				3
4A48	2.08	2.86	0.73	5.60	N 78°E	0	楕長	東壁南	11	5B11	3.18	4.04	0.79	13.98	N101°E	0	楕長	東壁南	4
4A52	2.74	3.52	0.78	9.59	N 80°E	0	楕長	東壁中	10	5B12	4.12	2.56	0.62	10.86	N 78°E	0	楕長	東壁中	7
4A53	3.62	2.74	0.76	9.61	N 77°E	0	楕長	?	9	5B13	4.60				N 93°E	0	?	?	4
4A54	2.38	2.60	0.92	5.89	N 65°E	0	方形	東壁南	1	5B14	2.42	2.42	1.00	7.73	N 65°W	0	不整	東壁中	4
4A55	3.10	3.44	0.90	9.92	N 85°E	0	楕長	東壁南	12	5B15	3.58				N 90°E	0	?	東壁南	3
4A56	4.10				N 81°E	0	?	?	—	6 01	3.56	3.92	0.91	16.58	N 46°E	4	楕長	東壁南	1
4A57	3.96	2.80	0.71	10.39	N 65°E	0	楕長	東壁南	6	6 02	3.68	4.40	0.84	16.59	N 77°E	0	楕長	東壁南	6
4A58	3.06	2.46	0.80	7.23	N 61°E	4	楕長	東壁南	5	6 03a	5.50	5.90	0.93	34.75	N 79°E	4	方形	東壁南	5
4A59	2.58	2.30	0.89	5.98	N 99°E	0	楕長	東壁南	11	6 03b	4.84	4.88	0.99	26.86	N 79°E	4	方形	東壁南	5
4A60	2.80	2.81	1.00	7.37	N 87°E	0	方形	東壁南	12	6 04	2.60	2.70	0.96	10.96	N 74°E	0	方形	東壁南	4
4A61	2.50	2.30	0.92	(3.13)	N 86°E	0	楕長	東壁中	4	6 05	3.48	4.34	0.80	16.53	N 92°E	1	楕長	東壁南	8
4A64	3.36	2.74	0.82	9.04	N136°W	0	楕長	西壁南	3	6 06	3.28	2.78	0.85	12.75	N 86°E	0	楕長	東壁南	3
4A65	4.50	5.10	0.88	22.42	N 94°W	4	楕長	西壁南	4	6 07	3.72	3.02	0.81	12.61	N 73°E	0	楕長	東壁中	8
4A66	3.14	2.70	0.86	8.02	N 61°E	0	楕長	東壁南	5	6 08	2.82	3.20	0.88	11.60	N 68°E	0	楕長	東壁南	7
4B01					N 93°E	2	?	東壁	1	6 09	4.88	3.78	0.76	20.65	N 87°E	0	楕長	東壁南	3
4B02	2.00				N 81°E	0	楕長	東壁中	11	6 10	3.16	3.06	0.97	10.73	N 48°E	0	方形	東壁中	1

遺構一覽表

(m)								
住居番号	東高輪	南北輪	長軸比	面積(m ²)	方位	柱穴形状	電位置	期
6 11		6.66			N 78° E		5	—
6 12		4.28			N 8° W		9	—
6 13	2.52	3.58	0.70	9.91	N 94° E	0 横長	東壁南	10
6 14	2.30				N 85° E	0		10
6 15	2.22	1.90	0.86	5.11	N 77° E	0 縦長	東壁南	4
6 16	5.74	4.14	0.72	24.44	N 88° E	1 縦長	東壁南	6
6 17	2.34	2.42	0.97	6.16	N 87° E	0		—
7 01	3.60	3.56	0.99	15.56	N 83° E	0 方形	東壁南	9
7 02	1.96	2.68	0.73	5.84	N 81° E	0 横長	東壁南	11
7 03	2.26	2.28	0.99	6.03	N 88° E	0 方形	東壁南	13
7 04	2.96	3.04	0.97	10.83	N 86° E	0 方形	東壁南	9
7 05	2.56	3.14	0.82	8.64	N 105° E	0 横長	東壁南	8
7 06	2.74				N 89° E	0		4
7 07	2.56	3.44	0.74	8.80	N 79° E	0 横長	東壁南	10

(m)								
住居番号	東高輪	南北輪	長軸比	面積(m ²)	方位	柱穴形状	電位置	期
7 08	4.70	5.10	0.92	23.97	N 87° E	3 方形	東壁南	7
7 09	2.44				N 90° E	0 8		—
7 10	3.00	3.16	0.95	9.76	N 82° E	0 方形	東壁南	10
7 11	3.48	4.00	0.87	13.26	N 81° E	0 横長	東壁南	6
7 12	5.96	5.42	0.91	32.30	N 95° E	4 方形	東壁南	7
7 13	3.72	2.70	0.73	10.04	N 79° E	0 縦長	東壁南	8
7 14	3.58	3.34	0.93	14.19	N 78° E	0 方形	東壁南	5
7 15	2.70	3.34	0.81	8.76	N 99° E	0 横長	東壁南	13
7 16	2.70	3.22	0.84	8.69	N 99° E	0 横長	東壁南	12
7 17	1.64	1.84	0.89	3.66	N 81° E	0 横長	東壁南	—
7 18	1.86	2.44	0.76	5.48	N 100° E	0 横長	東壁南	11
7 19	2.16	3.06	0.71	6.60	N 82° E	0 横長	東壁南	113
7 20		3.28			N 64° E	0		5

竪穴状遺構址形態一覽表

(m)						
住居番号	東高輪	南北輪	長軸比	面積(m ²)	方位	柱穴形状
4A01	2.21	3.15	0.70	5.56	N 13° W	0 楕円
4A02	1.82	2.36	0.77	4.36	N 22° W	0 楕円
4A03	1.88	2.79	0.67	5.29	N 23° W	0 方形
4A04	2.55	2.58	0.99	5.77	N 15° W	0 方形

竪穴状住居址電計測一覽表

住居番号	位置	炊口		燃焼部			煙道部			煙道口	
		幅	高	幅	高さ	奥行	幅	高さ	長さ	高さ	角度
4 A01	壁内	50	43	14	94						66
4 A02	壁尖	47	40	29	90						78
4 A03	壁尖	62	60	15	96						70
4 A04	壁内	48	44	31	88	20	9	34	24	76	64
4 A06	壁外	42	40	27	105						70
4 A07-1	壁内	50	66	32	94				29	70	
4 A07-2						14	14	45			
4 A08	壁尖	43	37	20	53						68
4 A09	壁内	46	37	40	146				15	28	
4 A10	壁尖	64	59	37	106						41
4 A11-1	壁尖	42	40	45	147						33
4 A11-2	壁尖	50	28	40	185						39
4 A12	壁尖	46	37	22	57						17
4 A13	壁尖	52	46	37	102						84
4 A14	壁尖	52	50	18	133						56
4 A15	壁内					24	8	108			
4 A16	壁尖	54	46	36	92						79
4 A17	壁尖	48	36	35	132						28
4 A18	壁内	48	47	18	80	20	24	131	10	43	
4 A21	壁尖	74	70	37	85						86
4 A22	壁尖	48	50	36	66						68
4 A23	壁尖	54	45	60	60	11	16	72	30	34	
4 A24	壁尖	60	55	36	78						78
4 A25	壁尖			74		20	20	75	23	80	
4 A26	壁内	100	32	17	114						54
4 A27	壁尖	50	50	33	84						73
4 A28	壁尖	52	34	30	93						37
4 A29	壁外	42	36	24	106						69
4 A30	壁尖	49	49	40	62						79
4 A32	壁尖	50	40	18	38						61
4 A33	壁尖	52	48	28	60						65
4 A34	壁尖	50	40	16	60						55
4 A35	壁内	48	50	63	68	18	14	70	46	54	

住居番号	位置	炊口		燃焼部			煙道部			煙道口	
		幅	高	幅	高さ	奥行	幅	高さ	長さ	高さ	角度
4 A36	壁尖	46	34	27	50	28	15	85			15
4 A37	壁尖	48	43	39	70	17	23	107	10	19	
4 A38	壁尖	49	49	45	55	9	14	59	30	74	
4 A39	壁尖	45	37	20	110						46
4 A40	壁内	64	52	20	62						86
4 A41	壁尖	64	59	35	95						61
4 A42	壁尖	44	39	23	82	10	2.5	25	20	48	
4 A43	壁尖	32	30	25	42	12	4	43	18	52	
4 A44-1	壁内	70	66	36	84						51
4 A44-2	壁内		43	23							30
4 A45-1	壁外	40	38	14	97						9
4 A45-2	壁外	33	16	65							43
4 A46	壁外	50	47	25	64						28
4 A47	壁尖	48	41	20	52						32
4 A48	壁外	46	42	16	44						48
4 A52	壁外	54	50	32	42	12	10	20	20	84	
4 A54	壁外	50	34	11	74						57
4 A55	壁外	55	49	44	78						57
4 A57	壁内	48	57	15	56						59
4 A58	壁外	55	59	19	74						61
4 A59	壁外	36	33	12	50						10
4 A60	壁尖	50	40	9	46						
4 A61	壁尖	48	40	30	66						
4 A64	壁尖	48	46	17	85						69
4 A65	壁尖	54	50	42	80						87
4 A66	壁尖	60	46	50	79						88
4 B01-1	壁尖					34	156				
4 B01-2								36	10	146	
4 B02	壁外	42	36	18	60						
4 B03	壁外	40	30	21	70						
4 B04	壁外	40	34	25	48						
4 B05	壁内	52	38	24	36						
4 B06	壁尖	50	23	74							

遺構一覧表

(cm)							
住居番号	位置	炊口			煙道		煙道口 高さ/角度
		幅	高さ	奥行	幅	高さ	
5 01	壁央	30	30	68	9	32	90 14 40°
5 02	壁外	50	64	40	54	15	33 12
5 03	壁央	40	45	60	51	30	38 75 24
5 04	壁外	70	45	17	42		
5 05	壁央		35	18	21	13	6 20 8
5 06	壁内	15	10	44	40		
5 08	壁内	29	29	40	30	8	6 28 24
5 09	壁内	57	46	66	65		47
5 11	壁外	49	23	60			
5 A01	壁央	56	50	30	47	28	15 100 10
5 A02	壁外	59	59	42	80	18	13 140 22
5 A03	壁外	57	72	51	62	20	20 76 29 30°
5 A04	壁外		58	26	40	2	32 14 30°
5 A05	壁内	50	33	36	20	5	45 28 45°
5 A06	壁外	56	60	24	23	20	15 70
5 A08	壁外	50	55	13	31	15	6 90 10
5 A09	壁内	45	37	26	50	23	5 32
5 A10	壁央	52	55	70	57	20	25 75 38
5 A11	壁央		45	15	72		
5 A12	壁央	40	55	63	75	10	25 80 20
5 A13	壁央	44	47	44	22	13	28 65 10
5 A14	壁央	55	45	90	62	20	29 105
5 A17	?	54	?	46			
5 A18	壁外	?	49	85	16	6	54 22
5 B01	壁央	38	30	43	45	16	17 19 25
5 B02	壁央	53	29	?	35	18	? 17
5 B03	壁央		25	23	45		
5 B06-1	壁央	66	49	51	60	19	19 90 26
5 B06-2					(13)	(13)	(84)
5 B06-3					(16)	(16)	(89)
5 B08	壁外		33	20	31		
5 B09	壁外		32	36	59		
5 B10	壁外	63	69	63	67	16	2 7 30 110
5 B11	壁央	52	43	6	39		
5 B12	壁央		50	55	56		
5 B14	壁内		44	21	56		

(cm)							
住居番号	位置	炊口			煙道		煙道口 高さ/角度
		幅	高さ	奥行	幅	高さ	
6 01	壁内	50	45	24	45	18	18 110
6 02	壁外	57	50	39	60		26
6 03-a	壁央		87	13	10.6		
6 03-b	壁央						
6 04	壁央	63	48	39	49	12	8 78 22
6 05	壁央	63	41	15	65		
6 06	壁央	52	48	32	59		16
6 07	壁央	50	45	19	55		
6 08	壁央	52	49	29	65		22
6 09	壁央	63	59	49	58	19	20 120 25
6 10	壁内	60	64	31	59	16	8 11
6 13	壁央	47	44	19	44		
6 14	壁央	54	50	13	45		5 23
6 15	壁央	48	42	22	60		
6 16	壁央	62	57	34	100		
6 17	壁央	42	43	15	46		
7 01	壁央	60	56	34	60	15	21 71 24
7 02	壁央	47	10	41	21		35
7 03	壁央	35	42	18	54	17	15 5
7 04-1	壁央	49	46	29	56		
7 04-2	壁央	35	40	31	40		
7 05	壁外	39	39	11	52		
7 06	壁内	42	44	38	67	13	27 22
7 07	壁外	54	36	41	58		26
7 08	壁央	73	60	35	74		
7 10	壁内		40	23	60		
7 11	壁央	56	45	24	65		
7 12-1	壁央	63	49	34	78		
7 13	壁央	52	52	46	51		19
7 14	壁内	42	45	45	72	22	17 63 8
7 15	壁央	56	39	15	62		
7 16	壁央	63	56	13	55		
7 17	壁央	47	45	16	47		
7 18	壁央				12		
7 19	壁央	44	42	34	45	16	12 49 8

遺構一覧表

掘立柱建物址規模計測表

遺構 番号	グリッド	主軸方位	棟 方向	行				梁 幅 (m)
				長さ	柱間	長さ	柱間	
4 A01	H12-94	N 28°W	南北	6.3	3.0	1.9	1.0	12.0
4 A02	H12-84	N 75°E	東西	5.3	3.0	2.3	1.0	12.2
4 A03	H12-94	N 65°E	東西	2.0	1.0	1.9	1.0	3.8
4 A04	H12-95	N 25°W	南北	2.3	1.0	2.2	1.0	5.1
4 A05	H13-05	N 31°W	南北	7.9	3.0	4.8	3.0	38.0
4 A06	H13-05	N 66°E	東西	6.3	3.0	5.2	3.0	32.8
4 A07	H13-15	N 27°W	南北	6.0	3.0	4.0	2.0	24.0
4 A08	H13-16	N 24°W	南北	5.3	3.0	3.8	3.0	20.1
4 A09	H13-27	N 32°W	南北	2.7	2.0	2.6	1.0	7.0
4 A10	H13-08	N 30°W	南北	4.1	2.0	4.0	2.0	16.4
4 A11	H12-99	N 25°W	南北	4.3	2.0	3.5	2.0	15.1
4 A12	H12-88	N 38°W	南北	6.4	3.0	4.3	2.0	26.2
4 A13	H12-78	N 35°W	南北	2.4	1.0	2.3	1.0	5.5
4 A14	H12-86	N 36°W	南北	5.5	3.0	4.0	2.0	22.0
4 A15	H12-96	N 32°W	南北	2.1	1.0	1.7	1.0	3.6
4 A16	H12-86	N 11°W	南北	3.3	1.0	2.7	1.0	8.9
4 A17	H13-26	N 23°W	南北	2.7	2.0	2.4	1.0	6.5
4 A18	H12-87	N 80°E	東西	5.0	3.0	4.6	3.0	23.0
4 A19	H12-87	N 3°E	南北	4.3	2.0	4.1	2.0	17.6
4 A20	H12-95	N 13°E	南北	3.3	2.0	3.1	1.0	10.2
4 A21	H13-15	N 33°W	南北	3.9	2.0	3.4	2.0	13.3
4 A22	H13-25	N 72°E	東西	2.2	1.0	1.8	1.0	4.0
4 A23	H12-66	N 48°E	南北	4.3	4.0	2.4	1.0	10.3
4 A24	H12-87	N 5°W	南北	2.0	1.0	1.9	1.0	3.8
4 A25	I 12-61	N 27°W	南北	6.7	4.0	1.9	2.0	12.7
4 A26	I 12-61	N 69°E	東西	4.7	2.0	4.4	2.0	20.7
4 A27	I 12-42	N 29°W	南北	4.2	2.0	3.9	2.0	16.8
4 A28	I 12-42	N 16°W	南北	4.1	2.0	3.9	2.0	16.0
4 A29	I 12-43	N 59°E	東西	3.9	2.0	3.4	2.0	13.3
4 A30	I 12-33	N 78°E	東西	2.4	1.0	1.8	1.0	4.3
4 A31	E14-60	N 11°W	南北	2.9	1.0	1.7	1.0	4.9
4 A32	F14-77	N 20°E	南北	(2.8)	3.0	2.1	2.0	5.9
4 B01	F13-70	N 5°W	南北	5.9	3.0	2.9	1.0	17.1
4 B02	F13-71	N 5°W	南北	7.1	3.0	5.1	2.0	36.2
4 B03	F13-73	N 2°W	南北	3.9	2.0	3.8	2.0	14.8
4 B04	F13-91	N 83°E	東西	4.0	2.0	3.6	1.0	14.4
4 B05	F13-71	N 1°W	南北	6.6	2.0	4.1	2.0	27.1
4 B06	F13-62	N 8°W	南北	4.1	2.0	4.0	2.0	16.4
4 B07	F13-62	N 23°W	南北	2.3	1.0	2.2	1.0	5.1
4 B08	F13-63	N 89°E	東西	3.7	2.0	2.7	1.0	10.0
4 B09	F13-73	N 78°E	東西	3.8	2.0	3.2	2.0	12.2
4 B10	F13-73	N 82°E	東西	4.7	2.0	4.0	2.0	18.8
4 B11	F13-69	N 88°E	東西	3.9	2.0	3.7	2.0	14.4
4 B12	F13-69	N 88°E	東西	3.9	2.0	3.7	1.0	14.4
4 B13	F13-67	N 15°E	南北	3.5	2.0	3.4	2.0	11.9
4 B14	F13-68	N 3°E	東西	2.1	1.0	1.6	1.0	3.4
4 B15	F13-68	N 4°W	南北	4.5	2.0	4.3	2.0	19.4
4 B16	F13-62	N 70°E	東西	6.0	3.0	3.1	2.0	18.6
4 B17	F13-71	N 82°W	東西	3.6	2.0	2.3	2.0	8.3
4 B18	F13-68	N 81°W	東西	5.4	3.0	5.3	2.0	28.6
4 B19	F13-64	N 90°E	東西	2.6	2.0	1.5	1.0	3.9
4 B20	F13-78	N 89°E	東西	3.4	3.0	1.7	1.0	5.8
4 B21	F13-67	N 70°W	東西	3.4	2.0	2.7	1.0	9.2
4 B22	F13-67	N 77°E	東西	4.6	3.0	3.6	2.0	16.6
4 B23	F13-69	N 87°E	東西	5.1	2.0	3.2	2.0	16.3
4 B24	F13-69	N 65°E	東西	4.5	2.0	3.3	2.0	14.9
4 B25	F13-88	N 85°W	東西	1.9	1.0	1.8	1.0	3.4
5 A01	D14-34	N 85°E	東西	6.1	4.0	2.9	2.0	18.2

遺構 番号	グリッド	主軸方位	棟 方向	行				梁 幅 (m)
				長さ	柱間	長さ	柱間	
5 A02	D14-44	N 89°E	東西	8.8	4.0	3.1	1.0	27.6
5 B01	B13-91	N 0°	南北	6.7	4.0	4.6	3.0	30.3
6 01	A13-87	N 84°E	南北	3.8	2.0	3.7	2.0	14.7
6 02	A13-98	N 81°E	東西	3.6	2.0	2.9	2.0	10.8
6 03	A13-88	N 86°E	東西	3.1	1.0	2.6	1.0	9.2
6 04	A14-49	N 80°E	東西	1.9	1.0	1.6	1.0	3.2
6 05	A14-09	N 79°E	南北	3.4	2.0	(1.9)	1.0	6.5
6 06	A14-09	N 83°E	南北	3.1	2.0	(0.6)	(1.9)	
6 07	A14-19	N 22°W	南北	5.9	3.0	4.1	2.0	26.0
6 08	A14-07	N 13°W	南北	4.2	2.0	3.4	2.0	14.3
6 09	A14-28	N 61°E	東西	3.3	2.0	2.5	1.0	8.6
6 10	A14-27	N 61°E	東西	3.2	2.0	2.4	1.0	8.2
6 11	A14-28	N 24°W	南北	7.4	3.0	4.6	3.0	35.7
6 12	A14-26	N 8°W	南北	4.3	2.0	4.1	2.0	17.9
6 13	A14-45	N 68°E	東西	5.7	3.0	4.0	2.0	23.3
6 14	A14-46	N 76°E	東西	4.7	3.0	3.5	2.0	17.1
6 15	A14-56	N 70°E	東西	3.3	2.0	3.2	2.0	10.9
6 16	A14-58	N 18°W	南北	2.6	2.0	2.5	1.0	6.6
6 17	A14-37	N 24°W	南北	4.4	3.0	3.8	2.0	16.7
6 18	A14-09	N 21°W	南北	6.1	3.0	3.1	2.0	18.9
6 19	A14-01	N 17°W	南北	3.5	2.0	2.9	2.0	10.2
6 20	A14-39	N 81°E	東西	2.6	1.0	2.5	1.0	6.5
6 21	A14-36	N 16°W	南北	6.1	3.0	2.7	1.0	16.5

4 A I 区掘立柱建物址規模計測表

		(m)																		
		柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ			
1号掘立柱	1	0.70	0.65	0.25	2	0.75	—	0.20	3	0.88	0.78	0.33	4	0.75	0.65	0.40	5	0.70	0.68	0.35
	6	0.70	0.65	0.35	7	0.88	0.73	0.33	8	0.70	0.68	0.35								
2号掘立柱	1	0.88	0.60	0.25	2	0.45	0.30	0.33	3	1.65	—	0.35	4	0.35	0.35	0.20	5	0.75	0.65	0.35
	6	0.80	0.55	0.40	7	0.45	0.35	0.35												
3号掘立柱	1	0.60	0.55	0.50	2	0.65	0.65	0.53	3	0.75	0.55	0.50	4	0.65	0.60	0.35				
	4	0.65	0.55	0.57	2	0.68	0.57	0.60	3	(0.56)	0.56	0.80								
5号掘立柱	1	0.80	0.70	0.45	2	1.35	0.80	0.35	3	0.68	0.60	0.65	4	1.10	0.80	0.50	5	1.00	0.75	0.60
	6	0.80	0.80	0.58	7	0.90	0.85	0.53	8	0.93	0.85	0.55	9	0.93	0.75	0.45	10	0.90	0.70	0.40
	11	0.95	0.70	0.65	12	0.95	0.90	0.55												
6号掘立柱	1	0.68	0.60	0.25	2	0.70	0.58	0.45	3	0.80	0.68	0.55	4	0.73	0.63	0.65	5	0.65	0.65	0.35
	6	(0.70)	(0.60)	0.30	7	(0.60)	0.50	0.20	8	0.80	0.63	0.35	9	0.63	0.40	0.40	10	0.65	0.60	0.35
	11	0.70	0.68	0.35	12	0.68	0.55	0.35	13	0.50	0.45	0.50	14	0.75	0.60	0.25	15	0.60	0.55	0.30
	16	0.60	0.55	0.40																
7号掘立柱	1	0.50	0.50	0.35	2	0.38	0.38	0.23	3	0.45	0.45	0.30	4	0.45	0.35	0.45	5	0.55	0.55	0.50
	6	0.50	0.45	0.40	7	0.35	0.35	0.10	8	0.50	0.45	0.40	9	0.55	0.50	0.25	10	0.50	0.45	0.20
8号掘立柱	1	0.40	0.40	0.35	2	0.85	0.85	0.50	3	0.40	0.40	0.30	4	0.60	0.55	0.75	5	0.60	0.50	0.50
	6	0.68	0.57	0.40	7	0.70	0.60	0.45	8	0.75	0.70	0.25	9	0.75	0.60	0.45	10	0.65	0.50	0.43
	11	1.00	0.75	0.40	12	0.65	0.55	0.20	13	0.70	0.55	0.50	14	0.65	0.60	0.40				
9号掘立柱	1	0.35	0.35	0.15	2	0.50	0.35	0.25	3	0.65	0.45	0.45	4	0.60	0.60	0.25	5	0.30	0.30	0.25
	6	0.45	0.35	0.55																
10号掘立柱	1	0.75	0.65	0.50	2	0.68	0.45	0.40	3	(0.60)	(0.50)	0.10	4	0.58	0.53	0.45	5	0.65	0.53	0.33
	6	0.80	0.55	0.40	7	0.80	0.80	0.45	8	0.65	0.45	0.60								
11号掘立柱	1	0.53	0.43	0.35	2	0.70	0.60	0.45	3	0.83	0.50	0.30	4	0.45	0.35	0.48	5	0.45	0.35	0.50
	6	0.48	0.38	0.45	7	0.58	0.50	0.43	8	0.43	0.33	0.45								
12号掘立柱	1	0.85	0.45	0.55	2	0.60	0.60	0.75	3	0.98	0.55	0.43	4	0.80	0.70	0.58	5	0.78	0.60	0.55
	6	0.73	0.68	0.68	7	0.43	0.33	0.20	8	0.85	0.75	0.35	9	0.65	0.48	0.60	10	1.05	0.53	0.73
	11	0.63	0.58	0.65																
13号掘立柱	1	0.55	0.55	0.40	2	0.80	0.55	0.55	3	0.85	0.75	0.53	4	0.80	0.55	0.45				
14号掘立柱	1	0.53	0.53	0.30	2	0.58	0.50	0.33	3	0.65	0.45	0.45	4	0.78	0.70	0.35	5	1.15	0.83	0.43
	6	0.83	0.63	0.38	7	0.72	0.60	0.45	8	0.88	0.80	0.45	9	1.10	0.95	0.58	10	0.90	0.85	0.40
	11	0.90	0.75	0.45																
15号掘立柱	1	0.43	0.38	0.30	2	0.60	0.45	0.35	3	0.50	0.45	0.45	4	0.50	0.50	0.45				
16号掘立柱	1	0.95	0.95	0.45	2	0.35	0.35	0.30	3	0.60	0.45	0.45								
	6	0.45	0.35	0.55	2	0.65	0.50	0.25	3	0.53	0.45	0.48	4	0.35	0.35	0.53	5	0.35	0.35	0.55
17号掘立柱	1	0.45	0.35	0.40																
	6	0.35	0.33	0.40																
18号掘立柱	1	0.50	0.45	0.43	2	(0.80)	0.60	0.40	3	0.45	0.40	0.10	4	0.30	0.30	0.20	5	0.30	0.30	0.10
	6	0.50	0.43	0.25	7	0.60	0.60	0.50	8	0.75	0.60	0.55	9	0.43	0.35	0.20	10	0.45	0.45	0.20
19号掘立柱	1	0.85	0.85	0.50	2	0.45	0.35	0.20	3	0.40	0.40	0.10	4	0.58	0.45	0.10	5	0.55	0.45	0.25
20号掘立柱	1	0.58	0.40	0.18	2	0.98	0.85	0.43	3	0.35	0.35	0.25	4	0.20	0.20	0.15	5	0.40	0.35	0.10
	6	0.45	0.35	0.20																
21号掘立柱	1	0.55	0.50	0.28	2	0.45	0.35	0.30	3	0.68	0.50	0.20	4	0.55	0.38	0.20	5	0.55	0.50	0.30
	6	0.65	0.43	0.40	7	0.70	0.50	0.45	8	0.68	0.45	0.30								
22号掘立柱	1	0.50	0.40	0.35	2	0.33	0.33	0.15	3	0.50	0.38	0.30	4	0.55	0.35	0.30				
23号掘立柱	1	0.70	0.48	0.15	2	0.35	0.30	0.45	3	0.65	0.50	0.45	4	0.55	0.55	0.48	5	0.58	0.50	0.35
	6	0.25	0.25	0.10	7	0.70	0.55	0.15	8	0.45	0.35	0.55								
24号掘立柱	1	0.55	0.40	0.20	2	0.50	0.45	0.30	3	0.45	0.45	0.25	4	0.40	0.35	0.23				
25号掘立柱	1	0.30	0.25	0.20	2	0.40	0.40	0.20	3	0.55	0.50	0.18	4	0.35	0.30	0.15	5	0.50	0.40	0.23
	6	0.40	0.40	0.20	7	0.45	0.30	0.18	8	0.60	0.45	0.20	9	0.50	0.35	0.13	10	0.40	0.35	0.18
	11	0.30	0.30	0.20																
26号掘立柱	1	0.45	0.35	0.15	2	0.45	0.30	0.23	3	0.60	0.50	0.20	4	0.50	0.35	0.20	5	0.90	0.70	0.28
	6	0.58	0.45	0.30	7	0.55	0.40	0.40												
27号掘立柱	1	0.62	0.44	0.40	2	0.30	0.25	0.19	3	0.44	0.41	0.19	4	0.39	0.33	0.55	5	0.40	0.35	0.12
28号掘立柱	1	0.37	0.36	0.18	2	0.56	0.51	0.29	3	0.46	0.32	0.28	4	0.36	0.35	0.21	5	0.36	0.34	0.24
	8	0.35	0.30	0.38																
29号掘立柱	1	0.50	0.47	0.19	2	0.40	0.34	0.15	3	0.72	0.54	0.14	4	0.27	0.26	0.10	5	0.54	0.40	0.16
	6	0.27	0.27	0.11	7	0.72	0.38	0.17	8	0.40	0.35	0.18								
30号掘立柱	1	0.50	0.45	0.17	2	0.25	0.24	0.12	3	0.41	0.34	0.22	4	0.35	0.35	0.17				
31号掘立柱	1	0.34	0.33	0.36	2	0.30	0.28	0.25	3	0.35	0.34	0.33	4	0.30	0.30	0.27				
32号掘立柱	1	0.40	0.36	0.17	2	0.40	0.35	0.18	3	0.40	0.36	0.17	4	0.50	0.50	0.25	5	0.35	0.34	0.15
	6	0.42	0.40	0.25																

遺構一覧表

4 B 区掘立柱建物址規模計測表

(m)

	坑	長径	短径	深さ	坑	長径	短径	深さ	坑	長径	短径	深さ	坑	長径	短径	深さ				
1号掘立	1	0.25	0.25	0.15	2	0.31	0.29	0.26	3	0.50	0.36	0.20	4	0.32	0.26	0.24	5	0.36	0.36	0.24
	6	0.50	0.46	0.40	7	0.40	0.40	0.32	8	0.53	0.35	0.23								
2号掘立	1	0.50	0.44	0.36	2	0.45	0.45	0.25	3	0.45	0.36	0.44	4	0.70	0.66	0.48	5	0.65	0.56	0.25
	6	0.71	0.62	0.31	7	0.54	0.50	0.56	8	0.66	0.54	0.35								
3号掘立	1	0.74	0.64	0.43	2	0.25	0.25	0.30	3	0.34	0.30	0.43	4	0.48	0.46	0.21	5	0.55	0.31	0.32
	6	0.64	0.50	0.36	7	0.54	0.45	0.15	8	0.42	0.40	0.30								
4号掘立	1	0.54	0.30	0.37	2	0.56	0.33	0.28	3	(0.65)	(0.65)	0.20	4	(0.50)	(0.45)	0.16	5	0.36	0.30	0.41
	6	0.41	0.35	0.36																
5号掘立	1	(0.45)	(0.45)	0.30	2	0.46	0.38	0.25	3	0.38	0.35	0.36	4	0.68	0.65	0.50	5	0.45	0.30	0.26
	6	0.40	0.35	0.25	7	0.51	0.38	0.45	8	0.54	0.50	0.34	9	0.45	0.36	0.39				
6号掘立	1	0.60	0.50	0.29	2	0.74	(0.60)	0.35	3	0.35	0.34	0.55	4	0.69	0.58	0.30	5	0.66	0.65	0.31
	6	0.53	0.40	0.36	7	0.55	0.45	0.45	8	0.55	0.45	0.37								
7号掘立	1	0.27	0.25	0.25	2	0.30	0.30	0.28	3	0.50	0.50	0.25	4	0.60	0.50	0.31				
	1	0.30	0.26	0.21	2	0.40	0.36	0.21	3	0.45	0.37	0.24	4	0.42	0.49	0.40	5	0.46	0.46	0.26
8号掘立	1	(0.32)	(0.32)	0.14	2	0.60	0.54	0.36	3	0.43	0.40	0.35	4	0.56	0.30	0.28	5	0.32	0.28	0.17
	6	0.67	0.40	0.26	7	0.50	0.47	0.20	8	0.61	0.50	0.41								
10号掘立	1	0.65	0.50	0.35	2	0.80	0.65	0.43	3	0.46	0.45	0.30	4	(0.50)	0.39	0.42	5	0.54	0.50	0.51
	6	0.65	0.45	0.36	7	0.60	0.55	0.57												
11号掘立	1	0.43	0.30	0.40	2	0.47	0.30	0.30	3	0.43	0.40	0.13	4	0.36	0.26	0.40	5	0.35	0.35	0.58
	6	0.30	0.30	0.46	7	0.34	0.32	0.39	8	0.43	0.43	0.42	9	0.47	0.24	0.11				
12号掘立	1	0.50	0.40	0.40	2	0.40	0.36	0.16	3	0.50	0.48	0.32	4	0.72	0.59	0.32	5	0.70	0.63	0.16
	6	0.66	0.65	0.45																
13号掘立	1	0.30	0.30	0.37	2	0.26	0.25	0.15	3	0.40	0.30	0.14	4	0.40	0.30	0.20	5	0.85	0.60	0.31
	6	0.25	0.25	0.19	7	0.34	0.33	0.21	8	0.43	0.40	0.14	9	0.36	0.35	0.08				
14号掘立	1	0.30	0.29	0.24	2	0.32	0.27	0.22	3	0.32	0.31	0.32	4	0.45	0.35	0.27				
	1	0.32	0.29	0.20	2	0.40	0.32	0.13	3	0.32	0.27	0.20	4	0.50	0.50	0.35	5	0.50	0.41	0.25
15号掘立	6	0.55	0.46	0.26	7	0.52	0.46	0.16	8	1.02	0.33	0.14								
	1	0.25	0.24	0.20	2	0.43	0.40	0.31	3	0.43	0.36	0.22	4	0.27	0.25	0.05	5	(0.41)	0.40	0.26
16号掘立	6	(0.70)	0.70	0.17	7	0.40	0.40	0.24	8	0.55	0.50	0.50	9	0.67	0.49	0.32	10	0.45	0.39	0.37
	1	0.51	0.40	0.45	2	0.45	0.34	0.41	3	0.45	0.41	0.31	4	0.46	0.37	0.19	5	0.71	0.55	0.90
17号掘立	6	0.49	0.45	0.42	7	0.51	0.48	0.47												
	1	0.40	0.36	0.22	2	0.40	0.39	0.18	3	0.36	0.36	0.24	4	0.26	0.25	0.11	5	0.51	0.43	0.20
18号掘立	6	0.35	0.33	0.13	7	0.31	0.30	0.24	8	0.49	0.43	0.13	9	0.63	0.57	0.14	10	0.35	0.30	0.10
	11	0.35	0.35	0.10	12	0.40	0.40	0.13												
19号掘立	1	0.40	0.30	0.15	2	0.35	0.32	0.29	3	0.45	0.42	0.30	4	0.53	0.50	0.12	5	0.45	0.45	0.12
	6	0.56	0.53	0.20																
20号掘立	1	0.56	0.39	0.22	2	0.55	0.43	0.36	3	0.44	0.41	0.15	4	0.52	0.46	0.56	5	0.36	0.35	0.06
	6	0.41	0.41	0.25	7	0.60	0.52	0.42	8	0.50	0.45	0.24								
21号掘立	1	0.46	0.40	0.18	2	(0.65)	(0.56)	0.15	3	(0.65)	(0.55)	0.20	4	0.36	0.36	0.20	5	0.46	0.36	0.37
	6	0.68	0.46	0.18																
22号掘立	1	0.45	0.45	0.33	2	0.38	0.32	0.20	3	0.31	0.29	0.16	4	0.26	0.21	0.13	5	0.45	0.37	0.10
	6	0.39	0.39	0.09	7	0.42	0.40	0.12	8	0.46	0.42	0.18	9	0.26	0.26	0.18				
23号掘立	1	0.47	0.32	0.32	2	0.17	0.16	0.19	3	0.25	0.22	0.15	4	0.40	0.34	0.23	5	0.37	0.32	0.15
	6	0.50	0.36	0.23	7	0.20	0.25	0.11	8	0.37	0.35	0.16								
24号掘立	1	0.39	0.37	0.19	2	0.55	0.36	0.10	3	0.52	0.45	0.32	4	0.51	0.23	0.16	5	0.50	0.40	0.12
	6	0.70	0.66	0.15	7	0.60	0.51	0.17	8	0.69	0.62	0.45								
25号掘立	1	0.62	0.60	0.35	2	0.40	0.40	0.34	3	0.75	0.59	0.22	4	0.56	0.30	0.26				

5 A区掘立柱建物址規模計測表

													(m)							
	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ
1号掘立柱	1	0.35	0.25	0.33	2	0.20	0.20	0.65	3	0.25	0.25	0.10	4	0.30	0.28	0.20	5	0.20	0.20	0.23
	6	0.30	0.25	0.10	7	0.20	0.20	0.10	8	0.25	0.25	0.05	9	0.30	0.30	0.25	10	0.30	0.30	0.18
	11	0.15	0.15	0.15	12	0.20	0.20	0.28												
2号掘立柱	1	0.33	0.33	0.23	2	0.30	0.30	0.18	3	0.35	0.35	0.20	4	0.40	0.35	0.33	5	0.30	0.30	0.15
	6	0.50	0.45	0.25	7	0.30	0.30	0.20												

5 B区掘立柱建物址規模計測表

													(m)							
	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ
1号掘立柱	1	0.10	0.60	0.67	2	0.60	0.50	0.65	3	0.55	0.50	0.62	4	0.55	0.55	0.60	5	0.63	0.60	0.60
	6	0.85	0.45	0.85	7	0.93	0.35	0.80	8	1.05	0.85	1.00	9	0.75	0.55	0.80	10	0.75	0.65	0.75
	11	0.60	0.55	0.70	12	0.60	0.43	0.55	13	0.70	0.53	0.50	14	0.55	0.33	0.60				

6区掘立柱建物址規模計測表

													(m)							
	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ	柱穴	長径	短径	深さ
1号掘立柱	1	0.57	0.57	0.40	2	0.58	0.55	0.48	3	0.60	0.50	0.52	4	0.50	0.50	0.33	5	0.72	0.60	0.55
	6	0.73	0.65	0.60	7	0.60	0.60	0.47	8	0.45	0.45	0.50	9	0.55	0.55	0.40				
2号掘立柱	1	0.33	0.45	0.35	2	0.40	0.33	0.15	3	0.45	0.43	0.23	4	0.58	0.50	0.35	5	0.80	0.45	0.33
	6	0.55	0.50	0.47	7	0.58	0.50	0.33	8	0.45	0.45	0.23								
3号掘立柱	1	0.22	0.22	0.30	2	0.15	0.15	0.23	3	0.47	0.45	0.05	4	0.45	0.45	0.05				
4号掘立柱	1	0.85	0.65	0.50	2	0.62	0.55	0.42	3	0.68	0.48	0.53	4	0.62	0.60	0.18				
5号掘立柱	1	0.50	0.45	0.15	2	0.58	0.47	0.25	3	0.50	0.42	0.25	4	0.45	0.45	0.10	5	0.55	0.48	0.23
6号掘立柱	1	0.45	0.45	0.25	2	0.45	0.37	0.25	3	0.35	0.35	0.20								
7号掘立柱	1	0.43	0.40	0.25	2	0.40	0.40	0.20	3	0.57	0.55	0.15	4	0.53	0.53	0.20	5	0.28	0.25	0.10
	6	0.28	0.28	0.28	7	0.43	0.35	0.28	8	0.45	0.45	0.30								
8号掘立柱	1	0.50	0.47	0.45	2	0.42	0.35	0.55	3	0.63	0.53	0.60	4	0.73	0.48	0.52	5	0.53	0.50	0.47
	6	0.45	0.40	0.45	7	0.35	0.30	0.30	8	0.55	0.45	0.57								
9号掘立柱	1	0.43	0.43	0.30	2	0.50	0.50	0.35	3	0.58	0.45	0.33	4	0.65	0.55	0.25	5	0.50	0.48	0.30
	6	0.33	0.33	0.33																
10号掘立柱	1	0.33	0.50	0.20	2	0.55	0.53	0.23	3	0.58	0.55	0.40	4	0.60	0.50	0.18	5	0.53	0.48	0.20
	6	0.55	0.45	0.20																
11号掘立柱	1	0.45	0.33	0.35	2	0.55	0.50	0.37	3	0.52	0.50	0.25	4	0.40	0.33	0.23	5	0.50	0.48	0.15
	6	0.55	0.48	0.30	7	0.45	0.43	0.30	8	0.55	0.50	0.25	9	0.40	0.37	0.25	10	0.60	0.45	0.30
	11	0.49	0.45	0.35	12	0.45	0.37	0.28												
12号掘立柱	1	0.47	0.40	0.13	2	0.20	0.20	0.09	3	0.35	0.23	0.30	4	0.45	0.42	0.15	5	0.45	0.40	0.20
	6	0.52	0.43	0.13	7	0.60	0.52	0.23	8	0.45	0.33	0.18								
13号掘立柱	1	0.68	0.47	0.21	2	0.55	0.45	0.15	3	0.42	0.30	0.10	4	0.30	0.28	0.20	5	0.65	0.55	0.18
	6	0.54	0.38	0.20	7	0.68	0.33	0.20	8	0.50	0.45	0.10								
14号掘立柱	1	0.35	0.33	0.10	2	0.40	0.27	0.13	3	0.33	0.30	0.12	4	0.47	0.43	0.20	5	0.50	0.32	0.13
	6	0.40	0.35	0.20	2	0.40	0.38	0.25	3	0.35	0.35	0.20	4	0.30	0.30	0.28	5	0.35	0.32	0.23
15号掘立柱	1	0.40	0.40	0.25	2	0.30	0.30	0.28	8	0.40	0.40	0.25								
	6	0.70	0.55	0.17	2	0.30	0.30	0.23	3	0.33	0.20	0.23	4	0.50	0.42	0.18	5	0.32	0.27	0.20
16号掘立柱	1	0.45	0.45	0.42	2	0.53	0.35	0.30	3	0.47	0.45	0.42	4	0.58	0.45	0.37	5	0.56	0.48	0.45
	6	0.50	0.47	0.25	7	0.57	0.35	0.25	8	0.40	0.28	0.18	9	0.42	0.33	0.23				
17号掘立柱	1	0.54	0.47	0.33	2	0.33	0.30	0.20	3	0.45	0.42	0.30	4	0.38	0.35	0.27	5	0.40	0.32	0.12
	6	0.48	0.45	0.35	7	0.42	0.40	0.37	8	0.45	0.35	0.32	9	0.32	0.25	0.15				
18号掘立柱	1	0.35	0.32	0.30	2	0.32	0.30	0.15	3	0.25	0.25	0.45	4	0.53	0.50	0.22	5	0.35	0.32	0.30
	6	0.23	0.23	0.20	7	0.45	0.45	0.22												
19号掘立柱	1	0.68	0.62	0.30	2	0.62	0.57	0.20	3	0.65	0.63	0.33								
	6	0.30	0.30	0.18	2	0.48	0.45	0.24	3	0.62	0.50	0.28	4	0.62	0.60	0.28	5	0.53	0.48	0.32
20号掘立柱	1	0.30	0.30	0.18	2	0.48	0.45	0.24	3	0.62	0.50	0.28	4	0.62	0.60	0.28	5	0.53	0.48	0.32
	6	0.54	0.45	0.30	7	—	0.40	0.35	8	0.40	0.38	0.32								

遺構一覽表

4 A I 区槽列址規模計測表

												(m)									
	柱次	長径	短径	深さ	柱次	長径	短径	深さ	柱次	長径	短径	深さ	柱次	長径	短径	深さ	柱次	長径	短径	深さ	
1号槽列	1	0.40	0.30	0.20	2	0.32	0.26	0.22	3	0.45	0.36	0.21	4	0.46	0.42	0.15	5	0.50	0.35	0.15	
	6	0.40	0.34	0.16																	
2号槽列	1	0.35	0.28	0.14	2	0.22	0.16	0.10	3	0.25	0.25	0.11	4	0.33	0.20	0.14					
3号槽列	1	0.34	0.23	0.25	2	0.34	0.25	0.20	3	0.50	0.35	0.25	4	0.55	0.38	0.27					
4号槽列	1	0.35	0.24	0.17	2	0.30	0.25	0.15	3	0.26	0.25	0.19	4	0.25	0.24	0.15					
5号槽列	1	0.43	0.30	0.20	2	0.33	0.30	0.20	3	0.45	0.40	0.17									
6号槽列	1	0.35	0.35	0.43	2	0.25	0.21	0.16	3	0.36	0.25	0.19	4	0.32	0.31	0.19	5	0.50	0.45	0.20	
	6	0.47	0.47	0.40	7	0.44	0.40	0.50	8	0.50	0.35	0.27	9	0.40	0.35	0.20	10	0.40	0.40	0.24	
7号槽列	1	0.42	0.40	0.22	2	0.45	0.32	0.14	3	0.42	0.35	0.90	4	0.38	0.36	0.10					
8号槽列	1	0.21	0.21	0.15	2	0.32	0.30	0.18	3	0.30	0.27	0.19	4	0.65	0.45	0.50	5	0.19	0.45	0.35	
	6	0.35	0.30	0.34	7	0.64	0.36	0.27	8	0.44	0.42	0.36	9	0.54	0.50	0.30	10	0.40	0.36	0.40	
	11	0.67	0.45	0.19	12	0.55	0.40	0.22	13	0.35	0.30	0.39	14	0.46	0.42	0.25	15	0.73	0.50	0.23	
	16	0.62	0.36	0.15	17	0.92	0.77	0.46													
9号槽列	1	0.52	0.30	0.14	2	0.46	0.33	0.27	3	0.45	0.40	0.26									
10号槽列	1	0.45	0.36	0.21	2	0.30	0.24	0.11	3	0.32	0.26	0.90	4	0.54	0.30	0.20	5	0.35	0.30	0.10	
	6	0.40	0.33	0.15																	
11号槽列	1	0.56	0.42	0.26	2	0.73	0.55	0.13	3	0.76	0.70	0.18	4	0.45	0.40	0.15					
12号槽列	1	0.60	0.73	0.27	2	0.55	0.45	0.20	3	0.72	0.61	0.15	4	0.59	0.51	0.05					
13号槽列	1	0.40	0.34	0.14	2	0.40	0.38	0.21	3	0.30	0.26	0.14	4	0.49	0.40	0.36					
14号槽列	1	0.31	0.27	0.17	2	0.51	0.30	0.24	3	0.30	0.30	0.19									
15号槽列	1	0.34	0.32	0.15	2	0.52	0.44	0.18	3	0.41	0.34	0.90	4	0.46	0.45	0.14					
16号槽列	1	0.37	0.35	0.18	2	0.43	0.35	0.16	3	0.42	0.40	0.16									
17号槽列	1	0.40	0.35	0.14	2	0.36	0.24	0.90	3	0.50	0.38	0.10									
18号槽列	1	0.36	0.30	0.14	2	0.51	0.45	0.10	3	0.55	0.42	0.19									
19号槽列	1	0.30	0.30	0.13	2	0.55	0.41	0.18	3	0.43	0.41	0.19	4	0.79	0.56	0.27	5	0.46	0.30	0.41	
20号槽列	1	0.55	0.51	0.19	2	0.38	0.36	0.12	3	0.36	0.29	0.20	4	0.80	0.70	0.24					
21号槽列	1	0.30	0.25	0.29	2	0.60	0.45	0.18	3	0.54	0.54	0.29	4	0.40	0.38	0.30					
22号槽列	1	0.40	0.35	0.21	2	0.60	0.42	0.24	3	0.45	0.37	0.46	4	0.69	0.36	0.51					
23号槽列	1	0.50	0.45	0.15	2	0.26	0.25	0.11	3	0.62	0.40	0.11	4	0.77	0.68	0.90	5	0.38	0.28	0.12	
	6	0.50	0.44	0.35	7	0.40	0.24	0.70													
24号槽列	1	0.47	0.37	0.24	2	0.73	0.60	0.26	3	0.49	0.32	0.16	4	0.45	0.43	0.16	5	0.40	0.39	0.17	
25号槽列	1	0.51	0.20	0.10	2	0.34	0.31	0.12	3	0.40	0.35	0.17									

4 B 区槽列址規模計測表

												(m)				
	柱次	長径	短径	深さ	柱次	長径	短径	深さ	柱次	長径	短径	深さ	柱次	長径	短径	深さ
1号槽列	1	0.37	0.35	0.10	2	0.35	0.31	0.37	3	0.42	0.33	0.22				
2号槽列	1	0.32	0.30	0.06	2	0.62	0.47	0.09	3	0.40	0.37	0.11				

4 A I 区垣根址規模計測表

												(m)				
	柱次	長径	短径	深さ	柱次	長径	短径	深さ	柱次	長径	短径	深さ	柱次	長径	短径	深さ
1号垣根	1	0.46	(0.44)	0.26	2	0.38	0.38	0.14	3	0.40	0.40	0.13				
2号垣根	1	0.36	0.30	0.24	2	0.46	0.35	0.16	3	0.45	0.35	0.25				
3号垣根	1	0.60	0.45	0.41	2	0.55	0.40	0.39	3	0.60	0.64	0.40				
4号垣根	1	0.50	0.41	0.19	2	0.32	0.23	0.05								
5号垣根	1	0.36	0.29	0.19	2	0.48	0.24	0.15	3	0.25	0.25	0.16				
6号垣根	1	0.47	0.40	0.42	2	0.56	0.42	0.36	3	0.45	0.34	0.41				
7号垣根	1	0.32	0.20	0.40	2	0.33	0.25	0.17	3	0.35	0.30	0.33				
8号垣根	1	0.36	0.35	0.30	2	0.31	0.29	0.19	3	0.26	0.25	0.44				
9号垣根	1	0.45	0.40	0.16	2	0.59	0.48	0.19	3	0.35	0.33	0.15				
10号垣根	1	0.36	0.30	0.06	2	0.44	0.40	0.33	3	0.50	0.46	0.36	4	0.34	0.26	0.20
11号垣根	1	0.40	0.34	0.10	2	0.40	0.35	0.12								

1. 篠塚狐穴地区(4A I・II区)

4A II区01号住居出土遺物(第14図・PL54) 略号:器一器高、ローロ径、底一底径

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1	須恵器 坏蓋	器 (2.9) 口 20.9		①細砂 ②還元 ③明褐色 7.5YR-7/2 ④△(銀灰層)	クロコ成形の特徴 調整	
2	須恵器 甕	器 4.7 口 19.4	+55埋土	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④△	クロコ成形。外面底部左回転削り調整	口唇部炭素吸着
3	須恵器 甕	長 (10.1) 厚 0.8		①細砂 ②還元 ③褐灰10 YR-6/1 ④破片(胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目	
4	土師器 坏	器 12.4 口 3.6	+48	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち削り調整	磨滅
5	土師器 坏	器 2.8 口 11.2	+50	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち削り調整	磨滅底10.5
6	土師器 甕	器 (3.8.0) 口 (18.0)	+55	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味。底部手持ち削り調整	磨滅

4A II区02号住居出土遺物(第18図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
7	須恵器 坏蓋	器 (2.1) 口 (18.4)		①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④破片(端部)	クロコ成形カエリあり。天井部左回転削り調整	
8	須恵器 甕	長 (10.0) 厚 0.7	+6	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④破片(胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目	
9	土師器 甕	器 (3.5) 口 (18.0)	+12	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち削り調整	磨滅
10	土師器 坏	器 (3.2) 口 (12.0)	+3	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部内彎気味横撫で。底部平底気味手持ち削り調整	

4A II区03号住居出土遺物(第22図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
11	土師器 甕	器 28.0 口 (20.6) 底 5.1		①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④△(口縁・底部)	口縁部外反気味横撫で。胴部上位に張りをもち上位横方向、下位縦方向、底部削り調整	磨滅。外面胴部炭素吸着
12	土師器 甕	器 (3.5) 底 (5.4)		①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(底部)	胴部・底部削り調整	外面炭素吸着

4A II区04号住居出土遺物(第26図・PL54)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
13	土師器 坏	器 3.3 口 11.4	+3	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④完形	口縁部内彎気味横撫で。底部平底気味手持ち削り調整	磨滅。外面底部黒斑
14	土師器 坏	器 (2.6) 口 (12.3)	+4	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち削り調整	
15	土師器 坏	器 (2.4) 口 (14.2)	カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち削り調整	磨滅
16	土師器 長甕	器 (10.3.3) 口 (22.0)	-9	①粗砂 ②酸化 ③残黄褐色 7.5YR-8/6 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味外反横撫で。胴部直線的で縦方向削り内面旋撫で調整	
17	須恵器 坏蓋	器 (2.9) 口 (12.4)	+8	①細砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(端部)	クロコ成形カエリあり。天井部回転削り調整	
18	須恵器 甕	器 (3.7) 口 (19.2)	+6	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	
1215	鉄製品 鉄鏃	長さ 5.9 厚さ 0.6	埋土		刃の逆刺の一部及び基部欠失したもの。平根脚尖三角形である。逆刺はやや浅めだがはっきりと造りだしており鉄身も明確に直角内造りだしている	幅(3.1)

4A II区06号住居出土遺物(第31・32図・PL54)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
19	土師器 甕	器 (25.4) 口 19.8 底 (4.4)	+1+3+4埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/8 ④△	口縁部コの字状横撫で。胴部上位に張りをもち上位横方向、下位縦方向、底部削り調整	外面胴部一部炭素吸着

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
20	土師器 埴	器 (25.1) 口 23.0	+3	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④ $\frac{1}{2}$ (底部欠損)	口の字状口縁。胴上位直る。上位横、下位縦底部直り。内面上位横方向刺目	
21	土師器 埴	器 (9.2) 口 (18.4)	+4+5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味外反。胴上位直る。上位横、下位縦方向、底部直り、胴内面横方向直り	内外面炭着 痕
22	土師器 埴	器 (13.2) 口 (18.9)	表採	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/8 ④破片(上半部)	口縁部直立気味外反横線で胴上位直る上位横、下位縦、底部直り、胴内面横方向直り	外面胴部炭着 痕
23	土師器 埴	器 (8.3) 口 (21.2)		①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/8 ④破片(口縁部)	口縁部の字状横線で、胴上位に直りを持ち上位横方向直り内面直り	
24	羽釜	器 (4.0) 口 (21.0)	+4表採	①細砂 ②酸化 ③断面にのみ橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁先端部平ら。踵はCタイプ	内外面直し 状
1216	鉄製品 刀子	長さ (11.4) 厚さ 0.3	-7		茎の端部を欠損している。刃は細長く両側で茎はしっかりとした造りで茎長と刃身がほぼ同じ形勢のものである	幅(1.3)

4 A II区07号住居出土遺物 (第37図、PL54)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
25	須恵器 坏	器 (2.3) 口 (11.6)	床下埋土 カマド埋土	①細砂 ②還元 ③褐灰5YR-5/1 ④破片(底部)	口縁部成形カエリあり。天井部左回転直り調整。踵は宝珠状か	
26	土師器 坏	器 3.2 口 10.5	+8	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④完形	口縁部直立気味横線で、底部丸底気味体部下位から底部手持ち直り調整	
27	土師器 坏	器 3.8 口 12.8	+14	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④完形	口縁部内彎気味横線で、底部丸底気味体部下位から底部手持ち直り調整	
28	土師器 坏	器 3.9 口 13.3	+6 +7 +8 +28	①粗砂 ②酸化 ③に、よい橙7.5YR-6/4 ④ $\frac{1}{2}$	口縁部内彎気味横線で、底部丸底気味体部下位から底部手持ち直り調整	磨減著しい
29	土師器 坏	器 (3.2) 口 (12.1)	+20	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④ $\frac{1}{2}$	口縁部内彎気味横線で、底部丸底気味体部下位から底部手持ち直り調整	
30	土師器 坏	器 (3.3) 口 (11.2)	+22	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④ $\frac{1}{2}$	口縁部内彎気味横線で、底部丸底気味体部下位から底部手持ち直り調整	外面一部炭 着
32	土師器 長埴	器 (6.3) 口 (20.0)	カマド内	①粗砂 ②酸化 ③に、よい橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反横線で、胴部外面直り内面直り内面横方向直り調整	
33	土師器 埴	器 (5.1) 口 (22.0)	+23	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反横線で、外面直り内面直り調整	磨減著しい
35	土師器 埴	器 (3.0) 底 (6.0)	+7 +7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(底部)	胴部外面直り内面直り調整	内外面直し 状
36	土師器 小型埴	器 (5.3) 口 (11.4)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反。外面横方向直り内面直り調整	
37	須恵器 坏	器 (2.5) 口 (14.9)	+11	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/1 ④破片(底部)	口縁部成形カエリあり。天井部右回転直り調整。踵は宝珠状か	
38	須恵器 坏	器 (1.8) 口 (16.9)	+17	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/1 ④破片(底部)	口縁部成形カエリあり。天井部手持ち直り調整	
383	須恵器 小型台付 長脚登	器 (14.4) 胴最大 13.5	+9	①細砂 ②還元 ③灰7.5YR-7/1 ④ $\frac{1}{2}$ (口唇・底部欠損)	口縁部成形口縁部・台部・胴部横線で調整	

4 A II区08号住居出土遺物 (第41図、PL55)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
39	土師器 坏	器 3.9 口 12.0	-0.5	①粗砂 ②酸化 ③に、よい橙7.5YR-7/4 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横線で、底部平底気味手持ち直り調整	
40	土師器 坏	器 3.8 口 12.8	-2.5 +2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横線で、底部平底気味体部下位から底部手持ち直り調整	
41	土師器 坏	器 3.6 口 12.2	-3 -1 -0.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横線で、底部平底気味手持ち直り調整	口縁部一部 炭着痕
42	土師器 坏	器 3.2 口 12.0	-1.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ $\frac{1}{2}$	口縁部内彎気味横線で、底部平底気味手持ち直り調整	外面底部炭 着
43	土師器 坏	器 (3.5) 口 (12.0)	-2.5 -2 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ $\frac{1}{2}$	口縁部内彎気味横線で、底部平底気味手持ち直り調整	磨減著しい
44	土師器 埴	器 (6.3) 口 (20.0)	±6~±29(8個体) -1	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反横線で、胴部外面直り内面直り内面横方向直り調整	
45	須恵器 埴	器 (3.1) 底 (14.5)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/1 ④破片(底部)	外面平印の後の後で内面直り調整	

4 A II区09号住居出土遺物 (第46図、PL55)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
46	須恵器 高台付皿	径 2.8 口 12.8	+7 カマド内	①細砂 ②還元 ③梅灰10 YR-6/1 ④ㄨ	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	
47	須恵器 高台付皿	径 (2.3) 口 (12.6)	+18 カマド内	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/2 ④ㄨ	ロクロ成形回転糸切り。付高台	磨減著しい
48	須恵器 杯	径 3.1 口 11.3	+4	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④ㄨ	ロクロ成形。左回転糸切り	底5.3
49	須恵器 杯	径 3.9 口 12.8	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/2 ④ㄨ	ロクロ成形回転糸切り	磨減底6.0
50	須恵器 杯	径 3.6 口 13.2	+4	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/2 ④ㄨ	ロクロ成形。左回転糸切り	磨減
51	須恵器 高台付鉢	径 (3.0) 高台径 5.4	+2	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/1 ④ㄨ	ロクロ成形。左回転糸切り	内外面一部 炭素吸着
52	須恵器 杯	径 3.8 口 13.6	+9	①細砂 ②還元 ③明梅灰 7.5YR-7/2 ④完形	ロクロ成形。左回転糸切り	外面底部黒 斑。底6.3
53	須恵器 杯	径 4.5 口 12.8	-3	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	軟質。磨減 底6.2
54	須恵器 杯	径 3.4 口 12.8	-3	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/2 ④完形	ロクロ成形。左回転糸切り	磨減著しい 底5.0
55	須恵器 高台付鉢	径 5.2 口 14.4	+10 埋土	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/2 ④ㄨ	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	口縁一部黒 斑。高台径7.4
56	須恵器 高台付鉢	径 4.4 口 15.5	+8表探	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/2 ④ㄨ(高台部分欠 損)	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	軟質。赤変。 黒斑。磨減
57	須恵器 高台付鉢	径 (3.9) 高台径 6.6	+6-2	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/1 ④ㄨ	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	
58	須恵器 高台付鉢	径 (3.3) 高台径 6.6	+13埋土	①細砂 ②還元 ③残黄緑 7.5YR-8/3 ④ㄨ	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	磨減。炭素 吸着
59	土師器 壺	径 (28.6) 口 (21.0)	-7~+12 (11個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④ㄨ(口縁・底部)	口縁部コの字状横溝で。胴部上位横方向下 位縦方向、底部窪削り調整	底3.0
60	土師器 壺	径 (18.8) 口 19.2	+3~29(9個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④ㄨ(上半部)	コの字状口縁。胴部上位横下位縦方向削 削り調整。内面胴部凹溝で	磨減
61	土師器 壺	径 (15.5) 口 (19.4)	-1~+3(7個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(上半部)	コの字状口縁。胴部上位横、下位縦方向削 削り調整。内面胴部凹溝で	
62	土師器 壺	径 (2.3) 底 (3.7)	+2.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(底部)	胴部縦方向、底部手持ち窪削り調整。内面 胴部縦方向凹溝で調整	
63	土師器 壺	径 (4.0) 底 (3.4)	±0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(底部)	胴部縦方向、底部手持ち窪削り調整。内面 胴部縦方向凹溝で調整	外面横し状
64	土師器 壺	径 (3.3) 底 (3.4)	-17	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(底部)	胴部縦方向、底部手持ち窪削り調整。内面 胴部縦方向凹溝で調整	
65	土師器 小型台付壺	径 (8.1) 底 (3.4)	±0カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(下半部)	外面胴部上位横方向、下位縦方向削削り内 面凹溝で、台部上位接合横溝で調整	

4 A I区10号住居出土遺物 (第50図、PL55)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
91	土師器 杯	径 4.3 口 11.7	+10 +12 +12	①粗砂 ②酸化 ③赤梅5 YR-4/6 ④ㄨ	口縁部外反気味横溝で。底部平底気味手持 ち窪削り調整	内面及び口 縁炭素吸着
92	須恵器 高台付鉢	径 (6.5) 口 16.7	+10	①細砂 ②還元 ③橙5YR -6/6 ④ㄨ(高台部分欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台。高台 部分欠損後も使用可	内面底部炭 素吸着
93	須恵器 高台付鉢	径 5.1 口 14.0	+3 +12	①細砂 ②還元 ⑤にぶい 橙7.5YR-6/3 ④ㄨ	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	外面横し 状高台径6.2
94	須恵器 高台付鉢	径 (5.0) 口 (12.8) 高台径 (6.2)	+5.5+6.5	①細砂 ②還元 ⑤にぶい 黄緑10YR-7/3 ④ㄨ	ロクロ成形回転糸切り。付高台	内外面一部 炭素吸着
95	須恵器 高台付鉢	径 (3.3) 高台径 (5.9)	+10	①細砂 ②還元 ⑤にぶい 橙7.5YR-6/4 ④ㄨ	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	内外面一部 炭素吸着
96	須恵器 高台付鉢	径 (3.8) 高台径 (6.3)	+10	①細砂 ②還元 ⑤にぶい 梅7.5YR-6/3 ④ㄨ	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	
98	土師器 壺	径 (11.4) 口 (22.0)	+17.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横溝で。外面胴部横方向削 削り内面凹溝状工具による横溝で調整	胴内面及び 口縁付着

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
99	土師器 壺	器 (6.5) 口 (20.4)	+10 カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横溝で、外面胴部上位横方向覆削り内面胴部横方向覆削りで調整	内面炭素吸着
100	土師器 壺	器 (6.9) 口 (12.4)	+2 +3 +6.5 +6.5+8.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい赤褐色5YR-5/4 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横溝で、外面胴部上位横方向覆削り内面胴部横方向覆削りで調整	内外面一部炭素吸着
101	土師器 壺	器 (5.0) 底 (4.4)	+3 +13 埋土 カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐色5YR-5/6 ④破片(底面)	外面胴部下位縦方向覆削り、内面器状工具による横溝で調整	砂底。外面横し状
102	土師器 壺	器 (4.9) 底 (4.0)	+2 +13.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい褐色5YR-5/4 ④破片(底面)	胴部縦方向、底部手持ち覆削り調整。内面器状工具による横溝で調整	
103	土師器 台付壺	器 (2.3) 高台径 (8.4)	+10	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(台部)	台部横溝で調整	
791	須恵器 杯	器 3.8 口 12.3 底 5.7		①細砂 ②還元 ③明褐色7.5YR-7/2 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	磨減著しい 歪み著しい

4 A 1区11号住居出土遺物 (第57図、PL56)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
104	土師器 杯	器 3.1 口 12.1	±0 +4.5 +6	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④㊦	口縁部外反気味横溝で、底部平底気味手持ち覆削り調整	
105	土師器 杯	器 (3.0) 口 (14.2)	-7.5 ±0 +0.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横溝で、底部平底気味体部下位から底部手持ち覆削り調整	
106	土師器 台付壺	器 (7.5) 高台径 (8.4)	+7 +33.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④㊦	外面胴部下位縦方向覆削り、内面胴部横方向覆削りで調整	
107	須恵器 杯	器 4.0 口 12.2	-0.5	①細砂 ②還元 ③灰褐色5YR-6/2 ④㊦	ロクロ成形。左回転糸切り	底6.4
108	須恵器 杯	器 4.0 口 12.3	-6	①細砂 ②還元 ③にぶい赤褐色5YR- ④㊦	ロクロ成形。左回転糸切り	内外面横し状底1.1
109	須恵器 杯	器 3.5 口 13.0	+1 +7 +18.5	①細砂 ②還元 ③にぶい褐色5YR-6/3 ④㊦	ロクロ成形。左回転糸切り	底6.0
110	須恵器 杯	器 (3.5) 口 (13.0)	+4	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。横溝で調整	
111	須恵器 高台付壺	器 (3.2) 高台径 (9.2)	表様	①細砂 ②還元 ③褐色7.5YR-6/1 ④㊦	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	外面底部磨書か
112	須恵器 高台付壺	器 (1.9) 底 (8.8)	+34	①細砂 ②還元 ③にぶい褐色5YR-6/3 ④㊦	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	内面黒色処理。磨書き
113	須恵器 杯蓋	器 3.1 杯蓋 (16.6)	-5 ±0 +1	①細砂 ②還元 ③にぶい褐色5YR-6/4 ④㊦	ロクロ成形。左回転糸切り。天井部磨なし	天井部磨書か

4 A 1区12号住居出土遺物 (第60図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
115	土師器 杯	器 (3.7) 口 (16.8)		①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④㊦	口縁部内彎気味横溝で、底部平底気味体部下位から底部手持ち覆削り調整	
116	土師器 壺	器 (8.7) 口 (20.4)	-1 +2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横溝で、外面胴部上位横方向覆削り内面胴部横方向覆削りで調整	内面炭素吸着
117	須恵器 杯蓋	器 (2.3) 杯蓋 (4.2)		①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④破片(天井部)	縦はリング状。天井部右回転覆削り調整	

4 A 1区13号住居出土遺物 (第64図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
119	須恵器 高台付壺	器 (5.1) 高台付壺 (14.6)	埋土	①細砂 ②還元 ③にぶい黄褐色10YR-7/2 ④㊦	ロクロ成形・回転糸切り。付高台	磨減高台径(6.0)
120	須恵器 高台付壺	器 (2.7) 高台径 (6.6)	+9	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④㊦	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	磨減。内外面横し状
123	羽釜	器 (8.6) 口 (21.6)	+10 +26	①粗砂 ②酸化 ③にぶい褐色7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁先端部内斜を呈す。肩はAタイプ。口縁部横溝で、胴部内外面横溝で調整	磨減著しい 肩径(28.8)

4 A | 区14号住居出土遺物 (第69図、PL56)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
124	須恵器 高台付碗	器 4.1 口 13.5 高台径 7.4	+15	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存 ①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/2 ④ㄥ	ロクロ成形回転糸切り。付高台	磨減著しい 外面炭素吸着
125	須恵器 高台付碗	器 5.0 口 14.0	+11.5	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄褐色10YR-7/4 ④ㄥ	ロクロ成形回転糸切り。付高台	磨減著しい 高台径6.8
126	須恵器 高台付碗	器 (4.2) 高台径 (7.0)	+17	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄褐色10YR-7/3 ④ㄥ	ロクロ成形回転糸切り。付高台	磨減著しい
127	須恵器 高台付碗	器 (2.5) 高台径 (7.0)	+14 +16	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄褐色10YR-5/4 ④ㄥ(底部)	ロクロ成形回転糸切り。付高台。底部側で調整	内面黒色細 処理見磨き
128	須恵器 羽釜	器 (7.5) 口 (22.0)	+24	①細砂 ②還元 ③薄灰10 YR-6/1 ④破片(口縁部)	口縁先端部平ら。脚はBタイプ。口縁部横 断で調整	
129	須恵器 甕	器 (14.5) 底 (12.5)	+13.5	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/2 ④破片(底部)	内外面無調整	
130	羽釜	器 (22.7) 口 (20.8)	-4.5 -0.5 -1 +14.5	①細砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④ㄥ	口縁部内側。脚はAタイプ。胴上位横断 で下位縦方向削り胴内面横方向度無で	一部炭素吸着 脚径(25.1)
131	土釜	器 12.7 口 17.2	+0.5 +10 +12	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6口縁部横断で。胴部上位 無で下位縦方向削り	内面一部削り胴内面横方向度無で底部 持ち直削り	炭素吸着
132	灰釉 高台付碗	器 (2.5) 高台径 (7.0)	+3.5	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/1 ④破片(底部)	ロクロ整形。高台は貼付。底部は回転へ ナダ。施釉方法は刷毛塗り。	光ヶ丘1号 窯式型
133	土師器 坏	器 (3.5) 口 (10.8)	-1	①粗砂 ②酸化 ③浅黄褐色 7.5YR-8/6 ④ㄥ	口縁部外反気味横断で。底部平底気味手持 ち直削り調整	
134	土師器 甕	器 (11.6) 口 (14.0)	+15 +16 +16	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横断で。胴上位を胴上位 横下位縦方向削り胴内面横方向度無で	内外面横し 状
135	土師器 甕	器 (8.5) 口 (15.0)	+15 +16 +16 +25	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横断で。胴部上位に張りをも つ	磨減著しい
1277	打製石斧	長さ 9.0 厚さ 2.6	-17	④ㄥ 石材重さ170g	バチ形を呈する	幅6.8

4 A | 区15号住居出土遺物 (第74図、PL56)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
136	土師器 坏	器 (3.5) 口 (12.8)	+15	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR7/4 ④ㄥ	口縁部内彎気味横断で。底部丸底気味手持 ち直削り調整	
137	土師器 甕	器 (5.2) 底 (6.2)	-2.5 ~ +22 (7個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(底部)	胴部縦方向。底部手持ち直削り調整。内面 度無で調整	底部赤灰
138	須恵器 甕	長さ (11.5) 厚さ 1.5	+6 ~ +27 (8個体)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/2 ④破片(胴部)	外面平行印き目。内面同心円当て目	
1296	打製石斧	長さ 4.7 厚さ 1.1		④破片 石材重さ30g	分剝形。打製石斧。エグレ部磨耗	幅5.0

4 A | 区16号住居出土遺物 (第79図、PL56)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
139	土師器 坏	器 (3.5) 口 (12.8)	+2 +4 +31	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④ㄥ	口縁部直立気味横断で。底部丸底気味手持 ち直削り調整	磨減。内面 口縁部横し 状
1218	鉄製品 刀子	長さ (8.5) 厚さ 0.4	-4		刃の先端が欠損。茎は長く刃部長と同じかや長いものと考えられる。 刃は他の刀子と同じく細長い。全体に小形の造りの刀子である	幅(1.4)

4 A | 区17号住居出土遺物 (第84図、PL56)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
141	須恵器 碗	器 6.5 口 16.3	+0.5 +1.5 +2 +4 +13 +14	①細砂 ②還元 ③薄灰7.5 YR-4/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	底8.1
142	須恵器 高台付碗	器 5.6 口 14.0	-1	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	外面口縁部 一部炭素吸着
143	土師器 甕	器 (5.0) 口 (13.0)	+23.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横断で。外面胴部上位横断 方向削り内面胴部横方向度無で調整	磨減著しい

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
144	土師器 罍	器 (4.4) 口 (20.0)	+8.5	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐色 YR-5/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向蓋削り内面胴部横方向蓋撫で調整	
1278	滑石製 紡錘車	径 4.0 厚さ 1.1	+14.5	④完形 石材重さ30g	断面台形を呈する。上面側は削痕多く見られる。底面平滑	孔0.6

4 A I 区18号住居出土遺物 (第89回, PL57)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
145	土師器 杯	器 3.6 口 12.4	+3~+35(8個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横撫で。底部平底気味手持ち蓋削り調整	磨滅著しい
146	土師器 杯	器 <2.9> 口 (12.0)	+33 +33.5 +34.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④㊦	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味体部下位から底部手持ち蓋削り調整	
147	須恵器 甕	器 <2.0> 口 (12.0)	+33	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/1 ④破片(胴部)	ロクロ成形横撫で。底部左回転蓋削り調整	

4 A I 区19号住居出土遺物 (第91回)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
118	土師器 罍	器 (4.7) 底 (5.0)		①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面蓋削り内面蓋撫で調整	
122	須恵器 甕	器 <1.9> 口 (13.8)	+25 +28 +39	①細砂 ②還元 ③にょい 黄7.5YR-6/3 ④㊦	器はリング状。天井部右回転蓋削り調整	鉋(4.9)
149	土師器 杯	器 <2.5> 口 (16.2)	+34	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち蓋削り調整	
150	土師器 杯	器 <3.0> 口 (14.8)	+28 +29	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④破片(口縁部)	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち蓋削り調整	磨滅著しい
151	土師器 罍	器 <3.1> 口 (25.2)	+26	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で調整	
152	土師器 罍	器 (4.2) 底 (6.0)	+3 +4	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(底部)	胴部縦方向、底部手持ち蓋削り調整内面胴部横方向蓋撫で調整	
153	須恵器 杯	器 <5.6> 口 (18.4)	+21 +29.5	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/1 ④破片(口縁・底部)	ロクロ成形横撫で調整	
154	須恵器 杯	器 <3.7> 口 (15.0)	+2 +11	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形横撫で調整	
155	須恵器 杯	器 <3.2> 底 (7.0)	+1埋土	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。底部周辺右回転蓋削り調整	
156	須恵器 杯	器 <1.6> 底 (11.6)	+27 +28	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④破片(底部)	ロクロ成形横撫で。外面底部手持ち蓋削り調整	
157	須恵器 罍	長 <6.4> 厚 0.8	+43	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④破片(胴部)	外面平打叩き目。内面同心円打目	

4 A I 区21号住居出土遺物 (第95~98回, PL56~58)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
160	土師器 杯	器 3.0 口 14.0	表採	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④㊦	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち蓋削り調整	
161	土師器 杯	器 <3.4> 口 (14.1)	-1 +0.5 +10 +11 +33	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④㊦	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち蓋削り調整	底 (12.2)
162	土師器 杯	器 <3.6> 口 (13.0)	+12.5 +27	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④㊦	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち蓋削り調整	内面磨滅底 (11.6)
164	土師器 杯	器 <3.0> 口 (12.0)	+13.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④㊦	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち蓋削り調整	内外面磨滅
165	土師器 杯	器 <4.1> 口 (14.2)	表採	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味体部下位から底部手持ち蓋削り調整	磨滅著しい
166	土師器 杯	器 <3.3> 口 (12.2)	+11 +18.3	①粗砂 ②酸化 ③改黄褐色7.5YR-8/4 ④㊦	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち蓋削り調整	磨滅著しい底 (7.0)
167	土師器 甕	器 <5.8> 口 (16.6)	-4 +29	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち蓋削り調整	
168	土師器 小型罍	器 <7.7> 口 (12.7)	+1.5 +13.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④㊦	口縁部外反気味横撫で。胴上位張り胴上位横方向蓋削り。胴内面横方向蓋撫で調整	外面胴部炭素吸着
169	土師器 罍	器 <8.5> 口 (20.5)	±0 +2.5 +2.5 +4.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④㊦	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向蓋削り内面胴部横方向蓋撫で調整	外面一部炭素吸着

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②酸化 ③色黄 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
170	土師器 甕	器 <8.2> 口 (17.6)	+6~+30(8個体)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④粗5YR-7/4 ⑤△	口縁部外反気味横線で、外面胴部上位横 方向削り内面胴部横方向削線で調整	内面横し状
171	土師器 甕	器 <16.4> 口 (21.0)	-6~+24.5 (9個体)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④粗7.5YR-7/4 ⑤△	口縁部外反気味横線で、胴上位張り胴上位 横下位縦方向削り胴内面横方向削線で	内外面一部 炭素吸着
172	土師器 甕	器 <7.00> 口 (21.0)	+5~+27.5 (9個体)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④粗5YR-4/6 ⑤破片(口縁部)	口縁部外反気味横線で、外面胴部上位横 方向削り内面胴部横方向削線で調整	内面一部磨 減
173	土師器 甕	器 <8.6> 口 (21.5)	+11 +13.5	①粗砂 ②酸化 ③粗5YR -7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横線で、外面胴部上位横 方向削り内面胴部横方向削線で調整	磨減著しい
174	土師器 甕	器 <10.6> 口 (21.0)	+11 +13.5 +24.5	①粗砂 ②酸化 ③粗7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横線で、外面胴部上位横 方向削り内面胴部横方向削線で調整	
175	土師器 甕	器 <4.80> 口 (22.0)	+24.5	①粗砂 ②酸化 ③粗7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横線で外面胴部上位横方 向削り調整	磨減
176	土師器 甕	器 <8.2> 口 (20.0)	+6 +14 +21	①粗砂 ②酸化 ③粗5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横線で外面胴部上位横方 向削り内面胴部横方向削線で調整	
177	土師器 甕	器 <24.2> 口 (21.0)	+7 +21 +21 +22.5 +23 +27	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④粗7.5YR-6/4 ⑤△	口縁部外反気味横線で、胴上位張り上位 横下位縦方向削り胴内面横方向削りで	内面横し状 磨減
178	土師器 小甕	器 <4.40> 口 (12.0)	+36	①粗砂 ②酸化 ③粗5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横線で、外面胴部上位横 方向削り内面胴部横方向削りで調整	外面磨減
179	土師器 甕	器 <3.00> 底 (10.0)	+6 +34	①粗砂 ②酸化 ③粗5YR -6/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部手持り削り内面削りで調 整	
180	土師器 甕	器 <3.40> 底 (5.0)	+10	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5 YR-5/8 ④破片(底部)	外面胴部・底部手持り削り内面削りで調 整	内外面横し 状
182	土師器 台付甕	器 <4.60> 高台径 (8.6)	+13	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④粗7.5YR-6/4 ⑤破片(台 部)	台部内外面横線で調整	
183	土師器 台付甕	器 <4.00> 高台径 (9.3)	+4 +4.5	①粗砂 ②酸化 ③粗5YR -6/6 ④破片(台部)	台部内外面横線で調整	
184	須恵器 坏	器 4.3 口 12.2	+1.5 +2 +2 +2.5 +46	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	底7.1
185	須恵器 坏	器 3.7 口 12.5	+15.5 +18.5	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形糸切り後、底部周辺左回転手持 り削り調整。底部厚く重い	底6.1
186	須恵器 坏	器 3.7 口 11.9	+10	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-5/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形糸切り後、底部周辺右回転手持 り削り調整	底6.7
187	須恵器 坏	器 <4.10> 口 13.6	+7.5	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/1 ④△	ロクロ成形。左回転糸切り	
188	須恵器 坏	器 <4.40> 口 (12.6)	+21.5	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/1 ④△	ロクロ成形。左回転糸切り	底 (6.0)
189	須恵器 坏	器 4.3 口 12.6	+36	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/1 ④△	ロクロ成形。左回転糸切り	底7.0
190	須恵器 坏	器 4.4 口 14.1	+4 +12 +15.5 +20	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/1 ④△	ロクロ成形。左回転糸切り	底6.8
191	須恵器 坏	器 4.5 口 12.4	+3 +10 +20 +32.5 +50	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④△	ロクロ成形。左回転糸切り	底7.1
192	須恵器 坏	器 <2.60> 底 (6.0)	+31	①細砂 ②還元 ③浅黄橙 7.5YR-8/4 ④△	ロクロ成形糸切り後、底部周辺右回転手持 り削り調整	
193	須恵器 坏	器 <3.60> 底 (8.0)	+21	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/2 ④△	ロクロ成形糸切り後底部周辺右回転手持 り削り調整	
194	須恵器 坏	器 3.7 口 11.3	+11.5 +15 +16 +21 +32.5	①細砂 ②還元 ③粗7.5 YR-7/6 ④△	高部右回転削り調整	内面黒色感 埋埋磨き
195	須恵器 坏蓋	器 2.9 口 13.3	-3 +20 +21	①細砂 ②還元 ③にぶい ④粗7.5YR-6/4 ⑤△	ロクロ成形。蓋はリング状天井部右回転削 り調整	
196	須恵器 坏蓋	器 <2.50> 口 (14.8)	-2 +5 +29	①細砂 ②還元 ③黄灰10 YR-6/1 ④△	ロクロ成形。蓋はリング状天井部回転削 り調整	天井部自然 釉付着
197	須恵器 坏蓋	器 <4.00> 口 (11.8)	+5 +11 +21 +38	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/2 ④破片(天井・端 部)	ロクロ成形。蓋は宝珠状天井部右回転削 り調整	
198	須恵器 坏蓋	器 <2.50> 口 (18.7)	+5 +14	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④破片(天井・端部)	ロクロ成形。蓋は宝珠状天井部右回転削 り調整	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
199	須恵器 坏蓋	器 <1.9> 口 (14.4)	+15 +25	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/2 ④ㄥ(紐欠損)	ロクロ成形。天井部右回転置削り調整	
201	須恵器 短頸砂壺	器 4.2 口 14.0	+12	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④ㄥ	ロクロ成形。紐はリング状	紐5.3
202	須恵器 長頸壺	器 <12.5> 口 (8.6) 頸 (6.0)	+7 +35	①細砂 ②還元 ③断面灰 黄2.5Y-7/2 ④ㄥ	ロクロ成形	外面胴部内 面口縁部自 然輪付着
203	須恵器 横瓶?	器 <30.1> 瓶 (12.7)	+12~+30 (10個体)	①細砂 ②還元 ③灰10 YR-6/1 ④ㄥ(頸・胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目。口縁部 横瓶で調整	外面胴部に タール付着
204	須恵器 壺	器 <6.7> 口 (24.0)	+20 +22.5	①細砂 ②還元 ③断面灰 白2.5Y-7/1 ④破片(口縁 部)	外面平行叩き目。口縁部反外気味横瓶で。胴部内外面ロクロ 調整	
205	須恵器 壺	器 <18.6> 口 (16.2)	-1+3~+24(24 個体)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④ㄥ	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目ロクロ 調整横瓶で	
312	須恵器 壺	器 <44.6> 口 (25.0)	-1 +1 +2 +6 +7 +10	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 YR-6/1 ④ㄥ(胴部)	外面平行叩き目。内面同心円当て目	外面自然剥 離(40.9)
1279	土師 土師	長さ (5.0) 幅 1.8	+15	④ほぼ完形	指撫で	表面磨減孔 0.2
1280	土師 土師	長さ (2.7) 幅 1.5	+10	④ㄥ	指撫で指おさえ	表面磨減孔 0.2
1281	土師 土師	長さ (4.9) 幅 1.8	+6	④ほぼ完形	指撫で	表面磨減孔 0.1
1282	土師 土師	長さ (5.1) 幅 2.7	-2	④完形	指撫で	表面磨減孔 0.2
1219	鉄製品 ノミ?	長さ (10.9) 厚さ 0.8	-2.5		おそらくノミの刃部及び基と考えられる。刃部は欠損があつてはつきり しないが細めのノミ工具と考えられる。基は太く胴部はしっかりとした つくりである	幅(1.2)
1221	鉄製品 釘	長さ (9.1) 厚さ 0.6	-23.5		大形の釘である。基途中から屈曲している基立てに木質の遺存はない	幅0.6

4 A I 区22号住居出土遺物 (第104・105図、PL58)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
206	須恵器 高台付椀	器 4.9 口 15.2 高台径 7.3	-2 +1 +2 +3.5 +8埋土	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/2 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転余切り付高台	磨減。内面 口縁上半部 かに僅し伏
207	須恵器 高台付椀	器 5.4 口 15.0	+1 +3 +15	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転余切り付高台	磨減著しい 高台径6.4
208	須恵器 椀	器 4.4 口 14.1	+32	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/2 ④ㄥ	ロクロ成形。左回転余切り	内面剝離底 6.0
209	須恵器 高台付椀	器 5.0 口 14.7	-2 +1 +3 +38.5	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/2 ④ㄥ	ロクロ成形余切り離し後付高台	磨減高台径 6.9
210	須恵器 高台付椀	器 (5.4) 口 (15.5) 高台径 (6.2)	+1 +4 +6 +9	①細砂 ②還元 ③に 黄橙10YR-7/2 ④ㄥ	ロクロ成形余切り離し後付高台	内外面底部 炭素吸着
211	須恵器 高台付椀	器 (4.6) 口 (12.4) 高台径 (6.8)	+1+10	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/2 ④ㄥ	ロクロ成形余切り離し後付高台	内外面底部 炭素吸着
212	須恵器 高台付椀	器 (4.1) 高台径 (6.3)	-4 +1 +3 +10 +21	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/2 ④ㄥ(口縁・底部)	ロクロ成形余切り離し後付高台	磨減著しい
213	須恵器 坏	器 3.8 口 13.2 底 6.0	+20	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/2 ④完形	ロクロ成形右回転余切り	磨減。内面 煤付着
214	須恵器 坏	器 (4.1) 口 (12.9)	-7 +8	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④ㄥ	ロクロ成形。左回転余切り	磨減底 (5.4)
216	須恵器 高台付皿	器 3.1 口 13.3	+27	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/2 ④ㄥ	ロクロ成形。左回転余切り付高台	
217	須恵器 高台付皿	器 3.1 口 12.9 高台径 5.8	-6 -5 -1.5	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/2 ④ほぼ完形	ロクロ成形余切り後付高台	磨減著しい 内面底部炭 素吸着
218	須恵器 高台付皿	器 2.4 口 12.9	-17 -10 -9.5	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④ㄥ	ロクロ成形余切り後付高台	磨減著しい 高台径6.0

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色面 ④焼存	成・整形技法の特徴	備考
219	須恵器 高台付皿	器 3.3 口 14.7	+21	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/2 ④ㄥ	ロクロ成形糸切り後付高台	磨減著しい 高台径7.0
220	灰釉陶器 高台付壺	器 (2.8) 高台径 (8.8)	+27	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/1 ④ㄥ(底部)	ロクロ整形、回転糸切り。高台は貼付、底部は回転ヘラナデ	内面底部外面一部釉かかる
221	須恵器 甕	器 (11.9) 口 (26.2)	+0.5	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/1 ④破片(口縁部)	紐作りロクロ成形。口縁先端部内斜を呈す調はAタイプ	磨減著しい
222	瓦	長さ (8.0) 厚さ 1.6	+28	①粗砂 ②中性 ③灰黄2.5 Y-8/4 ④破片	外面へラ調整内面布目圧成。橋巻も骨伏	幅(6.6)
223	土師器 小型壺	器 (4.6) 口 (12.0)	+28	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。内面割部横方向箇所調整	内外面一部炭素吸着。磨減
224	土師器 台付壺	器 (2.3) 高台径 (9.0)	-11	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④破片(台 部)	台部横撫で調整	
225	土師器 壺	器 (18.1) 口 (19.9)	-2+8	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④ㄥ	コの字状口縁。胴上位横下位縦方向両側り内面横方向朝毛目撫で	磨減著しい 胴部炭素吸着
226	土師器 壺	器 (6.5) 口 (18.2)	+11.5 +12 +24	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状。外面割部上位横方向両側り内面割部横方向両側り調整	磨減著しい
228	砥石	長さ (10.0) 厚さ 3.0	+9.5	④ㄥ 石材実質ダイヤト重さ430g	大形品。断面長方形。四側面使用。斜側面反り逆る	幅7.8
284	土師 甕	長さ (4.9) 幅 2.0	+17.5	④ㄥ	指撫で	表面磨減孔 0.25

4 A 1区23号住居出土遺物 (第110図、PL59)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色面 ④焼存	成・整形技法の特徴	備考
229	土師器 坏	器 (4.0) 口 (15.0)	+46 +49 +53.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④ㄥ	口縁部直立気味。底部丸底気味手持り両側り調整	磨減度 (12.5)
232	土師器 坏	器 (3.0) 口 (12.0)	+23	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④ㄥ	口縁部直立気味。底部平底気味手持り調整	
233	土師器 坏	器 (3.5) 口 (13.0)	+18	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙 7.5YR-8/4 ④破片(口縁 部)	口縁部直立気味。底部丸底気味手持り両側り調整	
235	土師器 壺	器 (5.9) 口 (13.2)	+7	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④破片(口縁 部)	口縁部外反気味横撫で。外面割部横方向両側り内面柳状工具による横撫で調整	
236	土師器 壺	器 (4.4) 底 (5.3)	+5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-5/4 ④破片(底 部)	内面両側り調整胴部縦方向、底部手持り両側り調整	
237	土師器 壺	器 (12.7) 口 (11.1)	+10 +27 +50	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④ㄥ(口縁・ 底部)	口縁部コの字状。胴部縦方向、底部手持り両側り調整	
238	須恵器 坏蓋	器 (2.2) 紐 (5.2)	+31	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -6/1 ④ㄥ	ロクロ成形紐はリング状。天井部右回転両側り調整	一条の陰帯あり
240	須恵器 坏蓋	器 (1.7) 紐 (5.2)	+28	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④破片(紐)	ロクロ成形紐はリング状。天井部右回転両側り調整	
241	須恵器 坏蓋	器 (2.0) 口 (16.2)	+54	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④破片(天井部)	ロクロ成形横撫でカエリあり。天井部回転伴う両側り調整	
242	須恵器 坏	器 (2.1) 底 (9.0)	+50	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/2 ④破片(底部)	ロクロ成形回転糸切り後。底部周辺右回転手持り両側り調整	
243	須恵器 坏	器 (3.6) 口 (14.0)	+7	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/2 ④ㄥ	ロクロ成形。左回転糸切り	磨減著しい
247	須恵器 坏	器 3.2 口 13.2	-1 +10 +12 +22	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④ㄥ	ロクロ成形。左回転糸切り	磨減
268	土師器 壺	器 (7.7) 口 (19.0)	+5 +30 +49	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-7/4 ④破片(口縁 部)	口縁部外反気味横撫で。外面割部上位横方向両側り調整	
271	土師器 小型台付壺	器 (10.5) 高台径 (9.6)	+6 +9 +18	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④ㄥ(下半部)	外面、割部上位横方向両側り下位縦方向両側り調整。内面、胴部横方向両側り調整	外面割部・底部炭素吸着

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②釉成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
477	須恵器 坏	口径 3.1 高さ 12.3	-33	①粗砂 ②還元 ③黒灰N -2/ ④ほぼ完成	ロクロ成形。左回転糸切り	底5.9

4 A I 区24号住居出土遺物 (第115図、PL59)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②釉成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
227	土師器 坏	口径 3.1 高さ 12.4	+3 +12	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④完成	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味体部 下位から底部手持ち削り調整	磨減底8.2
230	土師器 坏	口径 3.0 (12.0)	+5 +8	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-7/4 ④△	口縁部直立気味。底部平底気味手持ち削り 調整	磨減著しい
239	須恵器 坏蓋	口径 2.0 高さ (4.1)	+7	①粗砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④破片(底)	ロクロ成形紐はリング状。天井部右回転削 り調整	
244	須恵器 坏	口径 2.7 高さ (8.0)	+1	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y -7/2 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り後。底部周辺右 回転手持ち削り調整	断面にぶい赤 橙5YR-5/4
245	須恵器 坏	口径 3.9 (13.0)	+8	①粗砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形回転糸切り	
248	土師器 坏	口径 3.3 高さ 12.2	-2	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④△	口縁部外反気味。底部平底気味手持ち削り 調整	磨減底9.2
249	土師器 壺	口径 17.8 高さ (19.6)	-5 +4 +6 +8	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④△(上半部)	口縁部口の字状。外面胴部上位横方向下位 縦方向削り調整	磨減著しい
250	土師器 壺	口径 11.6 高さ (19.2)	+9 +19	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部口の字状。外面胴部上位横方向下位 縦方向削り調整	磨減著しい
251	土師器 壺	口径 9.7 高さ (21.2)	+10	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-6/4 ④破片(口 縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方 向削り調整	磨減
252	土師器 壺	口径 7.0 高さ (17.2)	±0 +5.5 +27	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	口縁部口の字状。外面胴部上位横方向削り 調整	磨減
253	土師器 壺	口径 5.5 高さ (23.2)	+1~+24(27個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部口の字状。外面胴部上位横方向削り 調整	磨減
254	土師器 壺	口径 5.6 高さ (17.4)	-1 ±0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部口の字状。外面胴部上位横方向削り 調整	磨減
255	土師器 壺	口径 6.3 高さ (19.4)	-7 +10	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(口縁部)	口縁部口の字状。外面胴部上位横方向削り 調整	磨減
256	土師器 壺	口径 14.8 高さ (19.4)	-7 -4 -1	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(上半部)	口縁部口の字状。外面胴部上位横方向削り 調整	磨減
257	須恵器 坏蓋	口径 4.7 高さ 17.3	+6	①粗砂 ②還元 ③褐灰10 YR-4/1 ④完成	ロクロ成形紐はボタン状。天井部右回転削 り調整	底4.2
258	須恵器 坏	口径 3.0 高さ 12.2	+4	①粗砂 ②還元 ③にぶい 赤褐5YR-5/4 ④△	ロクロ成形。左回転糸切り	底7.0
262	土師器 坏	口径 3.6 高さ 12.6	+1.5 +2	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④△	口縁部外反気味。底部平底気味手持ち削り 調整	磨減底8.1

4 A I 区25号住居出土遺物 (第117・121図、PL59)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②釉成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
265	土師器 坏	口径 3.0 高さ (14.0)	-1	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味。底部丸底気味手持ち削り 調整	
267	土師器 壺	口径 22.1	-37 -35 -32 +3 +10.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい YR-7/4 ④△(口縁部-底部) ⑤残存	外面胴部上位横方向下位縦方向削り調整	外面灰黄強 着
269	土師器 長壺	口径 4.5 高さ (20.5)	+1 +20	①粗砂 ②酸化 ③残存 7.5YR-8/4 ④破片(口縁 部)	口縁部外反気味横撫で調整	
270	土師器 壺	口径 2.3 高さ (4.0)	+11.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④破片(底 部)	外面胴部・底部削り内面旋削で調整	
274	須恵器 坏蓋	口径 2.0 高さ (16.0)	-22	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④△	天井部右回転削り調整	
231	土師器 坏	口径 2.9 高さ (13.0)	+49.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部内反気味。底部丸底気味手持ち削り 調整	

4 A | 区26号住居出土遺物 (第127・129～134区、PL59～62)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②構成 ③色面 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
260	土師器 坏	器 2.9 口 13.0	-61.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④完形	口縁部直立気味。底部平高気味手持ち寛削り調整	底10.2
261	土師器 坏	器 3.5 口 13.5	-55	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味。底部平高気味手持ち寛削り調整	底9.8
263	土師器 坏	器 (3.3) 口 (13.2)	+2	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-7/8 ④㊦	口縁部直立気味。底部平高気味手持ち寛削り調整	
272	須恵器 坏蓋	器 2.5 口 14.0	-50 -49 -40	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄橙10YR-7/3 ④ほぼ完形	蓋はリング状。天井部右回転削り調整	紐4.0
273	須恵器 坏蓋	器 (2.0) 口 (14.0)	-49 -44 -41	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④㊦(傾欠損)	天井部右回転削り調整	
275	須恵器 坏蓋	器 3.9 口 18.3	+28 +30	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/2 ④㊦	クロロ成形成はリング状。天井部左回転削り調整	外面一部白 然釉付着
276	須恵器 坏蓋	器 3.0 口 19.4	±0 +11 +11.5 +12 +16	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④㊦	クロロ成形成はリング状。天井部右回転削り調整	
277	須恵器 坏蓋	器 2.2 口 14.0	+23	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④㊦	クロロ成形成はリング状。天井部右回転削り調整	紐3.8
279	須恵器 坏蓋	器 (2.0) 口 (14.4)	+6 +37.5	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④㊦	クロロ成形成はリング状。天井部右回転削り調整	紐(4.0)
280	須恵器 坏蓋	器 (3.0) 口 (15.2)	+10.5 +31	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/1 ④㊦	クロロ成形成はリング状。天井部右回転削り調整	
281	須恵器 坏蓋	器 (3.4) 口 (16.8)	+27	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④㊦	クロロ成形成は宝珠状。天井部右回転削り調整	
282	須恵器 坏蓋	器 (2.5) 口 (18.0)	+25	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④㊦	クロロ成形成はリング状。天井部右回転削り調整	紐(3.9)
283	須恵器 坏蓋	器 (1.0) 紐 (5.3)	+2.5	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/1 ④破片(紐)	蓋はリング状。天井部右回転削り調整	内面天井部 重ね焼き痕 あり
284	須恵器 坏蓋	器 (1.7) 口 (16.0)	+6 +7 +12	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄橙10YR-7/2 ④㊦(傾欠損)	クロロ成形成天井部回転糸切り後天井部右回転削り調整	
285	須恵器 坏蓋	器 (2.7) 口 (22.0)	+2	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/1 ④破片(端部)	クロロ成形成天井部右回転削り調整	
286	須恵器 坏蓋	器 (2.6) 口 (20.0)	+0.5 +2 +2.5	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/1 ④破片(端部)	クロロ成形成	端部繊維痕
288	須恵器 短瓶状蓋	器 (2.5) 口 (14.0)	+8 +23	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④破片(端部)	クロロ成形成天井部右回転削り調整	
289	須恵器 坏	器 6.0 口 16.2	+3 +6 +7 +8 +20+30	①細砂 ②還元 ③橙5YR -6/8 ④㊦	クロロ成形成底部手持ち寛削り調整	内面磨き 黒色処理
290	須恵器 坏	器 4.3 口 13.5	+21	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄橙10YR-7/2 ④ほぼ完形	クロロ成形成。左回転糸切り	外面一部黒 漆敷着。底8.9
291	須恵器 坏	器 3.7 口 13.5	+6	①細砂 ②還元 ③灰黄7.5 YR-6/2 ④ほぼ完形	クロロ成形成。左回転糸切り	底7.2
292	須恵器 坏	器 3.0 口 12.4	+20	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/2 ④ほぼ完形	クロロ成形成。左回転糸切り	内面磨減
293	須恵器 坏	器 3.8 口 12.5	+26	①細砂 ②還元 ③褐灰10 YR-5/1 ④㊦	クロロ成形成回転糸切り	
294	須恵器 坏	器 (3.4) 口 (13.0)	+28 +29	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④㊦	クロロ成形成回転糸切り	
295	須恵器 坏	器 6.4 底 4.5	+18	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④㊦	クロロ成形成。左回転糸切り口縁下部左回転削り調整	長岡京(吉 井産)
296	須恵器 坏	器 3.6 口 13.8	+26	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/1 ④ほぼ完形	クロロ成形成回転削り後底部周辺右回転手持ち寛削り調整	底8.7
297	須恵器 坏	器 3.4 口 13.2	+23 +35	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5 YR-6/1 ④㊦	クロロ成形成回転削り後底部周辺右回転手持ち寛削り調整	底9.0
298	須恵器 坏	器 (2.3) 底 (9.6)	+5	①細砂 ②還元 ③褐灰10 YR-6/1 ④㊦	クロロ成形成。左回転糸切り後底部周辺右回転手持ち寛削り調整	
299	須恵器 坏	器 (3.2) 口 (13.1)	+2 +15 +20.5	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④㊦	クロロ成形成回転糸切り後底部周辺右回転手持ち寛削り調整	
300	須恵器 坏	器 (3.7) 口 14.2	-1 +1 +3 +4 +8 +19	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④㊦	クロロ成形成底部右回転削り調整	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②還元 ③色黄 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
301	須恵器 坏	器 <3.5> 口 13.6	-14	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④少	ロクロ成形底部及び底部周辺左方向回転調整	
302	須恵器 坏	器 <4.2> 口 (10.4)	+4 +9	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④少	削り出し高台底部及び底部周辺右方向回転調整	
303	須恵器 坏	器 <3.5> 口 (11.8)	+12~+28.5 (7個体)	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/1 ④少	ロクロ成形回転糸切り後底部周辺右回転手持ち調整	
304	須恵器 椀	器 <6.4> 口 (14.8)	-5 +23.5 +29	①細砂 ②還元 ③褐灰10 YR-4/1 ④少	ロクロ成形回転糸切り。口縁部水平	
305	須恵器 椀	器 5.7 口 15.7	±0~+3	①細砂 ②還元 ③褐灰10 YR-5/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形底部周辺右回転手持ち調整	底みあり底 9.4
306	須恵器 高台付椀	器 7.2 高台径 16.8	+11	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形回転糸切り付高台底部撫で調整	高台径10.0
307	須恵器 高台付杯	器 4.7 口 10.6	+11.5	①細砂 ②還元 ③灰白N -7/ ④ほぼ完形	ロクロ成形回転糸切り付高台	底6.4
308	須恵器 高台付杯	器 4.0 口 11.0	+10 +30	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④少	ロクロ成形回転糸切り付高台	高台径7.4
309	須恵器 高台付杯	器 <2.1> 高台径(14.0)	+42	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④破片(底部)	ロクロ成形付高台底部周辺右回転手持ち調整	
310	須恵器 鉢	器 11.2 口 21.8	-15 +4 +5 +12.5	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④少	平底。ロクロ調整で短い口縁部が外反する	
311	須恵器 壺	器 30.9 底 19.0	+4~+35 (21個体)	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④少(口縁・底部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目底部平底気味	
313	須恵器 壺	口 (22.9) 厚み 1.0	-4+13~+31(14 個体)	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④破片(口縁・胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	外面胴部自然 輪付着
314	須恵器 壺	長さ <9.7> 厚み 0.9	±0~+34 (10個体)	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/1 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	
315	須恵器 壺	長さ <9.2> 厚み 1.2	+4	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。五本一單位の櫛状工具4段状 状文施す	
316	須恵器 壺	口 (19.8) 厚み 1.1	+18 +20 +21	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(口縁・胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目の後 で。口縁部撫で調整	
317	須恵器 壺	器 <4.8> 口 (21.4)	+7 +20	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(口縁部)	口縁部撫で調整	No.318と同 一か
318	須恵器 壺	厚み上部0.6 厚み下部0.9	±0~+32 (10個体)	①細砂 ②還元 ③褐灰10 YR-6/1 ④破片(胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目	
319	須恵器 壺	厚み 0.7	-1±0~+27(32 個体)	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR -6/1 ④破片(口縁・胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目胴部外面 撫で。口縁部撫で調整	
324	土師器 坏	器 2.9 口 13.2	+9	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち調整	磨減底10.0
325	土師器 坏	器 3.4 口 13.0	+7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち調整	磨減底9.6
326	土師器 坏	器 3.0 口 13.5	+7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち調整	磨減底8.7
327	土師器 坏	器 3.2 口 13.2	+12.5 +13	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち調整	磨減底8.5
328	土師器 坏	器 3.2 口 12.9	+1 +5 +6 +13	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち調整	磨減底10.8
329	土師器 坏	器 2.9 口 13.3	+5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④少	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち調整	底9.7
330	土師器 坏	器 3.2 口 12.6	+3.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④少	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち調整	底9.9
331	土師器 坏	器 <3.2> 口 12.9	+22 +28 +29	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④少	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち調整	磨減底11.2
332	土師器 坏	器 3.5 口 12.7	+23 +25	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④少	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち調整	磨減底8.6
333	土師器 坏	器 <2.8> 口 (12.8)	+13	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④少	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち調整	磨減底 (10.6)
334	土師器 坏	器 3.5 口 13.9	+16 +17 +18	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④少	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち調整	磨減底11.2
335	土師器 坏	器 3.0 口 14.0	±0 +9	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④少	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち調整	磨減底9.3

遺物観察表

番号	型輪・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色相 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
336	土師器 杯	器 3.5 口 12.8	±0 +7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち荒削り調整	磨減底11.2
337	土師器 杯	器 (3.0) 口 (12.2)	+3	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち荒削り調整	磨減底 (9.3)
338	土師器 杯	器 3.5 口 13.0	-1 +1 +18	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち荒削り調整	磨減底9.7
339	土師器 杯	器 (3.0) 口 (13.0)	+4 +8.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち荒削り調整	磨減
340	土師器 杯	器 3.4 口 13.0	±0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち荒削り調整	磨減底11.8
341	土師器 杯	器 3.0 口 13.2	+10.5 +17	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち荒削り調整	磨減底11.1
342	土師器 杯	器 (2.9) 口 13.0	+8 +10	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち荒削り調整	磨減著しい
343	土師器 杯	器 (2.3) 口 (13.0)	±0 +5 +20	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち荒削り調整	磨減底 (12.0)
344	土師器 杯	器 (3.3) 口 (12.0)	+22	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち荒削り調整	磨減底 (9.8)
346	土師器 杯	器 (2.9) 口 (13.2)	+1.5 +9 +16	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち荒削り調整	磨減。内外面 一部炭素吸着
347	土師器 杯	器 (3.0) 口 (13.2)	+20.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち荒削り調整	磨減底 (10.4)
348	土師器 杯	器 3.3 口 11.9	+32	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/3 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち荒削り調整	磨減底9.0
349	土師器 杯	器 (2.8) 口 (12.4)	+4	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち荒削り調整	磨減
350	土師器 杯	器 3.9 口 13.3 底 8.0	+7 +15	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち荒削り調整	磨減。内面放射状炭研磨
351	土師器 杯	器 3.5 口 12.9 底 7.5	+3 +11 +12	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち荒削り調整	磨減。内面放射状炭研磨
352	土師器 杯	器 3.8 口 13.5 底 7.0	+9 +15 +23	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち荒削り調整	磨減著しい。内面放射状炭研磨
353	土師器 杯	器 (4.3) 口 (13.2) 底 (7.2)	+16	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち荒削り調整	磨減。内面放射状炭研磨
354	土師器 杯	器 (4.0) 口 (13.0) 底 (6.8)	+29.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち荒削り調整	内面放射状炭研磨。外面炭素吸着
355	土師器 杯	器 (3.0) 口 (12.4)	+8 +9	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち荒削り調整	磨減。内面放射状炭研磨
356	土師器 杯	器 3.5 口 13.1 底 6.5	+3 +6 +20	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち荒削り調整	磨減著しい。内面放射状炭研磨
357	土師器 杯	器 (3.5) 口 (12.0)	+13 +18	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-6/4 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち荒削り調整	磨減。内面放射状炭研磨
359	土師器 杯	器 (3.5) 口 (11.0) 底 (6.7)	+22	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち荒削り調整	磨減。内面放射状炭研磨
360	土師器 杯	器 (3.2) 口 (12.6)	+33	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち荒削り調整	磨減。内面放射状炭研磨
361	土師器 杯	器 (4.0) 口 (14.2)	+16	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち荒削り調整	磨減。内面放射状炭研磨
362	土師器 杯	器 (3.0) 口 (12.4) 底 (8.1)	+15	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部下位から底部手持ち荒削り調整	磨減著しい。内面放射状炭研磨
363	土師器 盤	器 (1.9) 口 (17.0)	+25	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち荒削り調整	磨減著しい。底部炭吸着

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色面 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
364	土師器 罎	器 (5.2) 口 (17.0) 底 (9.8)	+31	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味体部 下位から底部手持ち寛削り調整	磨滅。内面 放射状寛研
365	土師器 鉢	器 11.7 口 23.2	-1 +2 +5 +6 +12.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④ほぼ充形	口縁部外反気味横撫で。外面胴部・底部 削り、内面寛撫で調整	
366	土師器 鉢	器 (9.4) 口 (22.8)	+15 +28 +30	①粗砂 ②酸化 ③に 橙7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	口縁部直立気味横撫で胴部外面縦方向寛削 り、内面縦方向寛撫で調整	
367	土師器 小型壺	器 (5.8) 口 (14.2)	+1 +15 +18 +19 +27.5 +28	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④△(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部縦方向 削り内面胴部縦方向寛撫で調整	磨滅
368	土師器 小型壺	器 (5.7) 口 (17.0)	+5 +8	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部縦方向 削り内面胴部縦方向寛撫で調整	
369	土師器 壺	器 (16.0) 口 (20.5)	±0 +1 +3 +14 +22 +25 +30.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△(上半部)	口縁部外反気味横撫で。胴上位横・下位縦・ 底部寛削り胴内面縦方向寛撫で調整	外面胴部状 表吸着
370	土師器 壺	器 (14.1) 口 (21.2)	+19~+27.5(8個 体)-4	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△(上半部)	口縁部コの字状横撫で。胴上位横・下位縦・ 底部寛削り胴内面縦方向寛撫で調整	磨滅
371	土師器 壺	器 (7.5) 口 (24.8)	-1 +6 +16 +19	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部縦方向 削り内面胴部縦方向寛撫で調整	
372	土師器 壺	器 (8.1) 口 (22.0)	+10~+32.5 (13個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部縦方向 削り内面胴部縦方向寛撫で調整	
373	土師器 壺	器 (5.2) 口 (22.0)	-1 +8 +12.5 +19	①粗砂 ②酸化 ③に 橙7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部縦方向 削り内面胴部縦方向寛撫で調整	
374	土師器 壺	器 (10.7) 口 (18.0)	+20	①粗砂 ②酸化 ③に 橙7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部縦方向 削り内面胴部縦方向寛撫で調整	外面胴部一 部表裏吸着
375	土師器 壺	器 (5.4) 口 (19.0)	+19	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部縦方向 削り内面胴部縦方向寛撫で調整	磨滅
376	土師器 広口壺	器 (7.5) 口 (19.6)	-10 ±0 +0.5 +1.5+2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部縦方向 削り内面胴部縦方向寛撫で調整	
377	土師器 広口壺	器 (8.1) 口 (23.0)	+12	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部縦方向 削り内面胴部縦方向寛撫で調整	
378	土師器 小型壺	器 (4.0) 口 (11.0)	+26.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部縦方向 削り内面胴部縦方向寛撫で調整	
379	土師器 広口壺	器 (9.0) 底 (7.0)	-0.5~+3.6 (13個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△(底部)	外面胴部・底部寛削り内面寛撫で調整	外面底面吸 着
380	土師器 壺	器 (11.5) 底 (5.5)	+18 +25	①粗砂 ②酸化 ③に 橙7.5YR-7/4 ④破片(下 半部)	外面胴部・底部寛削り内面寛撫で調整	磨滅
381	土師器 壺	器 (3.7) 底 (6.0)	±0+23	①粗砂 ②酸化 ③に 橙7.5YR-7/4 ④破片(底 部)	外面胴部・底部寛削り内面寛撫で調整	
382	土師器 壺	器 (2.0) 底 (6.2)	-4.5 ±0	①粗砂 ②酸化 ③浅黄緑 7.5YR-8/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部寛削り内面寛撫で調整	外面底部黒 斑
383	土師器 広口壺	器 (4.2) 底 (7.5)	+3 +4 +4.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部寛削り内面寛撫で調整	外面底部黒 斑
384	土師器 広口壺	器 (2.2) 底 (8.0)	+5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部寛削り内面寛撫で調整	外面底部黒 斑
385	土師器 台付壺	器 (6.5) 高台径(10.8)	+7.5 +12	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(台部)	台部横撫で調整	磨滅
386	土師器 台付壺	器 (2.8) 高台径(8.4)	+20.5	①粗砂 ②酸化 ③に 橙7.5YR-7/4 ④破片(台 部)	台部横撫で調整	磨滅
387	土師器 壺	器 (3.5) 底 (6.0)	+5 +7	①粗砂 ②酸化 ③に 橙7.5YR-7/4 ④破片(底 部)	胴部外面縦方向寛削り内面縦方向寛撫で底 部焼成前の穿孔鋭切り調整	外面一部黒 斑
414	土師器 坏	器 (2.7) 口 (12.0)	+16	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手 持ち寛削り調整	磨滅著しい 底部黒斑
1222	鉄製品 板状鉄	長さ(4.6) 厚さ 0.4	+21.5		用途不明の鉄製板状品。外側縁も一部生きているものがあるが、その形 状は不定形である。厚みは20.4mmでかなりあり本来的にこの程度の厚さを 有していたものと考えられる	類(7.5)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②胎成 ③色調 ④胎存	成・整形技法の特徴	備考
1223	鉄製品 刀子	長さ (6.3) 厚さ 1.1	+0.5		刃のほとんどを欠失している。茎は細長く胴部から茎の一部にかけて木質が遺存しており柄の状況が一部復元できる角材である	幅1.1
1224	鉄製品 鉄鏃	長さ (6.9) 厚さ 0.8	+24.5		茎部の一部及び茎を欠失している。刃部は鑿削式と思われる先端部の極一部のみ刃を有するものである。鏃身間は鑿削で胴部の退化が認められる	幅0.8
1225	鉄製品 釘	長さ 5.8 厚さ 0.6	+19		釘の茎と考えられる。頭部及び先端部が欠失している。断面長方形のやや細めのつくりで屈曲している	幅0.6
1226	鉄製品 棒状鉄	長さ (4.4) 厚さ 0.7	+22.5		釘の茎と考えられる。断面四角形のしっかりとしたつくりで、両端は欠失している。木質の遺存はない	幅0.8
1227	鉄製品 板子	長さ (7.8) 厚さ 0.3	+13		つまみの部分が一部欠失している。全体に厚手の造りでつまみ端部は細く仕上げた	幅0.3
1228	鉄製品 釘	長さ (3.5) 厚さ 0.5	+16		釘の茎である。頭部及び先端部を欠失している。断面正方形のしっかりとした造りだが途中より屈曲している	幅0.5
1285	土鏡	長さ 4.3 幅 1.7	+27	④完形	脂蝕で	表面磨滅孔 0.6

4 A 1 区28号住居出土遺物 (第141・143区、PL62・63)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②胎成 ③色調 ④胎存	成・整形技法の特徴	備考
390	須恵器 高台付椀	器 5.2 口 14.2	+11	①細砂 ②還元 ③灰白10 Y-7/1 ④㊦	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨滅著しい 高台径6.4
381	須恵器 坏	器 3.3 口 12.4 底 4.8	+7.5	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄緑10YR-7/2	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい 内外面一部 横し状
392	須恵器 坏	器 4.4 口 12.3 底 5.7	+5.5	①細砂 ②還元 ③明黄褐 10YR-7/6 ④完形	ロクロ成形。左回転糸切り	内面底部黒 新内面口唇 部保付着
393	須恵器 坏	器 4.1 口 12.9	-5	①細砂 ②還元 ③伏黄2.5 Y-7/2 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい 底5.6
394	須恵器 高台付椀	器 <4.2> 高台径 7.1	+14.5	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄緑10YR-6/3 ④㊦(口縁 部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台。高台は粗雑な作り。	内面横付着 外面横し状
395	須恵器 高台付皿	器 <2.9> 口 (13.4) 高台径 (6.1)	+3 +5.5	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄2.5Y-6/3 ④㊦	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	口縁一部炭 素吸着
396	須恵器 高台付椀	器 <4.4> 口 (14.6) 高台径 (7.0)	+5 +19	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/2 ④㊦	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨滅著しい 内面底部黒 斑
397	須恵器 高台付椀	器 5.3 口 14.7 (10個体)	-10~-+16.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④㊦	ロクロ成形回転糸切り付高台	高台径6.2
398	須恵器 高台付椀	器 <4.7> 口 (15.6) 底 (6.0)	+13 +13.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/2 ④㊦(高台部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	磨滅著しい 内外面一部 黒斑
399	須恵器 高台付椀	器 5.2 口 14.3	-5 +11	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/3 ④㊦	ロクロ成形回転糸切り付高台口縁部横蝕 調整	磨滅著しい 高台径7.1
400	須恵器 高台付椀	器 <5.2> 口 (14.0)	+2 +15	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/3 ④㊦	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨滅著しい 高台径(7.0)
401	須恵器 高台付椀	器 <5.3> 口 (14.6)	+6 +11.5	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄2.5Y-6/3 ④㊦	ロクロ成形回転糸切り付高台	内面底部黒 斑高台径(6.7)
403	須恵器 坏	器 <3.8> 口 (12.8) 底 (6.0)	-9 -1 +10	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/4 ④㊦	ロクロ成形。左回転糸切り	磨滅著しい 内外一部黒 斑
404	須恵器 坏	器 <3.3> 口 (12.4)	-23 -9.5 +17.5	①細砂 ②還元 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁・底 部)	ロクロ成形。左回転糸切り	底 (5.2)
405	土師器 壺	器 <22.0> 口 19.5 (12個体)	-2~-+19	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④㊦	口縁部コの字状横溝で。胴上位横・下位縦 腹方向凹削り内面横方向刷毛目横溝で	内外面一部 炭素吸着
406	土師器 壺	器 (12.0) -11 ±0 +2 +10 口 (20.9) +13		①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④㊦(上半部)	口縁部コの字状横溝で。胴上位横・下位縦 腹方向凹削り内面横方向凹削り	磨滅。胴部 炭素吸着
407	土師器 壺	器 <8.2> -1 +4 +5 +6.5 口 (29.0)		①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④㊦(口縁部)	口縁部コの字状横溝で。外面胴部上位横方 向凹削り内面胴部横方向凹削りで調整	やや磨滅
408	土師器 壺	器 <7.3> 口 (24.0)	-6 ±0 +5 +15.1	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横溝で。外面胴部上位横方 向凹削り内面胴部工具による横溝で	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色画 ④洗存	成・整形技法の特徴	備考
409	土師器 壺	器 (9.3) 口 (20.0)	+1 +5	①粗砂 ②酸化 ③焼7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方 向箇所内面磨状工具による横撫で	やや磨減
410	土師器 壺	器 (4.9) 口 (20.0)	+10	①粗砂 ②酸化 ③焼7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方 向箇所内面胴部横方向箇所調整	
411	土師器 壺	器 (4.6) 底 (4.4)	-8	①粗砂 ②酸化 ③明焼7.5 YR-5/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部箇所内面箇所調整	外面底部磨 減
412	土師器 壺	器 (3.7) 底 (3.6)	+13.5 +15	①粗砂 ②酸化 ③焼7.5 YR-4/3 ④破片(底部)	外面胴部・底部箇所内面箇所調整	外面炭素吸 着
1230	鉄製品 刀子	長さ 21.3 厚さ 0.6	-2	完全。刃は長く細い。特に刃先付近は極めて研磨により細くなったもの と思われる。茎も長めで同関を呈する。全体に大形のつくりである。柄 に木質の遺存は認められない		柄 1.6

4 A 1 区29号住居出土遺物 (第146図、PL63)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色画 ④洗存	成・整形技法の特徴	備考
421	土師器 壺	器 (4.3) 口 (16.0)	+22 +24	①粗砂 ②酸化 ③に 赤焼7.5 YR-5/4 ④破片 (口縁部)	口縁部コの字状横撫で調整	
416	須恵器 環	器 3.3 口 12.0 底 7.0	-6	①細砂 ②還元 ③焼5YR -6/6 ④	ロクロ成形。左回転糸切り	内面一部 炭素吸着

4 A 1 区30号住居出土遺物 (第151・152図、PKL63)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色画 ④洗存	成・整形技法の特徴	備考
278	須恵器 環蓋	器 5.0 口 17.2	-18 +17	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④	ロクロ成形はリング状。天井部右回転底 削り調整	芯みあり 底 3.7
320	須恵器 壺	器 (5.7) 口 (21.7)	-1	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	内面口縁部 自然輪付着
413	土師器 環	器 3.2 口 12.0	-8 +1.5	①粗砂 ②酸化 ③黄焼7.5 YR-7/8 ④	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持 ち箇所調整	磨減著しい
415	須恵器 環	器 3.9 口 12.4	+3 +12 +13 +27 +28	①細砂 ②還元 ③灰10Y -5/1 ④	ロクロ成形。左回転糸切り	底部厚い底 7.1
417	須恵器 環	器 (4.1) 口 (12.6)	+5	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④	ロクロ成形回転糸切り	磨減著しい
418	須恵器 高台付轆	器 (2.4) 高台径 (8.4)	+18	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/2 ④(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	
419	須恵器 高台付轆	器 (3.8) 高台径 (8.8)	+10	①細砂 ②還元 ③に 黄焼10YR-6/3 ④(底 部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台。やや高 い高台。底部に厚みを持つ 部	
420	須恵器 環蓋	器 2.7 口 18.0	+24	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④(最大径)	ロクロ成形回転糸切り。天井部一部手持ち 箇所調整	
422	土師器 環	器 3.0 口 12.1	+8 +12.5 +34	①粗砂 ②酸化 ③焼5YR -6/6 ④	口縁部外反気味先端内側横撫で。底部平底 手持ち箇所調整	磨減著しい 底7.5
423	土師器 環	器 (3.0) 口 (12.0)	+10 +24.5	①粗砂 ②酸化 ③黄焼7.5 YR-7/8 ④	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持 ち箇所調整	磨減著しい
424	土師器 環	器 (3.0) 口 (12.0)	+24	①粗砂 ②酸化 ③焼5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持 ち箇所調整	
425	土師器 環	器 (3.1) 口 (12.6)	+6.5 +10	①粗砂 ②酸化 ③焼5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持 ち箇所調整	磨減著しい
426	須恵器 環	器 3.8 口 12.1	±0	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/2 ④ほぼ完成	ロクロ成形。左回転糸切り	磨減著しい 底6.6
427	須恵器 環	器 3.3 口 12.6 底 6.4	+11	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-5/1 ④ほぼ完成	ロクロ成形。左回転糸切り	磨減著しい 外面炭化物 付着
428	須恵器 環	器 3.2 口 12.5	+14 +15.5 +24.5	①細砂 ②還元 ③灰10Y -4/1 ④ほぼ完成	ロクロ成形。左回転糸切り	
429	須恵器 環	器 3.1 口 12.3	+3.5	①細砂 ②還元 ③灰白10 Y-7/1 ④	ロクロ成形。左回転糸切り	磨減著しい
430	須恵器 環	器 (3.0) 底 (8.3)	+18 +24.5	①細砂 ②還元 ③灰白10 Y-7/1 ④破片(底部)	ロクロ成形回転糸切り	
431	須恵器 環	器 (3.9) 口 (12.0)	+12	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/1 ④	ロクロ成形回転糸切り	磨減著しい 底 (8.8)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
432	須恵器 碗	高さ 6.9 口径 14.4	-1.5 -1	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	高台径7.6
433	須恵器 高台付碗	高さ 6.2 口径 14.2	±0 +8 +15 +24	①細砂 ②還元 ③灰10Y-6/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	高台径7.2
434	須恵器 高台付碗	高さ 2.2 口径 (7.8)	+4	①細砂 ②還元 ③灰10Y-5/1 ④(口縁部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	
435	須恵器 坏	高さ (3.3) 口径 (11.8)	+9 +10	①細砂 ②還元 ③灰10Y-5/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形	
436	須恵器 坏蓋	高さ (2.0) 口径 3.2	+26	①粗砂 ②還元 ③灰白7.5Y-8/1 ④(天井部)	ロクロ成形蓋はボタン状天井部右回転蓋削り調整	磨減著しい
443	土師器 甕	高さ (20.5) 口径 4.0	-1~+28 (12個体)	①粗砂 ②酸化 ③灰7.5YR-6/6 ④(口縁部欠損)	胴上部張る。胴上位横・下位縦・底部置削り胴内面横方向調整で	磨減著しい 一部炭灰吸着
444	土師器 甕	高さ (9.8) 口径 (19.8)	+4~+19.5 (9個体)	①粗砂 ②酸化 ③灰7.5YR-6/8 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横溝で。外面胴部上位横方向削り内面胴部横方向調整で調整	磨減著しい
445	土師器 甕	高さ (7.0) 口径 (20.0)	+15 +16 +17 埋土	①粗砂 ②酸化 ③灰7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横溝で外面胴部上位横方向削り内面胴部横方向調整で調整	
446	土師器 甕	高さ (2.8) 口径 (4.0)	+21 +22.5	①粗砂 ②酸化 ③灰7.5YR-6/6 ④破片(底部)	内面調整で調整	磨減著しい
447	土師器 甕	高さ (7.8) 口径 (4.0)	+8 +11.5 +18 +20.5	①粗砂 ②酸化 ③灰7.5YR-4/3 ④破片(底部)	内面調整で調整	
448	土師器 小型台付甕	高さ (9.5) 口径 (14.0)	+0.5~+21 (12個体)	①粗砂 ②酸化 ③明濁7.5YR-5/6 ④(上半部)	口縁部コの字状横溝で。胴上位張る。胴上位横・下位縦方向削り内面横方向調整で	やや磨減一部炭灰吸着

4 A I 区32号住居出土遺物 (第156図、PL63・64)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
451	須恵器 高台付碗	高さ 5.1 口径 13.6	+1	①細砂 ②還元 ③(5)に 灰2.5Y-6/3 ④ほぼ完形	ロクロ成形回転糸切り付高台	内外面一部 埋付着。磨減
452	須恵器 高台付碗	高さ 5.7 口径 15.8	+4 +4.5 +6	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④(口縁部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	やや磨減 高台径6.9
453	須恵器 高台付碗	高さ 4.6 口径 14.6	+3.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④(口縁部)	ロクロ成形。左回転糸切りの後付高台。高台は粗雑な作り	磨減著しい 高台径8.1
454	須恵器 高台付碗	高さ (3.6) 口径 (14.3)	-1	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形	
455	須恵器 坏蓋	高さ (1.6) 口径 (14.1)	+19	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-4/1 ④破片(底部)	ロクロ成形天井部右回転蓋削り調整	
456	須恵器 高台付皿	高さ 2.7 高台径 7.0	+3	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/4 ④完形	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	磨減著しい 内外面一部 焼し状
457	土師器 甕	高さ (12.1) 口径 (20.9)	-5~+1.5 (6個体)	①粗砂 ②酸化 ③灰7.5YR-6/8 ④(口縁部)	口縁部コの字状横溝で。胴上位横・下位縦方向削り。内面胴部横方向調整で	
458	土師器 坏	高さ 3.1 口径 12.6	+10 +13 +14	①粗砂 ②酸化 ③灰7.5YR-6/8 ④(口縁部)	口縁部直立気味横溝で。底部平底手持ち磨削り調整	磨減著しい
459	土師器 小型甕	高さ (6.5) 口径 (11.6)	+7	①粗砂 ②酸化 ③(5)に 灰7.5YR-6/4 ④破片(上半部)	口縁部コの字状横溝で。胴上位張る。胴上位横方向削り。胴内面横方向調整で	磨減著しい
462	須恵器 高台付碗	高さ 2.8 高台径 6.3	+7	①細砂 ②還元 ③(5)に 灰7.5YR-6/3 ④(口縁部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	

4 A I 区33号住居出土遺物 (第161図、PL64)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
460	土師器 坏	高さ 3.3 口径 12.4	+2	①粗砂 ②酸化 ③灰7.5YR-6/6 ④(口縁部)	口縁部直立気味横溝で。底部平底手持ち磨削り調整	磨減著しい 径10.7
461	須恵器 高台付碗	高さ (5.9) 口径 (14.0)	+8.5 +9.5 +10	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-4/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形付高台	磨減著しい 一部炭灰吸着
463	土師器 小型台付甕	高さ 15.4 口径 13.7	-18~+10(5個体) カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④(台底部欠損)	口縁部横溝で胴上部張る。胴上位横・下位縦方向削り胴内面横方向調整で	磨減著しい 一部炭灰吸着
449	土師器 坏	高さ 3.3 口径 12.0	-3 +9 +9.5 +10	①粗砂 ②酸化 ③灰7.5YR-6/6 ④(口縁部)	口縁部外反気味先端横溝で内面調整底部平底手持ち磨削り調整	磨減著しい

遺物観察表

4 A | 区34号住居出土遺物 (第165図、PL64)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
464	須恵器 環	器 3.6 口 12.8 底 5.5	-9	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-8/3 ④ほぼ球形	ロクロ成形。左回転糸切り	摩滅著しい 一部煤付着
465	須恵器 環	器 4.0 口 14.0 底 5.7	-7.5 -3.5 -1 カマド埋土	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④ほぼ球形	ロクロ成形。左回転糸切り	摩滅著しい 内外面一部 煤付着
466	須恵器 環	器 3.8 口 12.9	-6 カマド埋土	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/4 ④ほぼ球形	ロクロ成形回転糸切り	摩滅著しい 底6.1
467	須恵器 環	器 4.2 口 13.9 底 5.2	-7 -0.5	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/1 ④ほぼ球形	ロクロ成形。左回転糸切り	摩滅著しい 内外面一部 煤し状
468	須恵器 高台付椀	器 4.3 口 13.9 高台径 6.2	-10.5 -9	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④完形	ロクロ成形回転糸切り付高台。高台部は粗 雑な作り	摩滅著しい 内外面一部 煤付着
469	須恵器 高台付椀	器 5.2 口 14.5 高台径 7.3	-9 -8.5	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/6 ④完形	ロクロ成形。左回転糸切り付高台。高台部 は粗雑な作り	摩滅著しい 内外面一部 煤付着
470	須恵器 高台付椀	器 3.1 口 13.1 高台径 6.3	-5	①細砂 ②還元 ③ ④に 異種10YR-6/4 ④完形	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	上半煤し状
471	須恵器 環	器 3.9 口 12.5 底 6.3	-6.5 カマド埋土	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/3 ④ほぼ球形	ロクロ成形。左回転糸切り	やや磨滅。 外面底部黒 疵
472	須恵器 高台付椀	器 5.3 口 14.4	-9	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④ㄨ	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	摩滅著しい 高台径7.3
473	須恵器 高台付椀	器 5.5 口 15.8	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/2 ④ㄨ(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	摩滅著しい 高台径7.6
474	土師器 壺	器 (14.1) 口 (20.3)	-11.5~+2 (37個体)	①粗砂 ②酸化 ③ ④ 6/6 ④破片(上半部)	口縁部コの字状横溝で胴上部張る。胴上位 横・下位縦方向両側より胴内横方向両側	外面割部黒 疵
475	土師器 壺	器 (19.7) 口 (21.0)	-13.5 -8 -7 -6 -4 -1	①粗砂 ②酸化 ③ ④ 6/6 ④ㄨ(上半部)	コの字状口縁。胴上部張る。胴上位横・下 位縦方向両側より内面縦状工具による横溝で	
476	土師器 壺	器 (3.2) 底 (3.5)	-9.5 -9 -5	①粗砂 ②酸化 ③ ④に 異種5YR-5/4 ④破片(底 部)	外面割部・底部両側より内面縦溝で調整	外面煤し状

4 A | 区35号住居出土遺物 (第170図、PL64)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
478	土師器 環	器 (3.6) 口 (13.0) 底 (11.5)	+17 +17.5 +20	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-6/6 ④ㄨ	口縁部内背気味横溝で。底部丸底気味手持 ち寛削り調整	やや磨滅。 内外面一部 煤状附着
479	土師器 環	器 (3.3) 口 (12.2)	+53 +57	①粗砂 ②酸化 ③ ④に 異種5YR-6/4 ④ㄨ	口縁部直立気味横溝で。底部丸底気味手持 ち寛削り調整	
480	土師器 環	器 (3.8) 口 (12.7)	+36	①粗砂 ②酸化 ③ ④に 異種5YR-6/6 ④ㄨ	口縁部内背気味横溝で。底部丸底気味手持 ち寛削り調整	
481	土師器 環	器 (3.8) 口 (12.9)	-14 -3 +13 +26.5	①粗砂 ②酸化 ③ ④ 5YR-6/6 ④ㄨ	口縁部内背気味横溝で。底部丸底気味手持 ち寛削り調整	外面底部黒 疵(11.4)
482	須恵器 高台付椀	器 (1.6) 高台径 (8.1)	-45.5	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④破片(底部)	付高台。右回転寛削り調整	
1231	鉄製品 鏝	長さ (11.5) 厚さ 0.6	+27		刃の一部を欠失しているものである。直刃鏝に近い形態を有するもので、 茎端部に屈曲がある。刃の先端は欠損しており形態不明瞭	幅2.7
1211	土師器 環	器 (3.5) 口 (12.3)		①粗砂 ②酸化 ③ ④に 異種5YR-7/4 ④破片(口縁 部)	口縁部内背気味横溝で。底部丸底気味手持 ち寛削り調整	
1286	砥石	長さ (5.6) 厚さ 1.7	-9	④ㄨ石材実質アイサイト重 さ750g	断面、長台形。天井部欠損。四側面使用	幅3.2

4 A | 区36号住居出土遺物 (第175図、PL65)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
483	土師器 環	器 3.5 口 13.0	-1±0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 縹5YR-6/4 ④△	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち寛削り調整	歪みあり底 11.6
484	土師器 環	器 2.9 口 13.2	+6 +7 +11	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 縹5YR-6/4 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち寛削り調整	
485	土師器 環	器 4.2 口 14.0	-11	①粗砂 ②酸化 ③縹5YR -7/6 ④△	口縁部直立気味先端端かに内彎横撫で。底部平底気味手持ち寛削り調整	
486	土師器 環	器 30.4 口 12.9	+9 +13.5	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち寛削り調整	
487	土師器 環	器 <2.2 口 (13.0)	-6 +9	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 赤褐5YR-5/4 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち寛削り調整	底 (10.8)
488	土師器 環	器 <3.5 口 (12.9)	+1 +6 +14	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 縹5YR-7/4 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち寛削り調整	磨滅著しい 底 (11.6)
1232	鉄製品 刀子	長さ (7.5) 厚さ 0.5	-6 -5		刃と茎の先端を欠失する。刃・茎ともに細長く刃部長と茎長がほぼ同じものである。ハバキを有する。茎に木質が一部残る	幅0.8

4 A | 区37号住居出土遺物 (第179・180図、PL65・66)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
489	須恵器 環	器 <3.5 口 (12.0)	±0 +0.5 +1	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④△	ロクロ成形。左回転糸切り	
490	須恵器 片口環	器 3.0 口 12.0 底 6.1	+7	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④完形	ロクロ成形。左回転糸切り	片口。器高 がやや低い
491	須恵器 環	器 3.9 口 14.6	+5	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄褐10YR-7/4 ④完形	ロクロ成形。回転糸切り後底部周辺左回転手持ち寛削り調整	他に比べ重 い底8.2
492	須恵器 高台付皿	器 2.8 口 13.0 +24埋土	+6.5 +10 +11	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -4/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形高台	高台径7.0
493	須恵器 環蓋	器 2.8 口 16.2	-2 +3 埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10 Y-7/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。天井部左回転糸切り後一部手持ち寛削り調整	
494	須恵器 甕	器 <29.5 口 <31.2 底 <16.0)	+3 +13 +14	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④△(底部中央穴損)	口縁部外反気味横撫で。胴部上位に張りをもも胴部外面平行叩き目の後平行カキ目内面同心円当て目平底	
1287	石製 紡錘車	径 4.9 厚さ 1.8	+7.5	④完形	光沢あり。断面丸味がある台形。側面下平度方向傾斜。上面ドーナツ状磨耗	孔0.8
1234	鉄製品 鉄鏃	長さ 8.8 厚さ 0.5	-2		頸部にネグリを加えて鈍性を意識したものと考えられる。基部は断面方形の通常の造りである。鏃で頸部にネグリを加える例はこの今、5世紀代に知られている	幅0.6
1235	鉄製品 火打ち金	長さ 3.5 厚さ 0.5	+12			幅0.3
1236	鉄製品 刀子	長さ 18.6 厚さ 0.5	±0		完形である。刃は細長い。研ぎべりによるものと思われる。茎も長く、両端を呈する刃長に近い長さを持つ。柄に木質の遺存はない	幅1.0
495	須恵器 ☆手付立	器 <24.5 口 <39.4 底 <16.0)	+9~+27(8個体)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -4/1 ④△	磨成前に穿孔。肩部手持ち寛削り調整合手は中位より上に添付内外面磨削で口縁部外反気味横撫で調整	
496	土師器 環	器 3.8 口 13.1	+10 埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④ほぼ完形	口縁部外反気味先端端で内面撫で調整。底部平底気味手持ち寛削り調整	楕円形に歪む 底深凹著
497	土師器 環	器 3.8 口 14.6	+8 +9.5 埋土 カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③縹7.5 YR-6/6 ④△	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち寛削り調整	
498	土師器 環	器 <2.9 口 (12.0)	+1	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 縹5YR-6/4 ④△	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち寛削り調整	口縁部中位 に段あり
499	土師器 甕	器 <8.9 口 (19.3)	-24.5 -22 -21 -21.5±0+6	①粗砂 ②酸化 ③縹5YR -6/6 ④△(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。胴上部張り上位横・下位縦方向磨削り。胴内面横方向磨削り	内外面一部 炭素吸着
500	土師器 甕	器 <10.5 口 (21.0)	±0~+20.5(8個 体)埋土	①粗砂 ②酸化 ③縹5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向寛削り内面胴部横方向磨削り調整	
501	土師器 甕	器 <5.7 口 (20.0)	+7 カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 赤褐5YR-4/4 ④破片(口 縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位横方向寛削り内面胴部横方向磨削り調整	内外面一部 横し状
502	土師器 小型台付甕	器 12.8 口 11.4	+2~+26(8個体) 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 縹5YR-6/3 ④△(台部穴 損)	口縁部コの字状横撫で。胴上部張り。上位横・下位縦方向寛削り。胴内面横方向磨削り で台部横撫で	内外面一部 炭素吸着

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
503	土師器 小壺台付甕	器 (4.2) 高台径 (8.8)	+9	①粗砂 ②酸化 ③によい 赤梅5YR-5/3 ④破片(台 部)	台部模撫で、胴部内面撫で調整	内外面一部 僅し状

4 A | 区38号住居出土遺物 (第184図、PL66)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
504	須恵器 坏	器 (4.0) 口 (12.7)	+27 +36	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④ $\frac{1}{2}$	ロクロ成形。左回転糸切り	底 (7.0)
505	須恵器 壺	長さ (19.9) 厚み 0.9	-1 +1 +18	①粗砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/2 ④破片(上半部)	口縁部外反気味模撫で、外面格子状叩き目 内面胴部内面同心円当て目の後撫で	
506	土師器 土師器 坏	器 3.2 口 12.3 口 (12.3)	-3 -0.5 +22	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④ $\frac{1}{2}$	口縁部外反気味模撫で、底部平流手持ち蓋 削り調整	磨減著しい
507	須恵器 坏	器 (3.8) 口 (11.0)	± 0 +3	①細砂 ②還元 ③によい 黄2.5Y-6/3 ④ $\frac{1}{2}$	ロクロ成形回転糸切り	磨減著しい 底 (6.0)
508	土師器 坏	器 (3.8) 口 (13.5)	+4 +6.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/1 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味模撫で下手持ち蓋削り底 部平流蓋手持ち蓋削り調整	
509	土師器 鉢	器 8.4 口 18.3 底 8.5	+23 +27 +38 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④ $\frac{1}{2}$	口縁部外反気味先端で内斜模撫で内面撫で 調整。外面口縁下半・底部手持ち蓋削り調 整	
510	須恵器 小壺台付甕	器 11.7 口 10.9	-2	①細砂 ②還元 ③明赤褐5 Y-5/8 ④ $\frac{1}{2}$ (台部欠損)	口縁部模撫で。胴上部張る。上位横・下位 縦方向削り。胴内面横方向削撫で	磨減著しい 一部炭吸着
511	土師器 小壺台付甕	器 (3.3) 高台径 (8.0)	-4~-+29.5(5個 体)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④破片(台部)	台部模撫で内面見撫で調整	
512	土師器 壺	器 (17.6) 口 (20.0)	-7.5~-+19(9個 体)カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④ $\frac{1}{2}$ (上半部)	口縁部模撫で。胴上位横・下位縦方向削 り胴内面横方向削撫で	
513	土師器 壺	器 (2.8) 底 (4.8)	+6埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/8 ④破片(底部)	内面厚撫で調整	
514	土師器 壺	器 (3.3) 底 (4.6)	+34埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(底部)	内面厚撫で調整	内外面一部 炭素吸着
1288	石製 管玉	長さ 2.4 幅 0.7	+11.5			

4 A | 区39号住居出土遺物 (第189図、PL66)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
515	須恵器 坏蓋	器 2.1 口径 16.1		①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④ $\frac{1}{2}$	ロクロ成形天井部左回転糸切りの後一部手 持ち蓋削り調整	
516	土師器 坏	器 4.8 口 15.3		①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④ $\frac{1}{2}$	口縁部内面気味模撫で。底部丸底気味手持 ち蓋削り調整	磨減著しい
517	土師器 坏	器 4.2 口 12.4	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④ $\frac{1}{2}$	口縁部外反気味模撫で。底部丸底気味手持 ち蓋削り調整	

4 A | 区40号住居出土遺物 (第193図、PL66)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
518	須恵器 坏	器 3.6 口 13.1	-11 -9	①粗砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形。左回転糸切り	底6.2
519	須恵器 高台付甕	器 5.5 高台付甕 口 13.7	-11.5	①細砂 ②還元 ③淡黄褐 10YR-8/4 ④ $\frac{1}{2}$	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	高台径6.1
520	須恵器 高台付甕	器 (3.0) 口 (14.2) 高台径 (7.4)	± 0 +4 +14	①細砂 ②還元 ③によい 黄褐10YR-7/4 ④ $\frac{1}{2}$	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨減著しい 内外面一部 炭素吸着
521	須恵器 小壺台付甕	器 (3.5) 口 (11.7)	+12	①細砂 ②還元 ③黄2.5 Y-5/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整口縁部外反気味模撫で調整	
522	土師器 小壺台付甕	器 (15.0) 口 (12.2)	-10 -7 -5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(上半・台部)	口縁部 π 字状横撫で胴上位横・下位縦方 向削り胴内面横方向削撫で台部模撫で	外面炭素吸 着
524	土師器 壺	器 (3.3) 底 (4.9)	+8埋土	①粗砂 ②酸化 ③によい 橙5YR-6/3 ④破片(底部)	胴部外面縦方向削削り。内面横方向削削 り調整	砂底
525	土師器 壺	器 (7.6) 底 (3.9)	+3 +15 カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③によい 橙7.5YR-6/4 ④破片(底 部)	外面胴部・底部削削り。内面厚撫で調整	外面炭素吸 着
526	土師器 壺	器 (14.7) 底 (5.4)	+2	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④ $\frac{1}{2}$ (下半部)	中位よりやや下位に接合部。外面胴部・底 部削削り内面厚撫で調整	内外面一部 僅し状

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色裏 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
570	須恵器 甕	口径 7.0 底 15.7	+5	①細砂 ②還元 ③明黄褐 2.5YR-7/6 ④ほぼ完形	漆書	高台径7.8

4 A | 区41号住居出土遺物 (第197・198図、PL67・68)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色裏 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
527	須恵器 甕	口径 3.7 底 13.2	埋土	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/3 ④⑤	ロクロ成形。左回転糸切り	摩滅著しい 底6.1
528	須恵器 甕	口径 3.9 口径 13.4 底 5.8	-10 -6	①細砂 ②還元 ③明黄褐 2.5Y-7/6 ④⑤	ロクロ成形回転糸切り	摩滅著しい 内外面一部 炭素吸着
529	須恵器 甕	口径 <1.8 底 (5.3)	+3 +16	①細砂 ②還元 ③黒褐2.5 Y-3/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り	内外面一部 炭素吸着
530	須恵器 甕	口径 4.7 口径 13.2	±0 +2 +5	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-6/4 ④⑤	ロクロ成形回転糸切り	摩滅著しい 内外面磨し
531	須恵器 甕	口径 5.9 口径 15.2 高台径 7.1	+25	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-8/4 ④⑤	ロクロ成形回転糸切り付高台	内外面やや 磨滅
532	須恵器 高台付甕	口径 (4.3) 高台径 (7.0)	-0.5 +1.5	①細砂 ②還元 ③灰5Y -4/1 ④破片(底部)	ロクロ成形回転糸切り付高台	
533	須恵器 高台付甕	口径 (4.2) 口径 (14.0)	±0	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	高台径(7. 7)
534	須恵器 長頸甕	口径 (6.5) 口径 (10.0)	-7.5	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④破片(口縁部)	口縁部換機で調整	内面に自然 軸付着
535	土師器 甕	口径 3.1 口径 12.2 底 8.1	+3.5 +12.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5Y -7/6 ④⑤	口縁部外反気味横撫で底部平底手持り寛削り調整	口縁一部炭 素吸着
536	土師器 甕	口径 4.0 口径 13.3 底 8.2	+1 +6 +35	①粗砂 ②酸化 ③橙5Y -6/6 ④⑤	口縁部外反気味端部横撫で内面撫で調整。底部平底気味手持り寛削り調整	内外面一部 炭素吸着
537	土師器 甕	口径 3.2 口径 11.6	+2.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5Y -6/6 ④⑤	口縁部外反気味横撫で。底部平底手持り寛削り調整	
538	土師器 甕	口径 25.8 口径 19.0 (7個体)	+1~+20.5(13個 体)埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5Y -6/6 ④⑤(底部欠損)	口縁部コの字状横撫で。胴上部磨る。上位機・下位縦方向寛削り胴内面横方向寛撫で	内外面胴部 炭素吸着
539	土師器 甕	口径 <18.0 口径 (21.0)	+3 +4 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④破片(上半部)	口縁部コの字状横撫で。胴上位機・下位縦方向寛削り。胴内面横方向寛撫で	摩滅著しい
540	土師器 甕	口径 <17.4 口径 (19.1)	-11.5~+7.5	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-5/8 ④破片(上半部)	口縁部コの字状横撫で。胴上部磨る。上位機・下位縦方向寛削り胴内面横方向寛撫で	内外面一部 炭素吸着
541	土師器 小型甕	口径 <4.9 口径 (11.0)	+4 +6 +7.5	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。胴上部磨る。上位機・下位縦方向寛削り胴内面横方向寛撫で	内外面一部 炭素吸着
542	土師器 小型甕	口径 <4.8 口径 (12.2)	+2 +7	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面胴部上位機・下位縦方向寛削り	
543	土師器 小型付甕	口径 <4.0 高台径 (8.7)	+9	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(台部)	胴部内面寛撫で。台部内外面横撫で調整	
1237	鉄製品 刀子	長さ 9.3 厚さ 0.3	+8		大形の刀子で、刃の大部分と茎の先端部が欠失している。両端で茎は厚く巾広のもので刀子の中ではかなり大形のものと考えられる	幅1.5
1238	鉄製品 刀子	長さ (12.8) 厚さ 0.5	+18		刃と茎の先端が欠失する。刃部・茎ともに細長く、両端を呈する。刃部長。茎長がほぼ同じ長さになる形態のものである	幅1.2
1289	土師 甕	長さ 3.5 厚さ 1.7	+21.5	④完形	指撫で指おさえ	一部炭素吸 着孔0.8
1290	土師 甕	長さ (2.0) 幅 2.2	-7.5	④	指撫で	表面炭素吸 着孔0.6

4 A | 区42号住居出土遺物 (第202図、PL67)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色裏 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
544	須恵器 甕	口径 3.9 口径 14.2 底 8.6	+9	①細砂 ②還元 ③灰黄5Y -8/4 ④完形	ロクロ成形底部切り離し調整不明	摩滅著しい 口縁一部炭 素吸着。重い
545	須恵器 甕	口径 (3.5) 口径 (11.5)	+5	①細砂 ②還元 ③灰5Y -8/1 ④⑤	ロクロ成形底部平底既撫で口縁部外反気味横撫で調整	口縁部中位 に化線出る
546	土師器 甕	口径 3.4 口径 12.3	+9	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④完形	口縁部直立気味先端でやや内底部平底気味手持り寛削り調整	両唇「圭」 一部炭素吸着

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
547	土師器 杯	器 3.1 口 12.8	±0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④完形	口縁部直立気味横線で、底部平底気味手持ち寛削り調整	底11.0
548	土師器 杯	器 3.5 口 (14.7)	±0 +1.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/8 ④½	口縁部内彎気味横線で、底部平底気味手持ち寛削り調整	磨減著しい
549	土師器 杯	器 3.4 口 (15.2)	+5 +6 +7.5 +10.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④½	口縁部内彎気味横線で、底部平底気味手持ち寛削り調整	底 (13.0)
550	土師器 杯	器 <3.3> 口 (14.0)	+3	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④½	口縁部直立気味横線で、底部丸底気味手持ち寛削り調整	
551	土師器 壺	器 <6.3> 底 (5.3)	-1.5 -1	①粗砂 ②酸化 ③洗黄2.5 Y-7/4 ④破片(底部)	内面磨削で調整	
552	土師器 小型壺	器 <3.5> 口 (10.4)	-0.5 +10	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5 YR-5/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横線で、外面胴部上位横方向寛削り内面胴部横方向寛削りで調整	
553	須恵器 壺	長さ (5.3) 厚み 0.9	+3.5	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -7/2 ④破片(胴部)	胴部外面平行引き目内面同心円当て目	外面自然釉付着
1291	土師 壺	長さ (5.7) 幅 2.4	+7.5	④½	指撫で	外面炭素吸着。孔0.55
1292	土師 壺	長さ 5.6 幅 2.1	+5.5	④完形	指撫で	内外面炭素吸着。孔0.2

4 A I 区43号住居出土遺物 (第206図、PKL67・68)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
554	土師器 杯	器 3.4 口 11.7	+1	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/8 ④完形	口縁部直立気味横線で、底部丸底気味手持ち寛削り調整	底10.6
555	土師器 杯	器 3.9 口 12.8	+3 カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横線で、底部丸底気味手持ち寛削り調整	口縁一部炭素吸着。底10.5
556	土師器 杯	器 <2.2> 口 (14.4)	±0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/8 ④½	口縁部外反気味横線で、底部平底気味手持ち寛削り調整	磨減著しい
557	土師器 壺	器 (18.3) 口 (27.7)	-5.5~+5.5 カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部横線で、胴上位横・下位縦方向削り胴内横方向削りで調整	磨減著しい
558	須恵器 須恵器 須恵器	長さ 9.8 厚み 1.2	+9	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④破片(胴部)	外面平行引き目内面同心円当て目	外面自然釉・石焼付着
1293	磁石	長さ 10.5 厚さ 2.4	+4.5	④½石村実質アイサイト重さ170g	使用面に3~6mmの穿孔あり。三側面、狭側面磨耗	幅4.8

4 A I 区44号住居出土遺物 (第209・210図、PL68)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
559	須恵器 杯	器 4.3 口 13.6 底 5.4	+17	①細砂 ②還元 ③灰5Y -4/1 ④½	ロクロ成形。左回転糸切り	内外面一部炭素吸着
560	須恵器 高台付杯	器 4.2 口 14.1 底 6.2	+1	①細砂 ②還元 ③洗黄2.5 Y-7/4 ④ほぼ完形(高台欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	口縁一部炭素吸着
561	須恵器 杯	器 7.0 口 8.0	-7.5	①粗砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④完形	ロクロ成形回転削り調整	底6.3
562	土師器 杯	器 <4.2> 口 (12.4)	+11	①粗砂 ②酸化 ③におい 黄橙10YR-7/4 ④½	口縁部外反気味先端内斜横線で内面無調整底部平底気味手持ち寛削り調整	
563	土師器 壺	器 <4.5> 口 (13.9)	-11.5 -9	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横線で、外面胴部上位横方向削り内面胴部横方向削りで調整	内外面一部炭素吸着
564	土師器 台付壺	器 <2.8> 高台径(12.0)	-23.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(台部)	台部横線で、外面上位縦方向削り調整	
565	土師器 壺	器 <17.6> 口 (19.0)	-19 -6 +0.5 +5.5 +7	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④½(上半部)	口縁部コの字状ややくずれる。横線で胴上部張り上位横・下位縦方向削り胴内横方向削りで調整	
566	土師器 壺	器 <18.8> 口 (20.0)	-4 +9 +16.5 +31	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④½(上半部)	口縁部コの字状やくずれる。横線で胴上部張り上位横・下位縦方向削り。内面横方向削りで調整	内外面一部炭素吸着
567	土師器 壺	器 <17.0> 口 (23.5)	-8~-2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④½(上半部)	口縁部外反横線で中位に沈線走る。胴上位横・下位縦方向削り胴内横方向削りで調整	内外面一部炭素吸着
568	土師器 壺	器 <18.8> 口 (20.0)	-4.5 +12	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④½(上半部)	口縁部外反気味。胴上位横・下位縦方向削り。胴内横方向削りで調整	内外面一部炭素吸着

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
1229	鉄製品 鉄鏃	長さ (4.5) 厚さ 0.7	+2.5			鏃の茎の破片である。ともに茎の一部に木質が付着する	幅0.5
1240	鉄製品 刀子	長さ (7.0) 厚さ 0.4	-5			刃の大部分を欠失するもの茎は細長く円筒を呈する	幅0.9
1241	鉄製品 刀子	長さ (7.8) 厚さ 0.3	-8.5			刃の先端・基部及び茎を欠失したもので、細長い刃部を呈する	幅1.3
1242	鉄製品 鉄鏃	長さ (7.8) 厚さ 0.4	-9			茎の一部を欠失している有稜長三角形(剣先形)鏃である。剣先を換した刃部の作りは丁家で鏃身間は斜め間である。鏃部は太めで両内面を呈し茎に貼る	幅1.4
1300	鉄製品 鉄鏃	長さ (8.1) 厚さ 0.7				共に鉄鏃の茎と考えられる。茎先端及び基部は欠失しており茎長は不明。木質が一部付着している	
1301	鉄製品 鉄鏃	長さ (4.0) 厚さ 0.4				鉄鏃の茎と考えられる。茎先端及び基部は欠失しており、茎長は不明。木質が一部付着している	
1294	土器 土罐	長さ (4.0) 厚さ 2.2	+11.5			①粗砂 ②酸化 ③黒褐色 粘土巻き付。縦方向指痕で。板状に歪む	孔0.6

4 A I 区45号住居出土遺物 (第216図、PL69)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
572	須恵器 坏蓋	径 1.7 口 15.1	+3 +7 +9 +13.5	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④ほぼ完全形(短欠損)	口縁成形天井部右回転削り調整	
573	須恵器 坏蓋	径 (1.6) 径 (3, 8)	+6	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-7/1 ④破片(天井部)	口縁成形カエリあり蓋はボタン状天井部右回転削り調整	
574	須恵器 坏蓋	径 (2.7) 口 (14.3)	+9	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④欠	口縁成形蓋はリング状天井部右回転削り調整	径(4.0)
575	須恵器 坏	径 (4.9) 口 (20.3)	+7.5 +10	①細砂 ②還元 ③にぶい ④7.5Y-7/4 ⑤破片(口縁部)	口縁成形内面窪み内黒	高台付横か
576	土師器 坏	径 3.3 口 12.8 底 10.2	+10.5 +11 +11.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③浅黄褐色 7.5YR-8/6 ④欠	口縁部直立気味横線で。底部平底気味手持ち底削り調整	磨滅著しい内面窪部布目痕
577	土師器 坏	径 3.6 口 13.2	+7 +9	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④欠	口縁部直立気味横線で。底部丸底気味手持ち底削り調整	磨滅著しい内面窪部
578	土師器 坏	径 3.6 口 14.3	±0 +7 +10 +11	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐色 2.5YR-5/8 ④欠	口縁部直立気味横線で。底部平底気味手持ち底削り調整	磨滅著しい内面窪部
579	土師器 坏	径 (2.6) 口 (13.0)	+3 +5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④欠	口縁部直立気味横線で。底部丸底気味手持ち底削り調整	磨滅著しい内面窪部
580	土師器 坏	径 (3.3) 口 (13.2)	+11	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④5YR-7/3 ⑤欠	口縁部外反気味横線で。底部丸底気味手持ち底削り調整	
581	土師器 坏	径 (3.0) 口 (14.0)	+8	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④5YR-7/4 ⑤欠	口縁部直立気味横線で。底部丸底気味手持ち底削り調整	
582	土師器 坏	径 (2.6) 口 (14.0)	+7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片	口縁部内彎気味横線で。底部平底気味手持ち底削り調整	磨滅著しい内面窪部
583	土師器 広口罎	径 (9.8) 口 (22.2)	+7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横線で。胴上位置・下位縁方向削り。胴内面横方向削りで	胴部外面黒斑
584	土師器 罎	径 (7.2) 底 (4.9)	±0 +9.5 +10 +12	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④(底部)	外面削部・底部削り内面窪線で調整	外面赤変
1197	軽石	長さ 6.5 厚さ 4.6		④石材角閃石安山岩重さ 80g	加工面。使用面見られない	幅4.8

4 A I 区46号住居出土遺物 (第219図、PL69)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
585	須恵器 高台付横	径 5.6 口 14.0	+9.5	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/4 ④欠	口縁成形。左回転糸切り付高台	磨滅著しい高台径5.7
586	須恵器 高台付横	径 5.3 口 15.8 底 7.0	+4 +6.5	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/4 ④欠	口縁成形。左回転糸切り	磨滅著しい内外面一部炭素吸着
587	須恵器 高台付横	径 5.1 口 15.9 高台径 6.8	-2 -1.5 ±0	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④欠	口縁成形。左回転糸切り付高台。高台は粗雑な作り	内外面一部横し状
588	須恵器 高台付横	径 3.2 高台径 6.1	+6.5	①細砂 ②還元 ③浅黄褐色 7.5YR-8/4 ④欠(口縁部欠損)	口縁成形。左回転糸切り付高台	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
589	土師器 壺	器 <7.4> 口 (21.0)	+3 +3.5 +4 +8.5	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部中に沈線による段を持つ。胴上位 横方向窪削り。内面横方向刷毛目	内外面一部 炭素吸着
590	土師器 壺	器 <9.0> 口 (19.0)	+8 +11.5	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④破片(口縁 部)	口縁部コ字状横無で。外面胴部上位横方 向窪削り内面胴部横方向窪無で調整	
591	土師器 壺	器 <2.5> 底 (3.8)		①粗砂 ②酸化 ③にぶい 赤褐2.5YR-4/4 ④破片 (底部)	外面胴部・底部窪削り内面窪無で調整	砂底

4 A 1区47号住居出土遺物 (第224図、PL69)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
593	土師器 壺	器 <22.7> 口 (21.0)	-16~+18.5(12個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙5Y -6/6 ④シ(上半部)	口縁部コ字状ややくずれ。胴上位横・下 位縦方向窪削り。胴内面横方向窪無で	
594	土師器 壺	器 <6.8> 口 (19.0)	-1~+13(12個体)	①粗砂 ②酸化 ③浅黄褐 10YR-8/4 ④破片(口縁 部)	口縁部コ字状横無で。外面胴部上位横方 向窪削り内面胴部状工具による横無で	内外面一部 炭素吸着
595	土師器 壺	器 <6.6> 口 (20.0)	-1	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(口縁部)	口縁部コ字状横無で。外面胴部上位横方 向窪削り内面胴部横方向窪無で調整	外面横し状
596	土師器 壺	器 <1.7> 底 (4.2)	±0~+12(12個体)	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部窪削り内面窪無で調整	外面横し状
1295	磁石	長さ (5.5) 厚さ 1.7	+13.5	④破片石村実質アイサイ ト重さ45g	二面使用面。他の面は磁砂	幅(3.9)

4 A 1区48号住居出土遺物 (第227図、PL69)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
597	土師器 壺	器 <6.3> 口 (17.8)	+6	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コ字状横無で。外面胴部上位横方 向窪削り内面胴部横方向窪無で調整	
598	土師器 壺	器 <4.3> 底 (3.9)	-2.5 +9.5	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部窪削り内面窪無で調整	内外面一部 炭素吸着
1243	鉄製品 刀子	長さ (5.9) 厚さ 2.5	+18	刃の大部分と茎の先端が欠失している両側を見し茎はやや両曲する。刃・ 茎ともに細長く、小形の刀子である		幅1.0
1244	鉄製品 刀子	長さ 5.8 厚さ 0.4	+9	刃と茎の先端が欠失している。両側を呈し茎は厚みあり、巾も広めである。 全体の造りとしては、小形の刀子である		幅1.2

4 A 1区52号住居出土遺物 (第231・232思、PL70)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
622	須恵器 高台付椀	器 4.6 口 14.7	-7 -6 -5 -2 +7	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/1 ④シ(高台部欠損)	クロコ成形回転糸切り付高台。高台部欠損 後も使用可	磨減著しい外 面底面黒斑
623	須恵器 高台付椀	器 <3.7> 口 (13.4)	-6 -4 +5 +36.5	①細砂 ②還元 ③浅黄褐 10YR-8/3 ④シ(高台部欠 損)	クロコ成形。左回転糸切り付高台。高台部 欠損後も使用可	内外面一部炭 素吸着
624	須恵器 椀	器 <3.8> 口 (12.9)	+13.5 +16	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y -8/3 ④シ	クロコ成形。左回転糸切り	磨減著しい 底 (5.1)
625	須恵器 高台付椀	器 <3.6> 口 (13.0)	-1 +2.5 +4 +6	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④シ(高台部欠損)	クロコ成形回転糸切り付高台。高台部欠損 後も使用可	内面内黒放 射状磨研
626	須恵器 椀	器 <3.6> 口 (12.8) 底 (5.2)	+3	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y -8/3 ④シ	クロコ成形回転糸切り	磨減著しい 外面底部黒 斑
628	須恵器 坏蓋	器 <2.2> 口 (18.0)	+22	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/2 ④シ(局部)	クロコ成形	
630	須恵器 高台付椀	器 4.9 口 14.8 高台径 6.4		①細砂 ②還元 ③淡黄5Y -7/3 ④シ	クロコ成形回転糸切り付高台	磨減著しい 内外面一部 炭素吸着
631	須恵器 高台付椀	器 4.9 口 14.2 高台径 7.6	+4~+44.5(6個 体)	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y -8/3 ④シ	クロコ成形回転糸切り付高台	磨減著しい 外面底部黒 斑
632	須恵器 高台付椀	器 <5.0> 口 (17.1)	-11 -3 +21 +38.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④破片(口縁部)	クロコ成形	
633	須恵器 高台付椀	器 <4.5> 口 (15.3)	+1 +21	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④シ	クロコ成形。左回転糸切り付高台	磨減著しい 高台径(7.2)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
634	須恵器 甕	器 (16.1) 口 (34.0)	-1.5~+24(9個 体)	①粗砂 ②還元 ③にぶい 赤褐5Y-4/3 ④破片(口縁 部)	口縁部外反気味横断で、胴部外面側で調整 胴部内面側で調整	
635	平瓦	長さ (3.6) 厚さ 2.9	+31	① ② ③ ④破片		幅(5.9)
636	土師器 坏	器 (2.9) 口 (12.0)	+22	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片	口縁部外反気味横断で、底部丸底気味手持 ち見削り調整。外面中位に沈線	磨減著しい
637	土師器 甕	器 (4.6) 口 (14.1)	+30	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横断で、外面胴部上位横方 向見削り内面胴部横方向調整で調整	
638	土師器 甕	器 (7.5) 口 (22.0)	-1 -0.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片	口縁部コの字状横断で、外面胴部上位横方 向見削り内面胴部横方向調整で調整	
639	土師器 甕	器 (10.6) 底 (3.9)	+5~+31(8個体)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④④(下半部)	胴部縦方向底部手持ち見削り内面胴部横方 向見削りで調整	磨減著しい 底部破し状
640	土師器 甕	器 (5.0) 底 (4.0)	-7 +3 +20	①粗砂 ②酸化 ③浅黄褐 7.5YR-8/6 ④破片(底部)	外面縦方向見削り内面側で、底部見削り	
641	土師器 甕	器 (4.0) 底 (4.1)	+12	①粗砂 ②酸化 ③赤褐2.5 YR-5/6 ④破片	外面側方向見削り内面側で、底部見削り	

4 A | 区53号住居出土遺物 (第234回、PL70)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
642	須恵器 坏	器 3.2 口 12.7 底 7.8	+5.5 埋土	①粗砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/4 ④④	ロクロ成形右回転糸切り	磨減著しい 墨書「内」
643	須恵器 坏	器 (3.6) 口 (12.0)	-3.5 -2	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④④	ロクロ成形。左回転糸切り	底 (5.3)
644	須恵器 坏	器 (3.0) 口 (12.8)	-1 +3	①粗砂 ②還元 ③灰5Y -4/1 ④破片	ロクロ成形。左回転糸切り	内外面横し 状。底(6.1)
645	須恵器 甕	器 (2.0) 底 (16.0)	-4.5 埋土	①粗砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④④(下半部)	胴部縦平行向き目内面同心円当て目。底部 周辺手持ち見削りロクロ調整の横断で	
646	土師器 甕	器 (5.0) 口 (14.0)	-2~+1.5埋土 (4個体)	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5 YR-5/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横断で、外面胴部横方向見 削り内面胴部横方向調整で調整	内外面一部 横し状

4 A | 区54号住居出土遺物 (第239回、PL70)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
647	須恵器 甕	器 (3.1) 口 (15.0)	+5	①粗砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形口縁部外反気味横断で、外面底 部天井部右回転糸削り調整	外面自然釉 付着
648	土師器 坏	器 4.2 口 14.3	-1	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④ほぼ球形	口縁部直立気味横断で、底部丸底気味手持 ち見削り調整	磨減著しい
649	土師器 坏	器 3.7 口 15.6	+1.5	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-7/8 ④ほぼ球形	口縁部外反気味横断で、底部丸底気味手持 ち見削り調整	磨減著しい
650	土師器 坏	器 3.9 口 15.4	-0.5 +7	①粗砂 ②酸化 ③明褐7.5 YR-5/6 ④④	口縁部外反気味横断で、底部丸底気味手持 ち見削り調整	内外面一部 炭素吸着

4 A | 区55号住居出土遺物 (第242回、PL70・71)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
652	須恵器 甕	器 (1.5) 底 (6.3)	+9	①粗砂 ②還元 ③灰白10 Y-8/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り	磨減著しい
653	須恵器 高台付甕	器 5.4 口 13.1 高台径 6.2	+1	①粗砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/2 ④ほぼ球形	ロクロ成形回転糸切り付高台。高台は粗 な作り	磨減著しい 内・外面底部 黒点あり
654	須恵器 高台付甕	器 5.7 口 13.9 高台径 7.5	-1.5 -0.5	①粗砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/3 ④④	ロクロ成形。左回転糸切り付高台横断で口 部内面沈線あり	内外面一部 炭素吸着
655	須恵器 高台付甕	器 5.4 口 12.5	+1 +6 +22.5	①粗砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-8/3 ④④	ロクロ成形回転糸切り付高台。高台径が磨 しく小さい	磨減著しい 高台径6.3
656	須恵器 高台付甕	器 5.5 口 13.0	+33.5	①粗砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/3 ④④	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	磨減著しい 高台径6.5
657	須恵器 高台付甕	器 5.5 口 13.6 高台径 6.6	カマド埋土	①粗砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/4 ④④	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨減著しい 内・外面底 部黒点

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
658	須恵器 高台付甕	器 径 (3.6) 底 (6.3)	+22.5	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/2/2 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	内外面一部 灰素吸着
659	土師器 甕	器 径 (17.8) 底 (19.2)	カマド埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐色 YR-5/6 ④ㄥ(上半部)	口縁部コの字状。胴上位張り。内面横方向削毛目	内外面一部 灰素吸着
660	土師器 甕	器 径 (12.7) 底 (20.6)	-2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(上半部)	口縁部コの字状。胴上位張り。上位横・下 位縦方向削毛目	一部磨滅
661	土師器 甕	器 径 (9.0) 底 (18.0)	-11 -5 +15	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④7.5YR-7/3 ④破片(口 縁部)	口縁部コの字状。胴上位張り。上位横方向 削毛目。内面横方向削毛目	内外面一部 灰素吸着
662	羽釜	器 径 (8.7) 口 (18.5)	+17.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/8 ④破片(口縁部)	口縁先端部平ら磨はBタイプ灰味胴部外面 縦方向削毛目内面横方向削毛目	
663	羽釜	器 径 (26.0) 口 (19.6) 高 (24.0)	表探	①粗砂 ②還元 ③に よい ④黄褐色10YR-7/4 ④ㄥ(上半 部)	口縁先端部内斜を呈す磨はAタイプ横無で 胴部外面縦方向削毛目内面横方向削毛目調整	
664	土師器 甕	器 径 (5.3) 底 (3.8)	-3.5 +21.5	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐色 YR-5/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部磨削り内面磨削り工具による 横無で調整	外面底部黒 斑
1296	土師 甕	長さ 7.3 幅 2.2	+8.5	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④7.5YR-6/4 ④ほぼ完形	粘土巻き付け後、縦方向指張で	孔0.4
1297	土師 甕	長さ 5.5 幅 1.7	+32	①粗砂 ②酸化 ③黒褐10 YR-10/3 ④ほぼ完形	粘土巻き付け後、縦方向指張で	孔0.65

4 A I 区57号住居出土遺物 (第247図、PL71・72)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
665	須恵器 坏	器 径 (3.1) 底 (12.6)	-5	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④ㄥ	ロクロ成形回転糸切り	底 (6.0)
666	須恵器 坏	器 径 (1.4) 底 (7.2)	+6	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り	
667	須恵器 坏蓋	器 径 4.1 口 16.3	+9	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④ほぼ完形	ロクロ成形磨はリング状天井部右回転削毛目 調整	磨滅著しい 底3.9
668	土師器 坏	器 径 3.3 口 12.2	-3 +1.5 +10	①粗砂 ②酸化 ③黄褐色7.5 YR-7/8 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横無で内面無調整底 部平直手持ち磨削り調整	底8.4
670	土師器 甕	器 径 (6.8) 底 (5.0)	-11 ±0	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④7.5YR-6/4 ④破片(底 部)	外面胴部・底部磨削り内面横無で調整	外面一部灰 素吸着
672	土師器 甕	器 径 28.0 口 18.9 底 4.5	-6.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横無で。胴上位横・下位縦・ 高部削毛目。内面横方向削毛目	磨滅著しい 外面胴部・ 底部保付着
673	土師器 甕	器 径 28.4 口 19.1 底 (5.8)	-2 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④ㄥ(底部欠損)	コの字状口縁。胴上位横・下位縦・高部削 毛目。内面胴部横方向削毛目	磨滅著しい 外面一部灰 素吸着
1076	土師器 小型台付甕	器 径 14.1 高台径 8.6		①粗砂 ②酸化 ③に よい ④7.5YR-7/4 ④完形	口縁部外反気味・横無で。胴部上位に張り をもも胴部横方向削毛目内面胴部横方向削 毛目で台部横方向無調整	胴部外面 保付着
1246	鉄製品 刀子	長さ 12.8 厚さ 0.3	+5		刃と茎の先端が欠失するもの、刃は特に細長い。茎には柄の遺存し肉眼 を呈する	幅0.9
1298	土製 紡績車	径 5.8 厚さ 2.0	+3	①砂粒 ②酸化 ③黄褐色 YR-6/6	粘土研巻き付け、寛削り調整。朱塗り?	孔0.9

4 A I 区58号住居出土遺物 (第251図、PKL72)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
674	土師器 甕	器 径 (2.2) 底 (9.7)	+10	①細砂 ②還元 ③に よい ④黄褐色10YR-6/3 ④破片(底 部)	焼成前に底部穿孔手持ち削毛目胴部外面 縦方向削毛目内面横方向削毛目調整	
675	土師 甕	長さ (5.4) 底径 2.2	注記なし	①粗砂 ②還元 ③黄褐色 10YR-4/2 ④ㄥ	外面無調整	内外面一部 灰素吸着
676	須恵器 甕	長さ (6.0) 厚み 0.8	+9 +9.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④破片(胴部)	外面平行カキ目内面同心円当て目	
677	土師器 坏	器 径 4.2 口 15.0	+4 +6.5 +9 +10 +11.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④ㄥ	口縁部外反気味横無で。底部平直気味手持 ち磨削り調整	磨滅著しい 底8.0
678	土師器 坏	器 径 (2.8) 口 (11.9)	+9.5	①粗砂 ②酸化 ③黄褐色7.5 YR-7/8 ④破片	口縁部外反気味横無で。底部平直気味手持 ち磨削り外面口縁先端に浅い沈線	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
679	土師器 壺	器 <10.2> 口 (22.0)	+1.5 +1.5 +14	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△(口縁部)	口縁部外反気味横線で、中位に弱い段を維持す。胴上位縦方向寛削り内面凹線で	磨減著しい
680	土師器 広口壺	器 <6.4> 口 (24.3)	-1 +4 +6.5 +6.5 +9 +11.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横線で上位に段あり外面削り内面凹線調整で	口縁一部灰素吸着

4 A Ⅰ区59号住居出土遺物 (第254図、PL72)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
681	須恵器 高台付椀	器 5.0 口 15.0	-4.5 +2	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/4 ④ほぼ完形(高台部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台。高台部欠損後も使用か	磨減。内外面一部灰付着
682	須恵器 高台付椀	器 <2.3> 高台径 (6.1)	+4	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/1 ④△(底部)	ロクロ成形回転糸切り付高台	
683	灰胎 高台付椀	器 <2.5> 高台径 (8.4)	+7	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/2 ④△(底部)	ロクロ成形付高台。底部回転削り調整	重ね焼き或内外面施釉
1247	鉄製品 釘	長さ 9.8 厚さ 0.5	+1		頭部の一部及び茎の先端部が欠失している。しっかりとしたつくりの大型の釘で、頭部の屈曲が変形して直線状になっている	幅0.9

4 A Ⅰ区60号住居出土遺物 (第258図、PL72)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
685	須恵器 高台付椀	器 4.8 口 13.3 高台径 5.9	+5.5 +8 +9.5	①細砂 ②還元 ③黄褐2.5 Y-5/4 ④△	ロクロ成形回転糸切り付高台横線で調整	磨減。内外面一部焼し伏
686	須恵器 高台付椀	器 <1.7> 高台径 (6.6)	-4	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/2 ④△(底部)	ロクロ成形回転糸切り付高台	
687	羽釜	器 27.6 口 18.5 径 22.8	-4.5 +3 +8 +8.5	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/3 ④△(底部欠損)	口縁先端部内斜を呈す横線で胴はAタイプ胴部内外面ロクロ調整による横線で外面下部手持ち寛削り調整	
688	土師器 壺	器 <7.0> 口 (22.0)	+11	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④破片(口縁部)	口縁部十字状横線で外面胴部上位縦方向寛削り内面縦方向寛削りで調整	
1248	鉄製品 鉄鍔	長さ (3.5) 幅 0.4	+4		鍔の茎と考えられる。断面方形のしっかりとした造りであるで、茎の葺の可能性もある	幅0.5
1249	鉄製品 鉄鍔	長さ (8.6) 厚さ 0.4	+7		葺の先端部が欠失している。有蓋部は長三角形。深い逆刺を有する長三角形の鍔身に厚手のしっかりとした頭部を有し、両角隅を有して葺になるものである	幅1.4

4 A Ⅰ区61号住居出土遺物 (第261図、PL72・73)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
689	土師器 坏	器 3.8 口 14.8	-2	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横線で底部丸底気味手持ち寛削り調整	底13.3
690	土師器 坏	器 3.6 口 13.3 底 12.4	-3 -2.5 -1	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部直立気味横線で底部丸底気味手持ち寛削り調整	外周磨減口縁一部灰素吸着
691	土師器 盤	器 <4.1> 口 (17.8)	-6 -3.5 -2 -6.5 ±0	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-7/8 ④△	口縁部外反気味先端や中内斜横線で底部丸底気味手持ち寛削り調整	
692	土師器 坏	器 <3.0> 口 (13.0)	-2 -0.5 ±0	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-7/8 ④△	口縁部直立気味横線で底部丸底気味手持ち寛削り調整	底 (8.5)
693	浅鉢型☆	器 10.1 口 23.0 底 <5.0>	+9 +16.5 +17	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部外反気味横線で、胴部縦方向底部手持ち寛削り。内面胴部横方向寛削りで調整	磨減著しい内外面一部灰素吸着
694	土師器 壺	器 <21.7> 口 (23.0)	-6~+4(20個体)	①粗砂 ②酸化 ③明赤赤 2.5YR-5/6 ④△(上半部)	口縁部横線で胴上位横・下位縦方向寛削り内面縦方向寛削りで調整	内外面一部灰素吸着
695	土師器 壺	器 <15.5> 口 (22.0)	-1.5~+4(11個体)	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙 7.5YR-8/4 ④△(上半部)	口縁部外反気味横線で外面胴部斜縦方向寛削り内面胴部横方向寛削りで調整	内外面一部灰素吸着

4 A Ⅰ区64号住居出土遺物 (第264図、PL73)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
697	土師器 坏	器 <6.7> 口 (21.5)	+2	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	口縁部直立気味横線で底部丸底気味手持ち寛削り調整	
698	土師器 坏	器 3 . 4 口 11 . 3	-1	①粗砂 ②酸化 ③に 橙7.5YR-7/4 ④△	口縁部内彎気味横線で底部丸底気味手持ち寛削り調整	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
699	土師器 杯	器 (3.7) 口 (12.2)	+3+18	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 椀7.5YR-7/4 ④⑤	口縁部内彎気味横撫で底部丸底気味手持ち 寛削り調整	外面底部屈 底瓦(10.9)
700	土師器 杯	器 3.5 口 12.0	+11 +11	①粗砂 ②酸化 ③椀7.5 YR-7/6 ④⑤	口縁部内彎気味横撫で底部丸底気味手持ち 寛削り調整	
702	土師器 壺	器 (11.0) 口 (22.0)	+9	①粗砂 ②酸化 ③椀7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で外面胴部上位横方向 寛削り内面横方向寛撫で調整	内面僅し状

4 A I 区65号住居出土遺物 (第269図、PL73)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
705	須恵器 杯	器 3.6 口 11.9	+1	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④⑤	ロクロ成形右回転削り調整	底8.5
707	須恵器 坏蓋	器 (2.2) 坏蓋 (15.0)	+11 埋土	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④⑤	ロクロ成形カエリあり大井部右回転削り 調整	
708	須恵器 坏蓋	器 (2.2) 口 (17.0)	-19 +5	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④破片	ロクロ成形カエリあり天井部左回転削り 調整	
709	須恵器 壺	長さ (8.0) 厚み 1.0	+8	①細砂 ②還元 ③灰5Y -4/1 ④破片	外面格子状叩き目内面平打て目	
710	土師器 杯	器 5.5 口 16.7	+1 +1.5 +4 +6	①粗砂 ②酸化 ③椀7.5 YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味丸端横撫で内面撫で底部丸 底気味手持ち寛削り調整やや深い	
711	土師器 杯	器 3.9 口 14.1	+8	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 椀7.5YR-7/4 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で底部平底気味手持ち 寛削り調整	底10.7
712	土師器 杯	器 3.8 口 12.7	+19 +24.5	①粗砂 ②酸化 ③椀7.5 YR-7/6 ④⑤	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち 寛削り調整	底10.8
713	土師器 杯	器 3.6 口 13.1	+4 +16.5	①粗砂 ②酸化 ③椀7.5 YR-7/6 ④⑤	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち 寛削り調整	底11.6
714	土師器 杯	器 (3.2) 口 (12.0)	-1 -1	①粗砂 ②酸化 ③椀7.5 YR-6/6 ④⑤(底部中央欠 損)	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち 寛削り調整	内外面一部 底素吸着
715	土師器 杯	器 3.4 口 13.3 底 11.6	+8	①粗砂 ②酸化 ③椀5YR -6/6 ④⑤	口縁部直立気味横撫で平底気味の丸底手持ち 寛削り調整	やや磨減。 内外面一部 底素吸着
716	土師器 杯	器 3.5 口 12.2	-10 +14	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 椀7.5YR-7/4 ④⑤	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち 寛削り調整	底11.2
717	土師器 杯	器 3.5 口 12.8 底 11.0	+4 +8.5	①粗砂 ②酸化 ③椀7.5 YR-6/8 ④⑤	口縁部内彎気味横撫で底部平底気味手持ち 寛削り調整	内外面一部 底素吸着
718	土師器 盤	器 3.8 口 14.6	+23 +24	①粗砂 ②酸化 ③椀7.5 YR-7/6 ④⑤(底部中央欠 損)	口縁部外反気味横撫で底部丸底気味手持ち 寛削り調整	
719	土師器 杯	器 (2.7) 口 (13.2)	+6 +9 +19 +24	①粗砂 ②酸化 ③椀5YR -7/6 ④⑤	口縁部直立気味横撫で底部平底気味手持ち 寛削り調整	磨減著しい
720	土師器 杯	器 (1.8) 口 (14.0)	+15 +27	①粗砂 ②酸化 ③椀7.5 YR-6/6 ④破片	口縁部直立気味横撫で底部平底気味手持ち 寛削り調整	
721	土師器 杯	器 (2.5) 口 (15.3)	-1 +13.5 +17.5 +23	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 椀7.5YR-7/4 ④破片	口縁部外反気味横撫で底部平底気味手持ち 寛削り調整	
723	土師器 壺	器 29.7 口 22.9 底 5.5	-15マド内	①粗砂 ②酸化 ③椀2.5 YR-6/8 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横撫で外面斜縦方向削り 底部手持ち寛削り調整胴部下位に接合部	
724	土師器 壺	器 (14.5) 口 (24.0)	-20 +1 +20 +33	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 椀7.5YR-7/4 ④⑤(上半 部)	口縁部横撫で胴上位強なる。上位横・下位縦 方向削り。内面横方向内面撫で	内外面一部 底素吸着
725	土師器 壺	器 (5.8) 口 (20.0)	+15	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 椀10YR-6/4 ④破片(口 縁部)	口縁部外反気味横撫で外面胴部上位横方向 削り下位縦方向削り調整	
726	土師器 広口壺	器 (6.4) 底 (10.7)	-9 -8	①粗砂 ②酸化 ③明黄褐 10YR-7/6 ④破片(底部)	丸を持つ平底外面胴部・底部削り内面 寛撫で調整	磨減著しい
1207	縄文 深鉢	器 (4.2) 底 (6.0)	+15 +3	①細砂 ②良好 ③残黄褐 7.5YR-8/6 ④破片	底部磨減しているが、うっすらと網代痕	
1208	縄文 深鉢	器 (2.2)	+8 +21.5	①細砂 ②良好 ③椀5YR -6/6 ④破片	無文	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②構成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
1209	縄文 浅鉢	長さ 厚さ	4.2 0.8	±0	①細砂 ②普通 ③黒陶2.5 Y-3/1 ④破片	3条の平行沈線。沈線間縄文と磨り消し	

4 A 1区66号住居出土遺物 (第273・274図、PL74)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②構成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
727	須恵器 台付壺	高さ 底	(2.9) (9.5)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④破片(高台部欠損)	底部磨きやぶより高台部横で外面割部格子状叩き目内面平行当て目	
728	土師器 杯	高さ 口	3.6 14.7	+32 +38	①粗砂 ②酸化 ③糖5YR -6/8 ④糖5YR-6/8	口縁部直立気味横撫で底部平底気味手持ち 削削り調整	底12.2
729	土師器 杯	高さ 口	(3.5) (14.2)	+31 +31 +37 +38 +39	①粗砂 ②酸化 ③糖5YR -6/6 ④%	口縁部直立気味横撫で底部平底気味手持ち 削削り調整	
730	土師器 杯	高さ 口	(3.2) (13.5)	-1 ±0 +1 +16	①粗砂 ②酸化 ③糖5YR -6/6 ④%	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち 削削り調整	やや磨滅
731	土師器 杯	高さ 口	(4.1) (13.1)	+3 +3 +3.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 糖7.5YR-6/4 ④%	口縁部直立気味横撫で底部平底気味手持ち 削削り調整	磨滅著しい 刻書「Z」
732	土師器 杯	高さ 口	(3.1) (12.6)	+33 +38 +39	①粗砂 ②酸化 ③糖7.5 YR-7/6 ④%	口縁部内彎気味横撫で底部丸底気味手持ち 削削り調整	外面底部磨滅
733	土師器 把手付壺	長さ 把手径	(2.8) 2.4	+38	①粗砂 ②酸化 ③糖5YR -6/8 ④破片(把手)	手びねり撫で調整	
734	土師器 壺	高さ 口 底	29.0 23.4 6.3	+23 +37 +38	①粗砂 ②酸化 ③糖5YR -6/8 ④ほぼ充形	口縁部外反気味横撫で胴部上位横方向下位 縦方向底部削削り内面割部横方向削削りで調整	胴部上位から 底部にか け炭素吸着
735	土師器 広口壺	高さ 口 底	(32.5) 20.5 15.2	±0~+23.5(16個 体)-13.5~+1 (19個体)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 糖5YR-6/4 ④% (上半・下半部)	口縁部外反気味横撫で胴部上位横方向下位 縦方向底部削削り内面割部横方向削削りで調整	外面底部磨滅
736	土師器 壺	高さ 口	(18.3) (30.0)	+14~+38(22個 体)	①粗砂 ②酸化 ③糖5YR -6/6 ④破片(上半部)	口縁部横撫で胴上位磨。上位横・下位縦 方向削削り。内面横方向削削り	
737	土師器 壺	高さ 口	(6.9) (23.0)	+4~+43(20個 体)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 糖5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で外面割部上位横方向 削削り内面割部横方向削削りで調整	口縁一部炭 素吸着
738	土師器 広口壺	高さ 口	(6.7) (23.2)	+1	①粗砂 ②酸化 ③糖5YR -6/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で外面割部上位横方向 削削り内面割部横方向削削りで調整	

4 A 1区01号竪穴状遺構出土遺物 (第275図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②構成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
158	土師器 壺	高さ 底	(6.7) (4.0)	+1	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙 7.5YR-8/6 ④破片(底部)	胴部縦方向、底部手持ち削削り調整。内面 割部横方向削削りで調整	
159	須恵器 杯蓋	高さ 径	(2.6) (4.6)	+6.5	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④%	蓋はリング状。クロコ成形端部横撫で磨滅 合後天井部右回転削削り調整	口 (14.0)

4 A 1区03号竪穴状遺構出土遺物 (第277図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②構成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
599	須恵器 高台付杯	高さ	(2.8)	+21.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④破片(底部)	クロコ成形。削削り出し高台	
600	須恵器 高台付壺	高さ 口	(3.6) (14.0)	+3	①細砂 ②還元 ③黒陶2.5 Y-3/1 ④破片(口縁部)	クロコ成形	内外面一部 磨し状
601	須恵器 壺	長さ 厚み	(9.5) 0.7	+23	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-6/2 ④破片(胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目	

4 A 1区05号竪穴状遺構出土遺物 (第279図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②構成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
606	須恵器 壺	長さ 厚み	(7.6) 0.8		①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④破片	外面平行タタキ内面青釉当	

4 A 1区掘立柱出土遺物 (第286・294・378、PL74)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②構成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
05号掘立柱P4	803	須恵器 杯	高さ 口	(3.0) (11.8)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④%	クロコ成形。底部平底周縁削削り磨し	
05号掘立柱P11	1298	石製品 勾玉	長さ 幅	3.8 1.2	④充形 石材重さ15g	「コ」の字状を呈し、胴部穿孔周縁部半円 に磨り込まれる	

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
10号独立P1	810	須恵器 甕	長さ 10.2 厚さ 0.9	①粗砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目。内面同心当て目	外面自然輪付着
12号独立P6	808	須恵器 坏蓋	径 (2.4) 口 (1.35)	①粗砂 ②還元 ③灰5Y -4/1 ④破片(端・天井部)	ロクロ成形。紐はリング状天井部右回転捲	紐(3.6)
12号独立P6	862	土師器 坏	径 (3.5) 口 (13.7)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片	ロクロ部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち覆削り調整	底 (10.0)
27号独立P5	1252	鉄製品 鉄鏃	長さ (3.6) 厚さ 0.2		円弧状を呈する。平板な造りの先端部を有する。刃を持ったかどうかは不明。先端付近の衝線部も薄手、板状になっている。基部は断面長方形やや厚みの溢りをなす。鏃の可能性あり	幅0.85

4 A I 区横列遺構出土遺物 (第378図)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
08号横列P17	812	土師器 坏	径 (3.0) 口 (12.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片	ロクロ部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち覆削り調整	
08号横列P9	817	土師器 坏	径 (2.3) 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③淡黄2.5Y-7/3 ④破片	ロクロ部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち覆削り調整	

4 A I・II区溝出土遺物 (第357～359図、PL74・75)

I区						
遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号溝	772	須恵器 坏	径 3.6 口 12.9 底 5.7	①粗砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/4 ④光形	ロクロ成形。左回転糸切り	磨減著しい 内外面一部 皮剥取着
01号溝	773	須恵器 坏	径 4.0 口 14.1 底 6.7	①粗砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④%	ロクロ成形。左回転糸切り	磨減著しい 内外面一部 黒斑
01号溝	774	須恵器 坏	径 4.1 口 13.3 底 6.4	①粗砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/3 ④%	ロクロ成形。左回転糸切り	磨減著しい 内外面一部 皮剥取着
01号溝	775	須恵器 坏	径 3.6 口 12.7	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④%	ロクロ成形回転糸切り	磨減著しい 底6.0
01号溝	776	須恵器 高台付椀	径 5.4 口 15.7	①粗砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④%(高台部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台高台欠損後も使用	やや歪みあり。 底6.8
01号溝	777	須恵器 坏	径 (3.6) 口 (12.8) 底 (6.0)	①粗砂 ②還元 ③にぶい 黄褐色10YR-7/3 ④%	ロクロ成形。左回転糸切り	磨減著しい 内外面一部 煤付着
01号溝	778	須恵器 坏	径 (4.0) 口 (12.9)	①粗砂 ②還元 ③褐灰10YR-4/1 ④%(底部欠損)	ロクロ成形回転糸切り	内外面一部 皮剥取着
01号溝	779	須恵器 坏	径 (2.4) 底 5.6	①粗砂 ②還元 ③明黄褐2.5Y-7/6 ④破片(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り	外面底部黒斑
01号溝	780	須恵器 高台付椀	径 (5.7) 口 14.6	①粗砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④%(高台部欠損)	ロクロ成形回転糸切り付高台高台欠損後も使用	内外面一部 皮剥取着
01号溝	781	須恵器 高台付椀	径 5.8 口 15.0 高台径 6.8	①粗砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/3 ④%	ロクロ成形回転糸切り付高台横撫で調整	磨減著しい 内外面一部 黒斑
01号溝	782	須恵器 高台付椀	径 5.6 口 15.8	①粗砂 ②還元 ③淡黄2.5Y-8/3 ④%	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨減著しい 高台径7.0
01号溝	783	須恵器 高台付椀	径 5.8 口 15.0	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④%	ロクロ成形回転糸切り付高台	磨減著しい 高台径7.4
01号溝	784	須恵器 高台付椀	径 (5.9) 口 (13.1)	①粗砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1/1 ④%	ロクロ成形。左回転糸切り付高台横撫で調整	やや磨減 高台径(7.0)
01号溝	785	須恵器 高台付椀	径 8.5 口 18.0	①粗砂 ②還元 ③橙7.5YR-7/6 ④%	ロクロ成形回転糸切り付高台横撫で調整	磨減著しい 高台径8.2
01号溝	786	須恵器 高台付皿	径 (1.9) 高台径 (7.0)	①粗砂 ②還元 ③黒褐10YR-3/1 ④破片(高台部欠損)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台。重ね焼き痕あり	内外面一部 皮剥取着
01号溝	787	須恵器 甕	長さ (10.0) 厚さ 1.1	①粗砂 ②還元 ③にぶい 赤褐2.5YR-5/3 ④破片(胴部)	口縁部横撫で胴部外面平行叩き目内面同心当て目	
01号溝	788	土師器 坏	径 3.2 口 12.3	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部外反気味先端横撫で。内面撫で調整底部平底手持ち覆削り調整	

遺 跡 名	番号	器種・器形	大 き さ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備 考
01号溝	789	土師器 壺	器 (4.7) 底 (6.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(底部)	外周胴部・底部覆削り内面磨撫で調整	
01号溝	790	土師器 小型台付壺	器 (15.2) 口 (13.8)	①粗砂 ②酸化 ③④に 赤褐5YR-5/4 ④破片(口 縁・胴下部)	口縁部直立気味横撫で胴上位横・下位縦方 覆削り。内面縦方向磨撫で	内外面一部 磨しい状
01号溝	793	土師器 杯	器 (3.2) 口 (14.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持り 覆削り調整	磨減著しい
01号溝	794	土師器 杯	器 (1.7) 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で底部丸底気味手持り 覆削り調整	磨減著しい
I 区						
02号溝	71	銅	器 (10.3) 口 (26.0)	①細砂 ②還元 ③④に 橙7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	口縁部横撫で。内外面磨撫で調整	内外面横し 状
02号溝	72	内耳銅	長 (7.2) 幅 (5.8)	①細砂 ②還元 ③褐灰10 YR-6/1/1 ④破片(口縁 部)	☆手付着	厚(1.2)
02号溝	73	鉄	器 (6.1) 底 (11.4)	①細砂 ②還元 ③橙5YR -6/6 ④破片(底部)	内外面磨撫で調整	砂底

4 A I・II 区井戸出土遺物 (第361・363図、PKL69・70・75)

遺 跡 名	番号	器種・器形	大 き さ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備 考
01号井戸	67	須恵器 壺	器 (1.9) 底 (11.0)	①細砂 ②還元 ③明褐灰 7.5YR-7/1 ④破片(底部)	内外面磨撫で調整	砂底
01号井戸	68	鉄	器 (4.8) 底 (9.1)	①細砂 ②還元 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(底部)	内外面磨撫で。底部回転削り	
01号井戸	69	鉄	器 (4.8) 底 (12.0)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/2 ④破片(底部)	内外面磨撫で調整	
01号井戸	70-1	瓦	長さ (15.0) 厚さ 3.9	①粗砂 ②還元 ③褐灰7.5 YR-6/1 ④破片	外面、磨耗。内面、布目圧痕	
01号井戸	70-2	瓦	長さ (13.8) 厚さ (3.9)	①粗砂 ②還元 ③褐灰7.5 YR-6/1 ④破片	外面、磨耗。内面、布目圧痕	
I 区						
02号井戸	602	須恵器 小型短頸壺	器 5.2 口 9.1	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-8/3 ④ほぼ完形	口縁部直立気味広口。胴部上位で裏りを持 つコック成形底部回転削り磨しい	持9.0
02号井戸	603	須恵器 小型壺	器 3.0 底 5.2	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④⑤(底部)	コック成形。底部右回転削り調整	
02号井戸	605	須恵器 杯	器 (2.6) 径 (3.3)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -4/1 ④破片(天井部)	コック成形。鉾はボタン状天井部右回転削 り調整	
02号井戸	606	須恵器 台付壺	器 (2.5) 高台径(10.3)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④台部のみ	コック成形。台部横撫で調整	
02号井戸	607	須恵器 壺	長さ (15.5) 厚み 1.0	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④破片(胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目後横撫 で調整	
02号井戸	608	須恵器 壺	長さ (12.0) 厚み 1.1	①細砂 ②還元 ③灰5Y -4/1 ④破片(胴部)	外面平行叩き目内面同心円当て目	
02号井戸	609	須恵器 壺	器 (2.2) 底 (10.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y -4/1 ④破片(底部)	底部右回転削り調整。内面同心円当て目	自然軸付着
02号井戸	611	土師器 杯	器 3.4 口 11.4	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持り 覆削り調整	磨減著しい
02号井戸	612	土師器 杯	器 (3.6) 口 (11.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④⑤	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持り 覆削り調整	磨減著しい 底 (6.6)
02号井戸	613	土師器 杯	器 3.3 口 11.6	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④⑤	口縁部内彎気味横撫で。底部平底気味手持り 覆削り調整	磨減著しい 底8.7
02号井戸	614	土師器 杯	器 3.9 口 12.1 底 11.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④⑤	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持り 覆削り調整	磨減著しい 外面底部磨 痕
02号井戸	616	土師器 杯	器 (3.2) 口 (13.8) 底 (11.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持り 覆削り調整	磨減著しい 内外面一部 炭素吸着
02号井戸	617	土師器 杯	器 (4.3) 口 (12.8)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④⑤	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持り 覆削り調整	磨減著しい 底部黒斑

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・形状	大きさ	①胎土 ②酸化 ③色調 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
02号井戸	619	土師器 壺	器 口 (4.5) 口 (20.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向削削り内面胴部縦方向削撫で調整	
02号井戸	620	土師器 小壺	器 口 (7.3) 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③に 橙5YR-7/4 ④破片(上半部)	口縁部外反気味横撫で。胴上位横・下位縦方向削削り。胴内面横方向削撫で	
02号井戸	621	土師器 壺	器 口 (3.3) 底 (8.7)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部削削り内面縦撫で調整	磨滅著しい 底部無底

4A1・II区土坑出土遺物 (第378図、PL74)

II区						
151号土坑	66	土師器 壺	器 口 (2.5) 底 (7.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(底部)	外面胴部削削り。内面縦撫で調整	外面横し状
I区						
07号土坑	861	土師器 台付壺	器 口 (2.7)	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5 YR-5/8 ④破片(台部)	台部横撫で調整	
08号土坑	796	土師器 杯	器 口 3.8 口 13.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④ $\frac{3}{4}$	口縁部外反気味横撫で底部丸底気味手持ち 削削り調整	磨滅著しい 底11.5
435号土坑	799	須恵器 壺	長さ 厚み 6(2) 1.6	①細砂 ②還元 ③に 黄褐10YR-5/3 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	外面自然軸 付着
437号土坑	1251	鉄製品 埋管	長さ 厚さ 15.0 1.2	ほぼ完形		縦1.0
486号土坑	800	土師器 台付壺	器 高台径(11.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR +6/8 ④破片(下半部)	台部縦横撫で外面胴部から台部上位にかけて 縦削削り内面胴部横方向削撫で	
566号土坑	801	須恵器 杯	器 口 3.5 口 11.8	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -4/1 ④ $\frac{3}{4}$	口縁部削削り	底6.3
575号土坑	802	土師器 厚き	長さ 厚さ 4(6) 1.1	①粗砂 ②酸化 ③浅黄褐 10YR-8/3 ④ $\frac{3}{4}$	粘土巻き付け、縦方向削撫で	
710号土坑	804	土師器 杯	器 口 (3.6) 口 (15.3)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④ $\frac{3}{4}$	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち 削削り調整	磨滅著しい
713号土坑	806	土師器 鉢	器 口 (4.0) 口 (21.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR +6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で底部平底気味手持ち 削削り調整外面口縁部中位段あり	
745号土坑	807	土師器 杯	器 口 3.4 口 12.6	①粗砂 ②酸化 ③灰7.5Y +6/8 ④ $\frac{3}{4}$	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち 削削り調整	磨滅著しい 底11.7
801号土坑	863	土師器 杯	器 口 3.4 口 12.0 底 9.2	①粗砂 ②酸化 ③に 赤褐5YR-5/4 ④ $\frac{3}{4}$	口縁部内側気味横撫で。底部丸底気味手持ち 削削り調整	外面一部 炭染着色
941号土坑	809	須恵器 高台付壺	器 口 (3.5) 口 (11.2)	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/2 ④ $\frac{3}{4}$	口縁部削削り。底部回転削削り後高台部削削り 付	高台径(7.3)
1158号土坑	814	土師器 杯	器 口 3.6 口 14.3	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR +6/6 ④ $\frac{3}{4}$	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持ち 削削り調整	
1158号土坑	816	土師器 長壺	器 口 (22.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR +6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で胴上位横・下位縦方向削削り内面横方向削撫で調整	外面横し状
1158号土坑	860	土師器 底	器 底 (6.3)	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部削削り内面縦撫で調整	
1195号土坑	818	須恵器 高台付壺	器 高台径 (7.5)	①細砂 ②還元 ③灰5Y -4/1 ④(底部)	口縁部削削り。左回転削削り付高台炭染着色	外面一部
1198号土坑	819	土師器 壺	器 底 (2.0) 底 (6.4)	①粗砂 ②酸化 ③に 黄褐10YR-6/3 ④破片(底部)	底部平底外面胴部・底部削削り内面縦撫で 調整	
1274号土坑	864	須恵器 高台付壺	器 口 5.0 口 13.2 高台径 6.1	①細砂 ②還元 ③橙5YR -7/6 ④ほぼ完形	口縁部削削り。左回転削削り付高台	外面一部 炭染着色
1274号土坑	865	須恵器 高台付壺	器 口 3.8 口 12.1	①細砂 ②還元 ③黄褐2.5 Y-5/3 ④完形	口縁部削削り。左回転削削り	磨滅著しい 底5.2
1274号土坑	866	須恵器 高台付壺	器 口 5.2 口 13.8	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/4 ④完形	口縁部削削り。左回転削削り付高台縦横な作り	磨滅著しい 高台径6.2
1358号土坑	871	縄文 深鉢	長さ 厚み 3(2) 0.9	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④破片(口縁部)		
1390号土坑	868	須恵器 高台付壺	器 高台径 (1.5) 高台径 (7.7)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/2 ④破片(台部)	口縁部削削り。左回転削削り付高台	

遺跡名	番号	器種・形状	大きさ	①胎土 ②地成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1432号土坑	869	須恵器 高台付坏	器 (2.5) 高台径(10.5)	①細砂 ②還元 ③灰10Y -6/1 ④破片(台部)	回転盤切りの換付高台。坏部下位右回転盤削り調整	
1471号土坑	870	土師器 土師器	器 (1.7) 口 (11.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持ち煎削り調整	
1574号土坑	821	土師器 坏	器 (3.0) 口 (13.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち煎削り調整	
1574号土坑	822	須恵器 坏蓋	器 (2.6) 口 (17.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④(天井部欠損)	コクロ成形。天井部右回転盤削り調整	
1589号土坑	824	土師器 坏	器 (2.6) 口 (12.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④(底部欠損)	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち煎削り調整	

4 A | 区墓坑出土遺物 (第384図)

遺跡名	番号	器種・形状	大きさ	①胎土 ②地成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
07号墓坑	798	土師器 土師器	器 (2.6) 口 (13.0)	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5YR-7/8 ④(底部欠損)	口縁部外反気味横撫で底部丸底気味手持ち煎削り調整。内面放射状肌研削	磨減著しい
19号墓坑	1250	鉄製品 鉄鏃	長さ (13.2) 厚さ 0.45	鉄鏃の頭部・茎の一部である。間は棒状突起を有する棒状間である。	頭部・茎先端が欠失している。	幅0.5

4 A | 区遺物散布出土遺物 (第387図、PL75)

遺跡名	番号	器種・形状	大きさ	①胎土 ②地成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
H12-94 +3 +15	437	土師器 坏	器 (2.7) 口 (12.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④(天井部)	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち煎削り調整	磨減著しい
H12-94 -2	438	土師器 壺	器 (3.8) 口 (29.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で調整	磨減著しい
H12-94 ±0	440	須恵器 坏蓋	器 (6.1) 口 (18.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④破片(端・天井部)	コクロ成形器はリング状天井部右回転盤削り調整	深い溝を持つ。径(4.0)
H12-94 +7.5	441	須恵器 広口浅壺	器 (16.6) 口 (21.2)	①細砂 ②還元 ③灰10Y-4/1 ④(底部中央欠損)	器作り。口縁部外反気味。胴部上位に貼りもち内外面横撫で外面胴部下位カキ目	
H12-94 +12.5	442	須恵器 広口浅壺	長さ (14.5) 厚さ 0.8	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	

4 A・B区旧河道出土遺物 (第391～394、PL75・76・80)

遺跡名	番号	器種・形状	大きさ	①胎土 ②地成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
旧河道(4A) 埋土	739	須恵器 坏	器 4.6 口 14.7	①細砂 ②還元 ③灰10Y-5/1 ④ほぼ完形	コクロ成形底部右回転盤削り調整。口唇一部欠損後も使用可	磨減9.7
旧河道(4A) 埋土	740	須恵器 坏	器 (3.3) 口 (12.3)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④(天井部)	コクロ成形。左回転盤削り	
旧河道(4A) 埋土	741	須恵器 坏	器 (1.7) 底 (5.5)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1 ④破片(底部)	コクロ成形。回転盤削り磨し	磨減著しい
旧河道(4A) 埋土	743	須恵器 坏蓋	器 (2.2) 口 (13.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-4/1 ④破片(胴部)	コクロ成形カカリあり天井部左回転盤削り調整	
旧河道(4A) 埋土	744	須恵器 坏蓋	器 (2.2) 口 (12.0)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④破片(胴部)	コクロ成形カカリあり天井部左回転盤削り調整	
旧河道(4A) 埋土	745	須恵器 坏蓋	器 (2.6) 底 2.2	①細砂 ②還元 ③灰10Y-6/1 ④破片(胴部)	コクロ成形器は宝珠状天井部右回転盤削り調整	
旧河道(4A) 埋土	746	須恵器 長頸壺	器 (13.4) 底 (6.0)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-8/1 ④(口唇部欠損)	紐作り横撫で胴部外面平行叩き下半部手持ち煎削り内面横方向煎削り調整	
旧河道(4A) 埋土	747	須恵器 壺	器 (8.0)	①細砂 ②還元 ③オリーブ馬10Y-3/1 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目撫で調整内面同心円当て目外面に他の須恵器付着	外面に自然釉かかると
旧河道(4A) 埋土	748	須恵器 壺	長さ (8.7) 厚さ 1.2	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④破片(胴部)	口縁部横撫で胴部外面平行叩き目撫で調整。内面同心円当て目撫で調整	
旧河道(4A) 埋土	749	須恵器 壺	長さ (7.7) 厚さ 0.6	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④破片(胴部)	外面平行カキ目胴部内面同心円当て目後胴部内面横撫で調整	
旧河道(4A) 埋土	750	須恵器 壺	長さ (7.6) 厚さ 0.9	①細砂 ②還元 ③灰白10Y-7/1 ④破片(胴部)	外面格子状叩き目胴部内面同心円当て目	
旧河道(4A) 埋土	751	須恵器 壺	長さ (6.0) 厚み 0.6	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1 ④破片(胴部)	外面格子状叩き目胴部内面同心円当て目	
旧河道(4A) 埋土	752	須恵器 壺	長さ (7.2) 厚み 1.0	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	
旧河道(4A) 埋土	753	土師器 坏	器 3.2 口 10.6	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④ほぼ完形	口縁部内背気味横撫で底部丸底気味手持ち煎削り調整	やや磨減

遺物観察表

遺物名	番号	器種・形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色相 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
旧河遺(4A) 埋土	754	須臾器 杯	径 4.2 口 12.3	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/8 ④ほぼ完成	クロコ成形右回転糸切り底部やや厚みを持ち重い	底5.7
旧河遺(4A) 埋土	755	土師器 杯	径 3.9 口 13.1 底 9.4	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④⑤	口縁部外反気味先端横撫で下半手持り寛がり底部平底気味手持り寛がり調整。内面放射状気味筋。	磨滅著しい 刻劃「☆」
旧河遺(4A) 埋土	756	土師器 杯	径 3.8 口 13.6	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/8 ④⑤	口縁部内彎気味横撫で底部丸底気味手持り寛がり調整	内面口縁一部炭灰吸着
旧河遺(4A) 埋土	757	土師器 杯	径 3.6 口 13.0	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-7/8 ④⑤	口縁部内彎気味横撫で底部丸底気味手持り寛がり調整	外面磨滅
旧河遺(4A) 埋土	758	土師器 杯	径 5.8 口 15.3	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-8/8 ④⑤	口縁部内彎気味横撫で丸底手持り寛がり調整調整	外面磨滅
旧河遺(4A) 埋土	759	土師器 杯	径 ③2.7 口 (11.5)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/8 ④⑤	口縁部外反気味横撫で底部丸底気味手持り寛がり調整口縁内面に浅い段あり	磨滅著しい
旧河遺(4A) 埋土	760	土師器 杯	径 ③2.8 口 (13.5)	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-8/8 ④⑤	口縁部直立気味横撫で底部丸底気味手持り寛がり調整	磨滅著しい
旧河遺(4A) 埋土	761	土師器 杯	径 ④4.2 口 (14.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④⑤	口縁部外反気味横撫で底部丸底気味手持り寛がり調整	磨滅著しい
旧河遺(4A) 埋土	762	土師器 杯	径 ③2.2 口 (14.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で底部丸底気味手持り寛がり調整。底部に裏りを持つ	磨滅著しい
旧河遺(4A) 埋土	764	鉢輪 高台付段皿	径 ③1.5 口 (12.0)	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 YR-8/1 ④破片	クロコ成形。内面に段を持つ口縁部に線彫刻による蓮花文	鉢輪は新産
旧河遺(4A) 埋土	765	土師器 壺	径 ③2.3 底 (8.0)	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-8/6 ④破片(底部)	底部平底内面寛磨き	磨滅著しい
旧河遺(4A) 埋土	767	土師器 壺	径 ③2.7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(台部)	斜方向朝毛目。ハの字に開く。内、接合痕顕著。指痕及び押え	S字状口縁台部
旧河遺(4A)	768	土師器	径 ③6.2 口 (14.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で胴部外面縦方向寛磨り内面横方向寛磨りで調整	
旧河遺(4A) 埋土	769	土師器 杯	径 ③7.1 口 (20.9)	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-8/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で胴部外面縦方向寛磨り内面横方向寛磨りで調整	磨滅著しい
旧河遺(4A) 埋土	770	土師器 壺	径 ③2.2 底 (5.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(底部)	底部平底外面磨削・底部寛磨り内面寛磨り調整	
旧河遺(4A) 埋土	771	縄文 漆鉢	長さ ③6.0 厚さ (1.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶ濁7.5 YR-6/3 ④破片(胴部上位下位)	縁帯貼付。連続爪形文	阿玉台式
旧河遺(4A) G13-77	792	土師器 台付壺	径 ③8.3 高台径 (9.9)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④⑤(下半部)	外面胴部下位縦方向寛磨り内面横方向寛磨り台部横撫で調整	内面横状で調整
旧河遺(4B) F14-38+62	1049	土師器 杯	径 3.7 口 12.9	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④完成	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持り寛がり調整	
旧河遺(4B) F14-38+33	1060	土師器 杯	径 3.0 口 12.2 底 11.0	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-7/8 ④ほぼ完成	口縁部内彎気味横撫で。底部平底気味手持り寛がり調整	磨滅著しい 外面底部黒斑
旧河遺(4B) F14-38+79	1051	土師器 杯	径 3.2 口 10.8	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④⑤	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持り寛がり調整	やや磨滅気味
旧河遺(4B) F14-37+49	1052	土師器 杯	径 4.3 口 13.2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④⑤	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持り寛がり調整	磨滅著しい 底10.9
旧河遺(4B) F14-37+49+66	1053	土師器 杯	径 3.4 口 12.6	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④⑤	口縁部外反気味先端横撫で内面撫で。底部平底手持り寛がり調整	底8.0
旧河遺(4B) F14-37+15+26	1054	土師器 杯	径 3.5 口 13.2	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐色 YR-5/6 ④⑤	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持り寛がり調整	内面傷付着 か底9.2
旧河遺(4B) F14-37+10	1055	土師器 杯	径 ③3.4 口 (13.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④⑤	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持り寛がり調整	底 (9.0)
旧河遺(4B) F14-37+30+73	1056	土師器 杯	径 3.3 口 12.4	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④⑤	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持り寛がり調整	磨滅著しい
旧河遺(4B) F14-38+1	1057	土師器 杯	径 ③2.7 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持り寛がり調整	
旧河遺(4B) F14-38+49	1058	土師器 杯	径 ③3.5 口 12.0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR -8/8 ④⑤(底部中央欠損)	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持り寛がり調整	磨滅著しい
旧河遺(4B) F14-38	1059	土師器 杯	径 ③3.8 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/8 ④⑤	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持り寛がり調整	磨滅著しい
旧河遺(4B) 第1トレンチ	1060	土師器 杯	径 ③3.9 口 (13.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/8 ④⑤	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持り寛がり調整	磨滅著しい

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②構成 ③色黄 ④焼存	成・整形技法の特徴	備考
旧河道(4B) 埋土	1063	土師器 壺	径 ③.0 口 (16.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④ $\frac{1}{2}$	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち 皿削り調整	磨減著しい
旧河道(4B) F14-34+39	1064	土師器 壺	径 ③.1 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ $\frac{1}{2}$	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち 皿削り調整	磨減著しい
旧河道(4B) F14-47+39	1065	土師器 壺	径 ③.7 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④ $\frac{1}{2}$	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち 皿削り調整	磨減著しい
旧河道(4B) F14-48	1068	土師器 壺	径 ③.5 口 (11.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持ち 皿削り調整	磨減著しい
旧河道(4B) F14-36	1070	土師器 壺	径 ⑦.9 口 (20.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。外面割部上位横方 向皿削り内面割部横方向皿撫で調整	磨減著しい
旧河道(4B) F14-38+38	1072	土師器 壺	径 ④.9 口 (20.3)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	口縁部の字状横撫で。外面割部上位横方 向皿削り内面割部横方向皿撫で調整	
旧河道(4B) F14-37+2	1074	土師器 壺	径 ⑤.0 底 (4.2)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-5/4 ④破片(底部)	外面割部・底部皿削り内面皿撫で調整	内外面一部 僅し状
旧河道(4B) F14-37+2	1141	須恵器 坏	径 3.6 口 13.3 底 5.7	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/4 ④完形	クロコ成形。左回転糸切り	磨減著しい 内外面一部 炭素吸着
旧河道(4B) F14-37+15	1142	須恵器 坏	径 3.6 口 13.3	①細砂 ②還元 ③黄2.5Y-8/6 ④ $\frac{1}{2}$	クロコ成形。左回転糸切り	口縁一部炭 素吸着
旧河道(4B) F14-38	1143	須恵器 坏	径 3.7 口 13.8	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/3 ④ $\frac{1}{2}$	クロコ成形右回転糸切り	外面底部黒 斑。或7.6
旧河道(4B) F14-37+69+81	1144	須恵器 坏	径 ④.5 口 (14.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④ $\frac{1}{2}$	クロコ成形。左回転糸切り	
旧河道(4B) F14-47+61	1145	須恵器 坏	径 ⑤.8 口 (14.2)	①細砂 ②還元 ③灰5Y-4/1 ④ $\frac{1}{2}$ (高台欠損)	クロコ成形回転糸切り付高台	磨減著しい 一部炭決
旧河道(4B) 埋土	1146	須恵器 坏	径 ④.9 底 5.2	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④ $\frac{1}{2}$ (口縁部欠損)	クロコ成形。左回転糸切り	磨減著しい 一部炭決
旧河道(4B) F14-37+74	1147	須恵器 坏	径 ④.0 口 (10.4)	①細砂 ②還元 ③明黄7.5YR-5/6 ④1/10	クロコ成形回転糸切り	磨減著しい
旧河道(4B) 埋土	1149	須恵器 坏	径 ③.2 底 (8.6)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-4/1 ④破片(底部)	クロコ成形回転糸切りの後底部両辺手持ち 皿削り調整	
旧河道(4B) F14-37+36	1151	須恵器 坏	径 ④.0 口 (11.6)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④1/10	クロコ成形回転糸切り	
旧河道(4B) F14-36	1152	須恵器 坏	径 ④.9 口 (11.6)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1 ④破片(底部)	クロコ成形器底部削り調整	
旧河道(4B) F14-37+36	1153	須恵器 高台付椀	径 5.0 口 15.0	①細砂 ②還元 ③橙7.5YR-6/6 ④ $\frac{1}{2}$	クロコ成形。左回転糸切り付高台	内外面一部 煤付着
旧河道(4B) F14-37+58	1154	須恵器 高台付椀	径 ③.3 高台径 (6.0)	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/4 ④ $\frac{1}{2}$ (口唇部欠損)	クロコ成形回転糸切り付高台	磨減著しい
旧河道(4B) F14-37+32	1155	須恵器 高台付椀	径 ③.3 高台径 (6.9)	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/3 ④ $\frac{1}{2}$ (口唇部欠損)	クロコ成形。左回転糸切り付高台	磨減著しい
旧河道(4B) F14-38	1156	須恵器 高台付椀	径 ③.4 高台径 (7.2)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④ $\frac{1}{2}$ (口唇部欠損)	クロコ成形。左回転糸切り付高台	磨減著しい
旧河道(4B) F14-37+15・+17	1157	須恵器 高台付椀	径 ④.3 高台径 (7.6)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④ $\frac{1}{2}$ (口縁部欠損)	クロコ成形。左回転糸切り付高台	磨減著しい
旧河道(4B) F14-37+53	1158	須恵器 高台付椀	径 ③.0 高台径 (7.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(底部)	クロコ成形。左回転糸切り付高台	磨減著しい
旧河道(4B) F14-30	1159	須恵器 高台付皿	径 3.0 口 14.1 高台径 6.3	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④完形	クロコ成形回転糸切り付高台	磨減著しい 口縁一部炭 素吸着
旧河道(4B) F14-30+4	1160	須恵器 高台付皿	径 2.9 口 12.8 高台径 6.3	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5Y-7/3 ④ $\frac{1}{2}$	クロコ成形回転糸切り付高台	磨減著しい 内外面僅し 状
旧河道(4B) F14-39+66	1161	須恵器 高台付皿	径 2.8 口 14.6 高台径 7.0	①細砂 ②還元 ③浅黄5Y-8/4 ④ $\frac{1}{2}$	クロコ成形。左回転糸切り付高台	内面磨減著 しい内外面 一部僅し状
旧河道(4B) F14-38+63	1162	須恵器 坏	径 ③.8 口 (11.5)	①細砂 ②還元 ③灰10Y-5/1 ④ $\frac{1}{2}$ (底欠損)	クロコ成形カエリあり天井部右回転皿削り 調整	紐は宝珠状 か
旧河道(4B) F14-46+23	1163	須恵器 坏	径 ③.3 口 (17.3)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(底部)	クロコ成形天井部右回転皿削り調整	

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
旧河道(4B) F14-38	1166	須恵器 白付甕	器 (8.2) 底 (7.6)	①細砂 ②還元 ③灰3Y -5/1 ④破片(底・台部欠損)	ロクロ成形。内外面撫で調整。台部削離	磨減著しい 外面撫で
旧河道(4B) F14-46+8	1167	須恵器 甕	器 (9.3)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④破片(下半部)	ロクロ成形。内外面撫で調整	底部他に比 べて厚い
旧河道(4B) F14-35	1168	須恵器 坏	器 (2.6) 底 (9.9)	①細砂 ②還元 ③灰白10 Y-8/1 ④欠(底部)	ロクロ成形。外面手持ち置削り内面撫撫で調整	
旧河道(4B) 埋土	1169	須恵器 甕	長さ 5.5 厚み 0.6	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	
旧河道(4B) 埋土	1170	須恵器 甕	長さ 5.8 厚み 0.7	①細砂 ②還元 ③灰白10 Y-8/1 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目の後カキ目内面同心円当て目	
旧河道(4B) F14-38	1171	須恵器 高台付椀	器 (3.5) 高台径 (6.4)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④破片(底面)	ロクロ成形回転糸切り付高台	
旧河道(4B) F14-38+41	1172	須恵器 甕	器 (3.9) 口 (20.3)	①細砂 ②還元 ③灰10Y -4/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部外反気味横撫で調整	
旧河道(4B) F14-37+9・+40	1175	土師器 小型甕	器 (7.3) 口 (10.2)	①粗砂 ②酸化 ③明褐7.5 YR-5/6 ④破片(上半部)	口縁部直立気味横撫で胴部外面縦方向置削り内面横方向撫撫で調整	

4A1・II区グリッド・表採出土遺物 (第395～397区、PL76・79・80)

II区						
遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
F14-94 グリッド	75	土師器 白付甕	器 (3.8) 高台径 7.8	①粗砂 ②酸化 ③淡黄褐色 10YR-8/4 ④台部	外面縦方向置削り。内面撫撫で調整	台部接合 で横撫で調整
G14-47 グリッド	77	陶器 高台付椀	器 (2.5) 高台径 (5.0)	①細砂 ②還元 ③淡黄褐色 7.5YR-8/3 ④破片(底部)	ロクロ成形。付高台。肥前陶器。御器手執	全面に釉か かる
G14-48 グリッド	78	須恵器 高台付椀	長 (12.2) 幅 8.7	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/1 ④破片(胴部)	外面平行叩き目。内面同心円当て目	厚1.2
G14-48 グリッド	79	土師器 坏	器 4.2 口 13.2	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部内反気味横撫で。底部丸底気味手持ち置削り調整	底11.7
I-1トレンチ	80	須恵器 高台付椀	器 (1.9) 高台径 (7.0)	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 YR-8/2 ④欠	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	磨減
I-3トレンチ	81	陶器 高台付椀	器 (2.4) 高台径 (5.5)	①細砂 ②還元 ③断面淡 黄2.5Y-8/3 ④欠	ロクロ成形。付高台。瀬戸美濃。割物高台 皿以下無釉。17～18C	全面に釉か かる
I-4トレンチ	83	須恵器 坏	器 2.5 底 6.9	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④欠	ロクロ成形。口縁下半左回転置削り調整	
I-6トレンチ	84	土師器 甕	器 (4.2) 底 (8.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 黄褐色10YR-7/4 ④破片(底 部)	外面置削り。内面撫撫で調整	
表採	88	須恵器 甕	器 (7.9) 口 (34.8)	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で。胴部内外面撫で調整	
表採	89	須恵器 高台付皿	器 2.6 口 12.0	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④欠	ロクロ成形。左回転糸切り。付高台	磨減著しい
表採	90	瓦	長さ <21.0 厚さ 5.4	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/2 ④	外面、置調整。内面、布目仕儀。指撫で消 し	
I区						
H13-01 グリッド	825	須恵器 坏	器 3.5 口 13.7 底 7.2	①細砂 ②還元 ③淡黄褐色 10YR-8/4 ④欠	ロクロ成形。左回転糸切り	内面磨減口 縁撫し伏置 付着
H13-06 グリッド	826	須恵器 坏	器 (4.1) 口 (12.7) 底 (7.4)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④欠	ロクロ成形。左回転糸切り	底部にやや 厚みを持つ
H13-47 グリッド	827	須恵器 高台付皿	器 (2.3) 口 13.5	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④欠(高台部欠損)	ロクロ成形回転糸切り付高台	内外面撫し 伏
H12-97 グリッド	828	須恵器 坏	器 1.9 口 9.3	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④ほぼ完形	ロクロ成形天井部回転糸切りの後右回転置 削り調整。器あり	皿1.4
H12-78 グリッド	829	須恵器 坏	器 (2.8) 口 (15.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/2 ④欠(天井部) 調整	ロクロ成形縦はリング状天井部右回転置削 り調整	皿(4.1)
H12-98 グリッド	830	須恵器 坏	器 (1.6) 口 (14.9)	①細砂 ②還元 ③オリーブ 灰5Y-6/2 ④欠(天井部欠 損)	ロクロ成形天井部右回転置削り調整	天井部自然 釉付着
H12-40 グリッド	832	土師 厚み 1.6	長さ (4.8)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 黄7.5YR-5/3 ④完形	外面撫撫で調整	一部黄赤色 着。幅1.6

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②施文 ③色調 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
表採	833	須恵器 羽釜	器 <22.7> 口 (28.6)	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/4 ④γ(上半部)	口縁先端部平ら脚はCタイプ	
H12-95 グリッド	835	須恵器 壺	長さ (4.2) 底 (12.7)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/2 ④破片(胴部)	底部平底。胴部外面平打ち目。胴部内面 無調整	
H12-78 グリッド	836	須恵器 壺	長さ (12.8) 厚み 1.0	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/1 ④破片(胴部)	胴部外面平打ち目胴部内面同心円当て目	
H13-58 グリッド	837	須恵器 壺	長さ (7.0) 厚み 1.2	①細砂 ②還元 ③にぶい 徳5YR-6/4 ④破片(胴部)	胴部外面平打ち目胴部内面同心円当て目	
H12-97 グリッド	838	須恵器 壺	長さ (8.9) 厚み 1.7	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 YR-6/2 ④破片(胴部)	胴部外面平打ち目胴部内面同心円当て目	
H13-06 グリッド	841	須恵器 壺	長さ (5.8) 厚み 1.2	①粗砂 ②還元 ③灰5Y -4/1 ④破片(胴部)	胴部外面平打ち目胴部内面同心円当て目 無調整	
H13-08 グリッド	842	須恵器 壺	長さ (8.1) 厚み 0.8	①細砂 ②還元 ③灰黄褐 10YR-5/2 ④破片(胴部)	胴部外面平打ち目胴部内面同心円当て目	
H12-98 グリッド	843	土師器 杯	器 <4.0> 口 (14.3)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④γ	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち宛削り調整	内面放射状 段研磨
H13-18 グリッド	844	土師器 杯	器 <6.2> 口 (17.5)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④γ	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持 ち宛削り調整	内面放射状 段研磨
H12-95 グリッド	845	土師器 杯	器 <4.1> 口 (13.7)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/8 ④破片	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち宛削り調整	磨減著しい 底 (11.3)
H12-95 グリッド	847	土師器 杯	器 <3.4> 口 (12.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/8 ④破片	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味手持 ち宛削り調整	磨減著しい
H13-78 グリッド	848	土師器 杯	器 <4.0> 口 (13.8)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片	口縁部直立気味横撫で。底部平直気味手持 ち宛削り調整	
H13-06 グリッド	849	土師器 杯	器 <3.9> 口 (13.2)	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-7/8 ④破片	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持 ち宛削り調整	磨減著しい
H13-27 グリッド	850	土師器 杯	器 <3.3> 口 (13.0)	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙 7.5YR-8/6 ④破片	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持 ち宛削り調整	
H12-95 グリッド	851	土師器 杯	器 <3.0> 口 (11.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち宛削り調整	磨減著しい
H13-18 グリッド	856	須恵器 高台付輪	器 <3.6> 口 (12.8)	①細砂 ②還元 ③にぶい 橙7.5YR-6/4 ④破片	クロコ成形。口唇部が平らで水平	
H12-98 グリッド	857	土師器 杯	器 <3.0> 口 (13.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持 ち宛削り調整	磨減著しい
H13-06 グリッド	858	土師器 壺	器 <7.1> 口 (17.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方 向宛削り内面胴部横方向直撫で調整	磨減著しい
H12-17 グリッド	859	土師器 台付壺	器 <3.2>	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/8 ④γ(台部)	台部内外面横撫で調整	
I 12-68 グリッド	872	縄文 深鉢	長さ (6.6) 厚さ 0.9	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 7.5YR-7/4 ④破片(浅黄5Y)	口縁部、押し。胴部2本の直線	
表採	873	須恵器 高台付輪	器 5.0 口 14.5	①細砂 ②還元 ③浅黄5Y -7/3 ④γ	クロコ成形回転糸切り付高台	磨減著しい
I 12-83 グリッド	874	灰釉陶器 高台付輪	器 <2.4> 高台径 (7.5)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/2 ④γ(底部)	クロコ成形。回転糸切り。高台は貼付、底 部は回転ヘララダ。光ヶ丘1号溝式-大原 2号室期	内外面口縁 部施釉
I 12-40 グリッド	876	土師器 杯	器 <2.7> 口 (12.5)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④破片	口縁部外反気味横撫で。底部平底気味手持 ち宛削り調整	
I 12-51 グリッド	878	土師器 台付壺	器 <2.4> 高台径(10.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 徳5YR-4/4 ④破片(台部)	台部内外面横撫で調整	
I 13-35 グリッド	879	土師器 長壺	器 <8.2> 口 (22.5)	①粗砂 ②酸化 ③赤褐5 YR-4/6 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。胴部外面縦方向宛 削り内面横方向直撫で調整	
I 12-83 グリッド	880	土師器 壺	器 <6.5> 口 (15.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部口の字状横撫で外面胴部横方向宛削 り内面胴部横方向直撫で調整	比較的厚い
H12-95 グリッド	1196	石弁	長さ 10.6 厚さ 1.8	④定形 石材褐色片岩重き130	盤型を呈する	磨型幅6.1
G13-97 グリッド	1283	鉄製品 板状鉄	長さ (5.8) 厚さ 0.4	長方形の鉄板状品。長側辺の一部を欠損している。用途は不明。錆ぶく れにより厚くなるも本来薄手の鉄板状であったものと考えられる		幅2.1
H13-97 グリッド	1254	鉄製品 刀子	長さ (8.5) 厚さ 0.2	刃部先端及び葉の一部を欠失する。刃は細長く研ぎによるものと考えら れる。肉側で小さめの茎を有する		幅1.0
I 13-00 グリッド	1255	鉄製品 鉄製玉	長さ 1.2 厚さ 0.9			幅1.1

2. 篠塚四反歩地区(4B区)

4B区01号住居出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
884	土師器 杯	器 3.1 口 12.0	-6	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/8 ④完形	口縁部外反気味横線で、底部平底気味手持ち荒削り調整	磨減著しい 底10.2
885	土師器 杯	器 2.9 口 10.2 底 7.0	-1 -0.5	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙 7.5YR-8/6 ④3/4	口縁部外反気味横線で、底部丸底気味手持ち荒削り調整	磨減著しい 内面灰素吸着
886	土師器 杯	器 <3.4 口 (12.0)	-2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横線で、底部丸底気味手持ち荒削り調整	内外面一部 灰素吸着
887	土師器 杯	器 <3.0 口 (12.0)	+42	①粗砂 ②酸化 ③明褐7.5 YR-5/6 ④破片	口縁部直立気味横線で、底部丸底気味手持ち荒削り調整	磨減著しい 底部黒炭
889	土師器 甕	器 <7.0	-3	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/8 ④破片(底部)	底部丸底気味外面割部・底部部削り内面荒削り調整	
890	須恵器 高台付杯	器 <1.9 高台径(16.0)	+23.5	①細砂 ②還元 ③灰7.5 YR-5/1 ④破片(底部)	ロクロ成形付高台	
891	須恵器 壺	高さ 3.2 厚さ 1.5	+58	①細砂 ②還元 ③灰10Y -5/1 ④破片(胴部)	胴部外面平行叩き目内面同心円当て目	
892	土師器 小型壺	器 <8.9 口 (12.0)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③灰黄2.5 Y-6/2 ④破片(上半部)	口縁部外反気味横線で、胴部外面斜方向削り内面横方向荒削り調整	

4B区02号住居出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
893	須恵器 高台付壺	器 <2.2	+9	①細砂 ②還元 ③浅黄5Y 7/3 ④破片(底部)	ロクロ成形付高台	磨減著しい
894	土師器 杯	器 <5.3 口 (16.0)	+10	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味横線で、底部丸底気味手持ち荒削り調整	磨減著しい
897	土師器 壺	器 <6.0 口 (14.0)	-1 +10	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	口縁部3つの字状横線で、外面胴部上位横方向荒削り内面胴部横方向荒削り調整	

4B区03号住居出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
896	土師器 壺	器 <7.8 口 (18.0)	-11	①粗砂 ②酸化 ③明赤弱5 YR-5/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横線で、外面胴部上位横方向荒削り内面胴部横方向荒削り調整	

4B区04号住居出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
899	内耳鍋	器 <1.8 底 (15.1)	-6	①粗砂 ②酸化 ③灰褐7.5 YR-5/3 ④破片(底部)	底部平底気味荒削り調整	砂底気味

4B区05号住居出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
915	須恵器 甕	器 <2.0 底 (18.4)	+1	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。底に18cmの穿孔を機成前に施す。穿孔は手持ち荒削り調整	
916	須恵器 鉈	器 <1.9 底 4.8	±0	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④3/4(端部欠損)	ロクロ成形鉈はリング状天井部右回転削り調整	
918	須恵器 杯	器 <1.5 口 (14.6)	±0埋土	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④破片(端部)	ロクロ成形カエリあり	
919	須恵器 鉢	器 15.4 口 17.9 高台径 9.7	-12	①粗砂 ②還元 ③灰白N -7/ ④完形	ロクロ成形口縁先端部はやや丸みを持ち内斜底部・底部両辺手持ち荒削り調整	内面・底部 摩耗底面比較的厚い
920	須恵器 小型壺	器 18.5 口 14.2 底 8.3	-10	①細砂 ②還元 ③灰白10 Y-7/1 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横線で胴部外面平行叩き目ロクロ調整	外面胴部自然釉かかると 例19.5
921	土師器 杯	器 3.6 口 12.3	-0.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/8 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横線で、底部丸底気味手持ち荒削り調整	口縁一部灰 素吸着
922	土師器 杯	器 3.5 口 12.0	-3	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-8/8 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横線で、底部丸底気味手持ち荒削り調整	磨減著しい 底10.5

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
923	土師器 環	器 3.8 口 10.8 底 9.3	-7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち荒削り調整	磨滅著しい 外面底部黒底
924	土師器 環	器 3.4 口 11.7	-9	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち荒削り調整	磨滅著しい 底10.1
925	土師器 環	器 3.3 口 12.4	-2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち荒削り調整	外面底部黒底
926	土師器 環	器 3.5 口 11.1	-1.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち荒削り調整	磨滅著しい 底9.8
927	土師器 環	器 4.5 口 14.3 底 9.9	-11	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち荒削り調整	磨滅著しい 外面底部黒底
928	土師器 環	器 5.6 口 15.8	-12	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち荒削り調整	内面底部煤 付着
929	土師器 壺	器 3.5 口 15.6	-16	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④完形	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち荒削り調整	磨滅著しい 底13.3
930	土師器 壺	器 4.3 口 16.1 底 13.0	-10	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④ほぼ完形	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち荒削り調整	底部内外面 炭素吸着
931	土師器 環	器 4.1 口 13.5	-8	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④ほぼ完形	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち荒削り調整	磨滅著しい 一部炭反
932	土師器 環	器 3.8 口 12.3	-10 -7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④1/2	口縁部外反気味横撫で。底部丸底気味手持ち荒削り調整	底8.3
933	土師器 環	器 3.7 口 11.9 底 10.3	±0	①粗砂 ②酸化 ③明黄褐 10YR-6/6 ④1/2	口縁部内彎気味横撫で。底部丸底気味手持ち荒削り調整	磨滅著しい 内外面一部 炭素吸着
934	土師器 環	器 <3.2> 口 (11.0)	±0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で底部平底気味	内面煤付着
935	土師器 環	器 <3.0> 口 (11.7)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横撫で底部平底気味	
936	土師器 壺	器 <4.6> 口 (24.0)	-10 -5 -3 -2.5 ±0 +1	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④破片(上半部)	口縁部外反気味横撫で割上位置・下位縦方向 内面縦方向内側方向隆撫で	内外面一部 炭素吸着
938	土師器 台付甕	器 <4.3> 高台径(10.0)	±0 +15	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/8 ④破片(台部)	台部横撫で。撫で調整	
939	土師器 壺	器 <2.8> 口	±0 ④破片(底部)	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5Y -6/8	胴部外反気味削り内面縦撫で調整	底部砂底一 部煤付

4 B区06号住居出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
900	須恵器 環	器 <2.1> 底 (7.4)	+6	①細砂 ②還元 ③灰10Y -6/1 ④1/2(底部)	ロクロ成形。左回転糸切り	
901	羽釜	器 <25.7> 口 20.0	-7 -3.5 +3	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④1/2(底部欠損)	口縁部先端部内側。罫はAタイプ。内外面横 撫で割下位縦方向手持ち荒削り	外面底部煤 付着。磨面有
902	須恵器 高台付椀	器 <2.2> 高台径(8.4)	-4	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/2 ④破片(座部)	ロクロ成形。左回転糸切り付高台	
904	須恵器 杯蓋	器 3.1 口 17.2	-9	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄褐10YR-5/4 ④1/2(胎土欠損)	ロクロ成形。天井部右回転荒削り調整	内面天井部 磨面あり
905	土師器 環	器 3.5 口 12.0	-2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④完形	口縁部直立気味横撫で。底部丸底気味の平 底手持ち荒削り調整	底部中央付 近部の目
906	土師器 環	器 3.2 口 11.6	-9 +3	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④1/2	口縁部先端部横撫で。底部平底。手持ち荒削り 調整。中位に段あり。内面放射状粗研磨	底7.7
907	土師器 環	器 2.7 口 12.3	-9	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④ほぼ完形	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち 荒削り調整	口縁一部炭 素吸着
908	土師器 環	器 3.0 口 12.0	+1	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/8 ④1/2	口縁部直立気味横撫で。底部平底気味手持ち 荒削り調整	磨滅著しい 底10.0
909	土師器 壺	器 <21.4> 口 20.6	+0.5埋土 表採	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 赤褐5YR-5/3 ④1/2(下半部欠損)	口縁部フの字・横撫で。割上位置より横方向 下位縦方向荒削り。内面横方向隆撫で	内外面一部 炭素吸着

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
910	土師器 小型壺	器 <3.4> 口 (13.0)	-9 -3埋土	①粗砂 ②酸化 ③明褐色 YR-5/8 ④△(口縁部)	口縁部外反気味横撫で。外面胴部上位横方向裏削り内面胴部横方向裏撫で調整	
911	土師器 壺	器 (11.9) 口 (20.0)	-8 +3埋土	①粗砂 ②酸化 ③にょい ④破片(口縁部)	口縁部コの字状横撫で。胴部上位に張り、横方向裏削り。胴内面横方向裏撫で調整	
912	土師器 壺	器 <3.4>	-8	①粗砂 ②酸化 ③にょい 赤褐色5YR-5/4 ④破片(底部)	外面胴部・底部裏削り内面裏撫で調整	外面炭素吸着
913	縄文 深鉢	長さ 7.2 厚み 0.6	覆土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐色 YR-5/8 ④破片	L R縄文蓋す	
1322	鉄製品 刀子	長さ (22.3) 厚さ 0.5	-16.5		刃及び茎先端が欠損。刃は極めて巾狭く長い。研ぎべりによると思われる。茎も細長く全体に細身の刀子である。両側を呈する	

4 B区07号住居出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1046	須恵器 坏	器 <3.0> 底 (7.2)	カマド内	①細砂 ②還元 ③灰10 YR-8/1 ④△(底部)	ロクロ成形。底部回転糸切り未調整	
1047	土師器 坏	器 (4.2) 口 (12.6)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR- 6/8 ④△	口縁部横撫で。口唇端部やや内傾。体部指頭瓶。体部下平から底部裏削り	
1048	土師器 坏	器 <3.0> 底 (4.2)	カマド内	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐色 YR-5/6 ④△(底部)	胴下半斜方向、下底部横方向裏削り。底部裏削り。内面撫で	

4 B区01号竪穴状遺構出土遺物

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1137	須恵器 壺	長さ 7.4 厚み 1.1	-4	①細砂 ②還元 ③灰白5Y- 8/2 ④破片(胴部)	胴部外側平行叩き目。平行カキ目内周同心円当て目	

4 B区掘立柱建物出土遺物

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
06号掘立P2	1117	石製 紡輪車	径 5.2 厚さ 0.8	④完形 石材デイスait重さ59g	偏平な円盤状を呈し、両面平滑。上面ドーナツ状凹痕あり	孔0.9
19号掘立P4	1311	古銭	径 2.5 孔 0.75			
19号掘立P4	1312	古銭	径 2.4 孔 0.8			
19号掘立P4	1313	古銭	径 2.45 孔 0.7			
19号掘立P4	1314	古銭	径 2.4 孔 0.7			
19号掘立P4	1320	古銭	径 2.25 孔 0.6			
19号掘立P4	1321	古銭	径 2.25 孔 0.8			
21号掘立P2	1317	古銭	径 2.4 孔 0.75			

4 B区溝出土遺物

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号溝 F13-70	973	陶鉢	器 底 (13.5)	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-6/2 ④底部	底部回転糸切り	
01号溝 F13-70	975	内耳納	器 口 (31.0)	①細砂 ②還元 ③黒2.5Y- 2/1 ④△/10(口縁部)	外面口縁部横撫で胴部指おさえ撫で調整 内面横撫で調整	内外面塗し状
01号溝 F13-80	992	内耳納	器 口 (27.2)	①細砂 ②還元 ③褐7.5Y- 4/4 ④△(口縁部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ撫で調整 内面横撫で調整	内外面塗し状。磨滅
01号溝 F13-80	1079	須恵器 肥手付壺	長さ 6.0 厚さ 3.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y- 8/2 ④破片(肥手)	手捻り発削り調整	炭素吸着
01号溝 F13-80	1080	古瀬戸 瓶	長さ 5.3 厚み 1.3	①細砂 ②還元 ③暗オリ 7.5Y-4/3 ④破片(胴部)	ロクロ調整。古瀬戸。鉄粒を外面に散布	内外面黒粒 外面緑刺文
02号溝 F13-81	980	内耳納	器 底 (19.0)	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-4/1 ④△(底部)	外面胴部指おさえ撫で調整内面横撫で調整	内外面塗し状。磨滅

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
03号溝 F13-82	981	内耳鍋	器 口径 底 (1.8) (20.0)	①細砂 ②還元 ③灰黄 濁10YR-5/4 ④破片(底部)	割で調整	内外面直し 状
03号溝 F13-72	982	内耳鍋	器 口径 底 (5.6) (29.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y -4/1 ④1/10(口縁部)	口縁部横撫で外面指おさえ内外面撫で調整	
04号溝 F13-87	1081	土師器 台付壺	器 口径 底 (3.1)	①粗砂 ②酸化 ③黄緑10 YR-7/8 ④破片(台部)	外面部状工具による撫で調整。口縁部「S」 字状を呈する	砂底石田川 字状を呈する
04号溝 F13-77	1082	須恵器 壺	器 口径 底 (12.8) (14.6)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④1/4(上半部)	肩部2本の沈線区画。6本1単位の波状文 2段	
04号溝 埋土	1083	須恵器 坏	器 口径 底 (2.6) (6.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④破片(底部)	クロコ成形。左回転糸切り	
04号溝 F14-15	1084	須恵器 壺	器 口径 底 (9.0) (15.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④破片(上半部)	クロコ成形。口縁部内彎気味横撫で。内外 面横撫で調整	
04号溝 埋土	1086	土師器 坏	器 口径 厚さ (3.0) 0.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5Y -6/8 ④破片(底部)	底部平気味手持ち履削り調整	内面線刻
04号溝 F13-97	1087	織文 小型深鉢	器 口径 厚さ (2.4) 0.5	①粗砂 ②普通 ③橙5YR -6/6 ④	平行沈線施す	
04号溝 F14-25	1088	石斧	長さ 厚さ 9.9 1.2	④完形 石材顔色片割重さ110	分削型呈し、えぐり磨耗	分削型 幅7.2
04号溝	1214	織文 深鉢	器 口径 底 (3.5) (6.0)	①粗砂 ②普通 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片	平底。無文	磨減著しい
04号溝	1262	古鏡	径 厚さ 2.45 6.3			
05号溝 F13-87	1090	須恵器 坏	器 口径 底 (1.3) (6.4)	①細砂 ②還元 ③灰黄5Y -8/3 ④破片(底部)	クロコ成形。左回転糸切り	磨減著しい
05号溝 F14-34	1091	須恵器 坏	器 口径 底 3.9 11.9	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④ほぼ完形	クロコ成形。左回転糸切り口唇部炭染	磨減著しい
05号溝 F14-06	1104	羽釜	口径 底 (6.5) (20.0)	①細砂 ②還元 ③灰黄5Y -8/4 ④(口縁部)	口縁先端部内斜を呈す跡はAタイプ	外面炭染着 しい
05号溝 F14-44	1263	鉄製品 板状鉄	長さ 厚さ (9.6) 0.3	板状の鉄製品であり短辺辺部が共に欠失している。長辺辺部はともに薄 く扁平で、刃の有無は不明である。錆の可能性はあるが、断定はできな い。後の屈曲は原状のものではないと考える		幅3.5
11号溝 G13-80	943	深鉢	器 口径 底 (9.7) (12.8)	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-3/1 ④下半部1/4	外面胴部指おさえ撫で調整。内面磨り面あり	
11号溝 G13-80	1092	打製石斧	長さ 厚み 8.5 1.1	④1/4 石材材質異割重さ90g	瓶脚状を呈し、刃部丸味を持つ。片面自然 面残	短瓶型 幅5.6
15号溝 F14-07	944	深鉢	器 口径 底 (5.7) (10.0)	①細砂 ②還元 ③橙7.5Y YR-7/6 ④底部1/4	外面胴部指おさえ撫で調整。内面磨り面あり	外面底部磨 減
15号溝 F14-07	987	内耳鍋	器 口径 底 (12.7) (31.8)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y YR-4/1 ④1/4(口縁部)	口唇部内彎横撫で外面指おさえ撫で調整。内 面横撫で調整	内外面直し 状
15号溝 F14-06	1094	磁石	長さ 厚み (10.9) 3.2	④1/4 石材磁沢石重さ189.4g	角柱状を呈し、使用面縦方向糸線。2面使用 1面丸味を持ち1面光射板は丸味を持つ	幅3.2
16号溝 F14-08	1095	磁石	長さ 厚み (13.3) 3.5	④1/4 石材磁沢石重さ320g	天井部が欠損。断面長方形。四隅部使用で あるが自然面残す。擦痕は丸味をもつ	幅6.7

4 B区窪池・池状遺構出土遺物

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号窪池	945	深鉢	器 口径 底 (15.7) (31.8)	①細砂 ②還元 ③灰黄5Y -8/3 ④破片(口縁部・下半 部)	外面口縁部横撫で胴部指おさえ撫で調整。内 面磨り面あり	底(12.3)
01号窪池	946	深鉢	器 口径 底 (15.8) 29.5 (13.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④1/4(底部欠損)	クロコ成形回転糸切り。片口口縁部横撫で 内面胴部横方向履削り。内面、磨面あり	外面底部周 辺煤付着
01号窪池	947	深鉢	器 口径 底 (12.8) (33.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④1/4(底部欠損)	外面口縁部横撫で胴部指おさえ撫で調整。内 面胴部磨り面あり	外面口唇部 磨減
01号窪池	948	深鉢	器 口径 底 (7.6) (13.0)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④1/4(下半部)	外面胴部指おさえ撫で調整。内面磨り面あり	
01号窪池	989	内耳鍋	器 口径 底 (4.5) (20.0)	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/4 ④1/4(底部)	外面指おさえ内外面撫で調整内面全体外面 胴部直し状	
01号窪池	1105	須恵器 壺	器 口径 底 (5.8) (18.0)	①粗砂 ②酸化 ③灰7.5Y -4/1 ④破片(口縁部)	口縁部直立気味先端で外反横撫で調整	

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②施文 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
02号溝池	950	圓鉢	器口 15.0 (30.3)	①細砂 ②還元 ③におい黄2.5Y-6/3 ④1/4(底部欠損)	口縁部横線でクロコ成形回転余切り。蓋部両辺手持ち貫削り。外面指おさえ	内面掻きやぶりあり
02号溝池	951	圓鉢	器口 13.7 (32.7)	①細砂 ②還元 ③黒褐2.5Y-3/1 ④1/4(底部欠損)	外口縁部横線で胴部指おさえ無で調整。内面磨り面あり	
02号溝池	952	圓鉢	器底 <3.5 (12.7)	①細砂 ②還元 ③灰5Y ④1/4(底部)	外面胴部指おさえ無で調整内面磨り面あり	
02号溝池	953	圓鉢	器口 12.0 (12.0)	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④1/4(下半部)	外面胴部指おさえ無で調整内面磨り面あり	内外面磨減
02号溝池	954	圓鉢	器口 <4.3 (11.2)	①細砂 ②還元 ③におい黄 ④10YR-7/3 ⑤1/4(底部)	外面胴部指おさえ無で調整底部余切り。内面磨り面あり	外面灰化物付着
02号溝池	955	圓鉢	器口 <4.5 (12.3)	①細砂 ②還元 ③オリーブ黒7.5Y-3/1 ④1/4(底部)	外面胴部指おさえ無で調整内面磨り面あり	外面曝付着
02号溝池	956	圓鉢	器口 15.3 (29.7)	①細砂 ②還元 ③におい黄 2 . 5 Y-6/3 ④破片(口縁-胴部)	外面胴部指おさえ無で調整底部平底内面磨り面あり	底 (11.1)
02号溝池	961	圓鉢	器口 13.8 (30.0)	①細砂 ②還元 ③におい黄 ④破片(口縁-胴部) ⑤10YR-6/4	外面胴部指おさえ無で調整内面磨り面あり	内外面磨減 底 (13.7)
02号溝池	1063	内耳鍋	器口 <6.1 (28.0)	①細砂 ②還元 ③黒褐2.5Y-3/1 ④破片(口縁部)	口縁部横線で外面胴部指おさえ無で調整。内外面横し状内面横線で調整磨減。内耳付	
02号溝池	1004	内耳鍋	器口 <8.5 (29.0)	①細砂 ②還元 ③灰2.5Y ④2/1 ④破片(口縁部)	口縁部横線で外面胴部指おさえ無で調整。内外面横し状内面横線で調整内面やや磨減	
02号溝池	1005	内耳鍋	器口 <4.7 (25.7)	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-4/1 ④破片(口縁部)	口縁部横線で外面胴部指おさえ無で調整。内外面横し状内面横線で調整(内耳付)	内外面磨減
02号溝池	1007	内耳鍋	器口 <5.7 (18.5)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y ④1/4(底部)	無で調整	外面一部横し状
02号溝池	1008	内耳鍋	器口 <5.4 (30.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y ④6/1 ④1/12(口縁部)	口縁部反口唇部やや内側外面胴部指おさえ無で調整。内面横線で調整	外面一部横し状
02号溝池	1011	内耳鍋	器口 <6.6 (28.0)	①細砂 ②還元 ③灰5Y ④6/1 ④1/10(口縁部)	口縁部横線で外面胴部指おさえ無で調整。内面横線で調整	
02号溝池	1106	圓鉢	器口 <6.2 (10.7)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y ④5/1 ④1/4(下半部)	底部平高。内面ノキ目	磨耗。歪み著しい
02号溝池	1107	須恵器環	器口 <1.6 (5.2)	①細砂 ②還元 ③明灰黄 2.5Y-4/2 ④破片(底部)	クロコ成形。左回転余切り	磨減著しい一部破欠
02号溝池	1108	須恵器高台付椀	器口 <2.1 (6.9)	①細砂 ②還元 ③灰黄5Y ④8/4 ④破片(底部)	クロコ成形。左回転余切り付高台	
02号溝池	1109	古瀬戸瓶	長さ 7.9 厚み 0.9	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y ④7/3 ④破片(胴部)	瓶の体部片。外面にスタンブ文を散らす。	外面自然釉付着華文
02号溝池	1110	磁石	長さ (10.2) 厚み 2.4	④1/4石材磁石石重さ178.7g	天井部欠損。三面使用。狭側面磨耗部分と荒削り部分残る	幅3.6
02号溝池	1111	軽石製品	長さ 8.4 厚み 5.0	④完形石材二ツ岳軽石重さ200g	マンジュウ形を呈し、底面磨面。横方向に磨板あり。側面大きく2ヶ所、面取り	幅6.7
02号溝池	1258	鉄製品板状鉄	長さ (4.1) 厚さ 0.6	板状の鉄製品であるが平反は欠失してしまい、大きさは不明である。錆ぶくれによりやや厚くなっているが、本来は薄いつばな板と思われる		幅3.8
龍状遺構	1077	須恵器環	器口 <1.7 (5.1)	①細砂 ②還元 ③灰白10Y-8/1 ④破片(底部)	クロコ成形回転余切り	

4 B区土坑出土遺物

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②施文 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
12号土坑	963	圓鉢	器口 <8.0 (25.8)	①細砂 ②還元 ③灰10Y ④7/1 ④1/4(口縁部)	外口縁部横線で胴部指おさえ無で調整。内面磨り面あり	
12号土坑	1112	陶器高台付椀	長さ 7.9 厚み 0.9	①細砂 ②還元 ③灰白5Y ④8/2 ④破片(底部)	クロコ成形付高台底部横線で調整。瀬戸・美濃系。17~18℃。内面、灰粒	カンニウ
17号土坑	1029	内耳鍋	器口 <19.2 (34.0)	①細砂 ②還元 ③におい黄 ④10YR-6/3 ④破片(上半・下半部)	口縁部横線で外面胴部指おさえ無で調整。内面横線で調整	内外面横し状。磨減
25号土坑	1113	磁石	長さ (6.6) 厚さ 2.1	④1/4石材磁石石重さ49.3g	天井部欠損。断面方形、四側面及び一角使用	幅2.2

遺物観察表

遺跡名	番号	種類・形状	大きさ	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
32号土坑	1308	古銭	径 2.35 孔 0.7			
32号土坑	1309	古銭	径 2.5 孔 0.75			
32号土坑	1310	古銭	径 2.3 孔 0.6			
137号土坑	965	播鉢	径 (10.3) 底 (12.5)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④△(下半部)	外面胴部指おさえ無で調整底部余切り。内面磨り面あり	
137号土坑	1115	球形土製品	径 4.7 厚さ 4.7	①細砂 ②還元 ③淡黄2.5Y-8/4 ④完形	手づくね。棒状工具により削突。周囲に割み	孔0.6
137号土坑	1116	磁石	長さ (7.3) 厚さ 2.7	④△石材実質ダイヤト重さ105g	天井部欠損。断面長方形。四側面及び各角使用	幅3.6
137号土坑	1259	古銭	径 2.3 孔 0.7			
246号土坑	1119	磁石	長さ (3.6) 厚さ 1.2	④破片石材磁石重さ29.6g	断面長方形。内面使用。磨線及び磨部ノミにより面取り	幅3.5
307号土坑	1120	須恵器 把手付鍋	長さ 10.3 厚み 0.9	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-4/1 ④破片(上半部)	コクロ調整口縁部外気味横撫で肩部に把手部付胴部内外面直撫で調整	
327号土坑	1121	須恵器 椀	径 4.7 口 14.3 高台径 6.4	①細砂 ②還元 ③淡黄2.5Y-7/3 ④完形	コクロ成形回転糸切り付高台口縁部上半	磨減著しい 保存者
327号土坑	1122	須恵器 高台付椀	径 (4.6) 口 (14.0)	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/4 ④△	コクロ成形。左回転糸切り付高台台座(6)	磨減著しい
327号土坑	970	播鉢	径 (6.3) 底 (12.0)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1 ④△(底部)	外面胴部指おさえ無で調整内面磨り面あり	
327号土坑	1033	内耳鍋	径 (11.8) (30.0)	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-4/1 ④破片(上半部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ無で調整。内面横撫で調整	内外面横し 状。磨減
327号土坑	1101	内耳鍋	径 (7.6) (28.0)	①粗砂 ②酸化 ③暗灰黄2.5Y-5/2 ④△(口縁部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ無で調整。内面横撫で調整(内耳付)	内外面横し 状。磨減
327号土坑	1102	内耳鍋	径 (6.0) (30.8)	①粗砂 ②酸化 ③黒5Y-2/1 ④△(口縁部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ無で調整。内面横撫で調整	外面横し状
341号土坑	1124	土師器 壺	径 (12.7) 口 (19.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(上半部)	口縁部コの字状横撫で外面胴部上位傾方向下位傾方向直削り内面胴部横方向直撫で調整	外面炭灰吸 着
341号土坑	1126	内耳鍋	径 (4.7)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(底部)	外面直削り内面直撫で調整	内外面一部 炭灰吸着
352号土坑	1127	磁石	長さ (6.8) 厚さ 2.0	④石材重さ		幅3.0
369号土坑	1260	鉄製品 釘	長さ 5.4 厚さ 0.4	完形。頭部及び頸部に一部欠	貫れるも、木目の方向は不明である	幅0.5
369号土坑	1281	鉄製品 釘	長さ 4.0 厚さ 0.45	断面が四角形状を呈し、方柱状の肩部から釘としてよい。頭部が欠失し、高脚部がくの字に曲がっている		幅0.5
375号土坑	1128	磁石	長さ 10.3 厚さ 1.5	④△以上石材実質ダイヤイト重さ58.3g	腰部欠損。形状はねじれたような状態で三側面使用	幅2.7
375号土坑	1129	石製 模造品	長さ (4.8) 厚さ 1.3	④石材帯石重さ31g	側面、面取直。表面黄磁による削成あり。円孔部片割からの穿孔(ノミによるものか?)	幅(4.2)
378号土坑	1130	磁器 皿	径 (4.0) 口 (21.0)	①細砂 ②還元 ③淡黄5Y-8/9 ④△(口縁部)	コクロ成形。焼成不良のため、不明確であるが、龍泉窯系青磁の可能性高い	内外面横 撫
385号土坑	1103	播鉢	径 (5.3) 底 (12.7)	①粗砂 ②酸化 ③灰5Y-6/1 ④△(底部)	外面胴部指おさえ無で調整。内面磨り面あり	
385号土坑	1131	土師器 壺	径 (2.2)	①粗砂 ②酸化 ③褐7.5YR-4/3 ④破片(底部)	外面胴部・底部直削り内面直撫で調整	内外面一部 炭灰吸着
432号土坑	1036	内耳鍋	径 (13.0) 口 (30.8)	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-4/1 ④△(口縁部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ無で調整。内面横撫で調整	内外面横し 磨減
469号土坑	1041	内耳鍋	径 (11.5) 口 (25.7)	①細砂 ②還元 ③灰黄褐10YR-5/2 ④1/12(上半部)	口縁部横撫で外面胴部指おさえ無で調整。内面横撫で調整	
516号土坑	1134	須恵器 坏	径 (3.1)	①細砂 ②還元 ③にょい黄2.5Y-6/3 ④破片(底部)	コクロ成形回転糸切り	磨減著しい 一部保存者
561号土坑	1135	石斧	長さ 10.8 厚さ 2.4	④完形石材重さ186.7g	分削形を呈し、エグレン磨料。刃部先鋭い	幅6.7

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
607号土坑	1136	土師器 壺	器 (5.2)	①粗砂 ②酸化 ③明褐色 YR-5/6 ④破片(底部)	外面胴部・底部周縁内面直線で調整	砂底か。一部炭素吸着
647号土坑	1042	内耳瓶	器 (9.3) 口 (27.8)	①細砂 ②還元 ③黄灰10 YR-5/1 ④1/10(口縁部)	口縁部外反気味無で外面胴部指おさえ撫で調整。内面横線で調整	内外面横し跡減
650号土坑	972	圓鉢	器 (7.0) 底 (13.7)	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄2.5Y-6/3 ④1/2(下半部)	外面胴部指おさえ撫で調整内面磨り面あり	
705号土坑	1196	円形印き石	長さ (2.1) 厚さ 3.6	④1/2石材変玄武岩重さ 1000g	上部保付着	幅(8.0)
705号土坑	1316	古銭	径 2.35 孔 0.8			
777号土坑	1200	円形印き石	長さ 12.7 厚さ 3.2	④完形 石材重さ1000g	全体に保付着	幅16.0
830号土坑	1139	青磁 皿	長さ 2.7 厚み 0.7	①細砂 ②還元 ③明緑灰 7.5GY-7/1 ④破片(口縁部)		短皿か
838号土坑	974	圓鉢	器 (8.0) 底 (12.0)	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-4/1 ④1/2(下半部)	外面胴部指おさえ撫で調整内面磨り面あり	

4 B区グリッド出土遺物

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
グリッド H13-81	1043	内耳瓶	長さ (8.3) 高台径 1.3	①細砂 ②還元 ③黒褐色 YR-3/2 ④1/2(底部)	外面胴部指おさえ内外面横線で調整	外面横し状
グリッド 表探	1075	土師器 壺	器 (28.0) 口 (21.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④1/2(上半・下半部)	コの字状口縁。胴上位横・下位縦方向磨り。胴内面横方向直線無	群緑著しい
グリッド F13-77	1176	須恵器 高台付椀	器 (2.3) 高台径 (7.8)	①細砂 ②還元 ③黒褐色 Y-3/1 ④1/2(底部)	ロクロ成形。左側転糸切り付高台	内外面一部炭素吸着
グリッド F13-55	1177	土師器 杯	器 3.3 口 12.7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④1/2	口縁部外反気味横無で底部平直気味手持り磨り調整	外面一部炭素吸着
グリッド F13-76	1178	土師器 杯	器 (4.0) 底 (10.7)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④1/2(底部)	口縁部外反気味横無で底部平直気味手持り磨り調整	
グリッド F14-44	1179	土師器 杯	器 (3.6) 口 (12.0) 底 (8.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④1/2	口縁部外反気味横無で底部平直気味手持り磨り調整外面口縁部中位比線あり	
グリッド F13-96	1181	土師器 杯	器 (3.0) 口 (12.2)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-5/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横無で底部丸直気味手持り磨り調整	
グリッド F13-68	1182	土師器 台付壺	器 (2.8)	①粗砂 ②酸化 ③明黄褐色 10YR-6/6 ④破片(台部)	台部外面カキ目内面無で調整。口縁部「S」字状を呈する	
グリッド F13-75	1183	鳳文前期 深鉢	長さ 4.0 厚さ 0.8	①粗砂 ②普通 ③赤褐色 YR-4/8 ④破片(胴部)	外面縄文縦線	
グリッド F13-57	1184	灰釉 高台付壺	器 (4.4) 高台径 (9.2)	①細砂 ②還元 ③灰白10 Y-7/1 ④1/2(底・胴部)	ロクロ成形台高台	外面胴部に施釉あり
グリッド F14-36	1185	須恵器 坪蓋	器 (1.5) 径 4.4	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/2 ④破片(紐)	ロクロ成形。紐はボタン状天井部回転付磨り調整	
グリッド F14-36	1186	須恵器 長頸壺	器 (4.5) 口 (9.0)	①細砂 ②還元 ③灰白10 Y-8/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形横無で調整	
グリッド F13-96	1187	須恵器 壺	長さ 14.8 厚み 1.1	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y 6/1 ④破片(胴部)	胴部外面平行印き目内面同心円当て目	
グリッド F13-46	1188	土師器 壺	器 (6.5) 口 (22.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR 6/8 ④1/2(口縁部)	口縁部外反気味横無で外面胴部上位横方向磨り内面胴部横方向直線無で調整	
グリッド F13-96	1189	土師器 長頸壺	器 (6.0) 口 (22.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-6/4 ④破片(口縁部)	口縁部外反気味横無で胴部外面縦方向直線磨り内面縦方向直線無で調整	
グリッド F13-88	1190	石弁	長さ 10.0 厚さ 1.7	④完形 石材変玄武岩重さ112.4g	分削形を呈し、伏れ部磨耗	幅5.3
グリッド 表探	1199	円形 印き石	長さ 12.4 厚さ 4.1	④ほぼ完形 石材重さ1180g	全体に保付着	幅13.5
グリッド F14-37	1201	石弁	長さ 11.7 厚さ 3.0	④完形 石材重さ330g	分削形を呈する。刃部磨滅。自然焼残す	幅6.9

3. 篠塚清太地区(5・5A区)

5区01号住居出土遺物(第5図、PL187)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0001	須恵器 坏	器 3.0 口 9.3 底 5.4	-0.3 A	①粗砂 ②還元、軟質 ③橙 5YR-6/6 ④完形	口縁部横溝で、底部左回転流部回転糸切り	
0009	須恵器 坏	器 (1.6) 底 5.0	+7.5埋土	①粗砂 ②還元、軟質 ③橙 7.5YR-7/6 ④破片(底部)	口縁部横溝で、底部回転糸切り	
0013	須恵器 高台付碗	器 (4.8) 口 (12.3) 底 6.8	埋土	①粗砂 ②還元、軟質 ③灰 白10YR8/2 ④1/4	口縁部・高台部横溝で、底部回転糸切り後面 溝で調整 内面磨き	内面黒色処 理
0016	須恵器 高台付碗	器 (2.1) 高台部 5.6	+4.0 B	①粗砂 ②還元、軟質 ③橙 7.5YR-7/6 ④1/4(底部)	高台部横溝で、底部回転糸切り	
0022	須恵器 壺	器 (23.5) 口 (29.8)	+9.5 +4.0	①粗砂 ②還元、軟質 ③橙 7.5YR-7/6 ④破片(上半 部)	内外面寛溝で調整	3,15住遺物と 接合
0023	土釜	器 (3.5) 底 9.4	+8 +3.8~33.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③におい 橙7.5YR-6/4 ④破片(底 部)	外面 縦方向削り、底部両辺手持ち削り 内面 寛溝で調整	
0083	須恵器 台付壺	器 (5.1)	+50.0 C	①細砂 ②還元 ③明高灰 7.5YR-7/1 ④破片(底 部)	外面 胴部下下部置溝で、底部無で 内面 胴部下下部置溝で、内面底ター付着	09住遺物と 接合
0111	須恵器 壺	器 (3.3) 厚 1.0	埋土	①細砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(頸部)	外面 平行印き目 内面 同心円当て目	09住遺物と 接合
0163	灰釉陶器 高台付碗	器 (1.7) 高台部 6.8	+31.6	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/2 ④破片(底部)	高台は貼付、底部は寛溝で施軸方法不明 込み部に強い沈線が1条走る	
0165	灰釉陶器 高台付碗	器 (2.3) 高台部 (7.6)	+31.6埋土	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④破片(底部)	体部下位は寛溝り高台は貼付、底部は寛溝 で施軸方法は不明	

5区02号住居出土遺物(第9図、PL187)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0024	土師器 坏	器 3.4 口 11.7	+2.8 A	①粗砂 ②酸化 ③におい 橙5YR-7/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横溝で、底部手持ち削り 内面 口縁部横溝で、底部溝で調整	
0026	土師器 壺	器 (4.6) 口 (19.5)	+8.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③におい 橙5YR-7/3 ④破片(口縁 部)	外面 口縁部横溝で、胴上位横方向削り 内面 口縁部横溝で、胴上位横方向削り	
0027	土師器 小型壺	器 (4.4) 口 (10.2)	+22.2 C	①粗砂 ②酸化 ③におい 橙7.5YR-7/3 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横溝で、胴上位横方向削り 内面 口縁部横溝で、胴上位横方向削り	
0028	土師器 杯	器 3.8 口 11.8	+26.5 A	①粗砂 ②酸化 ③におい 橙7.5YR-7/3 ④1/4	外面 口縁部横溝で、底部手持ち削り 内面 口縁部横溝で、底部溝で調整	

5区03号住居出土遺物(第15・16図、PL187)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0029	土師器 坏	器 3.6 口 11.1	+35.7 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④完形	外面 口縁部横溝で、底部手持ち削り 内面 口縁部横溝で、底部溝で調整	
0030	土師器 坏	器 (3.3) 口 (9.1)	+62.1 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④1/4	外面 口縁部横溝で、底部手持ち削り 内面 口縁部横溝で、底部溝で調整	外面一部黒 斑
0031	土師器 坏	器 3.0 口 10.2	+15.8 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④1/4	外面 口縁部横溝で、底部手持ち削り 内面 口縁部横溝で、底部溝で調整	
0032	土師器 坏	器 3.2 口 (12.0)	+39.6 +8.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④1/4	外面 口縁部横溝で、底部手持ち削り 内面 口縁部横溝で、底部溝で調整	外面底斑
0033	土師器 坏	器 2.5 口 11.6	+30.0 C	①粗砂 ②酸化 ③におい 橙7.5YR-6/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横溝で、底部手持ち削り 内面 口縁部横溝で、底部溝で調整	
0034	土師器 坏	器 3.4 口 (12.0)	+49.5 C	①粗砂 ②酸化 ③におい 橙7.5YR-6/4 ④1/4	外面 口縁部横溝で、底部手持ち削り 内面 口縁部横溝で、底部溝で調整	外面底斑
0035	土師器 坏	器 3.0 口 (11.0)	+18.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④1/4	外面 口縁部横溝で、底部手持ち削り 内面、口縁部横溝で、底部溝で調整	外面一部黒 斑
0036	土師器 坏	器 3.0 口 (11.0)	+29.1 C	①粗砂 ②酸化 ③におい 橙7.5YR-6/4 ④1/4	外面 口縁部横溝で、底部手持ち削り 内面 口縁部横溝で、底部溝で調整	外面一部黒 斑

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色層 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
0037	土師器 環	器 高さ 3.4 口 (14.0)	+9.0 B	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で、体部削り 内面 口縁部横撫で、体部削り	
0038	土師器 環	器 高さ 2.4 口 10.6	埋土 C	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で、底部手持り削り 内面 口縁部横撫で、底部削り	
0040	土師器 環	器 高さ 3.5 口 11.5	+22.4 C	①粗砂 ②酸化 ③色層 ④破片	外面 口縁部横撫で、底部手持り削り 内面 口縁部横撫で、底部削り	摩滅
0041	土師器 環	器 高さ 4.5 口 (11.0)	+42.9 -7.8 C	①粗砂 ②酸化 ③色層 ④破片	外面 口縁部横撫で、底部手持り削り 内面 口縁部横撫で、底部削り	摩滅
0042	土師器 小型壺	器 (14.0) 口 (11.0) 底 3.2	+54.5 +35.0 埋土 C	①粗砂 ②酸化 ③色層 ④破片(口縁・底部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り	
0044	土師器 壺	器 高さ 7.3 口 20.8	+43.9 C	①粗砂 ②酸化 ③色層 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り	口縁部内部 に黒斑
0045	土師器 小型壺	器 高さ 5.1	+9.0 B	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り	摩滅
0046	土師器 壺	器 高さ 5.2 口 18.6	+27.5 C	①粗砂 ②酸化 ③色層 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り	
0047	土師器 壺	器 高さ 9.7 口 22.8	+14.9 C	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り	
0048	土師器 壺	器 (21.7) 口 (19.4)	+31.6 +20.0 +9.5 +21.2 +53.8C	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り	口縁部一部 黒斑
0049	土師器 壺	器 高さ 1.0 底 5.1	+35.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④破片(底 部)	外面削り調整内面削りで調整	
0050	土師器 小型壺	器 高さ 2.1 底 6.2	+31.5 +42.1 +21.2C	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④破片(底 部)	外面削り調整内面削りで調整	内面炭素吸 着
0051	土師器 壺	器 (2.8) 底 3.6	埋土 C	①粗砂 ②酸化 ③残 黄鉄7.5YR-8/6 ④破片(底 部)	外面削り調整内面削りで調整	
0052	土師器 壺	器 高さ 3.1 底 4.0	+45.1 C	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④破片(底 部)	外面削り調整内面削りで調整	
0053	須恵器 盤	器 (3.0) 口 (24.0) 底 (18.5)	+47.1 +43.4 +31.2 埋土	①細砂 ②還元 ③灰 5Y-6/1 ④破片(口 縁・底部)	口縁部横撫で、底部右回転削り調整	
0054	須恵器 台付盤	器 高さ 3.8 口 18.9	+30.9 +34.0 埋土	①粗砂 ②還元、軟質 ③ 黄鉄10YR-8/4 ④破片(環 部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	出土遺物と 接合
0055	須恵器 椀鉢	器 高さ 8.2 底 9.2	+34.2埋土 C	①細砂 ②還元 ③暗 灰黄2.5Y-5/2 ④(体 →底部)	ロクロ成形。底部手持り削り調整	内面底部割 離体部平滑
0056	須恵器 高台付椀	器 高さ 1.3 底 10.1	埋土 C	①細砂 ②還元 ③灰 黄2.5Y-6/2 ④破片(底 部)	高台部横撫で、底部右回転削り調整	
0057	須恵器 環	器 高さ 3.2 口 (8.8) 底 (4.8)	+29.0埋土 C	①細砂 ②還元 ③灰 5Y-5/1 ④(体 →底)	口縁部横撫で、底部回転削り調整	
0058	須恵器 環	器 高さ 3.9 口 (8.6) 底 5.8	+17.6 C	①細砂 ②還元 ③灰 5Y-6/1 ④(体 →底)	外面 口縁部横撫で、底部周辺削りで調整 内面 口縁部整形工具による横撫で調整	
0060	須恵器 環	器 (4.0) 口 (14.4) 底 (8.0)	+35.8 +48.0 埋土	①細砂 ②還元、軟質 ③ 灰N-5/灰白2.5Y-8/2 ④(体 →底)	口縁部横撫で、底部回転削り調整	
0061	須恵器 環蓋	器 高さ 2.5 底 11.3	+39.8 埋土	①細砂 ②還元 ③灰 5Y-5/1 ④(天井→ 底部)	ロクロ成形。端部・つまみ部横撫で、端部 にカエリあり	天井部 にターナル付着
0062	須恵器 壺	器 高さ 8.3 口 9.2	埋土 C	①細砂 ②還元 ③黄 鉄2.5Y-6/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	厚さ0.8
0063	須恵器 壺	器 高さ 12.5 口 8.9	埋土 C	①細砂 ②還元 ③灰 白5Y-7/2 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	厚さ1.2

5区04号住居出土遺物 (第19図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0064	土師器 壺	器 (3.7) 口 (18.7)	+4.1 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 糖7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で調整 内面 口縁部横撫で調整	
0065	土師器 坏	器 (3.1) 口 (12.6)	+12.2 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 糖7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持り荒削り 内面 口縁部横撫で、体部撫で調整	
0066	土師器 坏	器 (2.2) 口 (10.7)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 糖7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持り荒削り 内面 口縁部横撫で、体部撫で調整	

5区05号住居出土遺物 (第22図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0067	土師器 坏	器 (4.4) 口 (11.7)	+13.0 C	①粗砂 ②酸化 ③糖5YR- 7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持り荒削り 内面 口縁部横撫で、体部撫で調整	
0069	土師器 壺	器 (6.5) 口 (19.8)	+2.0 B	①粗砂 ②酸化赤褐10R-6/ 6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向荒削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向荒撫で	
0070	土師器 壺	器 (2.9) 底 (5.9)	+5.9 C	①粗砂 ②酸化 ③褐状7.5 YR-4/1 ④% (底部)	外面 荒削り調整 内面 撫で調整	内外面磨し 状
0071	須恵器 小型壺	器 (10.3) 口 17.9 底 23.1	+17.9 +23.1 C	①細砂 ②還元 ③灰白N 7/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目、内面当て目内外面胴部上 位、ロクロ調整による横撫	

5区06号住居出土遺物 (第26図、PL188)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0072	土師器 壺	器 (3.4) 口 (21.7)	+2.0埋土 Ba	①粗砂 ②酸化 ③糖2.5 YR-6/6 ④% /	外面 口縁部横撫で、高部手持り荒削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0073	土師器 坏	器 (3.4) 口 (10.0)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③糖5YR- 7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持り荒削り 内面 口縁部横撫で、体部荒撫で調整	
0075	須恵器 高台付甗	器 5.4 口 13.6 底 6.3	+15.0 C	①粗砂 ②還元 ③にぶい 黄糖10YR-7/3 ④完形	内外面 口縁部・高台部横撫で。高部左回転 糸切り	軟質。内外 一部黒斑

5区07号住居出土遺物 (第29図、PL188)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0077	須恵器 高台付甗	器 (4.1) 底 5.7	+37.0 C	①粗砂 ②還元、軟質 ③褐 灰7.5 YR-6/1 ④% (体 ~高台部)	高台部横撫で、底部回転糸切り	
0078	須恵器 高台付甗	器 (4.3) 口 (15.0)	+26.0	①粗砂 ②還元、軟質 ③褐 灰7.5 YR-6/1 ④破片(口 縁部)	ロクロ成形。内外面 口縁部横撫で調整	
0079	土師器 壺	器 (4.2) 口 (22.0)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③明褐灰 7.5YR-7/1 ④破片(口縁 部)	外面 口縁部横撫で調整 内面 口縁部横撫で調整	
0164	灰釉陶器 高台付甗	器 (1.9) 口 (14.2)	+36.0	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④破片(口縁部)	内面見込み部に重ね焼き高台は割落施 方法は覆け掛け内面底部重ね焼き	

5区08号住居出土遺物 (第33図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0080	土師器 壺	器 (5.0) 底 (5.7)	+20.0	①粗砂 ②酸化 ③糖5YR- 6/6 ④破片(底部)	外面 荒削り調整 内面 荒撫で調整	
0081	土師器 坏	器 3.1 口 (10.0)	-0.5 B	①粗砂 ②酸化 ③糖5YR- 6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持り荒削り 内面 口縁部横撫で、体部撫で調整	外面底部中 央黒斑

5区09号住居出土遺物 (第37図、PL188)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0012	須恵器 坏	器 4.1 口 13.0 底 6.5	-23.0 A	①粗砂 ②還元 ③糖7.5 YR-6/6 ④% /	内外面 口縁部横撫で。高部左回転糸切り	磨減

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
0020	須恵器 環蓋	器 2.8 端 11.8 底 2.5	-17.0 A	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-6/1 ④完形	鈕宝珠状。天井部左回転蓋付り、端部・底部横溝で、底部にホエリあり	
0031	須恵器 環蓋	器 2.8 端 11.3 底 2.2	-16.0 A	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④完形	鈕宝珠状。天井部左回転蓋付り、端部・底部横溝で、底部にホエリあり	
0082	土師器 壺	器 <4.0> 口 (22.0)	+6.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で、胴上位横方向瓦割り 内面 口縁部横溝で、胴上位横方向瓦割り	

5区11号住居出土遺物 (第42図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
0084	須恵器 坪	器 <1.1> 底 6.0	埋土	①粗砂 ②還元 ③橙5YR -6/6 ④<(底部)	底部左回転糸切り	軟質。磨滅
0085	土師器 壺	器 <3.5> 口 (19.0)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5Y YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で、胴上位横方向瓦割り 内面 口縁部横溝で、胴上位横方向瓦割り	

5区02号住居出土遺物 (第48・49図、PL188・189)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
0166	須恵器 椀	器 5.0 口 15.2	+27.0 -13.5 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④<(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横溝で調整	
0167	須恵器 高台付椀	器 6.4 口 14.8 底 8.0	+1.0埋土	①細砂 ②還元、軟質 ③灰 白2.5Y-8/2 ④</td> <td>口縁部・高台部横溝で、底部左回転糸切り</td> <td></td>	口縁部・高台部横溝で、底部左回転糸切り	
0168	須恵器 椀	器 1.1 底 7.2	-10.5 B	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④</td> <td>底部左回転糸切り</td> <td></td>	底部左回転糸切り	
0169	須恵器 椀	器 3.5 口 13.2 底 7.6	-2.0 B	①細砂 ②還元、軟質 ③黄 灰2.5Y-5/1 ④</td> <td>口縁部横溝で、底部回転糸切り</td> <td>磨滅</td>	口縁部横溝で、底部回転糸切り	磨滅
0170	須恵器 高台付椀	器 6.9 口 14.6 底 9.3	+7.0 -13.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④</td> <td>口縁部・高台部横溝で、底部左回転糸切り</td> <td></td>	口縁部・高台部横溝で、底部左回転糸切り	
0171	須恵器 椀	器 1.4 底 6.3	+27.0	①細砂 ②還元、軟質 ③灰 黄2.5Y-6/2 ④<(底部)	ロクロ成形。底部左回転糸切り	
0172	須恵器 高台付椀	器 5.2 口 14.7 底 7.7	+3.0 +2.0 A	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④<(口縁~底部)	口縁部・高台部横溝で、底部左回転糸切り 高台部欠損後使用	口縁割れ口 摩耗
0173	須恵器 坪	器 3.9 口 14.9	+9.5 C	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/2 ④<(口縁~底部)	ロクロ成形。口縁部横溝で調整	
0175	土師器 壺	器 26.6 口 19.7 底 4.4	-1.0 -5.0 +19.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5Y -6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横溝で、胴上位横方向、下位 横方向瓦割り調整 内面 口縁部横溝で、胴上位横方向瓦割り	
0176	土師器 壺	器 (26.1) 口 18.7 底 4.6	+10.5 -1.0 +9.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④<(口縁・底 部)	外面 口縁部横溝で、胴上位横方向、下位 横方向瓦割り調整 内面 口縁部横溝で、胴部横溝で調整	磨滅
0177	土師器 壺	器 7.5 口 20.3	+14.5 +16.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5Y YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で、胴上位横方向瓦割り 内面 口縁部横溝で、胴上位横方向瓦割り	
0178	土師器 壺	器 7.1 口 20.8	-1.0 -5.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で、胴上位横方向瓦割り 内面 口縁部横溝で、胴上位横方向瓦割り	
0179	土師器 壺	器 6.2 口 18.7	+7.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 赤褐5YR-5/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横溝で、胴上位横方向瓦割り 内面 口縁部横溝で、胴上位横方向瓦割り	
0180	土師器 壺	器 8.0 底 3.5	+2.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-7/4 ④<(底部)	外面胴下半部縦方向瓦割り調整内面胴下半 部縦溝で調整	
0181	土師器 小型台付壺	器 11.0 口 9.5 底 6.7	-2.0 -1.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④</td> <td>外面 口縁部・台部横溝で、胴部瓦割り 内面 口縁部横溝で、胴部横溝で調整</td> <td></td>	外面 口縁部・台部横溝で、胴部瓦割り 内面 口縁部横溝で、胴部横溝で調整	
0224	土師器 坪	器 4.1 口 12.5 底 8.7	-4.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-7/4 ④完形	外面 口縁部横溝で、外部手持ち左回転蓋付 り調整 内面 口縁部横溝で調整	内面瓦記号 「-」

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①土質 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0225	須恵器 坏	器 3.4 口 13.0 底 5.2	-13.0 A	①細砂 ②還元、軟質 ③明褐色7.5YR-7/2 ④ほぼ完形	口縁部横撫で、底部左回転糸切り	磨減
0226	須恵器 坏	器 3.7 口 12.8 底 6.8	-4.0 A	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④完形	口縁部横撫で、底部左回転糸切り	
0227	須恵器 高台付輪	器 5.6 口 15.6 底 8.0	-1.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④ㄥ	口縁部・高台部横撫で、底部左回転糸切り 高台部欠損後使用	口縁部一部欠損
0228	須恵器 坏	器 3.9 口 13.1 底 6.2	-4.0 A	①細砂 ②還元、軟質 ③明褐色7.5YR-7/2 ④完形	口縁部横撫で、底部左回転糸切り	磨減
1374	砥石	長 13.7 幅 6.9 厚 4.5	-2.0	④石材牛伏砂岩重さ450g	磨面1面。レンズ状を呈する	
1423	円形印き石	長 13.5 幅 17.7 厚 3.6	+4.0	④完形石材アイサイト重さ1250g	磨面を呈し、中央部磨減。側縁部かに打痕見られる	
1424	円形印き石	長 15.0 幅 13.8 厚 3.6	+11.0	④完形石材粗粒安山岩重さ1190g	磨面を呈し、側縁部打痕見られる	
1623	鉄製品 刀子	長 (5.6) 厚 0.5	埋土		刃と茎の一部が残存する。刃部は巾は広く、大形の刀子であった可能性が高い	類1.6

5 A区03号住居出土遺物 (第54・55・57図、PL189~191)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①土質 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0182	土師器 坏	器 3.5 口 11.9 底 9.5	-18.5 A	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④完形	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛がり調整 内面 口縁部横撫で、底部無調整	
0183	土師器 坏	器 3.8 口 11.4 底 8.5	+11.0 -0.5 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛がり調整 内面 口縁部横撫で、底部無調整	
0184	土師器 坏	器 3.4 口 12.5 底 8.8	-8.0 -12.5 -13.5-20.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/3 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛がり調整 内面 口縁部横撫で、底部無調整	
0185	土師器 坏	器 3.2 口 11.8 底 8.4	+4.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④ㄥ	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛がり調整 内面 口縁部横撫で、底部無調整	
0186	土師器 坏	器 3.4 口 12.7 底 10.0	+9.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④ㄥ	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛がり調整 内面 口縁部横撫で、底部無調整	
0187	土師器 坏	器 3.2 口 11.8 底 7.8	-3.0 +1.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④ㄥ	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛がり調整 内面 口縁部横撫で、底部無調整	
0188	土師器 坏	器 3.0 口 11.9 底 7.8	+2.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-6/4 ④ㄥ	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛がり調整 内面 口縁部横撫で、底部無調整	
0189	土師器 坏	器 3.4 口 12.0 底 4.8	-8.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/3 ④ㄥ(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部寛がり調整 内面 口縁部横撫で、体部無調整	
0190	土師器 坏	器 3.8 口 15.1 底 10.7	-11.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部寛がり調整 内面 口縁部横撫で、体部無調整	
0191	土師器 坏	器 2.4 口 12.7 底 8.6	+2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部寛がり調整 内面 口縁部横撫で、体部無調整	
0192	土師器 坏	器 3.0 口 13.5 底 10.0	-5.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部手持り寛がり調整 内面 口縁部横撫で、体部無調整	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色目 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
0193	土師器 小空甕	器 10.3 口 12.4	-5.5 -4.0 -8.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にょい 赤褐5YR-5/4 ④1/2(上半部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横撫で	
0194	土師器 甕	器 15.9 口 20.0	+1.0 +9.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙5YR-7/4 ④1/2(上半部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	
0195	土師器 甕	器 13.5 口 23.7	+2.5 +3.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙7.5YR-6/4 ④1/2(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	
0196	土師器 甕	器 10.2 口 20.3	+3.0 +7.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④1/2(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	
0197	土師器 甕	器 10.7 口 21.7	-16.5 -20.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙7.5YR-7/4 ④1/2(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	
0198	土師器 甕	器 8.4 口 20.6	+31.5 +34.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④1/2(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	電線道部の 構築材
0199	土師器 甕	器 8.4 口 22.4	+2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5 YR-5/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	胴部一部に 黒斑
0200	土師器 甕	器 9.9 口 19.9	+3.6 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	電線道部の 構築材
0201	土師器 甕	器 15.0 口 17.1	+2.0 +17.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④1/2(上半部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	胴部一部に 黒斑
0202	土師器 甕	器 6.4 口 3.8	-4.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(下半部)	外面胴部縦方向寛削り、底部手持ち寛削り調整 内面胴部縦撫で調整	
0203	土師器 甕	器 6.2 底 2.8	-17.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(下半部)	外面胴部縦方向寛削り、底部手持ち寛削り 調整。内面胴部縦撫で調整	
0204	土師器 甕	器 1.7 底 4.0	0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(底部)	外面胴部底部縦方向寛削り調整内面胴部・ 底部縦撫で調整	
0205	須恵器 坏	器 3.5 口 12.6 底 7.1	-1.0 -5.0 -24.5 -27.0 A	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④ほぼ完形	口縁部横撫で、底部左回転糸切り	
0206	須恵器 坏	器 3.3 口 12.6 底 7.0	+2.5 A	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④1/2	口縁部横撫で、底部左回転糸切り	
0207	須恵器 坏	器 3.3 口 12.0 底 7.6	-27.0 A	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④1/2	口縁部横撫で、底部左回転糸切り	
0208	須恵器 椀	器 6.1 口 16.0	-4.5 -7.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④1/2(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0209	須恵器 坏	器 2.3 底 8.9	埋土	①細砂 ②還元 ③灰10 YR-5/1 ④破片(底部)	底部左回転糸切り	
0210	須恵器 高台付椀	器 2.9 底 6.8	埋土	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④破片(底部)	底部左回転糸切り	高台部欠損 後も使用
0211	須恵器 坏	器 3.4 口 12.8 底 8.0	+6.5埋土	①細砂 ②還元 ③灰10Y -6/1 ④1/2(口縁~底部)	口縁部横撫で、底部回転糸切り	07-12号住 出土遺物と 整合
0212	須恵器 坏	器 3.0 口 14.3 底 10.0	-27.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で、底部回転糸切り	
0213	須恵器 坏	器 2.6 口 11.2	-7.0 B	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0214	須恵器 坏	器 2.8 口 12.1	埋土	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0215	須恵器 坏	器 3.5 口 13.1 底 7.3	埋土	①細砂 ②還元、軟質 ③灰 白2.5Y-8/1 ④1/2	口縁部横撫で、底部回転糸切り	
0216	須恵器 高台付椀	器 1.9 底 8.9	-13.0埋土 B	①細砂 ②還元 ③灰10Y -6/1 ④破片(底部)	高台部横撫で、底部回転糸切り	
0217	須恵器 甕	長 5.9 厚 0.9	+13.0 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④破片(胴部)	ロクロ成形による撫で調整。胴部に2条の 沈線2ヶ所	
0218	須恵器 紡車	長 7.4 幅 2.8	埋土	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④1/2	底部回転糸切り。高台付椀の転用	厚さ0.6

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0220	土師器 壺	器口 2.7 11.2	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	内外面棒状工具による無で調整	内外面赤色 塗彩
0221	土師器 坏	器口 3.4 11.0 底 7.8	+9.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④ほぼ完形	外側 口縁部横撫で、底部手持ち覆削り調整 内面 口縁部横撫で、底部無で調整	
0222	円形石板	長 5.3 幅 5.3	+11.0	④完形石材 雲母石英片若 重さ70g	円盤状を呈し、側縁部磨耗	厚さ1.4
0223	紡錘車	長 4.1 幅 4.1	-1.0	④完形石材 蛇紋岩重さ 60 g	断面隅丸台形。上下面円形磨耗見られる	厚さ1.9
0401	土師 細埴	長 3.2 幅 0.8	+18.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙10YR-7/2 ④完形	棒状工具に粘土層巻き付け成形	重さ10g 太 径2.1
1624	鉄製品 板状鉄	長 (1.9) 厚 0.2			板状鉄製品。薄手扁平な造りの板状品であるが、刃の有無は不明である	幅1.6
1625	鉄製品 馬具引手	長 (10.0) 厚 0.6			引手金具の一部である。柄部の一部が欠失している。2条線引手で、柄部 からくの字に曲がって引手窓にいたるくの字引手の形態を有する	幅1.2
1626	鉄製品 刀子	長 (1.8) 厚 0.5			刀子の刃の一部と考えられる。大型の刀子の刀と考えられる	幅1.3
1651	鉄製品 鑿	長 (2.5) 厚 0.3			ノミ状工具の類・基部の破片である。断面方形のしっかりとした造りの 基部に小さめな基がついたもの	幅0.8
1666	鉄製品 鉄	長 (2.6) 厚 0.3			鑿の基片である。一部木質がつく	幅0.4
1667	鉄製品 鑿	長 (2.5) 厚 0.4			鑿の基片である。一部木質がつく	幅0.5
1668	鉄製品 鑿	長 (6.3) 厚 0.5			鑿の刃部及び基部の一部である。刃部は小形の両角関を呈する。三角形 鑿で鑿は下部に行くほど、やや広がる形態を有する	幅0.6
1669	鉄製品 鑿	長 (2.9) 厚 0.4			鑿の基片である。一部木質がつく	幅0.4

5 A区04号住居出土遺物 (第60図、PL191)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0229	須恵器 甕	器口 (2.4) 底 (20.8)	+3.0 +10.0 C	①細砂 ②還元 ③にぶい 橙10YR-7/4 ④破片(基部)	ロクロ成形。肩部横撫で調整	
0232	須恵器 椀	器口 (5.9) (16.6)	埋土	①細砂 ②還元、軟質 ③灰 黄2.5Y-7/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0233	須恵器 椀	器口 (1.5) 底 5.8	埋土	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/2 ④破片(底部)	底部左回転未切り	
0234	土師器 壺	器口 (5.7) (19.9)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴体横方向覆削り 内面 口縁部横撫で、胴上位置横方向覆削り	磨滅
0236	瓦	長 厚 2.7) 1.5	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片	凸面は撫で整形。端面は一面	種別は不明
0399	須恵器 坏	器口 3.4 14.7	-15.5 Ba	①粗砂 ②還元、軟質 ③に ぶい橙5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	磨滅
1627	鉄製品 釘	長 (4.4) 厚 0.4	+6.0		釘の頭部が欠失したものの。基は断面方形のしっかりとした造りである	幅0.5

5 A区05号住居出土遺物 (第64図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0237	土師器 壺	器口 (2.4) 底 (6.0)	+2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(基部)	外面 胴部覆削り調整 内面 胴部横撫で調整	底部木葉状

5 A区06号住居出土遺物 (第68図、PL191)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0238	須恵器 高台付椀	器口 4.9 13.5 底 7.1	+5.0 Ba	①細砂 ②還元、軟質 ③灰 白5Y-7/1 ④ほぼ完形	口縁部・高台部横撫で、底部回転未切り	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0239	須恵器 高台付椀	器 4.8 口 12.4 底 6.9	+12.0 C	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白5Y-7/2 ④完形	口縁部・高台部横撫で、底部左回転糸切り	
0240	須恵器 高台付椀	器 5.1 口 13.4 底 6.7	+4.0 A	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白7.5Y-7/1 ④ほぼ完形	口縁部・高台部横撫で、底部左回転糸切り	外周「口縁部に黒書(廿)黒線」
0241	須恵器 高台付椀	器 5.1 口 12.8 底 6.5	+4.0 B	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白7.5Y-7/1 ④完形	口縁部・高台部横撫で、底部回転糸切り	
0242	須恵器 高台付椀	器 5.2 口 12.9 底 7.0	-22.5 A	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白5Y-7/1 ④ほぼ完形	口縁部・高台部横撫で、底部回転糸切り	
0243	土師器 壺	器 <7.6> 底 4.1	+8.0 C	①粗砂 ②酸化 ③に ④破片(胴へ底部)	外面 胴部・底部縦方向変削り調整 内面 胴部・底部横撫で調整	

5 A区07号住居出土遺物 (第71図、PL191)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0244	土師器 坪	器 <3.9> 口 (14.1)	+2.0 +5.0 Ba	①細砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④△(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部横方向変削り 内面 口縁部横撫で調整	
0247	須恵器 椀	器 <2.2> 底 (6.0)	+58.0 +60.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④△(底部)	底部左回転糸切り	
0248	須恵器 椀	器 3.8 口 (12.7) 底 (6.6)	埋土 C	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-6/2 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で、底部回転糸切り	
0249	須恵器 椀	器 <2.3> 底 6.9	+52.5 +54.5 C	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-5/1 ④△(底部)	底部左回転糸切り	
0251	須恵器 高台付皿	器 <3.4> 底 8.2	+62.5 C	①細砂 ②還元 ③桃灰7.5YR-5/1 ④△(底部)	高台部横撫で、底部左回転糸切り	
0252	須恵器 壺	長 5.7 厚 1.0	+6.0 +9.5	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④破片(頸へ胴部)	外面 胴部平行叩き目 内面 同心円当て目	
0253	須恵器 台付壺	器 <8.1> 底 14.6	+30.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-7/1 ④△(胴下半へ台部)	口縁部横撫で、底部横撫で調整 口縁部成形、右部横撫で、	底部内周自然釉付着
0254	石製品 砥石	長 5.1 幅 4.6	+55.0	④△石材観石重さ30g	楕円形を見し、底面に磨面あり	厚さ2.65

5 A区08号住居出土遺物 (第75図、PL191)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0255	羽釜	器 <8.0> 口 (21.6)	+3.5 +11.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙7.5YR-8/4 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で、筒の形状はAタイプ、口縁部はDタイプ、外面横撫で、内面横撫で調整	
0256	羽釜	器 9.6 口 25.8	+3.5 +11.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③に ④破片(口縁部)	口縁部横撫で、筒の形状はAタイプ、口縁部はDタイプ、外面縦方向変削り	
0257	土師器 壺	器 <3.9> 底 (10.0)	+17.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③浅黄橙7.5YR-8/3 ④破片(底部)	外面 筒削り調整 内面 横撫で調整	
1425	円形叩き石	長 10.8 幅 13.1	+3.5	④完形石材雲母石英片岩重さ510g	円盤状を呈する。片面火熱を受ける	厚さ2.3
1628	鉄製品 刀子?	長 (4.0) 厚 0.2	+1.0	刀子の破片の可能性あり。刃及び茎の先端欠失。胴面でしゃしゃ造りである		幅1.1

5 A区09号住居出土遺物 (第79図、PL191)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0258	土師器 坪	器 <3.4> 口 (10.9)	+29.5 C	①粗砂 ②酸化 ③に ④橙7.5YR-7/4 ④△	外面 口縁部横撫で、底部手持り変削り 内面 口縁部横撫で、底部横撫で調整	
0259	土師器 坪	器 3.8 口 12.9	+8.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-7/6 ④△	外面 口縁部横撫で、底部手持り変削り 内面 口縁部横撫で、底部横撫で調整	
0260	土師器 坪	器 4.3 口 14.2	+8.0 -11.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④△	外面 口縁部横撫で、体部磨きあり 内面 口縁部横撫で、体部磨きあり	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②酸化 ③色調 ④焼存	成・整形技法の特徴	備考
0261	土師器 甕	口径 2.1 底 8.1	+44.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④5YR-7/4 ④破片(底部)	外面削部・底部寛削り調整内面削部・底部 寛削り調整	外面黒斑

5 A区10号住居出土遺物 (第83・84図、PL191・192)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②酸化 ③色調 ④焼存	成・整形技法の特徴	備考
0262	土師器 甕	口径 3.7 底 15.5	+7.0 +9.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④完形	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0263	土師器 甕	口径 3.5 底 15.9	+4.0 +7.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0264	土師器 甕	口径 (3.8) 底 (15.6)	+56.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④1/4	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0265	土師器 甕	口径 (3.0) 底 (17.3)	-1.0 +3.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0266	土師器 甕	口径 (2.9) 底 (16.4)	+2.0 +3.0 B	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-7/8 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で調整 内面 口縁部横撫で調整	磨滅
0267	土師器 甕	口径 (2.8) 底 (17.5)	-2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で調整 内面 口縁部横撫で調整	
0270	土師器 杯	口径 4.3 底 13.8	+7.5 +11.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④完形	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	磨滅
0271	土師器 杯	口径 3.5 底 11.9	+27.0 +38.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0272	土師器 杯	口径 4.3 底 (14.7)	+8.0 +54.5 C	①細砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④1/4	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛削り 内面 口縁部横撫で、底部調整	
0273	土師器 杯	口径 (4.1) 底 (10.5)	+7.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④1/4	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	外面底部一部黒斑
0274	土師器 杯	口径 5.0 底 (13.5)	+32.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/8 ④1/4	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0275	土師器 杯	口径 (3.1) 底 (10.1)	+51.5 +59.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④1/4	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	磨滅
0276	土師器 杯	口径 (3.4) 底 (11.6)	-1.5 -2.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④1/4	外面 口縁部横撫で、底部手持り寛削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0279	土師器 小壺型	口径 15.0 底 (15.1)	+24.5 +28.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④1/4	外面 口縁部横撫で、胴部寛削り調整 内面 口縁部横撫で、胴部寛削り調整	
0280	土師器 甕	口径 (3.3) 底 (23.5)	+35.0 +50.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR 6/8 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り	
0282	土師器 甕	口径 (7.6) 底 (20.6)	+55.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り	
0283	土師器 甕	口径 (3.6) 底 (20.3)	-1.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向削り	
0284	土師器 甕	口径 (5.7) 底 4.8	+4.0 +3.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④1/10(底部)	外面胴部下半・底部縦方向削り調整内面 胴部下半・底部寛削り調整	
0285	土師器 甕	口径 (2.4) 底 4.6	-7.0埋土 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部下半・底部縦方向削り調整 内面 胴部下半・底部寛削り調整	
0286	須恵器 高台付杯	口径 (9.7) 底 (9.7)	-3.0埋土 Ba	①細砂 ②還元・軟質 ③灰 白2.5Y-8/2 ④破片(底部)	口縁部横撫で、胴上位横方向削り調整 口縁部横撫で、胴上位横方向削り調整	
0287	須恵器 杯	口径 (12.4) 底 (8.0)	+54.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④1/4	口縁部横撫で、外面底部手持り削り調整	
0288	須恵器 甕	口径 (4.5) 底 (27.8)	+60.0 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	外面波状文
0290	須恵器 甕	口径 (27.5)	+27.5 C	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
0291	須恵器 甕	口径 (+56.5)	+56.5 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y-4/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
0292	須恵器 甕	口径 (埋土)	埋土 C	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	内面自然輪付遺
0293	石製品 砥石	口径 (6.8) 厚 2.2	+15.5	④1/4石材(砥石重さ<140g)	広側面全面使用。狭側面磨耗	欠損後も使用編5.3

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0296	須恵器 壺		+54.5 +20.0 C	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(割部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	12・13位出土 遺物と接 合
0296	須恵器 壺		+45.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④破片(割・割部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
1663	打製石片	長さ 16.1 厚 3.1		④完形石材緑色片若重さ <490g	短冊状を呈する。中央刃部寄りに側縁部磨 耗	幅7.8

5 A区11号住居出土遺物 (第88図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0297	土師器 壺	器 (5.4) 口 (18.7)	-4.0 -5.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③に よる⑤YR-6/3 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向旋削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向旋削り	

5 A区12号住居出土遺物 (第92図、PL192)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0298	土師器 土師器 壺	器 3.3 口 15.9	-2.5 +2.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③に よる⑤7.5YR-7/3 ④	外面 口縁部横撫で、底部手持り旋削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
0299	土師器 壺	器 3.7 口 11.9	-2.5 A	①粗砂 ②酸化 ③に よる⑤7.5YR-7/3 ④	外面 口縁部横撫で、底部手持り旋削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	外面底部黒 斑
0300	土師器 壺	器 3.5 口 (12.7)	-10.0 -13.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③に よる⑤7.5YR-6/6 ④	外面 口縁部横撫で、底部手持り旋削り 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	外面口縁一 部に黒付着
0301	土師器 壺	器 9.4 口 (26.5)	-9.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③に よる⑤7.5YR-7/3 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向旋削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向旋削り	
0303	須恵器 壺	器 2.2 底 10.0	+41.0 B	①細砂 ②還元 ③灰7.5 YR-5/1 ④(底部)	ロクロ成形。底部回転旋削り後、底部周辺 左回転旋削り調整	14位出土遺 物と接合
0304	須恵器 壺	器 3.8 口 (19.2)	+3.5 B	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で調整	
0306	断石	長さ 12.3 幅 6.0	+1.0	④完形石材灰緑石重さ640	2面使用。使用面反り返る。未使用部分保 付着。僅かに磨耗	厚さ
0358	土師器 壺	器 4.9 口 (21.8)	+18.0 +35.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③に よる⑤5YR-6/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位旋削り調整 内面 口縁部横撫で、胴上位旋削り調整	内外面一部 に炭素吸着

5 A区13号住居出土遺物 (第96図、PL192)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0307	須恵器 高台付椀	器 4.1 口 12.5 底 6.0	+20.0 C	①細砂 ②還元、軟質 ③灰 白5Y-7/1 ④	口縁部・高台部横撫で、底部回転糸切り	内外面一部 炭素吸着
0308	須恵器 高台付椀	器 5.4 口 13.5 底 6.9	-2.0 -2.5 A	①細砂 ②還元、軟質 ③灰 黄褐10YR-6/2 ④	口縁部・高台部横撫で、底部左回転糸切り	
0309	須恵器 高台付椀	器 4.5 口 13.3 底 5.9	-4.0 -4.5 A	①細砂 ②還元、軟質 ③明 褐色7.5YR-7/2 ④	口縁部・高台部横撫で、底部左回転糸切り	外面一部黒 斑
0310	須恵器 高台付椀	器 3.0 底 5.6	+27.0 C	①細砂 ②還元、軟質 ③明 褐色7.5YR-7/1 ④(底 部)	高台部横撫で、底部回転糸切り	磨滅
0311	須恵器 椀	器 4.4 口 11.9	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0312	須恵器 高台付椀	器 1.8 底 6.4	+27.0 B	①細砂 ②還元、軟質 ③オ リーブ黒5Y-3/1 ④(底 部)	高台部横撫で、底部左回転糸切り	内外面炭素 吸着
0313	須恵器 高台付椀	器 1.9 底 7.1	+5.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④破片(底部)	高台部横撫で、底部左回転糸切り	口縁部一部 保付着
0314	須恵器 高台付椀	器 1.7 底 7.4	+27.0 C	①細砂 ②還元、軟質 ③に よる⑤7.5YR-7/4 ④破片 (底部)	ロクロ成形。高台部横撫で調整	磨滅

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
0318	羽釜 口	径 6.9 (18.8)	-3.0 +7.0 C		①粗砂 ②還元・軟質 ③灰白7.5Y-7/1 ④1/16(口縁部)	口縁部横溝で、胴の形状はAタイプ、口縁部はDタイプ。胴部上位内外面寛溝で	
1629	鉄製品 釘	長 (4.1) 厚 0.3	+6.0			釘の頭部及び先端部を欠失したものである。先端部が屈曲している	幅0.4

5 A区14号住居出土遺物 (第101・103図、PL192・193)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
0323	土師器 坏	径 4.2 口 (14.0)	-12.0 A		①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④㊦	外面 口縁部横溝で、底部手持ち寛削り 内面 口縁部横溝で、底部溝で調整	磨減
0324	土師器 坏	径 (3.3) 口 (12.1)	+23.0 +47.0 C		①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で、体部手持ち寛削り 内面 口縁部横溝で、体部溝で調整	磨減
0325	土師器 坏	径 2.5 口 (10.8)	+45.5 B		①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④㊦	外面 口縁部横溝で、体部手持ち寛削り 内面 口縁部横溝で、底部溝で調整	
0326	土師器 坏	径 (3.9) 口 (10.4)	+42.0埋土 口 (10.4)		①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で、体部手持ち寛削り 内面 口縁部横溝で、体部溝で調整	外面底部黒斑
0327	土師器 坏	径 (3.3) 口 (11.6)	+35.5埋土 口 (11.6)		①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で、体部手持ち寛削り 内面 口縁部横溝で、体部溝で調整	磨減
0328	土師器 甕	径 (3.0) 口 (17.0)	+13.0 口 (17.0)		①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で、底部手持ち寛削り 内面 口縁部横溝で、底部溝で調整	底 (13.5)
0329	土師器 甕	径 (2.5) 口 (18.0) 底 (15.4)	+5.0 +8.0 B		①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で、底部手持ち寛削り 内面 口縁部横溝で、底部溝で調整	
0331	土師器 甕	径 35.0 口 (21.8) 底 5.9	+1.5 +2.0 埋土 A		①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④ほぼ成形	外面 口縁部横溝で、胴部上位横方向、下位縦方向に寛削り調整 内面 口縁部横溝で、胴部溝で調整	外面一部黒斑
0332	土師器 甕	径 (27.4) 口 (22.8)	+10.0埋土 口 (22.8)		①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④㊦(口縁部～胴下位)	外面 口縁部横溝で、胴部横方向に寛削り 内面 口縁部横溝で、胴部溝で調整	内外面口縁部一部黒斑
0333	土師器 甕	径 (12.5) 口 (22.7)	-3.5埋土 Ba		①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④㊦(口縁部～胴部上位)	外面 口縁部横溝で、胴部上位横方向に寛削り 内面 口縁部横溝で、胴部上位横方向に寛削り	
0334	土師器 甕	径 (6.5) 口 (17.3)	+18.5 +41.5 C		①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で、胴部上位横方向に寛削り 内面 口縁部横溝で、胴部上位横方向に寛削り	
0335	土師器 甕	径 (5.4) 口 (20.7)	+51.0 +62.5 口 (20.7)		①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で、胴部上位横方向に寛削り 内面 口縁部横溝で、胴部上位横方向に寛削り	
0336	土師器 甕	径 (6.3) 口 (18.4)	-6.0 B		①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で、胴部上位横方向に寛削り 内面 口縁部横溝で、胴部上位横方向に寛削り	
0341	須恵器 坏	径 (3.5) 口 (13.0)	+49.0 C		①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横溝で調整	
0342	須恵器 甕	長 (7.8) 厚 0.9	+48.0埋土 厚 0.9		①細砂 ②還元 ③濁灰7.5YR-6/4 ④破片(胴部)	外面 平打叩き目 内面 同心円当て目	
0343	須恵器 甕	長 (3.9) 厚 0.6	+35.0 +41.5 埋土		①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-7/1 ④破片(胴部)	外面 平打叩き目 内面 同心円当て目	13住+406坑遺物と接合
1373	土師器 甕	径 (5.3) 口 (12.8)	-3.5 C		①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部に寛削り調整 内面 蓋溝で調整	外面黒斑

5 A区15号住居出土遺物 (第105図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考	
0317	須恵器 甕	径 (4.7) 口 (24.8)	+17.0 口 (24.8)		①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横溝で調整	
0319	土師器 坏	径 3.1 口 (13.6)	埋土 口 (13.6)		①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④㊦	外面 口縁部横溝で、底部手持ち寛削り内面 口縁部横溝で、底部溝で調整	磨減
0320	土師器 坏	径 3.5 口 (12.8)	+25.5 口 (12.8)		①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④㊦	外面 口縁部横溝で、底部手持ち寛削り 内面 口縁部横溝で、底部溝で調整	磨減

遺物観察表

5 A区17号住居出土遺物 (第108図、PL192・193)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色裏 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0344	土師器 壺	器 35.3 口 21.1 底 3.8	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④欠	外面 口縁部横撫で、胴部縦方向瓦割り 内面 口縁部横撫で、胴部縦撫で調整	磨滅。外面 底部木葉状
0345	土師器 壺	器 <24.0 口 (21.9)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④欠(上半部)	外面 口縁部横撫で、胴部縦方向瓦割り 内面 口縁部横撫で、胴部縦撫で調整	

5 A区18号住居出土遺物 (第112図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色裏 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0346	須恵器 坏	器 <3.4 口 (12.3)	-0.5 +4.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④欠	口縁部横撫で、底部左回転糸切り	底 (4.9)
0347	須恵器 坏	器 <3.7 口 (12.7)	+1.0 -7.5 B	①細砂 ②還元 ③灰白N-6/ ④破片(口縁部)	口縁部横撫で、底部回転糸切り	底 (7.2)
0348	須恵器 坏	器 <2.6 口 (7.0)	+2.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-8/1 ④破片(底部)	口縁部横撫で、底部回転糸切り	
0349	須恵器 坏蓋	器 <3.0 底 17.8	+2.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰白N-8/ ④欠	天井部左回転削削り、端分・底部横撫で調整	
0351	須恵器 壺	器 <3.2 底 (7.1)	+1.5 Ba	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/ ④破片(底部)	底部糸切り後、右回転瓦割り調整	
0352	土師器 壺	器 <4.5 口 (18.9)	-11.0 -12.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向瓦割り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向撫で	
0353	土師器 壺	器 <8.2 口 (22.6)	+0.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向瓦割り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向瓦撫で	
0355	土師器 壺	器 <2.8 底 (3.9)	-6.0 B	①粗砂 ②酸化 ③におい ④橙5YR-7/4 ④破片(底部)	外面胴部・底部瓦割り調整内面瓦撫で調整	
0356	土師器 坏	器 <2.8 口 (10.7) 底 (6.9)	-9.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向瓦割り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向瓦撫で	外面底部黒斑
0357	土師器 壺	器 <3.0 口 (10.8)	+0.5 B	①粗砂 ②酸化 ③淡赤橙2.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向瓦割り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向瓦撫で	

5 A区溝出土遺物 (第125図、PL194)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色裏 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
02号溝	0374	圓鉢	長さ <8.4 厚さ 1.5	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(口縁部)	外面 剃高、内面横撫で、器り込みにより内面上方まで磨滅	
02号溝	0375	鉢 片口	長さ <11.6 厚さ 1.2	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴部無調整。 内面 横撫で	
02号溝	0378	磁石	長さ <6.7 厚さ 0.6	④欠石材質重さ <20g	短冊状を呈する。両面使用。側面瓦物による面取り	幅3.3
02号溝	0379	壺	器 <2.2 底 (20.4)	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④破片(底部)	端部横撫で整形。底部焼成前の穿孔	
02号溝	0380	須恵器 壺	長さ 7.1 厚さ 0.95	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
02号溝	0381	土師器 坏	器 <4.3 口 (14.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、体部横方向、底部瓦割り 内面 口縁部横撫で調整	
02号溝	1630	鉄製品 釘	長さ (4.7) 厚さ 0.5	④釘の頭部及び先端部の欠失したものである		幅0.5
02号溝	1664	打製石斧	長さ 15.9 厚さ 2.0	④完形石材黒色片重さ375g	分銅型、刃部丸味を持ち打痕あり、エグレ部磨耗	幅8.0
02号溝	1665	搔器	長さ 10.8 厚さ 1.7	④完形石材黒色片重さ115g	瓢丸台形状を呈する	幅6.2
03号溝	0383	須恵器 坏	器 2.9 口 10.3	①粗砂 ②還元 ③橙5YR-6/6 ④欠	底部回転糸切り	軟質底 (6.0)
03号溝	0384	土師器 壺	器 <3.0 底 (5.8)	①粗砂 ②還元 ③におい ④橙7.5YR-6/3 ④破片(底部)	外面 胴部・底部瓦割り調整 内面 瓦撫で調整	外面黒斑
04号溝	0385	圓鉢	器 <4.7 底 (12.0)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④破片(底部)	底部回転糸切り後周辺削削り工具による横撫で調整	磨滅
04号溝	0386	青磁 高台付碗	器 <1.6 底 4.2	①細砂 ②還元 ③オリーブ黄5Y-6/3 ④欠(底部)	口ロコ成形。高台部横撫で調整	内外面高台部まで磨滅

5区土坑出土遺物 (137~139図、PL193・194)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②構成 ③色面 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
02号土坑	0093	漆鉢	器 径 <4.2> 底 (17.0)	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④破片(底部)	外面 撫で調整 内面 櫛状工具による横撫で調整	外面肌。埋土
02号土坑	1621	鉄製品 釘	長さ (5.7) 横 0.7			櫛部の一部欠失。やや細めの断面方形の茎を有し、一部木質が付着する
02号土坑	1622	鉄押 横 5.7	縦 4.3			厚3.1
11号土坑	0105	須恵器 壺	器 径 14.6	①粗砂 ②還元、軟質 ③浅黄橙10YR-8/3 ④破片(胴部・底部)	クロコ調整による横撫で。外面胴部下位段削り調整	
11号土坑	0109	須恵器 壺	器 径 15.4	①粗砂 ②還元、軟質 ③橙5YR-7/6 ④破片(頸部~胴部)	クロコ調整による横撫で	
11号土坑	0110	須恵器 壺	長 18.0 幅 21.0 厚 1.0	①粗砂 ②還元、軟質 ③橙5YR-6/6 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目の後、櫛状工具による横撫で調整 内面 刷磨	01住域・02住出土遺物と接合
11号土坑	0112	須恵器 壺	長 33.0 幅 9.0 厚 1.0	①細砂 ②還元 ③灰N-6/④破片(胴部)	外面 平行叩き目の後、撫で調整 内面 同心円当て目の後、横撫で調整	01住・34坑出土遺物と接合
11号土坑	0114	須恵器 大型壺	径 <48.0> 口 (30.6)	①細砂 ②還元 ③灰N-6/④破片(口縁~底部)	外面 平行叩き目 内面 撫で調整	土坑出土遺物と接合
11号土坑	0115	須恵器 壺	径 <11.5> 底 (18.8)	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④破片(底部)	外面 胴部下半横方向刮削り調整 内面 荒撫で調整	土坑出土遺物と接合
11号土坑	0116	須恵器 壺	器 径 <26.7>	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④片(胴~底部)	外面 平行叩き目と櫛状工具による調整 内面 同心円当て目	遺構外出土遺物と接合
11号土坑	0118	須恵器 壺	器 径 3.5 口 (22.0) 底 (16.6)	①細砂 ②還元 ③灰N-6/④破片(口縁~底部)	クロコ成形口縁部横撫で。底部外面撫で調整 内面 櫛状工具による撫で調整	遺構外出土遺物と接合
11号土坑	0125	須恵器 坏	器 径 <3.2> 口 (13.0)	①細砂 ②還元、軟質 ③灰白10YR-7/1 ④破片(口縁部)	クロコ成形口縁部横撫で	
11号土坑	0132	土師器 壺	器 径 <5.0> 底 (7.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部下半横削り調整 内面 胴部下半横方向刮削り調整	
11号土坑	0154	緑釉 高台付調 口	器 径 5.5 口 15.8 底 8.6	①細砂 ②酸化 ③灰オリーブ7.5Y-5/3 ④ほぼ球状形	クロコ整形。回転右回り。体部は回転ヘラ削り。内外面ともヘラ研磨。2次焼成を受けている。	
11号土坑	0156	灰釉陶器 台付壺	器 径 <4.0> 台径 (13.6)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(底部)	高台は貼付。底部はヘラナデ。胴部下位はヘラ削り。施釉方法不明	
11号土坑	0157	灰釉陶器 高台付調 口	器 径 <4.3> 口 (16.2)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④破片(口縁部)	クロコ整形。施釉方法は浸け掛けか。釉調は不透明の黄灰色	遺構外出土遺物と接合

5A区土坑出土遺物 (第139図、PL194)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②構成 ③色面 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
50号土坑	0359	土師器 杯	器 径 <3.5> 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③灰白5Y-7.5YR-7/3 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部刮削り調整 内面 口縁部横撫で体部横撫で調整	
78号土坑	0361	須恵器 壺	長さ 4.0 厚さ 0.9	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(胴部)	外面 一条の沈線。ボタン状の貼付	
87号土坑	0360	灰釉陶器 高台付碗	器 径 <2.4> 底 (8.4)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(底部)	高台は横撫で底部左回転糸切り	内面重ね痕あり
188号土坑	0362	須恵器 坏	器 径 <2.3> 底 (7.3)	①細砂 ②還元 ③浅黄橙7.5YR-8/3 ④破片(底部)	底部回転糸切り	
203号土坑	1375	石製品	長さ 6.3 厚み 3.2	④ほぼ球状 石材軽石重さ54.6g	半円形。割面に人面刻む。下端部磨り面あり。中央部穿孔	人面幅6.3
284号土坑	0364	須恵器 坏	器 径 <2.7> 底 (5.7)	①細砂 ②還元 ③黄5YR-4/1 ④破片(底部)	底部左回転糸切り	
313号土坑	1411	磨石	長さ 9.0 厚み 3.6	④先形 石材粗粒安山岩重さ345g	磨面。両面に見られる	
378号土坑	0400	須恵器 坏	器 径 2.3 口 9.2 底 5.4	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄橙10YR-7/3 ④ほぼ球状	底部右回転糸切り	内外面一部 灰土接着 灯明皿

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
306号土坑	0368	須恵器 高台付椀	器 (2.4) 高台径 (5.7)	①粗砂 ②還元、軟質 ③に ふ・橙5YR-6/4 ④△(底部)	高台部横線で底部回転糸切り	
402号土坑	0371	須恵器 高台付椀	器 (3.3) 高台径 (7.2)	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y 7/1 ④△(底部)	高台部横線で底部左回転糸切り	
405号土坑	0366	須恵器 土師器	器 (3.7) 口 (17.6)	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y 8/2 ④△(口縁部)	高台部横線で底部右回転糸削り調整	
405号土坑	0372	土師器 壺	器 (5.6) 口 (27.1)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR 6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で、胴上位横方向削り 内面 口縁部横線で、胴上位横方向削りで	

5 A区墓坑出土遺物 (第141図)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号墓坑	0373	須恵器 杯	器 (3.6) 口 (11.9)	①粗砂 ②還元、軟質 ③に ふ・橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	口縁部横線で底部手持り削り調整	底 (3.4)

5・5 A区グリッド、表採出土遺物 (第142・143図、P.L194・195)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
D14-77 グリッド	0107	須恵器 壺	器 (8.6) 口 (26.4)	①粗砂 ②還元 ③灰7.5Y 6/1 ④破片(口縁・胴部)	口縁部クロコ調整による横線で、胴部外面 平行叩き目、内面同心円当て目	
D14-78 グリッド	0152	土師器 高台付杯	器 (2.9)	①粗砂 ②酸化 ③にふい 橙5YR-6/4 ④破片(台部)	外面 台部縦方向削り調整 内面 台部縦線で調整	
D14-85 グリッド	0153	須恵器 環蓋	器 (2.8) 紐径 3.2	①粗砂 ②還元、軟質 ③に ふい黄7.5YR-8/3 ④破片 (紐部)	鈕宝珠状、紐部横線で調整	
D14-86 グリッド	0145	須恵器 台付壺	器 (2.2)	①粗砂 ②還元 ③にふい黄 橙10YR-7/2 ④破片(底部)	外面 杯部形状工具による横線で調整、台部 との接合部に墨きりあり	
D14-86 グリッド	0146	須恵器 台付壺	器 (5.0)	①粗砂 ②還元 ③黄灰7.5 YR-4/1 ④破片(胴部)	台部横線で、外面平行叩き目、内面同心円 当て目	
D14-87 グリッド	0143	須恵器 高台付椀	器 (2.6) 台径 7.6	①粗砂 ②還元、軟質 ③に ふ・橙5YR-6/4 ④△(底部)	高台部横線で、底部回転糸切り	
D14-88 グリッド	0147	土師器 杯	器 (2.6) 口 (13.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR 7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で、底部手持り削り 内面 口縁部横線で、底部無調整	
D14-88 グリッド	0148	須恵器 杯	器 3.3 口 (10.4) 底 (6.0)	①粗砂 ②還元、軟質 ③断 面橙7.5YR-6/6 ④△	クロコ成形、口縁部横線で、底部回転糸切 り	内面一部収 束収容
D14-88 グリッド	0150	須恵器 壺		①粗砂 ②還元 ③黄灰10 YR-5/1 ④破片(底部)	外面 平行叩き目の後、部状工具による削で 調整、内面同心円当て目	
D14-89 グリッド	0136	土師器 杯	器 3.5 口 10.7	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR 6/6 ④ほぼ定形	外面 口縁部横線で、底部手持り削り 内面 口縁部横線で、底部無調整	外面底部黒 灰
D14-89 グリッド	0137	土師器 杯	器 3.7 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	外面 口縁部横線で、底部削り調整 内面 口縁部横線で、底部無調整	磨滅
D14-89 グリッド	0138	土師器 杯	器 3.3 口 (12.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④△	外面 口縁部横線で、底部手持り削り 内面 口縁部横線で、底部無調整	
D14-89 グリッド	0139	土師器 杯	器 (3.1) 口 (10.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④△	外面 口縁部横線で、底部手持り削り 内面 口縁部横線で、底部無調整	
D14-89 グリッド	0140	土師器 杯	器 3.0 口 (10.3)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△	外面 口縁部横線で、底部手持り削り 内面 口縁部横線で、底部無調整	
D14-89 グリッド	0142	須恵器 壺	器 (4.2) 口 (19.2)	①粗砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(口縁部)	口調調整による横線で調整	
D14-98 グリッド	0117	須恵器 壺	器 (8.9) 底 11.5	①粗砂 ②還元 ③灰5Y 5/1 ④△(胴下～底部)	外面 胴下位横方向削り調整 内面 胴下位横線で調整	内面下部滑 り面
D14-98 グリッド	0119	須恵器 長頸壺	器 (14.1) 口 7.2	①粗砂 ②還元 ③灰5Y 5/1 ④△(口縁～胴上平部)	クロコ成形、口縁部横線で調整	内面口縁部外 周部自然粘着
D14-98 グリッド	0120	須恵器 長頸壺	器 (10.4)	①粗砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④破片(胴部)	クロコ成形、横線で調整	外面自然粘 着
D14-98 グリッド	0121	須恵器 壺	器 (4.7) 底 (14.0)	①粗砂 ②還元 ③灰N-4/ ④破片(胴下～底部)	胴部外面平行叩き目、内面調整調整底部平 産	
D14-98 グリッド	0123	須恵器 壺	器 (2.4) 口 (14.0)	①粗砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(口縁部)	クロコ調整による横線で調整	外面粘着
D14-98 グリッド	0124	須恵器 壺	長 5.3 厚 1.4	①粗砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・形状	大きさ	①土質②組成③色調④存在	成・整形技法の特徴	備考
D14-98 グリッド	0126	須恵器 甕	器口 C3.5) (14.3)	①細砂 ②還元・軟質 ③にふい 7.5YR-6/3 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	内面僅し状
D14-98 グリッド	0127	須恵器 甕	器口 C3.1) 底 4.6	①細砂 ②還元・軟質 ③梅 灰10YR-5/1 ④破片(底部)	底部左回転未切り	内外面皮素 吸着
D14-98 グリッド	0133	土師器 甕	器口 C3.2) (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③にふい 焼5YR-6/4 ④ふ	外面 口縁部横撫で、底部瓦割り調整 内面 口縁部横撫で、底部撫で調整	
D14-98 グリッド	0155	灰胎陶器 付付長頸甕	器口 C27.7) (13.9) 底 (12.1)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-7/1 ④破片(口縁・胴・底部)	ロクロ整形。高台は貼付、底部は回転ヘラ ナデ、胴部下半は回転ヘラ削り	
D14-98 グリッド	0162	灰胎陶器 高台付甕	器口 C3.7) 台径 (8.6)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-7/1 ④破片(底部)	ロクロ整形。高台は貼付、見込部に重ね 焼き痕。施物方法は掛け掛け	大原2号窯 式期
D14-99 グリッド	0144	土師器 甕	器口 C2.5) 底 (7.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(底部)	外面 横方向瓦割り調整 内面 撫撫で調整	
5A区グリッド						
D13-83 グリッド	0383	縄文 深鉢	長さ 厚さ 3.4 0.85	①粗砂 ⑤☆☆ ⑥にふい 黄橙10YR-7/3 ④破片(胴 部)		
D13-83 グリッド	1022	須恵器 甕	器口 C5.4) (14.1)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④破片(口縁部)	内外面ロクロ調整による横撫で調整	
D13-94 グリッド	0365	須恵器 甕	器口 C5.1) 底 (12.0)	①粗砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④破片(底部)	胴部内外面ロクロ調整による横撫で調整	
D14-25 グリッド	0389	土師器 甕	器口 C3.0) 14.7	①細砂 ②酸化 ③にふい 5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で・体部手持ち瓦割り 内面 口縁部横撫で・体部撫で調整	磨滅
D14-25 グリッド	0391	縄文 深鉢	長さ 厚さ 6.4 1.2	①粗砂 ② ③にふい 橙10YR-6/4 ④破片(口縁部)		
D14-25 グリッド	1018	土師器 甕	器口 C7.5) (20.1)	①細砂 ②酸化 ③にふい 橙10YR-6/3 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫での後横方向瓦割り 内面 横撫で整形後瓦磨きを施す	
D14-34 グリッド	0392	打製石斧	長さ 厚さ (10.2) 2.9	④ 石材珪質頁岩重さ (250g)	分銅形を呈し、器内肥厚	幅4.7
D14-84 グリッド	0394	打製石斧	長さ 厚さ (6.5) 3.6	④ 石材珪質頁岩重さ (160g)	刃部欠損。用形何か? 肥厚	幅4.35
表採						
表採	0396	土師器 小型甕	器口 C14.9)	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で・胴部横方向瓦割り調整	磨滅
表採	0397	須恵器 甕	器口 C3.8) 14.1	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	
表採	0398	須恵器 環蓋	器口 C16.9)	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。底部横撫で調整	
表採	1631	鉄滓	縦 横 厚さ 4.4 6.0 3.2			

4. 下大塚北原地区(5B・6区)

5B区01号住居出土遺物(第147図、PL195)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色面(残存)	成・整形技法の特徴	備考
0402	須恵器 環	器 3.1 口 10.3	+7.0 C	①粗砂 ②還元、軟質 ③灰黄2.5Y-8/2 ④ほぼ光沢	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0403	須恵器 椀	器 <5.7> 口 (9.0)	-1.0 +4.5 B	①粗砂 ②還元、軟質 ③浅黄褐10YR-8/4 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	外面口縁皮剥着
0404	須恵器 椀	器 <4.0> 口 (17.0)	-2.0 +2.5 B	①粗砂 ②還元、軟質 ③明赤褐5YR-5/6 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0405	須恵器 椀	器 <4.2> 口 (18.0)	-1.5 +1.0	①粗砂 ②還元、軟質 ③橙5YR-6/8 ④<口縁部>	ロクロ成形。口縁部横撫で調整	
0406	須恵器 環	器 <2.6> 口 (12.8) 底 (9.4)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④<底面>	口縁部横撫で底部回転削り	12住遺構外出土遺物と接合
0407	須恵器 椀	器 <1.8> 底 (8.6)	-1.5 B	①細砂 ②還元 ③断面灰白5Y-7/2 ④破片(底面)	底部糸切り後周辺削り調整	
0408	須恵器 高台付椀	器 <1.4> 口 (8.4)	+8.0 C	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5Y-7/2 ④破片(底面)	高台部横撫で底部回転削り	
0409	須恵器 坏蓋	器 <1.5>	+4.5 B	①粗砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(底部)	蓋はリング状。ロクロ成形。蓋部横撫で天弁部左回転削り調整	
0410	須恵器 壺	長さ 10.0 厚さ 0.8	埋土	①細砂 ②還元 ③断面灰黄褐10YR-5/2 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目後横撫で調整	
0411	灰釉陶器 高台付椀	器 <4.7> 口 (15.0)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。高輪方法は刷毛掬りか元ケ丘1号窯式刷	内外面施釉
0412	羽釜	器 <9.5> 口 (26.0)	-1.5 +1.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③灰黄褐10YR-5/2 ④破片(口縁部)	踵はAタイプ口縁部横撫で外面胴部削り調整	66坑・遺構外遺物と接合
0414	土師器 小型台付壺	器 <2.8>	埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/6 ④破片(底面)	外面 貫削り調整内面 荒撫で調整	
0415	須恵器 壺	器 <24.0> 口 (19.7)	-0.5 -1.0 +1.5 +8.0B	①細砂 ②還元、軟質 ③灰面褐7.5YR-4/2 ④破片(口縁・胴部)	外面 口縁・胴下半部削り調整 内面 口縁部横撫で調整	遺構外出土遺物と接合
0416	須恵器 椀	器 <1.2> 底 (7.0)	-8.0 B	①粗砂 ②還元、軟質 ③断面にふいふ赤褐5YR-5/3 ④破片(底面)	底部回転削り後右回転削り調整	
0417	羽釜	器 <12.3> 口 (22.0)	+24.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にふいふ橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	踵接合部の横撫で、外面胴部縦方向、内面縦方向荒撫で調整	
0442	須恵器 壺	長さ 5.9 厚さ 1.4	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 撫で調整	
0443	須恵器 壺	長さ 7.6 厚さ 1.1	-1.5 B	①細砂 ②還元 ③断面灰白10YR-7/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	

5B区02号住居出土遺物(第152図、PL195・196)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色面(残存)	成・整形技法の特徴	備考
0418	須恵器 坏	器 4.4 口 13.4	-12.0 A	①細砂 ②還元 ③にふいふ黄橙10YR-6/3 ④<口縁部>	口縁部横撫で底部左回転削り	口縁部付着 底6.1
0419	須恵器 高台付椀	器 5.3 口 13.6 高台径 7.3	-5.5 -1.0 +6.0 +4.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/2 ④<口縁部>	口縁部・高台部横撫で底部回転削り	口縁部内外面一部皮剥着
0420	須恵器 高台付椀	器 3.6 高台径 7.1	+1.0 +18.0 C	①細砂 ②還元 ③暗灰黄2.5Y-5/2 ④<底面>	高台部横撫で底部回転削り	磨滅。内外面皮剥着
0421	須恵器 高台付椀	器 5.2 口 14.6	+2.0 A	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/2 ④<口縁部>	口縁部・高台部横撫で底部回転削り	高台径6.0
0423	須恵器 高台付椀	器 3.5 口 13.4	+6.0 +2.0 埋土	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④<口縁部>	口縁部・高台部横撫で底部回転削り	芯みあり 高台径4.3

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④焼存	成・整形技法の特徴	備考
0424	須恵器 椀	器 (2.6) 口 (5.2)	+21.0 C	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄褐色10YR-7/3 ④ 1/4(底部)	底部回転糸切り	磨減底 (4.8)
0425	須恵器 椀	器 (2.3) 口 (10.6)	+6.0 +12.0 C	①細砂 ②還元 ③灰黄褐色 10YR-6/2 ④ 1/4(底部)	底部左回転糸切り	底 (6.0)
0426	須恵器 椀	器 (5.1) 底 (7.0)	+14.0 +20.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/2 ④ 1/4(底部)	底部回転糸切り	磨減
0428	須恵器 椀	器 (4.5) 口 (14.6)	+7.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/2 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	磨減
0429	須恵器 高台付椀	器 (1.5) 高台径 (6.0)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④ 1/4(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨減
0433	土師器 壺	器 (6.8) 口 (20.0)	+5.0 +6.5 +9.6埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 褐色5YR-6/4 ④ 1/4(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	
0434	土師器 壺	器 (13.5) 口 (21.0)	+11.5埋土 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 褐色5YR-6/4 ④ 1/4(口縁部)	口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り。内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	胴部にハゼ
0435	土師器 壺	器 (17.3) 口 (18.7)	+3.0 +11.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 褐色5YR-6/4 ④ 1/4(口縁部)	口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り。内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	
0437	土師器 壺	器 (6.0) 口 (18.0)	+4.0埋土 口 (18.0)	①粗砂 ②酸化 ③ 破7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り。内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	磨減
0438	土師器 壺	器 (6.0) 口 (11.0)	+4.5埋土 口 (11.0)	①粗砂 ②酸化 ③ 破7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り。内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	
0439	土師器 壺	器 (5.8) 口 (16.0)	+4.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 褐色5YR-7/4 ④ 破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	
0441	灰釉陶器 長頸瓶	器 (3.2) 高台径 (9.0)	+3.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④破片(底部)	口クラ整形。高台は貼付	内外面底部 軸付着

5 B区03号住居出土遺物 (157団)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④焼存	成・整形技法の特徴	備考
0422	須恵器 高台付椀	器 (5.5) 口 (14.2)	+19.0 +22.0 埋土	①細砂 ②還元 ③ 灰黄2.5 Y-7/2 ④ 1/4	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	高台径 (6.0)
0427	須恵器 高台付椀	器 (1.7) 高台径 (5.4)	+21.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④ 1/4(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	
0430	須恵器 壺	器 (7.9) 口 (23.6)	+37.0 C	①細砂 ②還元、軟質 ③灰 白10YR-8/2 ④破片(口縁部)	内外面横撫で調整	
0436	土師器 壺	器 (11.0) 口 (22.0)	+42.0 +44.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 褐色7.5YR-7/4 ④ 破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	
0440	土師器 壺	器 (7.5) 口 (21.0)	-11.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 褐色7.5YR-7/4 ④ 破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で、胴上位横方向寛削り	
0444	須恵器 椀	器 (3.4) 口 (13.4)	-10.0 -12.0 B	①細砂 ②還元 ③ 浅黄2.5 Y-7/3 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	磨減
0445	須恵器 椀	器 (4.7) 口 (14.4)	-7.0 +1.5 B	①細砂 ②還元 ③ 浅黄2.5 Y-7/3 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	磨減
0446	須恵器 高台付椀	器 (2.8) 底 (7.1)	+29.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/2 ④ 1/4(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	磨減
0447	須恵器 高台付椀	器 (1.8) 底 (6.9)	+3.0 B	①細砂 ②還元 ③ 浅黄2.5 Y-7/3 ④破片(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	磨減
0448	須恵器 椀	器 (1.5) 底 (6.8)	+10.0 C	①細砂 ②還元 ③にぶい 褐色7.5YR-6/3 ④ 破片(底 部)	底部左回転糸切り	
0449	灰釉陶器 高台付椀	器 (1.7) 高台径 (6.0)	+27.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④ 1/4(底部)	口クラ整形。回転右回り。高台は貼付、底 部はヘラナデ。見込み部に重ね焼き痕	横撫付
0450	須恵器 椀	器 (17.5) 口 (26.0)	-1.0 +2.0 +3.0埋土	①細砂 ②還元、軟質 ③灰 白10YR-7/1 ④ 1/4(口縁部)	器はBタイプ。口縁部横撫で調整	遺構外遺物 と接合
0451	須恵器 台付壺	器 (1.6) 高台径 (17.2)	+9.0 +15.0 埋土	①細砂 ②還元 ③ 明褐色 7.5YR-7/2 ④破片(台部)	高台部横撫で調整	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色黄 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0452	土師器 甕	器 (4.8) 口 (19.6)	+4.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にょい ④5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横方向削り 内面 口縁部横線で胴上位横方向削り	内面炭素吸着
0453	土師器 甕	器 (6.2) 口 (18.0)	+6.0 C	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 ④2.5YR-5/8 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横方向削り。内 面 口縁部横線で胴部帯状工具による横無	
0454	土師器 甕	器 (7.5) 底 (5.0)	-8.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にょい ④7.5YR-6/4 ④破片(底 部)	外面 胴部・底部削り調整 内面 寛無で調整	外面一部黒斑
0455	土師器 甕	器 (2.7) 底 (5.0)	+15.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部削り調整 内面 寛無で調整	外面一部黒斑
0456	土師器 小型台付甕	器 (14.8) 口 (12.3)	-4.0 +2.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横方向削り 内面 口縁部横線で胴上位横方向削り	遺構外出土 遺物と接合

5 B区04号住居出土遺物 (第160図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色黄 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0457	須恵器 甕	器 (7.7)	埋土	①粗砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④L/10(底部)	外面 平行叩き目 内面 当て目後調整	

5 B区05号住居出土遺物 (第162図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色黄 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0458	須恵器 甕	器 (3.8) 口 (13.9)	+7.0 埋土	①粗砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横線で調整	

5 B区06号住居出土遺物 (第165・166図、PL196)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色黄 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0460	土師器 坏	器 (1.4) 口 (15.9)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にょい ④赤褐5YR-5/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横線で体部手持り削り 内面 口縁部横線で体部無調整	磨滅
0461	土師器 罐	器 (5.2) 口 (22.7)	-6.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横方向削り 内面 口縁部横線で胴上位横方向削り	胴部内外面 炭素吸着
0462	土師器 罐	器 (5.1) 口 (21.6)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横方向削り 内面 口縁部横線で胴上位横方向削り	磨滅
0463	須恵器 坏蓋	器 (1.8) 底 (14.3)	-2.5 埋土	①粗砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/1 ④欠(天井部)	ロクロ成形あり 回転寛がり調整	
0464	須恵器 甕	長さ 6.6 厚さ 0.6	-10.0 埋土	①粗砂 ②還元 ③褐灰10 YR-5/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心目当て目	
0465	須恵器 短頸甕	器 (13.7) 底 (10.5)	-8.5 +1.0 C	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④欠(口縁部先端欠 損)	端部横線で胴部下半削り 後手持り削り調整	遺構外出土 遺物と接合
0466	土師器 甕	器 (12.8) 口 (25.4)	+5.5 +12.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/66 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横方向削り 内面 口縁部横線で体部無調整	
0467	土師器 甕	器 (3.0) 口 (19.0)	+15.0 +43.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にょい ④5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横方向削り 内面 口縁部横線で胴上位横方向削り	内面炭素吸着
0468	土師器 坏	器 (3.2) 口 (13.0)	+8.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で体部手持り削り 内面 口縁部横線で体部無調整	遺構外出土 遺物と接合
0469	土師器 甕	器 (3.0) 口 (11.0)	-3.5 +65.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で体部手持り削り 内面 口縁部横線で底部無調整	磨滅
0469	須恵器 坏蓋	器 (2.3) 底 (6.0)	+18.0 埋土	①粗砂 ②還元 ③内面灰 10Y-6/1 ④破片(口縁部)	蓋はリング状横線で天井部左回転寛がり調 整	天井部自然 輪付着
1031	土師器 甕	器 (12.2) 口 (25.3)	-2.0 -3.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にょい ④赤褐2.5YR-5/3 ④破片 (口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横方向削り 内面 口縁部横線で胴上位横方向削り	外面一部黒斑
1032	土師器 坏	器 (3.3) 口 (11.6)	+1.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にょい ④5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で底部手持り削り 内面 口縁部横線で底部無調整	外面一部黒斑
1033	須恵器 坏	器 (3.5) 底 (9.0)	-7.5 埋土	①粗砂 ②還元 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(底部)	底部回転切削り後手持り削り調整	
1632	鉄製品 板状鉄	長さ 2.1 厚さ 0.4	埋土	板状品。薄手扁平な造りであるが、刃の有無は不明		欄2.4

5 B区07号住居出土遺物 (第169回)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②酸化 ③色黒 ④焼存	成・整形技法の特徴	備考	
0466	土師器 甕	径 (4.9) 口 (21.4)	-2.0 - 3.0 B		①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-6/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で斜上位置方向旋削り 内面 口縁部横撫で斜上位置方向旋削り	
0467	須恵器 甕	径 (13.4) 胴 (20.6)	+10.0 C		①粗砂 ②還元 ③灰白10 YR-6/1 ④破片(胴部)	外面上位置方向磨状工具による横撫で内面 上位横撫で下位同心円当て目	12住・遺構外 遺物と接合

5 B区09号住居出土遺物 (第174・176回、PL196)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②酸化 ③色黒 ④焼存	成・整形技法の特徴	備考	
0459	土師器 坏	径 4.7 口 (16.0)	+11.0埋土 C		①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④少	外面 口縁部横撫で底部手持ち旋削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
0553	土師器 坏	径 2.9 口 (11.4)	+12.5 C		①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち旋削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨減。外面 底部黒斑
0556	土師器 坏	径 2.3 口 (12.0)	+28.5 C		①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/3 ④少	外面 口縁部横撫で底部手持ち旋削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	
0559	土師器 坏	径 (3.9) 口 (14.0)	+14.0 C		①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち旋削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	内面磨減
0565	土師器 甕	径 (3.0)+34.0 底 (4.0)	+34.0 C		①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④破片(底 部)	外面 胴部・底部旋削り調整 内面 底撫で調整	
0567	土師器 甕	径 (12.0) 口 (23.0)	+6.0 +15.5 C		①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で斜上位置方向旋削り 内面 口縁部横撫で斜上位置方向旋削り	磨減
0570	土師器 甕	径 (10.9) 口 (19.4)	+22.5 C		①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④破片(口縁 部)	外面 口縁部横撫で斜上位置方向旋削り 内面 口縁部横撫で斜上位置方向旋削り	磨減。内面口 縁部炭素吸着
0573	土師器 甕	径 (3.5) 口 (24.0)	+16.0 +19.0 C		①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④破片(口縁 部)	内外面 口縁部横撫で調整	
0574	土師器 甕	径 (6.5) 口 (20.8)	+33.5 +43.5 C		①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④破片(口縁 部)	外面 口縁部横撫で斜上位置方向旋削り 内面 口縁部横撫で斜上位置方向旋削り	
0577	土師器 付台甕	径 (3.0) 厚み 0.9	-3.0 B		①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 5YR-5/6 ④破片(底部)	外面 底削り調整 内面 底撫で調整	外面炭素吸 着
0582	土師器 甕	径 (1.6) 底 (6.5)	+17.5 C		①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部旋削り調整 内面 底撫で調整	
0584	土師器 坏	径 (6.2) 口 16.0	+23.0 C		①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-6/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち旋削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	
0587	土師器 坏	径 (4.1) 口 (16.4)	+14.0 C		①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち旋削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨減
0591	土師器 甕	径 (3.7) 口 19.0	+10.0 C		①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち旋削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減
0595	須恵器 坏蓋	径 (19.0) 口 (16.3)	+39.0埋土 C		①粗砂 ②還元 ③灰白10 Y-8/1 ④破片(底部)	底部・縁部横撫で天井部左回転旋削り調整	
0599	須恵器 高台付甕	径 (1.3) 高台径 11.1	+31.5 +33.5 C		①粗砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-6/2 ④破片(底部)	高台部横撫で、底部回転旋削り後右回転旋 削り調整	
0602	須恵器 甕	長さ 7.5 厚み 0.9	+11.5 C		①粗砂 ②還元 ③灰7.5Y -7/1 ④破片(胴部)	外面 平印叩き目 内面 同心円当て目	
0603	須恵器 甕	長さ 8.7 厚み 1.2	+13.5 C		①粗砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④破片(胴部)	外面 平印叩き目 内面 同心円当て目	
0633	須恵器 坏蓋	径 (1.4) 底 (12.6)	-6.0 C		①粗砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④少(底部)	底部・縁部横撫で天井部左回転旋削り調整 底部にカエリあり	
0635	須恵器 坏蓋	径 (3.4) 口 (11.2)	+9.0 C		①粗砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④少	縁は宝珠状。底部・縁部横撫で天井部左回 転旋削り調整底部にカエリあり	組3.0
0637	須恵器 坏蓋	径 (2.2)+1.5 底 (6.0)	+1.5 A		①粗砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/2 ④少(底部)	縁はリング状。ロクロ成形縁部横撫で調整	内面磨減磨 り面あり
0638	須恵器 坏	径 (3.4) 口 (14.6)	-3.5 B		①粗砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(口縁部)	口縁部横撫で底部回転旋削り後右回転旋削 り調整	
0639	須恵器 坏	径 3.5 口 (13.7)	+15.5 C		①粗砂 ②還元 ③灰オ リーブ3Y-6/2 ④少	口縁部横撫で底部回転旋削り後右回転旋削 り調整	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色黄 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0640	須恵器 坏	器 径 3.8 底 (7.0)	-5.5 C	①粗砂 ②還元 ③灰7.5 Y-6/1 ④破片(口縁部)	口縁部横無で底部回転糸切り後手持ち無で調整	
0682	土師器 壺	器 径 (6.1) 口 (23.6)	+29.0 C	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横無で胴上位置方向箇所 内面 口縁部横無で胴上位置方向箇所	
0681	須恵器 坏蓋	器 径 3.3 底 2.9	-1.0 +2.0 C	①粗砂 ②還元 ③灰N-6 ④ㇿ	蓋は宝珠状。横無で天井部左回転へテ削り 足部カエリあり。自然粘付着	遺構外出土 遺物と接合
0690	須恵器 壺	長さ 5.7 厚み 0.9	+21.0 +31.5 C	①粗砂 ②還元 ③灰7.5Y -7/1 ④破片(胴部)	外面平行可き目内面同心内当て目	遺構外出土 遺物と接合

5 B区10号住居出土遺物 (第180回、PL196)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色黄 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0653	土師器 壺	器 径 (6.1) 口 (20.9)	+12.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横無で胴上位置方向箇所 内面 口縁部横無で胴上位置方向箇所	磨滅
0673	土師器 壺	器 径 (2.5) 底 7.0	+13.0 +26.0 C	①粗砂 ②酸化 ③に 7.5YR-5/4 ④破片(底 部)	外面 胴部・底部箇所調整 内面 箇所調整	外面黒斑
0674	土師器 坏	器 径 3.5 口 12.8	+19.0 +44.0 C	①粗砂 ②酸化 ③に 橙5YR-6/4 ④ほぼ光形	外面 口縁部横無で底部手持ち箇所 内面 口縁部横無で底部無調整	磨滅。外面 底部黒斑
0675	土師器 壺	器 径 (10.0) 口 (23.6)	+13.0 +35.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横無で胴上位置方向箇所 内面 口縁部横無で胴上位置方向箇所	磨滅
0676	土師器 壺	器 径 (6.1) 口 (22.2)	+40.5 +45.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横無で胴上位置方向箇所 内面 口縁部横無で胴上位置方向箇所	磨滅
0677	土師器 壺	器 径 (5.0) 口 (21.4)	+12.0 +31.0 C	①粗砂 ②酸化 ③に 橙7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横無で胴上位置方向箇所 内面 口縁部横無で胴上位置方向箇所	磨滅
0680	須恵器 坏	器 径 (4.1) 口 (12.6)	+7.5 +40.5 C	①粗砂 ②還元 ③橙5YR -7/6 ④ㇿ	口縁部横無で底部回転糸切り後手持ち無で調整	

5 B区11号住居出土遺物 (第185・186回、PL96・97)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色黄 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0485	土師器 坏	器 径 (4.5) 口 (14.7)	+4.0 C	①粗砂 ②酸化 ③灰7.5 YR-4/2 ④ㇿ	外面 口縁部横無で底部手持ち箇所 内面 口縁部横無で底部無調整	
0486	土師器 坏	器 径 (3.0) 口 (12.2)	+7.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④ㇿ	外面 口縁部横無で底部手持ち箇所 内面 口縁部横無で底部無調整	
0487	土師器 壺	器 径 (10.0) 口 (22.0)	+1.5 -3.0 +3.5 +6.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5Y -6/8 ④ㇿ(口縁部)	外面 口縁部横無で胴上位置方向箇所 内面 口縁部横無で胴上位置方向箇所	磨滅
0488	須恵器 坏蓋	器 径 (1.6) 口 (18.6)	+7.0 C	①粗砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④ㇿ(胴部)	ロクロ成形。胴部横無で天井部右回転削り調整	
0489	須恵器 瓶	器 径 (7.3) 口	+3.0 C	①粗砂 ②還元 ③灰白N -8/ ④破片(胴部)	ロクロ成形。外面胴部中央位左回転削り 内面 箇所調整	
0547	土師器 坏	器 径 (3.6) 口 (12.8)	+14.0 B	①粗砂 ②酸化 ③内面明 黄褐10YR-7/6 ④ㇿ	外面 口縁部横無で底部手持ち箇所 内面 口縁部横無で底部無調整	磨滅外面黒 斑
0548	土師器 坏	器 径 (3.4) 口 (11.8)	+5.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④ㇿ	外面 口縁部横無で底部手持ち箇所 内面 口縁部横無で底部無調整	磨滅
0549	土師器 坏	器 径 (3.3) 口 (14.2)	+10.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④ㇿ	外面 口縁部横無で底部手持ち箇所 内面 口縁部横無で底部無調整	磨滅
0550	土師器 坏	器 径 (3.2) 口 (11.5)	+10.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④ㇿ	外面 口縁部横無で底部手持ち箇所 内面 口縁部横無で底部無調整	磨滅
0551	土師器 坏	器 径 (3.0) 口 (14.2)	+13.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④ㇿ	外面 口縁部横無で底部手持ち箇所 内面 口縁部横無で底部無調整	磨滅
0560	土師器 壺	器 径 (2.1) 口 (14.2)	+7.0 C	①粗砂 ②酸化 ③に 橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横無で底部手持ち箇所 内面 口縁部横無で底部無調整	磨滅
0561	土師器 盤	器 径 (3.3) 口 (17.8)	+9.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④ㇿ	外面 口縁部横無で底部手持ち箇所 内面 口縁部横無で底部無調整	磨滅外面一 部黒斑
0562	土師器 盤	器 径 (16.6)	+8.0 C	①粗砂 ②酸化 ③に 橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横無で底部手持ち箇所 内面 口縁部横無で底部無調整	磨滅

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土②焼成③色④保存	成・整形技法の特徴	備考
0563	土師器 甕	胴 (4.2) 口 (18.4)	+13.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横無で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横無で底部無で調整	磨滅
0568	土師器 甕	胴 (6.0) 口 (20.0)	+9.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横無で胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横無で胴上位横方向寛削り	磨滅
0569	土師器 甕	胴 (1.9) 口 (13.0)	+13.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙5YR-6/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部寛削り調整 内面 寛削りで調整	磨滅
0571	土師器 甕	胴 (2.5) 底 (9.0)	-33.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部寛削り調整 内面 寛削りで調整	磨滅
0572	土師器 甕	胴 (5.2) 口 (22.0)	+6.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横無で胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横無で胴上位横方向寛削り	磨滅
0575	土師器 甕	胴 (3.5) 底 (7.0)	+9.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙7.5YR-7/4 ④破片(底 部)	外面 胴部・底部寛削り調整 内面 寛削りで調整	外面一部黒 染
0621	土師器 坏	胴 4.0 口 (13.5)	+3.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④片	外面 口縁部横無で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横無で調整	磨滅
0622	土師器 坏	胴 4.2 口 (12.4)	+34.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④片	外面 口縁部横無で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横無で底部無で調整	磨滅
0634	須恵器 坏蓋	胴 (1.8) 口 (13.4)	+26.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④片(底部)	ロクロ成形。胴部・底部横無で調整。底部 にカリあり	
0636	須恵器 坏蓋	胴 (2.2) 底 4.4	+10.0 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④片(底部)	紐はリング状。ロクロ成形底部横無で調整	
0641	須恵器 坏	胴 (2.0) 底 (3.5)	+25.5 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④破片(底部)	底部左回転糸切り	
0644	須恵器 長頸瓶	胴 (2.6) 高台径 9.9	+10.5 C	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/2 ④片(底部)	ロクロ整形。回転右削り。高台は貼付。底 部はヘラナデ。高台内に自然物付着。	あり
0649	須恵器 甕	長さ 6.3 厚さ 0.9	+22.0 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
0693	丸瓦	長さ 0.9 厚さ 0.9	+44.5 C	①細砂 ②半還元 ③黄灰 2.5Y-5/1 ④破片	凸面は無整形。側面のみ取りは1面	
0696	土師器 甕	胴 (10.0) 口 (22.0)	+7.0 +9.0 +10.5 +11.0C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④片(口縁部)	外面 口縁部横無で胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横無で胴上位横方向寛削り	磨滅
0897	土師器 甕	胴 (8.0) 口 (19.4)	+3.0 +4.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横無で胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横無で胴上位横方向寛削り	
1420	円形叩き石	長さ 16.1 厚さ 4.1	+4.0 C	④完形石材質得石薄片岩重 き1160g	楕円形を呈し、断面板状。打痕不明瞭	幅12.2
1643	鉄製品	長さ 10.0 厚さ 0.4	-16.0 B		刀・薙の先端が欠失している。刃は細長い。茎は厚みあり、しっかりと したつくりである。両面を呈する	幅1.1

5 B区12号住居出土遺物 (第191・192図、PL197)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土②焼成③色④保存	成・整形技法の特徴	備考
0468	土師器 坏	胴 (3.2) 口 (12.8)	-3.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙7.5YR-7/4 ④片	外面 口縁部横無で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横無で底部無で調整	磨滅
0469	土師器 坏	胴 (3.1) 口 (11.7)	+2.0 +4.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙5YR-6/6/6 ④片	外面 口縁部横無で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横無で底部無で調整	磨滅
0470	須恵器 坏	胴 (3.2) 口 (11.0)	+9.0 B	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④完形	口縁部横無で底部左回転糸切り	一部保付着 底 (6.8)
0471	須恵器 坏	胴 3.4 口 (12.4)	+38.0 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④片	口縁部横無で底部左回転糸切り	
0472	須恵器 坏	胴 (1.2) 底 5.9	埋土 C	①細砂 ②還元 ③灰白N -7/ ④片(底部)	底部左回転糸切り	
0473	須恵器 坏	胴 (1.8) 底 5.5	+5.0 C	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-5/1 ④片(底部)	底部左回転糸切り	磨滅
0474	須恵器 坏	胴 (2.0) 底 6.0	埋土 C	①細砂 ②還元 ③灰白10 Y-7/1 ④片(底部)	底部左回転糸切り	磨滅著しい
0475	須恵器 碗	胴 (4.8) 口 (13.6)	-2.0 B	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横無で調整	
0476	須恵器 高台付筒	胴 8.6 口 (14.2) 高台径 7.8	埋土 C	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -4/1 ④片	口縁部・高台部横無で底部回転糸切り	遺構外出土 遺物と接合

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色剥 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0478	須恵器 高台付盤	器 (3.5) 口 (26.2)	-6.0	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④少	高台部横無で調整	遺構外出土 遺物と接合
0479	須恵器 椀	器 (5.8) 口 (15.7)	埋土	①粗砂 ②還元 ③明灰N -3/ ④破片(口縁部)	口縁部横無で調整	
0480	須恵器 坏蓋	器 (1.8) 径 4.2	+38.0	①粗砂 ②還元 ③灰10Y -6/ ④破片(底部)	縦はリング状。紐部横無で調整	磨滅
0481	須恵器 壺	器 (21.5) 口 (20.2)	-1.0 +13.5	①細砂 ②還元 ③灰N-4/ ④少(口縁部)	ロクロ成形。横無で整形外面 平行印き目。 内面横無で調整	
0482	須恵器 壺	長さ 10.0 厚さ 0.8	+22.5 C	①細砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(胴部)	外面 平行印き目 内面 同心円当て目	遺構外出土 遺物と接合
0483	須恵器 壺	長さ 9.0 厚さ 0.8	-3.0	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(胴部)	外面 平行印き目 内面 同心円当て目	
0484	須恵器 壺	器 (4.0) 底 (10.2)	+28.5	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(底部)	ロクロ成形。内外面横方向筋無で調整	
0683	須恵器 坏蓋	器 (2.7) 底 (21.6)	+49.0埋土	①粗砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-6/2 ④少(胴部)	ロクロ成形。端部横無で外面天井部筋無で調整	
0685	須恵器 盤	器 (2.4) 口 (21.6)	埋土	①粗砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-6/2 ④少	口縁部横無で体部筋無で底部回転彫り切り 右回転彫り調整	遺構外出土 遺物と接合

5 B区13号住居出土遺物 (第195区、PL197)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色剥 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0491	土師器 坏	器 (2.6) 口 (13.3)	+1.5 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 赤褐5YR-5/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横無で底部手持ち彫り 内面 口縁部横無で底部無で調整	磨滅
0492	土師器 壺	器 (15.0) 底 5.2	+3.0 +4.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④少(底部)	外面 胴部・底部彫り調整 内面 筋無で調整	外面一部黒 底
0493	土師器 壺	器 (5.0) 底 (5.9)	+19.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 赤褐5YR-5/4 ④破片(底 部)	外面 胴部・底部彫り調整 内面 筋無で調整	
0494	須恵器 台付壺	器 (1.8) 底 11.6	+38.0 C	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④1/10(底部)	高台部横無で底部回転彫り切り後右回転彫り で調整	転用痕跡 面あり

5 B区14号住居出土遺物 (第200区)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色剥 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0477	須恵器 高台付盤	器 (2.3) 底 (13.8)	+53.0 C	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(底部)	高台部横無で底部回転彫り切り後右回転彫り 調整	12住出土遺 物と接合
0496	土師器 坏	器 (2.3) 口 (11.8)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-7/4 ④破片(口縁 部)	内外面口縁部横無で調整	
0497	土師器 坏	器 (3.0) 口 (11.7)	+5.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-7/4 ④破片(口縁 部)	内外面口縁部横無で調整	磨滅
0498	須恵器 壺	器 (13.5) 口 (34.2)	+23.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横無で	12住・遺構 外遺物と接 合

5 B区15号住居出土遺物 (第203・204区、PL197)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色剥 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0499	土師器 坏	器 (3.7) 口 (12.0)	+17.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④ほぼ正形	外面 口縁部横無で底部手持ち彫り 内面 口縁部横無で底部無で調整	外面底部黒 底
0500	土師器 坏	器 (3.1) 口 (10.8)	+34.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④少	内外面口縁部横無で調整	磨滅著しい
0501	土師器 坏	器 (4.2) 口 (13.1)	+8.0 +32.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 黄橙10YR-7/4 ④少	外面 口縁部横無で底部手持ち彫り 内面 口縁部横無で調整	磨滅外面底 部黒底
0502	土師器 坏	器 (3.7) 口 (12.3)	-9.0 +10.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④少	外面 口縁部横無で底部手持ち彫り 内面 口縁部横無で調整	内面磨滅
0503	土師器 坏	器 (3.4) 口 (12.0)	-8.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④少	外面 口縁部横無で底部手持ち彫り 内面 口縁部横無で調整	磨滅外面底 部黒底
0504	土師器 坏	器 3.5 口 (11.4)	+5.0 +9.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④少	内外面口縁部横無で調整	磨滅著しい

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
6505	土師器 盤	径 <3.3> 口 (18.6)	+0.5 +26.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④△	内外面口縁部横撫で調整	磨減著しい
6506	土師器 盤	径 <2.8> 口 (19.6)	+29.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④△(口縁部)	内外面口縁部横撫で調整	磨減著しい
6507	土師器 坏	径 <2.9> 口 (11.7)	-10.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④△(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち寛削り 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	外面底部磨 減
6508	土師器 坏	径 <3.3> 口 (11.7)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④△(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持ち寛削り 内面 口縁部横撫で調整	内面磨減き
6509	土師器 甕	径 <11.3> 口 (19.6)	-7.0 -8.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④△	外面 口縁部横撫で胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向寛撫で調整	
6510	土師器 甕	径 <6.4> 口 (18.3)	+26.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にょい 褐7.5YR-6/3 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向寛撫で調整	
6511	土師器 甕	径 <2.8> 底 (3.6)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にょい 褐7.5YR-6/3 ④破片(底 部)	外面 胴部・底部寛削り調整 内面 胴部・底部磨減で調整	
6512	土師器 甕	径 <3.4> 底 (3.6)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部寛削り調整 内面 胴部・底部磨減で調整	
6514	須恵器 坏	径 <2.5> 底 6.3	+8.0 B	①粗砂 ②還元 ③灰5Y -4/1 ④△(底部)	底部左回転糸切り	
6515	須恵器 盤	径 <4.0> 口 (17.6)	+5.0埋土	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5 YR-6/6 ④△(口縁部)	口縁部横撫で底部右回転寛削り調整	底 (12.2)
6516	須恵器 甕	径 <3.5> 口 (9.6)	+26.0 C	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5 YR-6/1 ④破片(口縁部)	口縁部ロクロ調整による横撫で	内面自然粘 付着
6517	須恵器 坏蓋	径 <2.4> 口 (16.7)	+31.5 C	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④△(底部)	天井部左回転削り面部横撫で調整	
6518	須恵器 盤	径 <4.5> 口 (22.3)	+23.0 C	①細砂 ②還元 ③にょい 黄橙10YR-7/2 ④破片(口 縁部)	口縁部横撫で底部回転糸切り後右回転削り調整	遺構外出土 遺物と接合
6519	須恵器 小豆短頸壺	径 <5.0> 口 (7.2)	+23.0埋土	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5 YR-6/1 ④△(口縁部)	ロクロ成形口縁部横撫で外面胴部下位手持ち 寛削り調整	遺構外出土 遺物と接合
1421	円形印き石	長さ 13.1 厚さ 2.9	-4.0	④突起 石材雲母石英片若重さ48g	楕円形を呈し、断面板状。打痕不明瞭	幅6.9

6区01号住居出土遺物(第209・211図、PL198)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1034	土師器 甕	径 <34.0> 口 (18.6) 底 7.2	-0.5 +2.0 +3.0 +3.5 A	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④△	外面 口縁部横撫で胴部縦方向寛削り 内面 口縁部横撫で胴部撫で調整	底部木葉痕
1035	土師器 甕	径 <36.3> 口 (20.8)	-5.0 -8.0 -9.5 -11.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④△	外面 口縁部横撫で胴部縦方向寛削り 内面 口縁部横撫で胴部撫で調整	外面一部磨 減
1036	土師器 甕	径 <21.6> 底 (3.5)	-11.0 +11.0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△(下半部)	外面 胴部下平・底部縦方向寛削り調整	一部底部内 外面磨減
1037	土師器 甕	径 <16.8> 底 4.1	-5.0 -8.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④△(下半部)	外面 胴部下平・底部縦方向寛削り調整	
1038	土師器 甕	径 <24.2>	+0.5 +1.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にょい 赤褐2.5YR-5/4 ④破片 (胴部)	外面 胴部縦方向寛削り調整 内面 胴部縦撫で調整	磨減
1039	土師器 坏	径 <3.0> 口 (13.7)	+13.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④破片(口縁部)	内面 口縁部横撫で体部形状工具による横 撫で調整	磨減
1041	土師器 坏	径 <4.5> 口 (18.6)	+21.0	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙7.5YR-6/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で体部寛削り調整 内面 口縁部横撫で体部撫で調整	磨減
1042	土師器 甕	径 <16.6> 口 22.2	+0.5 +1.0 +2.0 -3.0Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④△(上半部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で胴部撫で調整	磨減著しい 外面底部

遺物観察表

6区02号住居出土遺物 (第215・216図、PL199)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1044	土師器 環	口径 3.7 口 12.0	+6.0 +12.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④⑤	外面 口縁部横線で底部手持り足削り 内面 口縁部横線で底部手で調整	磨滅。外面 底部黒底
1045	土師器 環	口径 3.3 口 15.2	+7.5 +10.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④⑤	外面 口縁部横線で底部手持り足削り 内面 口縁部横線で底部手で調整	磨滅
1046	須志器 高台付椀	口径 4.4 口 12.0	+8.0 +10.0	①細砂 ②還元 ③灰白N- 8/ ④ほぼ完形	ロクロ成形。口縁部・高台部横線で底部回 転を伴う足切り施し	
1047	須志器 環	口径 3.0 口 13.1	+0.5	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 YR-6/1 ④⑤	外面口縁部横線で外面底部左回転削り 調整	
1048	須志器 高台付椀	口径 1.7 底 6.0	+10.5	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-7/1 ④破片(底部)	高台部横線で底部左回転削り 調整	
1049	須志器 環	口径 2.3 口 14.4	-11.5埋土	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/2 ④⑤	縦線リング状ロクロ成形。端部・器部横線 で天井部右回転削り調整	磨滅約3.4
1050	須志器 環	口径 3.0 底 3.8	+0.5 -2.0	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/2 ④破片(天井部)	縦線リング状ロクロ成形。器部横線で 天井部自然軸付着	天井部自然 軸付着
1051	須志器 環	口径 2.2 底 6.0	+2.0	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④破片(端部)	ロクロ成形。端部横線で 天井部自然軸付着	天井部自然 軸付着
1052	須志器 環	口径 1.4 底 3.8	-2.0	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-4/1 ④破片(端部)	縦ボタン状横線で	
1054	須志器 壺	長さ 6.6 厚さ 0.9	-5.0	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④破片(胴部)	外面 縦方向平行叩き目。横方向は縦 内面 同心円当て目	
1055	須志器 大型壺	長さ 18.0 厚さ 1.5	+5.5	①細砂 ②還元 ③灰5Y -4/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
1097	須志器 環	口径 (2.8) 底 (18.6)	+11.5	①細砂 ②還元 ③灰白N- 7/ ④破片(端部)	ロクロ成形。端部横線でカエリあり外側天 井部右回転削り内面直線で調整	軟質。外面 ヘラ記号か
1103	須志器 環	口径 (2.8) 底 (15.0)	+4.0	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(口縁・天井部)	天井部左回転削り端部横線で天井部右回 転削り調整	63住出土遺 物と接合
1141	土師器 環	口径 3.9 口 (12.6)	-7.5 -11.0	①粗砂 ②酸化 ③明褐色 YR-5/6 ④⑤	外面 口縁部横線で体部足削り調整 内面 口縁部横線で体部直線で調整	磨滅
1142	土師器 環	口径 (3.7) 口 (12.8)	+6.0 +12.5	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④⑤	外面 口縁部横線で体部足削り調整 内面 口縁部横線で体部直線で調整	
1418	円形 叩き石	長さ 15.3 厚さ 2.4	+6.0	④ほぼ完形 石材玄武岩重さ800g	円盤状を呈する	幅2.1
1637	鉄製品 釘	長さ (10.4) 厚さ 0.8	+5.5		大形の釘の基部と考えられる。頭部は欠失し、やや屈曲している。	
1644	鉄製品 板状鉄	長さ (4.0) 厚さ 1.2	埋土		刀子の刀部の破片の可能性ある。非常に薄手の造りである	幅0.2

6区03号住居出土遺物 (第221～223図、PL199・200)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1057	土師器 壺	口径 28.3 口 22.2 底 6.0	-1.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-6/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横線で胴上位横方向削り 内面 口縁部横線で胴上位横方向削り	外面下部 尖束状着
1060	土師器 小型台付壺	口径 (14.5)	-3.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④⑤(胴部 ～台部中央)	口縁部横線で胴上位横方向削り 内面、口縁部横線で胴部直線で調整	外面胴部赤 尖束部黒底
1061	土師器 壺	口径 (34.0) 口 (21.0) 底 5.3	-5.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④⑤	外面 口縁部横線で胴上位横方向削り 下位縦方向削り調整 内面 口縁部横線で胴部直線で調整	外面一部黒 底
1064	土師器 壺	口径 23.1 口 24.7	-1.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④破片(口縁下位)	外面 口縁部横線で胴上位横方向削り 内面 口縁部横線で胴上位横方向削り	外面一部黒 底
1067	土師器 環	口径 3.6 口 13.6	+0.5 +2.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横線で底部手持り足削り 内面 口縁部横線で底部手で調整	磨滅
1070	土師器 環	口径 3.4 口 13.0	-3.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横線で底部手持り足削り 内面 口縁部横線で底部手で調整	磨滅。外面 底部黒底
1073	土師器 壺	口径 3.0 口 14.2	+3.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横線で調整 内面 口縁部横線で調整	磨滅著しい
1074	土師器 環	口径 3.7 口 12.5	+4.0 +8.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④⑤	外面 口縁部横線で底部手持り足削り 内面 口縁部横線で底部手で調整	磨滅

遺物観察表

番号	器種・形状	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②酸化 ③④焼存	成・整形技法の特徴	備考
1075	土師器 坏	器 3.3 口 (13.5)	-3.5 -7.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③ ④	外面 口縁部横線で底部手持り痕有り 内面 口縁部横線で底部撫で調整	磨滅。外面 底部黒斑
1076	土師器 坏	器 3.5 口 13.9	-2.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④5YR-6/4 ④1/2	外面 口縁部横線で底部手持り痕有り 内面 口縁部横線で底部撫で調整	磨滅
1078	土師器 坏	器 3.1 口 12.8	-1.0 A	①粗砂 ②酸化 ③④5YR -6/6 ④1/2	外面 口縁部横線で調整 内面 口縁部横線で調整	磨滅著しい
1079	土師器 坏	器 3.9 口 14.0	+2.0 +3.0 -5.0A	①粗砂 ②酸化 ③④5YR -6/6 ④1/2	外面 口縁部横線で底部手持り痕有り 内面 口縁部横線で底部撫で調整	磨滅
1080	土師器 坏	器 2.9 口 14.0	+2.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④7.5YR-7/4 ④1/2	外面 口縁部横線で底部手持り痕有り 内面 口縁部横線で底部撫で調整	内外面一部 黒斑
1083	土師器 坏	器 4.0 口 13.8	+1.3 C	①細砂 ②酸化 ③にぶい ④5YR-7/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横線で調整 内面 口縁部横線で、放射状等の磨滅	内外面磨滅 著しい。外 面底部黒斑
1084	土師器 坏	器 4.1 口 8.0	埋土	①細砂 ②酸化 ③④7.5 YR-7/6 ④1/2	外面 口縁部横線で底部手持り痕有り 内面 口縁部横線で底部撫で調整内外面磨 滅著しい放射状の磨滅	外面一部黒 斑
1086	土師器 坏	器 4.0 口 12.7	+3.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③④5YR -6/6 ④1/2	外面 口縁部横線で底部手持り痕有り 内面 口縁部横線で底部撫で調整	
1088	土師器 坏	器 5.7 口 17.6	+9.0 C	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5 YR-3/8 ④完形	外面 口縁部横線で底部手持り痕有り 内面 口縁部横線で調整	
1088	須恵器 坏	器 3.8 口 13.4	+12.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白N -7/ ④ほぼ完形	口縁部横線で底部回転窓切り後手持り痕 有り調整	底10.8
1090	須恵器 坏	器 3.8 口 13.2	+6.5 A	①細砂 ②還元 ③灰白N -6/ ④ほぼ完形	口縁部横線で底部回転窓切り後右回転窓 有り調整	底8.0
1091	須恵器 坏	器 4.5 口 (13.5) 底 (9.6)	-5.0 A	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④1/2	口縁部横線で底部回転窓切り後撫で調整	遺構外出土 遺物と接合
1092	須恵器 坏	器 3.3 口 12.8 底 9.1	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白N -7/ ④1/2	口縁部横線で底部回転窓切り後右回転窓 有り調整	遺構外出土 遺物と接合
1093	須恵器 坏	器 3.6 口 12.5 底 (7.4)	+7.0埋土	①細砂 ②還元 ③赤灰5R -5/1 ④1/2	口縁部横線で底部回転窓切り後撫で調整	外面底部に 撫きやぶり あり
1094	須恵器 坏	器 3.6 口 13.3	-3.0 +2.5 Ba	①細砂 ②還元 ③灰白N -8/ ④ほぼ完形	口縁部横線で底部回転窓切り後周辺手持 り痕有り調整	底9.0
1095	須恵器 高台付椀	器 6.8 口 19.2	-4.0 A	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④ほぼ完形	口縁部横線で底部回転窓切り後削り出し 高台撫で調整	底12.3
1096	須恵器 坏	器 <5.4> 口 (17.2) 底 11.8	+19.5 +21.0	①細砂 ②還元 ③褐灰10 YR-5/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横線で調整	外面一部自 然釉付着
1098	須恵器 坏蓋	器 <1.8> 底部 (16.0)	+15.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(底部)	ロクロ成形。底部横線で調整	外面天井部 自然釉付着
1100	須恵器 坏蓋	器 <2.0> 底部 (18.9)	+8.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰白N -7/ ④破片(底部)	ロクロ成形。底部横線で調整	外面天井部 自然釉付着
1102	須恵器 坏蓋	器 <2.6> 底部 (16.0)	-1.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(天井部・底部)	縦リング状天井部置削り調整	外面天井部 自然釉付着
1104	須恵器 坏蓋	器 <1.6> 底 5.3	+9.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白N -7/ ④破片(底部)	縦リング状	
1105	須恵器 坏蓋	器 <1.4> 底 3.8	+2.5 B	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(底部)	縦リング状	
1108	須恵器 器台	器 <4.0> 底 (13.7)	-1.0埋土 Ba	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/1 ④破片(台部)	ロクロ成形。台部に焼成前の穿孔	長方形透し 2ヶ
1109	須恵器 坏	器 <2.5> 底 (8.9)	-5.5埋土	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(底部)	ロクロ成形。底部回転窓切り後右回転窓削 り底部周辺置削り調整	
1112	須恵器 蓋	長さ 7.8 厚さ 9.9	+6.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白N -7/ ④破片(胴部)	外面 平行円当て目 内面 同心円当て目	
1113	須恵器 大型蓋	長さ 10.2 厚さ 1.5	-3.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白N -7/ ④破片(胴部)	外面 平行円当て目 内面 同心円当て目	
1114	須恵器 大型蓋	長さ 12.9 厚さ 1.5	+21.0 C	①細砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(胴部)	外面 平行円当て目 内面 同心円当て目	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1115	須恵器 環蓋	器 2.4 端部 15.1	-4.5 A	①粗砂 ②還元 ③灰N-6/ ④ほぼ完形	縦リング状天井部右回転蓋削り調整端部・ 鈕部横撫で	外面自然輪 付着。組4. 4
1116	須恵器 環蓋	器 3.7 端部 18.8	-2.5 A	①粗砂 ②還元 ③灰N-7/ ④ほぼ完形	縦リング状天井部右回転蓋削り調整端部・ 鈕部横撫で	組4.6
1117	須恵器 環蓋	器 2.5 端部 14.0 鈕 4.4	+5.0 B	①粗砂 ②還元 ③灰白N- 7/ ④ほぼ完形	縦リング状天井部右回転蓋削り調整端部・ 鈕部横撫で	15住遺物と 接合。自然 輪付着
1118	須恵器 台付盤	器 <3.0> 口 (20.7)	+10.5 C	①粗砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(口縁部)	ロクロ成形。底部周辺右回転蓋削り調整。 口縁部横撫で	
1162	須恵器 高台付椀	器 <7.5> 口 (19.6)	+23.0 C	①粗砂 ②還元 ③灰白N -7/ ④破片	ロクロ成形。底部回転糸切り後付高台口縁 部横撫で	底 (10.0)
1279	須恵器 短頸直蓋	器 3.8 端部 (13.5) 鈕 (4.0)	-3.0 +28.5 C	①粗砂 ②還元 ③灰白N -7/ ④破片	縦リング状ロクロ成形端部・鈕部横撫で天 井部右回転蓋削り調整	16住出土遺 物と接合

6区03b号住居出土遺物 (第227・228図、PL200・201)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1056	土師器 壺	器 29.2 口 21.9 底 4.5	-8.0 -12.0 A	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で胴上位横方向下位縦方 向寛削り調整 内面 口縁部横撫で胴部縦撫で	外面一部黒 斑
1058	土師器 壺	器 26.3 口 23.1	-9.0 -10.5 A	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(口縁→胴部 下半)	外面 口縁部横撫で胴上位より下位縦方向 寛削り。内面口縁部横撫で。胴部縦撫で	磨滅
1059	土師器 小型台付壺	器 <16.0> 口 (14.5)	-8.5 A	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(口縁→台部 中位)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向下位縦方 向寛削り台部横撫で。内面胴部縦撫で	外面口縁部赤 片剥離形状
1062	土師器 壺	器 <19.5> 底 (5.4)	-8.0 -9.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/8 ④破片(胴部上 位→底部)	外面 胴部下位縦方向寛削り・底部手持り寛 削り。内面胴部上位横。下位縦方向寛削り	磨滅。外面一 部皮炭吸着
1063	土師器 壺	器 <14.5> 口 22.1	-9.0 -10.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(上半部)	外面 口縁部横撫で胴上位縦削り調整 内面 口縁部横撫で胴上位横方向寛削り	外面一部横 し状
1068	土師器 杯	器 3.5 口 13.8	-6.0 -8.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持り寛削り 内面 口縁部横撫で底部調整	磨滅。外面 一部黒斑
1069	土師器 杯	器 3.5 口 13.3	-6.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 5YR-5/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持り寛削り 内面 口縁部横撫で底部調整	磨滅。内外面 一部皮炭吸着
1071	土師器 杯	器 3.5 口 13.1	-17.0 A	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持り寛削り 内面 口縁部横撫で底部調整	内外面一部 皮炭吸着
1072	土師器 杯	器 3.4 口 13.4	-8.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持り寛削り 内面 口縁部横撫で底部調整	内外面一部 皮炭吸着
1077	土師器 杯	器 3.2 口 13.2	-5.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で体部寛削り調整 内面 口縁部横撫で体部調整	磨滅
1081	土師器 杯	器 3.2 口 13.9	-8.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で体部寛削り調整 内面 口縁部横撫で体部調整	磨滅。外面 一部黒斑
1082	土師器 杯	器 3.0 口 12.5	-16.0 -20.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で体部寛削り調整 内面 口縁部横撫で体部調整	磨滅。内外 面一部皮炭吸着
1087	土師器 杯	器 <4.4> 口 (16.0)	-12.5 -15.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部寛削り調整 内面 口縁部横撫で体部調整	内面底部保 付着
1106	須恵器 杯蓋	器 <1.0> 端部 (15.9)	-14.0埋土	①粗砂 ②還元 ③灰白N -7/ ④破片(端部)	ロクロ成形。端部横撫で調整	
1111	須恵器 壺	器 <6.0> 口 31.2	-7.0 B	①粗砂 ②還元 ③灰7.5Y -4/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形横撫で調整	

6区04号住居出土遺物 (第232図、PL202)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1119	土師器 杯	器 4.0 口 (13.8)	-0.5 +1.0 +1.5	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で体部・底部寛削り 内面 口縁部横撫で体部縦撫で調整	磨滅。外面 一部黒斑
1120	土師器 杯	器 3.7 口 12.1	+30.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③に よい ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部寛削り調整 内面 口縁部横撫で底部調整	磨滅

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1121	土師器 甕	器 8.2 口 17.8	+29.0 +43.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 縹5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴部上位横方向寛削り 内面 口縁部横線で胴部直線で調整	
1122	土師器 甕	器 4.5 口 23.5	+18.5 +23.0	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で調整 内面 口縁部横線で調整	
1123	土師器 甕	器 4.8 口 21.1	-3.5 +26.0	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴部上位横方向寛削り 内面 口縁部横線で胴部上位直線で調整	内面胴部傾し状
1376	石製品 砥石	長さ 7.0 厚さ 2.0	+2.0	④ほぼ完形石材ニツ岳緑石 重さ80g	両面磨面あり	幅6.1

6区05号住居出土遺物(第236図、PL202)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1124	須恵器 坏	器 3.6 口 12.3 底 12.4	+4.0 +5.0 +9.5 C	①粗砂 ②還元 ③にぶい 縹7.5YR-7/4 ④ほぼ完形	口縁部横線で底部左回転糸切り	磨減著しい 外面一部黒斑
1125	須恵器 坏	器 3.9 口 12.4	+2.5埋土 C	①粗砂 ②還元 ③灰N-6/ ④ほぼ完形	口縁部横線で底部回転糸切り	底6.0
1126	須恵器 坏	器 <3.30 口 <16.00	+9.0 C	①粗砂 ②還元 ③にぶい 黄2.5Y-6/3 ④破片(口縁部)	ワクロ成形。口縁部横線で調整	磨減
1127	須恵器 高台付椀	器 <2.30 底 <7.7	+6.0 C	①粗砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④破片(底部)	高台部横線で底部回転糸切り。付高台	
1128	須恵器 甕	器 <4.5 口 <20.0	+6.5 C	①粗砂 ②還元 ③灰10Y -4/1 ④破片(口縁部)	ワクロ調整による横線で	内面自然釉付着
1129	須恵器 大型甕	器 <3.60 口 <13.00	+4.0 C	①粗砂 ②還元 ③灰2.5 Y-6/1 ④破片(口縁部)	口縁部横線で外面波状文	
1132	土師器 坏	器 3.4 口 11.9	+5.0 C	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④完形	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部直線で調整	磨減
1133	土師器 坏	器 3.0 口 12.0	+3.5 +4.0 +6.5 +7.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 縹5YR-6/4 ④ㄥ	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部直線で調整	磨減
1134	土師器 坏	器 <3.1 口 <13.0	-6.0 -7.0 C	①粗砂 ②酸化 ③縹5YR -6/8 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で体部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で体部直線で調整	内面釉付着
1135	土師器 甕	器 <10.4 口 <20.0	+5.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 赤褐5YR-5/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴部上位横方向寛削り 内面 口縁部横線で胴部上位直線で調整	内外面一部傾し状
1136	土師器 甕	器 <6.2 口 <19.0	-2.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴部上位横方向寛削り 内面 口縁部横線で胴部上位直線で調整	内外面口縁部横し状
1138	土師器 甕	器 <3.0 底 <5.0	+7.0 C	①粗砂 ②酸化 ③縹5YR -6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部寛削り調整 内面 胴部・底部直線で調整	
1139	土師器 甕	器 <2.2 底 <8.0	+8.5 C	①粗砂 ②酸化 ③内面明 赤褐5YR-5/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部寛削り調整 内面 胴部・底部直線で調整	外面一部黒斑
1377	砥石	長さ 16.5 厚さ 5.5	-2.5	④ほぼ完形石材変玄武岩重 さ1700g	スタンプ状を呈する。磨減不明瞭。若干条線あり	厚さ5.5
1645	鉄製品 刀子	長さ <4.0 厚さ 1.4	埋土		刀子の刃部の破片と考えられる。種と刃の区別は明瞭である	

6区06号住居出土遺物(第241図、PL202)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1140	土師器 坏	器 5.4 口 <15.9	+2.0 -10.5 +12.0 +16.0	①粗砂 ②酸化 ③縹5YR -6/6 ④ㄥ	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部直線で調整	外面口縁一部皮剥き
1143	土師器 甕	器 <2.5 口 <16.0	+12.0 C	①粗砂 ②酸化 ③縹7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で体部横方向寛削り 内面 口縁部横線で体部直線で調整	磨減著しい
1144	土師器 坏	器 <4.1 口 <13.0	+25.0 C	①粗砂 ②酸化 ③縹7.5 YR-7/6 ④ㄥ	外面 口縁部横線で体部横方向寛削り 内面 口縁部横線で体部直線で調整	磨減著しい
1145	土師器 甕	器 <3.30 口 15.9	-3.9 -5.5	①粗砂 ②酸化 ③縹5YR -6/6 ④ㄥ	外面 口縁部横線で体部横方向寛削り 内面 口縁部横線で体部直線で調整	磨減。内面一部皮剥き

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
1147	土師器 壺	器径 <3.4 口径 (24.0)	-3.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で調整 内面 口縁部横線で調整	磨滅
1148	土師器 壺	器径 <7.7 口径 (21.0)	+9.0 +9.5 +11.0 +15.0C	①粗砂 ②酸化 ③にょい 褐7.5YR-5/3 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で斜上位横方向箇所 内面 口縁部横線で斜上位横方向箇所	
1149	土師器 壺	器径 <7.6 底径 (6.0)	+5.0 +6.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部箇所調整 内面 胴部・底部箇所調整	外面一部磨滅
1150	須恵器 坏蓋	器径 3.0 底径 4.3	-2.0 +4.0 Ba	①細砂 ②還元 ③明オリーブ灰2.5GY-7/1 ④にょい	紐リング状ロクロ成形。底部・趾部横線で調整	
1151	須恵器 台付盤	器径 <9.5	埋土	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-6/1 ④破片(台部)	ロクロ成形。台部横線で調整	
1378	磁石	長さ 5.6 厚さ 2.9	+7.0	④ほぼ完成石材角閃石安山岩重さ55g	円筒形を呈し、部分的に磨耗痕あり	幅5.2
1636	金銅製品 耳環	直径 3.6 厚さ 0.8	+29.5 C	金銅製耳環。銅の割合多く、金メッキ部をつきより半分程銅の地肌がでている。耳環としては、小形のものである		

6区07号住居出土遺物(第246図、PL202)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
1339	土師器 坏	器径 3.6 口径 (11.5)	-2.0 -14.0 Ba	①細砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④にょい	外面 口縁部横線で調整 内面 口縁部横線で調整	磨滅著しい 径7.3
1340	土師器 坏	器径 3.0 口径 (12.9) 底径 10.0	+4.0 Ba	①細砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④にょい	外面 口縁部横線で底部持ち手箇所 内面 口縁部横線で底部調整	磨滅内外面 一部炭素吸着
1341	土師器 坏	器径 2.8 口径 (12.7) 底径 10.1	+1.0 A	①細砂 ②酸化 ③にょい 橙7.5YR-6/4 ④にょい	外面 口縁部横線で底部持ち手箇所 内面 口縁部横線で底部調整	
1342	土師器 坏	器径 <2.9 口径 (11.8)	-1.0 -18.0 埋土	①細砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④にょい	外面 口縁部横線で底部持ち手箇所 内面 口縁部横線で底部調整	
1344	土師器 坏	器径 <3.1 口径 12.7	-3.0 Ba	①細砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で底部持ち手箇所 内面 口縁部横線で底部調整	磨滅
1345	土師器 椀	器径 <7.0 口径 (18.7)	+5.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で底部箇所調整 内面 口縁部横線で底部調整	
1346	土師器 椀	器径 <2.6 底径 11.0	-13.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 底部箇所調整 内面 底部箇所調整	
1347	須恵器 坏	器径 3.7 口径 (13.4)	+4.5 Ba	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④にょい	口縁部横線で底部左回転糸切り	磨滅著しい 径6.8
1348	須恵器 坏	器径 3.6 口径 (12.3)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④にょい	口縁部横線で底部左回転糸切り	磨滅底 (7.3)
1350	須恵器 坏蓋	器径 <1.1	+1.0	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-6/1 ④破片(天井部)	紐リング状ロクロ成形。天井部右回転箇所調整	
1351	須恵器 坏蓋	器径 <3.5 端部 (18.0)	-2.0 -4.0	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-5/1 ④破片(端部)	ロクロ成形。端部横線で天井部右回転箇所調整	
1352	須恵器 坏蓋	器径 <3.0 底径 4.0	-14.0 B	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(器~天井部)	紐ボタン状天井部回転箇所調整	16号出土遺物と接合
1354	土師器 壺	器径 <17.7 口径 (20.7)	+8.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④にょい(上半部)	外面 口縁部横線で斜上位横方向箇所 内面 口縁部横線で斜上位横方向箇所	
1356	土師器 壺	器径 <5.9 口径 (19.9)	-1.0 +2.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/8 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で斜上位箇所調整 内面 口縁部横線で斜上位箇所調整	磨滅
1635	鉄製品	長さ <7.4 長さ 0.4	-1.5	刃部先端が欠失する。横断面みると、薄く、ととのいであるが、刃部とも長い。ごく小さな段状を呈する間がある		幅1.0
1646	鉄製品 板状鉄	長さ <3.6 厚さ 0.4	埋土	不明板状品。平根線の刃部か火打金		幅2.2

6区08号住居出土遺物(第251図、PL202)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
1152	須恵器 坏	器径 <3.3 底径 (3.0)	-2.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④にょい	底部左回転糸切り	磨滅
1154	須恵器 坏	器径 <3.7 口径 (12.5)	+19.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④にょい	口縁部横線で底部回転糸切り	底 (7.0)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1157	須恵器 壺	長さ 8.4 厚さ 1.1	+25.0 C	①細砂 ②還元 ③断面灰 白5Y-8/2 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	外面自然釉 付着
1159	土師器 坏	径 (4.3) 口 (14.0)	-2.5 +4.0 Ba	①細砂 ②酸化 ③浅黄橙 10YR-8/4 ④%	外面 口縁部横撫で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減著しい
1160	土師器 坏	径 (3.9) 口 (6.0)	+19.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減
1161	土師器 壺	径 (3.9)	-4.0 +8.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④破片(底 部)	外面 胴部・底部削り調整 内面 撫で調整	外面横し状
1379	滑石製品	長さ 3.5 厚さ 2.6	+23.5	④石材重さ40g		幅2.6穿孔 あり
1659	滑石		+24.5	④完形石材硬質褐色重さ35g	三角形を呈する	

6区09号住居出土遺物(第256図、PL202・203)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1163	土師器 坏	径 4.3 口 13.3	+1.5 +3.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-5/4 ④%	外面 口縁部横撫で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減著しい
1164	土師器 坏	径 3.7 口 12.2	+1.0 A	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR 6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減著しい 底部炭灰遺
1165	土師器 坏	径 4.1 口 12.5	+1.5 +2.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④%	外面 口縁部横撫で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減。外面 底部黒斑
1166	土師器 坏	径 3.9 口 (11.8)	+4.0 +14.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④%	外面 口縁部横撫で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減著しい
1167	土師器 坏	径 (3.2) 口 (11.0)	+24.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/3 ④%	外面 口縁部横撫で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	外面炭灰表着
1168	土師器 坏	径 (4.7) 口 (14.0)	+1.0 +3.5 -5.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④%	外面 口縁部横撫で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減著しい
1169	土師器 小型台付壺	径 (11.0) 口 13.5	+4.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 赤褐5YR-5/4 ④% (口縁 ~台部上位)	外面 口縁部横撫で胴部・台部上位縦方向削り調整内面胴部横撫で調整	内外面一部 炭灰表着
1170	土師器 壺	径 (2.4) 底 (4.4)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 黄橙10YR-7/4 ④破片(底 部)	外面 胴部・底部削り調整 内面 胴部・底部撫で調整	
1171	須恵器 盤	径 3.5 口 16.6	-2.5 -3.0 -4.5埋土	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④ほぼ完形	口縁部横撫でロコロ成形。底部回転削り 後左回転削り調整	
1172	須恵器 盤	径 (3.4) 口 (17.6)	+16.0 +21.0 C	①細砂 ②還元 ③断面灰 白5Y-7/1 ④%	口縁部横撫でロコロ成形。底部右回転手持ち 削り調整	
1173	須恵器 壺	長さ 6.3 厚さ 0.8	+3.0 +26.0 C	①細砂 ②還元 ③断面灰 白5Y-7/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目の後棒状工具による横方向 撫で調整内面同心円当て目	
1174	須恵器 壺	径 (5.0) 口 (17.6)	-4.0 B	①細砂 ②還元 ③断面灰 白5Y-7/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で調整	内面自然釉 少量付着
1647	鉄製品 釘	長さ (4.6) 厚さ 0.4	+5.0		釘の差出ある。断面長方形のやや細小形の釘である	

6区10号住居出土遺物(第260図、PL203)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1175	土師器 坏	径 3.8 口 10.9	+9.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -7/6 ④完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減
1176	土師器 坏	径 3.7 口 11.4	-3.5 A	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④%	外面 口縁部横撫で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減
1177	須恵器 円形硯	径 (5.4)	+22.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④破片	硯部分は筒によって台脚部と分ける。上位 周辺は羽根状貼付が数ヶ所。脚部は焼成前の 長方形の透かしを施す	遺構外出土 遺物と接合
1419	円形叩き石	長さ 13.4 厚さ 3.3	+3.0	④ほぼ完形 石材雲母石英片岩重さ890g	円形を呈し、断面板状。打痕不明瞭	

遺物観察表

6区11号住居出土遺物 (第264・265図、PL203)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1178	土師器 坏	器 3.4 口 13.0	A ±0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/8 ④ほぼ光形	外面 口縁部横線で体部直削り調整 内面 口縁部横線で体部直削り調整	磨減著しい
1179	土師器 坏	器 3.7 口 13.0	A +2.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④光形	外面 口縁部横線で体部直削り調整 内面 口縁部横線で体部直削り調整	磨減著しい
1180	土師器 坏	器 2.8 口 12.8	B -1.0 -3.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④△	外面 口縁部横線で体部直削り調整 内面 口縁部横線で体部直削り調整	磨減著しい
1181	土師器 坏	器 3.0 口 13.1	B 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-6/6 ④△	外面 口縁部横線で調整 内面 口縁部横線で調整	外面底部一部炭素吸着
1182	土師器 椀	器 (5.6) 口 (15.9)	+4.0 +9.0 +10.0 +11.0C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④△	外面 口縁部横線で体部横方向底部直削り調整 内面 口縁部横線で体部直削り調整	内面放射状瓦葺磨
1183	須恵器 椀	器 4.4 口 16.7	B +1.5	①粗砂 ②還元(酸化気味) ③橙5YR-6/8 ④破片(口縁部)	口縁部横線でロクロ成形	磨減軟質
1185	須恵器 坏	器 3.4 口 13.4	Ba ±0 +3.0	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/1 ④ほぼ光形	口縁部横線で底部回転削り直削り後直削り調整	高9.6
1186	須恵器 坏	器 3.3 口 13.5	Ba ±0	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④△	口縁部横線で底部左回転削り後周辺右回転削り調整	
1187	須恵器 坏	器 3.6 底 7.8	Ba -4.5	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-8/1 ④破片(底部)	底部右回転削り調整	
1188	須恵器 坏蓋	器 2.2 底部 19.3	C +7.0	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/2 ④破片(端部)	ロクロ成形。端部横線で天井部右回転削り調整	
1189	須恵器 坏蓋	器 1.5 底部 16.5	B -1.0	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(端部)	ロクロ成形。端部横線で調整	
1190	須恵器 坏蓋	器 2.8 底 (17.3)	B +9.0	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-5/1 ④△	紐リング状天井部右回転削り端部・底部横線で調整	遺構外出土遺物と接合
1193	須恵器 壺	器 3.0 口 31.8	B +3.0	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横線で調整	
1194	須恵器 壺	器 (5.0) 口 (27.6)	C +6.0	①細砂 ②還元 ③灰5Y-5/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横線で調整	
1195	須恵器 大型壺	器 (4.3) B	C +2.0	①細砂 ②還元 ③灰濁7.5YR-6/2 ④破片(口縁部)	口縁部横線で調整	外面自然釉付着
1196	須恵器 壺	長さ 14.1 厚さ 0.9	B -1.0 +2.0	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(脚部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
1197	須恵器 壺	長さ 5.4 厚さ 0.9	B -2.0	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(脚部)	外面 横方向桶状工具による直削り調整 内面 直削り調整	
1198	須恵器 壺	長さ 11.1 厚さ 0.9	B ±0 -2.0 -3.0	①細砂 ②還元 ③灰白7.5Y-8/1 ④破片(脚部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	

6区12号住居出土遺物 (第268図、PL203)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1199	土師器 坏	器 (3.7) 口 (12.0) 底 (8.0)	Ba -3.0 -9.0	①細砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④△	外面 口縁部横線で体部横方向直削り調整 内面 口縁部横線で体部直削り調整	磨減
1200	土師器 坏	器 (3.5) 口 (11.8) 底 (7.8)	Ba -9.0	①細砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で体部横方向直削り調整 内面 口縁部横線で体部直削り調整	磨減
1201	須恵器 坏	器 (3.0) 底 6.7	A -7.0	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④△(口縁中位～底部)	底部回転削り調整	磨減著しい
1202	須恵器 坏	器 (2.1) 底 7.0	Ba ±0 +2.0	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/2 ④破片(口縁中位～底部)	底部左回転削り調整	磨減
1203	須恵器 坏蓋	器 (1.2) 底 3.9	C +15.0	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/2 ④破片(端部)	磨は空球状	
1204	須恵器 坏蓋	器 (1.0) 底 3.9	C +9.0	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④破片(天井部)	磨はボタン状	天井部自然釉付着
1205	須恵器 壺	長さ 14.4 厚さ 1.5	C +8.0 +39.0	①細砂 ②還元 ③灰5Y-6/1 ④破片(脚部)	内面 当て目。外面叩き目直削り調整	軟質。外面鉄く付着
1206	紡錘車	長さ 5.5 厚さ 1.3	C ±0	④光形 石材 デイサイト 重さ60g	円盤状を呈し、側面丸味を持つ	幅5.5

遺物観察表

番号	器種・形状	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
1638	鉄製品 罐	縦 2.8 横 1.8	+3.0			
1245	須恵器 甕	長さ 9.5 厚さ 0.7	+32.0 C	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(側部)	外面 平行叩き目 内面 撫で調整	
1246	須恵器 甕	長さ 8.7 厚さ 0.8	+35.0 B	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(側部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
1249	須恵器 坏蓋	径 2.5/0 口 (14.6)	+22.0 C	①粗砂 ②還元 ③灰白10YR-8/2 ④破片(端部)	ロウ成形, 端部横撫で天井部手持り部削り 外面端部から調整, 内面見磨き内面黒色処理	外面端部から内面黒色処理
1250	土師器 坏	径 3.2 口 12.3	+5.5 -12.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④5YR-6/4 ⑤ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持り削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	外面一部炭素吸着
1251	土師器 坏	径 3.1 口 12.3	-4.0 A	①粗砂 ②酸化 ③粗5YR-6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持り削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	外面一部炭素吸着
1252	土師器 坏	径 2.7 口 12.8	+21.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④5YR-7/4 ⑤	外面 口縁部横撫で底部手持り削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減著しい
1253	土師器 坏	径 4.5 口 14.9	+6.0 +8.0 C	①粗砂 ②酸化 ③粗5Y-6/6 ④	外面 口縁部横撫で底部手持り削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減著しい
1254	土師器 坏	径 3.0/0 口 (12.3)	+1.0 +12.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④5YR-6/4 ⑤	外面 口縁部横撫で調整 内面 口縁部横撫で調整	磨減著しい
1255	土師器 坏	径 3.4/0 口 (13.7)	-7.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④5YR-6/4 ⑤	外面 口縁部横撫で底部手持り削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減著しい
1256	土師器 坏	径 2.8/0 口 (11.0)	+12.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④2.5YR-6/4 ⑤	外面 口縁部横撫で底部手持り削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減著しい
1257	土師器 坏	径 3.3/0 口 (12.0)	+7.5 +9.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④7.5YR-6/4 ⑤	外面 口縁部横撫で底部手持り削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減著しい 外面炭素吸着
1259	土師器 坏	径 3.1/0 口 (12.7)	+2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④7.5YR-6/4 ⑤破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部削り調整 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減著しい 底部黒斑
1260	土師器 坏	径 2.6/0 口 (13.5)	+11.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④7.5YR-6/4 ⑤破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部手持り削り 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減
1261	土師器 坏	径 4.1/0 口 (8.1)	+6.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④5YR-6/4 ⑤	外面 口縁部横撫で底部削り調整 内面 口縁部横撫で底部撫で調整	磨減, 外面一部黒斑
1263	土師器 甕	径 27.6 口 18.8 底 4.8	+1.0 +3.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③粗7.5YR-7/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で胴部上位削り下位, 底部削り調整 内面 口縁部横撫で胴部撫で調整	内外面一部炭素吸着
1264	土師器 甕	径 20.1/0 底 (5.2)	+2.0 +7.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③粗5YR-6/6 ④(下半部)	外面 胴部下位縦方向底部削り調整 内面 撫で調整	磨減
1265	土師器 甕	径 11.1/0 底 4.2	-8.5 -6.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③粗2.5YR-6/6 ④(下半部)	外面 胴部・底部縦方向削り調整 内面 撫で調整	内外面一部炭素吸着
1266	土師器 甕	径 8.2/0 底 (5.8)	+7.0 +11.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④5YR-6/4/ ⑤(下半部)	外面 胴部・底部縦方向削り調整 内面 胴部撫で調整	外面一部黒斑
1267	土師器 甕	径 16.0/0 口 (20.5)	+0.5 +2.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④7.5YR-5/4 ⑤(上半部)	外面 口縁部横撫で胴部縦方向削り 内面 口縁部横撫で調整	
1268	土師器 甕	径 15.8/0 口 (18.8)	+19.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④5YR-7/4 ⑤(上半部)	外面 口縁部横撫で胴部上位削り下位縦方向削り調整	磨減
1269	土師器 甕	径 12.9/0 口 (18.7)	+2.5 +21.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④赤褐2.5YR-5/4 ⑤1/10(上半部)	外面 口縁部横撫で胴部上位削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	内外面一部炭素吸着
1270	土師器 甕	径 7.8/0 口 (16.7)	+16.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④赤褐5YR-5/3 ⑤破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴部上位削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	内外面一部炭素吸着
1271	土師器 甕	径 6.0/0 口 (20.8)	+6.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③粗2.5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向削り 内面 口縁部横撫で胴部撫で調整	
1272	土師器 甕	径 7.2/0 口 (19.0)	+19.0 +27.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい ④2.5YR-6/4 ⑤破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位削り調整 内面 口縁部横撫で胴部上位削り調整	
1273	土師器 甕	径 3.5/0 底 (6.7)	+20.0 +25.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部削り調整 内面 胴部・底部撫で調整	磨減

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1274	土師器 壺	高さ <4.3> 底 (6.4)	+6.5 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 褐7.5YR-6/3 ④破片(底部)	外面 胴部・底部旋削り調整 内面 胴部・底部撫で調整	
1275	土師器 小型台付甕	器 13.9 口 10.3 底 8.8	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部・胴部横撫で胴部上位横方向下 位・台部縦方向旋削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	磨減著しい 内外器一部 炭素吸着
1276	須恵器 壺	器 <12.7> 口 (27.8)	+4.0 B	①細砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で。外面平行叩き目 内面 同心円当て目	
1277	須恵器 坏	器 3.9 口 13.2 底 7.5	+22.0 +23.0 C	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄褐色10YR-7/3 ④1/4	底部左回転糸切り	外面底部炭 素吸着
1278	須恵器 壺	器 43.4 口 26.6	+14.0 C	①細砂 ②還元 ③灰N-4/ 1 ④ほぼ完形	外面 平行叩き目下半部割離 内面 当て目	底10.8
1381	石製品 砥石	長さ 8.0 厚さ 2.5	+9.0	④1/4石村アイサイト重さ100 g	4面使用。断面方形	幅3.1
1382	石製品 紡錘車	長さ 5.2 厚さ 1.6	+6.0	④完形石村蛇紋岩重さ60g	断面台形。側面のみ凸あり。上面ドーナツ 状に磨耗。縁刻あり	幅4.7
1383	石製品 紡錘車	長さ 4.5 厚さ2 .0	+4.5	④完形石村アイサイト重さ50 g	歪んだ隅丸形状を呈する。側面部縦方向 磨り。色調はいよばされた黒褐色	幅3.7
1404	縄文 深鉢		埋土	①砂粒 ②普通 ③にぶい 赤褐色5YR-5/4 ④	平行沈線内に縄文周辺をすり磨し	縄文中期
1648	鉄製品 火打金	縦 4.4 横 11.1	+22.5			厚さ0.6
1649	鉄製品 刀子	長さ <9.0> 厚さ 0 . 6	埋土		刃の大部分と茎の一部を欠失する。茎はしっかりとした造りで細長い間 は横部が角剛、刃部が斜め剛を呈するものである	幅1.8
1671	須恵器 坏	器 4.0 口 12.5 底 6.5		①粗砂 ②還元 ③洗黄褐色 10YR-6/3 ④ほぼ完形	ロクロ成形。底部右回転糸切り	磨減著しい 外面一部炭 素吸着
1672	土師器 壺	器 <14.0> 口 21.0		①粗砂 ②還元 ③橙5YR -6/6 ④1/4(上半部)	口縁部横撫で胴部外面横方向旋削り内面横 方向旋削りで調整	

6区17号住居出土遺物(第294図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
1220	須恵器 坏蓋	器 <1.2> 径 4.2	-4.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④破片(胴部)	縦はリング状ロクロ成形横撫で	天井部一部 自然輪付着
1221	須恵器 坏蓋	器 <3.1> 径 (7.1)	+3.0 B	①細砂 ②還元 ③灰赤2.5 YR-5/1 ④破片(底部)	ロクロ成形。底部周辺旋削りで調整	
1222	須恵器 壺	長さ 10.8 厚さ 1.2	-4.0 B	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5 YR-6/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	

6区溝出土遺物(第329・330図、PL205)

遺 跡 名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
02号溝	1282	土師器 壺	器 <3.4> 底 (6.0)	①粗砂 ②酸化 ③塊状橙 7.5YR-8/4 ④1/4(底部)	外面 胴部・底部旋削り調整 内面 撫で調整	磨減
02号溝	1283	須恵器 坏	器 <3.5> 底 (6.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④1/4(口縁〜底部)	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨減著しい
02号溝	1284	須恵器 高台付盤	器 <3.6>	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④1/4(体部)	坏底部右回転把用り調整。口縁部・台部横 撫で	
02号溝	1358	須恵器 壺	器 <5.0> 口 (14.6)	①細砂 ②還元 ③新面灰 白5Y-8/2 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で外面叩き目内面当 て目	口縁部内面 自然輪付着
02号溝	1361	須恵器 壺	器 <10.7> 底 (7.5)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④破片(底部)	外面 胴部平行叩き目底部・内面撫で調整	
02号溝	1362	須恵器 壺	器 <7.8>	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④破片(底部)	外面 胴部平行叩き目底部無で内面当て目 の後撫で調整	
02号溝	1363	須恵器 壺	長さ 8.3 厚さ 0.8	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
02号溝	1364	須恵器 壺	長さ 7.7 厚さ 1.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
02号溝	1365	須恵器 壺	長さ 6.4 厚さ 1.2	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
07号溝	1405	石臼	径 (27.0) 厚 (12.9)	④上白/石材粗粒安山岩重 き3900g	黄白臼目は切縁主溝形を呈し、僅かに磨滅	
07号溝	1406	石臼	径 (34.2) 厚 (8.4)	④上白/石材粗粒安山岩重 き5800g	黄白臼目は切縁主溝形を呈し、磨滅度ある。 芯棒受けか。末貫通。径2.5cm	
07号溝	1410	磨石	長さ 厚 (15.6)	④①/石材粗粒安山岩重き7100g	一面のみ磨面	幅(18.6)
07号溝	1413	板碑	長さ 厚さ 2.1	④破片 石材緑色片岩重 き1700g	種子櫃一切見られず。片面割縁	幅(20.1)
07号溝	1414	板碑	長さ (36.0) 厚さ 2.4	④破片 石材露母石英片岩重 き2520g	端部、三角計上を呈し、基部?裏面割縁 磨。種子等見られない	幅(20.7)
07号溝	1415	板碑	長さ (31.8) 厚さ 2.7	④破片 石材露母石英片岩重 き3320g	端部、三角形を呈し、基部または山部が 不明。表裏、割縁割縁。種子等見られない。	幅(24.9)
09号溝	1288	鉢	径 (11.3) 口 (28.0)	①粗砂 ②黄緑 ③灰白5Y ④-7/1 ⑤1/12	片口。口縁部横線で外面割部傾方向内側用 調整	中世。内面 磨り面あり

5 B区土器溜り出土遺物 (第339回、PL205・206)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号土器 溜り	0520	土師器 罎	径 (3.3) 口 (10.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR ④①/7/6 ⑤①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	内面磨滅
01号土器 溜り	0521	土師器 罎	径 (2.9) 口 (10.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0522	土師器 罎	径 (3.0) 口 (10.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR ④①/7/6 ⑤①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0523	土師器 罎	径 (3.3) 口 (11.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0524	土師器 罎	径 (4.4) 口 (12.8)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0525	土師器 罎	径 (2.8) 口 (10.8)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR ④①/6/6 ⑤①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0526	土師器 罎	径 (3.4) 口 (11.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR ④①/6/8 ⑤①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0527	土師器 罎	径 3.6 口 10.4	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0528	土師器 罎	径 3.5 口 11.2	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/8 ④①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0529	土師器 罎	径 (2.7) 口 (10.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR ④①/6/8 ⑤①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0530	土師器 罎	径 (2.9) 口 (11.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR ④①/6/6 ⑤①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0531	土師器 罎	径 (3.9) 口 (11.8)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR ④①/7/6 ⑤①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0532	土師器 罎	径 3.1 口 (11.2)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅。外面 底部黒斑
01号土器 溜り	0533	土師器 罎	径 (3.4) 口 (12.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0534	土師器 罎	径 3.0 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅。外面 底部黒斑
01号土器 溜り	0535	土師器 罎	径 (3.5) 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0536	土師器 罎	径 (4.0) 口 (11.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅。外面 底部黒斑
01号土器 溜り	0537	土師器 罎	径 (3.3) 口 (13.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0538	土師器 罎	径 (3.0) 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR ④①/6/6 ⑤①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	外面口縁一 部黒斑
01号土器 溜り	0539	土師器 罎	径 (3.5) 口 (8.0)	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-7/8 ④①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0540	土師器 罎	径 (3.6) 口 (13.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR ④①/6/8 ⑤①/4	外面 口縁部横線で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横線で底部磨で調整	磨滅
01号土器 溜り	0541	土師器 罎	径 (2.6) 口 (5.2)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部寛削り調整 内面 蓋無調整	外面底部黒 斑

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
02号土器 盛り	0543	須恵器 環	径 (9.7) 底 (7.0)	①粗砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/1 ④△(底部)	底部左回転糸切り	磨滅
02号土器 盛り	0544	須恵器 高台付椀	径 (2.3) 高台径 6.2	①粗砂 ②還元 ③灰黄褐 10YR-6/2 ④△(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	外面黒染 内面黒色処理
02号土器 盛り	0545	須恵器 壺	長さ 7.2 厚さ 0.8	①粗砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
02号土器 盛り	0546	須恵器 壺	長さ 9.6 厚さ 10.0	①粗砂 ②還元 ③断面黄沢 2.5Y-7/2 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で。外面口縁柳状工具による横撫で上下に各二段の波状を施す	内面自然輪付着

5 B区土坑出土遺物 (第339図、P206)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
11号土坑	0669	土師器 環	径 (3.4) 口 (12.6)	①粗砂 ②酸化 ③におい 赤褐5YR-/4 ④△	外面 口縁部横撫で底部手持り荒削り 内面 口縁部横撫で調整	内外面深付着
11号土坑	0670	土師器 環	径 (3.3) 口 (12.5)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持り荒削り 内面 口縁部横撫で体部無調整	磨滅
11号土坑	0671	土師器 環	径 (4.4) 口 (19.6)	①粗砂 ②酸化 ③におい・橙 5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部手持り荒削り 内面 口縁部横撫で体部無調整	磨滅
18号土坑	0542	須恵器 壺	径 3.5 口 16.6	①粗砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-7/2 ④△	口縁部横撫で底部回転糸切り後右回転荒削り調整	

6区土坑出土遺物 (第340・341図、PL206)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
12号土坑	1367	須恵器 壺	長さ 10.6 厚さ 0.8	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 撫で調整	
12号土坑	1368	須恵器 大型壺	長さ 13.2 厚さ 1.2	①粗砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-7/2 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
16号土坑	1366	須恵器 壺	長さ 7.1 厚さ 1.2	①粗砂 ②還元 ③断面灰 白5Y-8/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
147号土坑	1289	土師器 環	径 (3.5) 口 (15.0)	①粗砂 ②酸化 ③におい 橙7.5YR-6/4 ④△(口縁 ~底部)	外面 口縁部横撫で底部手持り荒削り 内面 口縁部横撫で調整	内面底部灰 素吸着
160号土坑	1290	土師器 壺	径 (5.2) 口 (19.0)	①粗砂 ②酸化 ③におい 橙7.5YR-7/4 ④△(口縁 部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向荒削り 内面 口縁部横撫で調整	磨滅
160号土坑	1291	土師器 環	径 (2.7) 口 (10.8)	①粗砂 ②酸化 ③におい 橙2.5YR-6/4 ④△(口縁 ~底部)	外面 口縁部横撫で底部手持り荒削り 内面 口縁部横撫で底部調整	磨滅
160号土坑	1357	須恵器 高台付壺	径 (5.3) 底 (13.0)	①粗砂 ②還元 ③内面灰 白5Y-8/1 ④破片(胴部 ~底部)	口縁部横撫で調整付高台	外面輪付着
166号土坑	1292	土師器 環	径 (3.4) 口 (14.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR -6/66 ④△(口縁~底部)	外面 口縁部横撫で底部手持り荒削り 内面 口縁部横撫で底部調整	磨滅
217号土坑	1283	須恵器 環	径 (1.4) 底 (6.2)	①粗砂 ②還元 ③におい 黄2.5Y-6/3 ④底部	底部回転糸切り	磨滅
222号土坑	1294	須恵器 環	径 (3.4) 口 (13.0)	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④△(口縁~底部)	口縁部横撫で底部荒削り後周辺右回転荒削り調整	
222号土坑	1295	須恵器 環	径 (3.4) 口 (13.0)	①粗砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④△(口縁~底部)	口縁部横撫で底部回転荒削り後手持り荒削り調整	
222号土坑	1296	土師器 壺	径 (5.6) 底 (5.3)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④底部	外面 胴部・底部荒削り調整 内面 撫で調整	
222号土坑	1338	須恵器 大型壺	径 84.9 口 (46.5)	①粗砂 ②還元 ③灰N-6/ 1 ④△	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	口縁~底部 自然輪付着
222号土坑	1369	須恵器 壺	径 (9.6)	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
222号土坑	1370	須恵器 壺	径 14.4	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	胴部破片 2枚付着
222号土坑	1372	須恵器 大型壺	径 (57.9)	①粗砂 ②還元 ③灰10Y -5/1 ④△	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	外面胴部自 然輪付着
223号土坑	1298	須恵器 短頸壺蓋	径 (3.0)	①粗砂 ②還元 ③灰10Y -6/1 ④△	口縁部横撫で調整	

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
223号土坑	1306	土師器 壺	器 5.5	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(底部)	外面 刷毛・底部窪削り調整 内面 無調整	磨減。外面一部黒斑
223号土坑	1306	須恵器 高坏か	器 (2.3) 底 (5.5)	①細砂 ②還元 ③黒褐10 YR-3/1 ④破片(台部)	口縁成形。台部長方形透かし	瓦質
248号土坑	1307	須恵器 皿	器 (1.4) 底 (6.2)	①細砂 ②還元 ③灰黄褐 10YR-6/2 ④底部	底部窪調整。内面窪削り	軟質
249号土坑	1304	土師器 坏	器 (2.9) 口 (11.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR 6/6 ④1/2(口縁～底部)	外面 口縁部横溝で底部手持り窪削り 内面 口縁部横溝で底部無調整	磨減
249号土坑	1656	鉄製品 棒状鉄	長さ 10.4 径 2.8	棒状鉄製品。断面五角形状である。片方の先端は生きている可能性高く あるいはタガネ状工具になる可能性もある		
280号土坑	1655	古銭	径 2.3			

6区墓坑出土遺物(第346図、PL207)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号墓坑	1305	鉢	器 14.3 口 29.0	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-6/2/ ④1/2	口縁成形。口縁部横溝で底部回転糸切り 後窪削り調整	内面磨面。 瓦質。底 (14.0)
01号墓坑	1337	内耳鍋	器 (17.5) 口 31.1	①細砂 ②還元 ③灰10Y 4/1 ④1/2	口縁部横溝で内外面窪削り 調整	外面割部保 付着。底 (21.7)
04号墓坑	1652	古銭	径 2.3	④		
07号墓坑	1653	古銭	径 2.4	④		
07号墓坑	1654	古銭	径 2.4	④		
08号墓坑	1310	鉢	器 3.4 底 14.4	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④破片(底部)	口縁成形。底部左回転糸切り	瓦質
08号墓坑	1311	瓦	厚さ 1.8	①やや粗砂 ②半還元 ③ 黄灰2.5Y-7/2 ④1/2(先端)	西面は粘土板の合わせ目あり。粘土板切 取成形あり。凸面は溝で整形。側面の凹取 りは1面	09号墓坑と 接合
08号墓坑	1312	平瓦	厚さ 1.7	①やや粗砂 ②半還元 ③ 1/2(先端) ④1/2(先端)	凸面は溝で整形。側面・端面の凹取り それぞれ1面	09号墓坑と 接合
08号墓坑	1412	板碑	長さ (29.1) 厚さ 2.4	④破片石材質青石英片岩重 さ1840g	両面刻銘。線子等は見られない。側縁部は 未調整であり、未製品	幅(13.5)
09号墓坑	1313	内耳鍋	器 6.5 口 33.2	①細砂 ②還元 ③橙5YR 6/6 ④1/2(口縁部)	口縁部横溝で	酸化灰焼成
12号墓坑	1316	片口鉢	器 9.9 口 27.8	①細砂 ②還元 ③灰5Y 5/1 ④1/12(口縁部)	口縁部横溝で内面窪削り 調整	瓦質
12号墓坑	1317	内耳鍋	器 6.3 口 26.4	①細砂 ②還元 ③黒褐7.5 YR-3/1 ④1/2(口縁部)	口縁部横溝で側面内面窪削り 調整	内外面横し 状
12号墓坑	1359	須恵器 広口壺	器 8.0 口 42.7	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④破片(口縁部)	口縁調整による横溝で	外面自然輪 付着

5B区グリッド出土遺物(第349～352図、PL207・208)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①粘土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
B13-80 グリッド	0658	土師器 坪	器 (3.0) 口 (11.9)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR 6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で底部手持り窪削り 内面 口縁部横溝で底部無調整	磨減
B13-81 グリッド	0659	土師器 坪	器 (3.1) 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④1/2	外面 口縁部横溝で底部手持り窪削り 内面 口縁部横溝で底部無調整	磨減外面黒 斑
B13-81 グリッド	0660	土師器 壺	器 (4.4) 口 (21.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で底部手持り窪削り 内面 口縁部横溝で底部無調整	磨減
B13-81 グリッド	0661	土師器 壺	器 (4.2) 口 (17.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	内外面口縁部横溝で調整	磨減
B13-81 グリッド	0682	須恵器 坏蓋	器 (1.6) 高 (21.2)	①細砂 ②還元 ③灰5Y 5/1 ④破片(端部)	口縁成形端部横溝でカエリあり天井部左 回転糸切り調整	遺構外出土 遺物と接合
B13-81 グリッド	1660	剥片	長さ 8.4 厚さ 2.0	④石片硬質形比重さ140g	側縁部2箇所グリで見られる	幅8.8
B13-82 グリッド	0662	土師器 坪	器 (3.0) 口 (12.7)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で底部手持り窪削り 内面 口縁部横溝で底部無調整	磨減
B13-82 グリッド	0663	土師器 壺	器 (2.3) 口 (19.6)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR 6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横溝で底部手持り窪削り 内面 口縁部横溝で底部無調整	磨減
B13-82 グリッド	0679	須恵器 坏	器 (4.0) 口 (11.2)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y 4/1 ④1/2	口縁部横溝で底部回転糸切り後手持り側で 調整	遺構外出土 遺物と接合

遺物観察表

遺 跡 名	番号	器種・器形	大 き き	①胎土 ②焼成 ③色澤 ④残存	成・整形技法の特徴	備 考
B13-91 グリッド	0613	須恵器 坏蓋	径 ①2.0 径 (2.4)	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④⑤	縁は宝珠状大弁部左回転箇所・胴部 横線で調整部にホエリあり	
B13-91 グリッド	0614	須恵器 高台付坏	径 ①4.2 口 (16.0)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-7/1 ④破片(口縁部)	口縁部・高台部横線で底部回転箇所切り後右 回転箇所を調整。付高台	
B13-91 グリッド	0615	須恵器 壺	径 ①10.7 径 (17.0)	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④⑤(胴部)	ロクロ成形外面上位横線で下位左回転箇所 り内面直ぐ日後、上位横線で下位調整	外面胴部に 自然軸付着
B13-91 グリッド	0616	須恵器 壺	径 ①1.8 径 (9.0)	①細砂 ②還元 ③灰オリ ープ3Y-6/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形口縁部横線で調整	内面自然軸 付着
B13-91 グリッド	0617	須恵器 壺	長さ 9.3 厚み 1.5	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目内面同心円当て日後横 調整	
B13-91 グリッド	0618	土師器 壺	径 ①3.0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5Y 6-6 ④⑤(底部)	丸底手持り寛削り調整	磨滅
B13-91 グリッド	0687	須恵器 碗	径 ①5.2 口 (15.8)	①細砂 ②還元 ③灰7.5 Y-5/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形口縁部横線で調整	11注・遺骨外 遺物と接合
B13-91 グリッド	0688	須恵器 高台付壺	径 ①3.3 底 (17.6)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y 6-1 ④破片(底部)	ロクロ成形。高台部円形の透かし	遺構外出土 遺物と接合
B13-91 グリッド	0698	須恵器 鉢	径 ①6.5 口 (10.3)	①細砂 ②還元 ③灰N-4/ ④破片(口縁部)	ロクロ成形	
B13-91 グリッド	0619	土師器 坏	径 2.4 口 (10.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR 7-6 ④⑤	外面 口縁部横線で底部手持り寛削り 内面 口縁部横線で底部調整	磨滅外面黒 斑
B13-92 グリッド	0620	土師器 坏	径 3.6 口 (11.7)	①粗砂 ②酸化 ③④⑤ 橙2.5YR-6/4 ④⑤	外面 口縁部横線で底部手持り寛削り 内面 口縁部横線で調整	磨滅。内外 面一部黒斑
B13-92 グリッド	0623	土師器 坏	径 ①3.6 口 (16.0)	①粗砂 ②酸化 ③④⑤ 5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で底部調整 内面 口縁部横線で調整	磨滅
B13-92 グリッド	0624	土師器 壺	径 ①5.6 口 (23.0)	①粗砂 ②酸化 ③黄橙7.5 YR-7/8 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で底部調整 内面 口縁部横線で調整	磨滅
B13-92 グリッド	0625	土師器 壺	径 ①8.0 口 (23.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横線調整 内面 口縁部横線で胴上位横線調整	
B13-92 グリッド	0626	土師器 壺	径 ①5.6 口 (20.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR 6-6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横線調整 内面 口縁部横線で調整	磨滅
B13-92 グリッド	0627	土師器 壺	径 ①4.9 口 (22.4)	①粗砂 ②酸化 ③④⑤ 7.5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横線調整 内面 口縁部横線で調整	磨滅
B13-92 グリッド	0628	土師器 壺	径 ①6.8 底 (5.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部調整 内面 調整	
B13-92 グリッド	0629	土師器 壺	径 ①1.8 底 (6.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR 6-6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部調整 内面 底部調整	磨滅
B13-92 グリッド	0630	須恵器 坏	径 ①3.4 口 (11.0)	①細砂 ②還元 ③オリ ープ黒7.5Y-3/1 ④破片 (口縁部)	ロクロ成形。口縁部横線で調整	内面自然軸 付着
B13-92 グリッド	0632	須恵器 壺	径 ①3.8 口 (16.0)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横線で	磨滅
B13-92 グリッド	0684	須恵器 台付壺	径 ①7.2 口 (24.5) 底 12.6	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④⑤	坏底面左回転箇所。口縁部・台部横線で 底部回転箇所切り後左回転箇所調整	遺構外遺物 と接合
B13-92 グリッド	0686	須恵器 壺	径 ①10.2	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(胴部)	ロクロ整形の横線で胴部3本の沈線に区画 された部分に底による縦方向の縞きやふり を連続して施す	遺構外遺物 と接合
B13-92 グリッド	0695	丸瓦	長さ ①5.7 厚さ 1.0	①普通 ②酸化 ③橙5YR 6-6 ④破片	凸面は無で整形か	
B13-92 グリッド	1422	円形 叩き石	長さ 16.2 厚さ 4.2	④完形石材質玄武岩重さ1. 350	卵形を呈し、側縁部打痕見られる	幅3.5
B13-92 グリッド	1634	鉄製品	長さ ①8.0 厚さ 0.3	刃・茎の先端を欠失する。刃・茎ともに薄手扁平な造りである		幅0.8
B13-92 グリッド	1661	打舂	長さ ①11.1 厚さ 2.4	④ほぼ完形石材研製泥岩重 さ200g	刃部幅広のバチ状を呈する。裏面全体自然 面。刃部磨耗	幅5.4
B13-93 グリッド	0651	土師器 壺	径 ①9.3 口 (19.7)	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④破片(口縁 部)	外面 口縁部横線で胴上位横線調整 内面 口縁部横線で胴上位横線調整	
B13-93 グリッド	0654	土師器 壺	径 ①4.8 口 (15.8)	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④破片(口縁 部)	外面 口縁部横線で胴上位横線調整 内面 口縁部横線で胴上位横線調整	内面戻来吸 着

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・形状	大きさ	①胎土②地味③色④胎痕	成・整形技法の特徴	備考
B13-93 グリッド	0655	須恵器 高台付椀	器 径 (1.8) 底 7.2	①細砂 ②還元 ③にぶい 赤褐5YR-5/4 ④破片(底部)	高台部横無で底部回転未切り	
B13-93 グリッド	0657	須恵器 壺	器 径 (6.1) 底 15.7	①細砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(底部)	無で調整	
B14-02 グリッド	0552	土師器 土師器 口	径 (2.8) 口 (13.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④少	外面 口縁部横無で体部手持ち寛削り 内面 口縁部横無で体部無で調整	磨滅
B14-02 グリッド	0555	土師器 土師器 口	径 (3.5) 口 12.4	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④少	外面 口縁部横無で体部手持ち寛削り 内面 口縁部横無で体部無で調整	磨滅
B14-02 グリッド	0558	土師器 土師器 口	径 (2.9) 口 (12.0)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR7/4 ④少	外面 口縁部横無で体部手持ち寛削り 内面 口縁部横無で体部無で調整	
B14-02 グリッド	0576	土師器 土師器 底	径 (2.4) 底 (9.4)	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(台部)	内外面横無で外面上位縦方向削り調整	
B14-02 グリッド	0642	須恵器 須恵器 底	径 (3.5) 底 (6.6)	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄褐10YR-7/2 ④破片(底部)	底部回転未切り後周辺左回転削り調整	
B14-02 グリッド	0643	須恵器 高台付椀	径 (1.3) 底 (6.5)	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄褐10YR-7/4 ④破片(底部)	高台部横無で底部左回転未切り	磨滅
B14-02 グリッド	0645	須恵器 壺	径 (4.3) 口 (21.2)	①細砂 ②還元 ③灰5Y -1/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横無で	
B14-02 グリッド	0646	須恵器 壺	長さ 3.9 厚さ 1.2	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④破片(口縁部)	外面 波状文 内面 同心円当て目	内面自然輪 付着
B14-02 グリッド	0648	須恵器 壺	長さ 6.9 厚さ 0.6	①細砂 ②還元 ③褐灰10 YR-6/1 ④破片(割部)	外面 平行印き目 内面 同心円当て目	外面自然輪 付着
B14-02 グリッド	0689	須恵器 壺	径 (22.8)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④破片(割部)	外面 平行印き目 内面 同心円当て目	B14-04、 4位と接合
B14-02 グリッド	0694	丸瓦	長さ 4.0 厚さ 1.3	①やや細砂 ②酸化 ③橙 7.5YR-7/6 ④破片	凸面は無で整形か	
B14-02 グリッド	1633	鉄製品 刀子	長さ (6.9) 厚み 1.2	刃部の一部が欠失する。刃の流りがはっきりせず一部歪状になっている。 周周を呈し、基はしっかりとしたつくりのものである		
B14-02 グリッド	1662	石鏃	長さ 1.4 厚み 0.2	④ほぼ元形石片重さ0.4g	無茎凹基	
B14-03 グリッド	0578	土師器 鉢	径 (12.0) 口 (27.1)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④少	外面 口縁部横無で割部縦方向削り 内面 口縁部横無で割部横無で調整	内面割部剥 剥着
B14-03 グリッド	0580	土師器 壺	径 (5.6) 口 25.0	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④破片(口縁 部)	外面 口縁部横無で割上位縦方向削り 内面 口縁部横無で割上位縦方向削り	
B14-03 グリッド	0581	土師器 壺	径 (2.3) 底 (7.0)	①粗砂 ②酸化 ③黒褐7.5 YR-3/1 ④破片(底部)	外面 割部・底部寛削り調整 内面 底無で調整	外面黒染
B14-03 グリッド	0583	土師器 土師器 小壺	径 (4.2) 口 11.0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横無で割部上位削り調整 内面 口縁部横無で割部上位削り調整	磨滅
B14-03 グリッド	0585	土師器 土師器 口	径 (3.2) 口 (19.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横無で体部削り調整 内面 口縁部横無で体部無で調整	磨滅
B14-03 グリッド	0589	土師器 土師器 口	径 4.1 口 (15.6)	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 黄褐10YR-6/4 ④少(口縁 部)	外面 口縁部横無で体部削り調整 内面 口縁部横無で体部無で調整	内外面一部 炭素吸着
B14-03 グリッド	0592	須恵器 壺	径 3.5 口 (11.6)	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 YR-7/1 ④破片(口縁部)	口縁部横無で外面体部縦方向削り調整	底 (3.5)
B14-03 グリッド	0593	須恵器 須恵器 環蓋	径 3.2 口 16.5	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/2 ④少	紐リング状ロクロ成形。端部・底部横無で 天井部左回転削り調整	紐4.9
B14-03 グリッド	0594	須恵器 須恵器 環蓋	径 (3.0) 口 (17.3)	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/1 ④破片(端部)	天井部右回転削り端部・底部横無で調整	
B14-03 グリッド	0596	須恵器 須恵器 環蓋	径 (2.2) 口 (20.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/2 ④少(端部)	ロクロ成形。端部横無でカエリあり天井部 左回転削り調整	
B14-03 グリッド	0612	須恵器 壺	径 4.5 口 (14.6)	①細砂 ②還元 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	口縁部横無で底部回転削り後回転削り調整	磨滅
B14-04 グリッド	0604	須恵器 須恵器 底	径 (7.0) 底 (6.8)	①細砂 ②還元 ③褐灰10 YR-6/1 ④少(底部)	ロクロ成形。外面割部下位平行印き目内面 横無で調整	
B14-04 グリッド	0605	須恵器 壺	径 (5.5) 口 (20.0)	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -5/1 ④破片(口縁部)	口縁部横無で調整	

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
B14-04 グリッド	0605	須恵器 灰蓋	胴 (2.1) 口 (22.0)	①細砂 ②還元 ③浅黄2.5 Y-7/3 ④△(底部)	天井部右回転蓋削り端部・鋸部横線で調整	磨滅
B14-04 グリッド	0607	須恵器 灰蓋	胴 (1.4) 底 (4.4)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④破片(天井部)	総リング状天井部右回転蓋削り鋸部横線で調整	
B14-04 グリッド	0608	灰釉陶器 高台付蓋	胴 (13.2) 底 7.7	①細砂 ②還元 ③灰黄緑 10YR-6/2 ④△	口クロ成形。外面割部横方向削り内面鋸部横線で底部回転蓋削り後無調整	自然釉付着
B14-04 グリッド	0609	土師器 土師器	胴 (5.9) 口 (20.0)	①粗砂 ②酸化 ③△ふい粉 5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で割上位置削り 内面 口縁部横線で割上位置削りで調整	磨滅
B14-04 グリッド	0610	土師器 壺	胴 (3.4) 底 (3.0)	①粗砂 ②酸化 ③△ふい粉 褐5YR-5/4 ④破片(底部)	外面 寛削り調整 内面 寛削りで調整	内外面一部 灰表吸着
B14-05 グリッド	0665	須恵器 灰	胴 (3.2) 口 (13.6)	①細砂 ②還元 ③灰白N -8/ ④破片(口縁部)	口クロ成形。口縁部横線で調整	磨滅
B14-05 グリッド	0666	須恵器 灰	胴 (0.9) 底 4.7	①細砂 ②還元 ③灰5Y -4/ ④△(底部)	蓋部回転蓋削り	
B14-05 グリッド	0667	須恵器 高台付椀	胴 (2.1) 底 (5.9)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④△	高台部横線で底部左回転蓋削り	磨滅
B14-05 グリッド	0668	土師器 壺	胴 (3.6) 底 3.0	①粗砂 ②酸化 ③△ふい粉 橙2.5YR-6/4 ④破片(底部)	外面 割部・底部削り調整 内面 寛削りで調整	外面一部保 付着
5区表探	0672	土師器 壺	胴 (6.9) 口 (23.7)	①粒砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁)	口縁部横線で、くの字に開く。頸部横方向 削り。割上平斜線位へ削り。内面無で	

6区グリッド出土遺物 (第353図)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
A14-82 グリッド	1318	須恵器 鉢	胴 (4.7) 底 (17.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④破片(体部～底部)	内外面寛削りで調整底部回転蓋削り	
A14-86 グリッド	1320	須恵器 鉢	胴 (6.5) 底 (15.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④△(底部)	内外面寛削りで調整底部回転蓋削りあり	内面磨り面 あり
A14-86 グリッド	1321	須恵器 鉢	胴 (7.0) 底 (12.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④△(底部)	外面 寛削りで調整底部回転蓋削り 内面 放射状に7本1単位の沈線を描す	内面磨り面 あり
A14-86 グリッド	1322	須恵器 鉢	胴 (6.4) 口 (26.4)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④△(口縁部)	横削りで成形し貫 内面 寛削りで調整	磨滅
A14-88 グリッド	1323	土師器 壺	胴 (3.7) 底 (5.0)	①粗砂 ②酸化 ③△ふい粉 7.5YR-7/4 ④破片(底部)	外面 割部・底部削り調整 内面 寛削りで調整	内外面横し 状
III-16・17 トレンチ・表探	1324	須恵器 灰	胴 1.3 底 8.3	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④底部	口縁部横線で底部回転蓋削り後右回転蓋削り 調整	磨滅
III-16・17 トレンチ・表探	1325	須恵器 灰蓋	胴 2.3 口 14.7	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④△	総はリング状口クロ成形。端部横線で天井 部右回転蓋削り調整	
III-16・17 トレンチ・表探	1326	須恵器 灰蓋	胴 2.0 底 4.2	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④△	総はリング状口クロ成形。鋸部横線で天井 部右回転蓋削り調整	
III-16・17 トレンチ・表探	1328	土師器 灰	胴 2.5 口 13.7	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5YR -6/8 ④△(口縁～底部)	外面 口縁部横線で底部削り調整 内面 口縁部横線で調整	底部灰表吸 着
III-16・17 トレンチ・表探	1329	須恵器 高台付椀	胴 3.5 底 9.1	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-8/2 ④△(底部)	高台部横線で底部回転蓋削り後削り高台。体 部右回転蓋削り調整	
III-16・17 トレンチ・表探	1330	須恵器 壺	胴 (3.0) 口 (22.8)	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 YR-8/1 ④破片(口縁部)	口縁部横線で底部周辺右回転蓋削り調整	
III-16・17 トレンチ・表探	1331	土師器 灰	胴 3.7 口 15.3	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④△(口縁～底部)	外面 口縁部横線で 内面 口縁部横線で	磨滅著しい
III-16・17 トレンチ・表探	1332	土師器 台付壺	胴 3.3	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④△(底部)	外面 縦方向削り調整 内面 寛削りで調整	外面横し状
III-16・17 トレンチ・表探	1333	土師器 灰	胴 3.2 口 14.2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④△(口縁～底部)	外面 口縁部横線で底部削り調整 内面 口縁部横線で調整	磨滅
III-16・17 トレンチ・表探	1334	土師器 灰	胴 (3.5) 口 (15.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④△(口縁部)	外面 口縁部横線で底部削り調整 内面 口縁部横線で調整	内外面一部 保付着
6区表探	1336	須恵器 鉢	胴 1.9 底 17.2	①細砂 ②還元 ③灰7.5 YR-6/1 ④破片(底部)	寛削りで調整	
III-16・17 トレンチ・表探	1369	須恵器 鉢	胴 4.2	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④破片(側部)	口クロ成形。横線で調整。頸部は中心より 僅かに離れて所に穿つ	側部に自然 釉付着

5. 本動堂台地区(7区)

7区01号住居出土遺物(第357図、PL208)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
0699	須恵器 坏	器 口 (3.9) (11.4)	-17.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で底部回転糸切り	摩滅
0700	須恵器 坏	器 口 (4.5) (13.0)	-2.5 B	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	08住出土遺物と接合
0703	須恵器 坏	器 底 (2.6) (6.6)	-10.5 Ba	①粗砂 ②還元、軟質 ③灰白10YR-8/2 ④⑤(底部)	ロクロ成形。横撫で底部左回転糸切り	
0706	土師器 壺	器 口 (26.0) (19.0)	-8.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④⑤(口縁・下半部)	外面 口縁部横撫で割部上方削り。内面口縁部横撫で割部横撫で	遺構外出土遺物と接合
0707	土師器 壺	器 口 (12.7) (20.6)	-3.0 -17.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③洗黄橙10YR-8/3 ④破片(上半部)	外面 口縁部横撫で割部上位削り調整。内面 口縁部横撫で撫で調整	
0709	土師器 壺	器 口 (7.3) (20.0)	-7.5 -17.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で割部上方削り。内面 口縁部横撫で撫で調整	
0710	土師器 壺	器 底 (3.2) (5.0)	-3.5 -7.5 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(底部)	外面 割部・底部削り調整。内面 割部・底部撫で調整	外面磨し状
0711	土師器 小型壺	器 口 (7.7) (10.0)	-7.5 -14.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(上半部)	外面 口縁部横撫で割部上位削り調整。内面 口縁部横撫で後撫で調整	

7区02号住居出土遺物(第363図、PL208)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
0712	須恵器 高台付碗	器 口 (5.9) (13.5) 底 6.4	+3.0 A	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/2 ④⑤	口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	外面外部磨し状
0713	須恵器 高台付碗	器 口 (5.1) (14.9)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④⑤	口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	内外面磨し状。底(7.3)
0714	須恵器 高台付碗	器 口 (5.2) (14.0)	+9.5 +27.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-8/2 ④破片(口縁部)	口縁部・高台部横撫で	摩滅著しい底(6.7)
0715	須恵器 高台付碗	器 口 (5.6) (15.6)	+5.5 B	①細砂 ②還元 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で底部回転糸切り	内面磨し状
0716	須恵器 壺	器 底 (9.9) (14.0)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/1 ④破片(底部)	内外面削りによる横撫で	
1384	砥石	長さ 厚さ (7.6) 2.0	-0.5	⑥⑦石材実質アサイト重さ70g	2面使用。供出面の端面3条の研磨痕あり	欠損後も使用

7区03号住居出土遺物(第368図、PL208)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①粘土 ②焼成 ③色調 ④保存	成・整形技法の特徴	備考
0717	須恵器 高台付碗	器 口 (2.6) (7.8)	+4.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/1 ④破片(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	
0718	須恵器 坏	器 口 (4.8) (12.1) 底 6.0	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白N-6/④⑤	口縁部横撫で底部左回転糸切り	04住・01溝遺物と接合
0719	須恵器 坏	器 口 (5.2) (13.0)	-7.5埋土	①細砂 ②還元 ③橙7.5YR-7/6 ④⑤	外面 口縁部横撫で底部手持り削り。内面 口縁部横撫で調整	摩滅
0720	灰釉陶器 高台付碗	器 口 (5.3) (15.0)	+5.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白N-7/④⑤	ロクロ成形。回転糸回り。体部下位はへつ削り。施釉方法は漬け掛け	大2号定式。底(8.4)
0721	灰釉陶器 坏	器 口 (3.2) (13.0)	+11.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。高輪方法不明	13住出土遺物と接合
0723	羽釜	器 口 (6.7) (18.0)	-0.5 B	①粗砂 ②酸化 ③洗黄2.5Y-8/3 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で脚の形状はAタイプ口縁部はBタイプ	外面一部炭素吸着
0724	羽釜	器 底 (5.0) (8.0)	+4.0 B	①粗砂 ②酸化 ③灰白2.5Y-8/2 ④破片(底部)	外面は縦方向削り内面は上置撫で調整	摩滅

遺物観察表

7区04号住居出土遺物 (第374・375図、PL208)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0725	土師器 壺	器 (10.3) 口 (21.0)	+3.0 +20.0 C	①粗砂 ②酸化 ③によい 黄緑10YR-6/3 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横線で胴部上位箇所調整 内面 口縁部横線で無調整	
0726	土師器 壺	器 (6.2) 口 (20.0)	-2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/8 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横方向箇所 内面 口縁部横線で無調整	摩滅
0727	土師器 壺	器 (6.5) 口 (20.6)	+4.5 +7.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横方向箇所 内面 口縁部横線で無調整	内面一部炭 素吸着
0728	土師器 小型壺	器 (5.5) 口 (11.0)	+16.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴部上半箇所調整 内面 口縁部横線で胴部上半箇所調整	摩滅
0729	土師器 壺	器 (3.5) 底 (4.0)	-0.5 B	①粗砂 ②酸化 ③明褐7.5 YR-5/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部削り調整 内面 胴部・底部削り調整	摩滅外面僅 し状
0730	土師器 壺	器 (3.5) 底 (4.0)	+19.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部削り調整 内面 胴部・底部削り調整	内外面一部 僅し状
0732	土師器 杯	器 (3.1) 口 (13.0)	+10.0 +23.5 C	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で底部削り調整 内面 口縁部横線で無調整	摩滅
0733	須恵器 杯	器 3.9 口 (11.8)	+8.0 C	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④%	口縁部横線で底部左回転糸切り	底 (6.0)
0734	須恵器 杯	器 (2.2) 底 (7.2)	+10.0 C	①細砂 ②還元 ③灰7.5 YR-6/1 ④%(底部)	底部左回転糸切り	
0736	須恵器 高台付皿	器 (1.7) 口 (13.5)	+8.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/2 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横線で	摩滅著しい
0737	須恵器 高台付皿	器 (2.3) 口 (13.7)	-4.5 B	①細砂 ②還元 ③によい 褐7.5YR-6/3 ④破片(口 縁部)	ロクロ成形。口縁部横線で	摩滅
0738	須恵器 壺	器 (5.5) 口 (17.0)	+27.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横線で	摩滅
0740	須恵器 甗	器 (8.5)	+8.5	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④破片	板状を呈し、焼成前、円形及び方形の透かし 孔	
1388	縄文 深鉢	厚さ 1.0 (1~4) 埋土	+5.0 +18.0	①粗砂 ②明赤褐2.5YR -5/6 ③破片(口縁・胴部)	口縁部・胴部に粘文。平行沈線文施す	縄文前期同 一物体
1400	縄文 深鉢	厚さ 1.2 ±5.5	+5.5	①粗砂 ②橙5YR-6/6 ④ 破片(口縁部)	隣帯粘布	縄文中期
1657	石鏝	長さ 3.4 厚さ 0.3	±0	④完形石材頁岩重さ1g	無基凹基	編0.3

7区05号住居出土遺物 (第381・382図、PL208・209)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0741	土師器 杯	器 3.4 口 12.7	-7.0 A	①粗砂 ②酸化 ③によい 赤褐5YR-5/4 ④%	外面 口縁部横線で底部手持り箇所 内面 口縁部横線で底部調整	
0742	須恵器 高台付椀	器 (2.8) 底 8.0	-6.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④%(底部)	高台部横線で底部回転糸切り	墨書「☆」
0743	須恵器 高台付椀	器 6.1 口 14.7 底 7.7	+3.0 Ba	①細砂 ②還元 ③灰10Y -5/1 ④%	口縁部・高台部横線で底部左回転糸切り	内外面一部 炭素吸着
0744	須恵器 高台付椀	器 5.1 口 13.7 底 6.0	+2.5 +4.0 埋土	①細砂 ②還元 ③明赤褐5 YR-5/6 ④%	口縁部横線で底部左回転糸切り	高台欠損後 も使用。一 部炭素吸着
0745	須恵器 高台付椀	器 4.9 口 (14.0)	+2.5 B	①細砂 ②還元 ③灰白N -7/1 ④%	口縁部横線で底部左回転糸切り	高台欠損後 も使用。
0746	須恵器 高台付椀	器 (5.3) 口 13.7	-1.0 +2.0 B	①細砂 ②還元 ③再灰10 YR-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横線で	磨滅。外面 一部僅し状
0747	須恵器 杯	器 3.8 口 (12.2)	+2.5 +4.0 埋土	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④%	口縁部横線で底部回転糸切り	底6.2
0748	須恵器 杯	器 (4.0) 口 (12.4)	+2.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④%	口縁部横線で底部左回転糸切り	底 (6.4)
0749	須恵器 杯	器 4.2 口 (12.6)	+1.5 B	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④%	口縁部横線で底部回転糸切り	一部炭素吸 着。底6.6
0750	須恵器 高台付椀	器 (5.5) 口 (13.7)	+1.5 +9.5 B	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y -6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横線で	磨滅

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0753	須恵器鉢	器 径 7.3 口 (18.0) 底 7.4	-2.0 +3.0 B	①粗砂 ②回転 ③橙7.5 YR-6/6 ④△	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨減。内面イテハあり
0754	土師器壺	器 径 23.5 口 20.4	-1.0 +0.5 +1.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④△(口縁 へ脚部)	外面 口縁部横撫で胴上位横、下位縦方向 削り。内面口縁部横撫で調整	胴下半部に 炭素吸着
0755	土師器壺	器 径 7.2 底 (4.0)	+1.5 +3.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④破片(底 部)	外面 胴部・底部縦削り調整 内面 撫で調整	外面横し状
0756	土師器壺	器 径 (13.4) 口 (16.8)	+3.0 C	①粗砂 ②酸化 ③灰褐7.5 YR-4/2 ④△(上半部)	外面 口縁部横撫で胴上位横、下位縦方向 削り。内面口縁部横撫で調整	内外面一部 横し状
0757	土師器壺	器 径 (9.1) 口 (20.8)	+2.0 +5.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(口縁 部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向削り。 内面 口縁部横撫で調整	磨減
0758	土師器壺	器 径 (6.7) 口 (20.7)	+2.5 +3.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④破片(口縁 部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向削り。 内面 口縁部横撫で調整	磨減
0759	土師器壺	器 径 (6.5) 口 (17.1)	+2.0 +6.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④破片(口縁 部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向削り。 内面 口縁部横撫で調整	外面一部横 し状
0760	土師器 小型壺	器 径 (8.5) 口 10.2	±0+2.0 +5.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③赤褐10 R-5/4 ④△(上半部)	外面 口縁部横撫で胴上位削り調整 内面 口縁部横撫で調整	内外面一部 炭素吸着
0761	土師器 小型台付壺	器 径 (19.7) 口 13.2	+2.5 +3.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 赤褐5YR-5/4 ④△(胴欠 部)	外面 口縁部・台部横撫で胴上位横、下位縦 方向削り。内面口縁部・台部横撫で	内外面一部 炭素吸着
0763	形象 埴輪	厚さ 1.4	+5.0	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④破片(胴部)	外面 縦方向にタガ貼布刷毛目 内面 指押さえ	
1401	縄文 深鉢	厚さ 1.2	+4.0	①粗砂 ③にぶい黄褐10YR -7/4 ④破片(胴部)	縄文の上に4本1回単位の刺突2条	縄文中期

7区06号住居出土遺物(第387図、PL209)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0764	土師器 杯	器 径 6.3 口 17.5	A	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④△	外面 口縁部横撫で底部手持ち削り 内面 口縁部横撫で調整	外面一部横 し状
0765	土師器 壺	器 径 (6.4) 口 (21.6)	C	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5 YR-5/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴部縦方向削り 内面 口縁部横撫で調整	

7区07号住居出土遺物(第392図、PL209・210)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0766	須恵器 高台付皿	器 径 3.0 口 13.4	-10.0 A	①粗砂 ②還元 ③明褐灰 7.5YR-7/2 ④△	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	磨減著しい 底6.6
0767	須恵器 高台付鉢	器 径 (5.9) 口 (14.5) 底 (7.2)	-2.5-3.0 Ba	①粗砂 ②還元 ③にぶい 橙7.5YR-7/3 ④△	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	磨減。内外 面炭素吸着 墨書「浄」
0768	須恵器 高台付鉢	器 径 6.2 口 (14.4) 底 (8.2)	-10.5 A	①粗砂 ②還元 ③灰白N -7/ ④△	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	内外面口縁 部一部炭素 吸着
0769	須恵器 高台付鉢	器 径 5.8 口 (13.6)	+9.0 B	①粗砂 ②還元 ③褐灰10 YR-6/1 ④△	口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	底6.4
0770	須恵器 高台付鉢	器 径 5.8 口 14.7	±0 A	①粗砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④ほぼ球形	口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	底8.0
0771	須恵器 高台付鉢	器 径 (2.0) 底 8.2	+6.0 B	①粗砂 ②還元 ③にぶい 橙5YR-7/4 ④△	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨減
0772	須恵器 高台付皿	器 径 1.5 底 6.2	+31.5 C	①粗砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④△	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨減著しい
0773	須恵器 高台付鉢	器 径 2.2 底 7.6	+21.0 C	①粗砂 ②還元 ③灰黄褐 10YR-6/4 ④破片(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	磨減著しい
0774	須恵器 杯	器 径 (2.0) 底 6.0	+14.5 埋土	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④破片(底部)	底部左回転糸切り	
0776	須恵器 輪	器 径 3.4 口 14.9	埋土 C	①粗砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0777	須恵器 高台付壺	器 9.1 鉢 ±0.5 口 (18.8) 底 7.0	+2.5 B	①粗砂 ②還元 ③灰7.5 YR-6/ ④1/2(下半部)	ロクロ成形。内外面横方向直線で外面胴部 下位右回転彫削り調整	高台欠損後 も使用か
0778	須恵器 壺	器 3.6 底 13.4	-7.0 B	①粗砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-4/I ④1/2(底部)	内外面横方向直線で	
0779	須恵器 壺	器 6.0 底 15.4	+33.0 C	①粗砂 ②還元 ③にぶい 黄粉10YR-6/3 ④破片(底 部)	内外面より直線で	磨減著しい
0782	平瓦	厚さ 2.0	埋土	①普通(砂雜含む) ②還元 ③にぶい・黄粉10YR-7/3 ④ 破片	凸面側で整形	
0842	土師器 鉢	器 9.3 口 (11.9) 底 (7.2)	±0 +0.5 +8.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙2.5YR-6/4 ④1/2	外面 口縁部横線で外部横方向直削り 内面 口縁部横線で外部直削り	底 (8.9)
0846	須恵器 高台付環	器 3.8 口 (13.7) 底 7.2	±0 +10.0 Ba	①粗砂 ②還元 ③にぶい 黄2.5Y-6/3 ④1/2	ロクロ成形。口縁部・高台部横線で	磨減著しい 底 (7.1)
0847	須恵器 高台付鉢	器 5.7 口 15.2 底 7.2	-10.0 -10.5 Ba	①粗砂 ②還元 ③灰N-6/ ④1/2	口縁部・高台部横線で底部左回転糸切り	磨減著しい 内外面一部 灰素吸着

7区08号住居出土遺物 (第398図、PL21)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0783	土師器 環	器 3.1 口 (11.9) 底 (7.2)	+3.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙2.5YR-6/4 ④1/2	外面 口縁部横線で底部平気味手持ち直 削り調整 内面 口縁部横線で直削り調整	
0784	土師器 環	器 2.9 口 11.7 底 7.0	-30.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙3YR-6/4 ④1/2	外面 口縁部横線で底部平気味手持ち直 削り調整 内面 口縁部横線で直削り調整	
0785	土師器 環	器 3.4 口 (12.3) 底 (8.0)	-8.5 -11.5 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④1/2	外面 口縁部横線で底部平気味手持ち直 削り調整 内面 口縁部横線で直削り調整	
0786	土師器 環	器 4.1 口 (13.0) 底 (9.4)	-1.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④1/2	外面 口縁部横線で外部下半横方向直削り 手持ち直削り調整 内面 口縁部横線で直削り調整	磨減著しい
0787	土師器 環	器 3.0 口 13.6 底 9.2	+6.5 +7.5 -16.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横線で底部平気味手持ち直 削り調整 内面 口縁部横線で直削り調整	
0789	土師器 小型台付壺	器 (12.2) 底 9.5	-22.5 -23.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙2.5YR-6/4 ④1/2(下半 部)	外面 高台部横線で胴部縦方向直削り 内面 高台部横線で胴部直削り調整	内外面一部 灰素吸着
0790	土師器 小型台付壺	器 3.9 底 8.6	-37.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④1/2(台部)	外面 高台部横線で 内面 胴部直削り	
0791	土師器 小型台付壺	器 3.7 底 8.0	+7.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙7.5YR-6/4 ④1/2(台部)	外面 高台部横線で 内面 胴部直削り	
0792	土師器 小型壺	器 5.4 口 11.6	-1.5 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横方向直削り 内面 口縁部横線で胴上位直削り調整	磨減
0793	土師器 壺	器 8.5 口 18.1	-8.0 -9.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④1/2(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横方向直削り 内面 口縁部横線で胴上位直削り調整	内外面一部 灰素吸着
0794	土師器 壺	器 13.5 口 20.9	-5.0 +10.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④1/2(上半部)	外面 口縁部横線で胴上位横方向直削り 内面 口縁部横線で胴上位直削り調整	磨減著しい
0795	土師器 壺	器 (9.5) 口 18.4	-1.5 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④破片(口縁 部)	外面 口縁部横線で胴上位横方向直削り 内面 口縁部横線で脚状工具による直削り	外面口縁部 灰素吸着
0796	土師器 壺	器 5.6 口 21.2	-10.0 -27.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位横方向直削り 内面 口縁部横線で胴上位直削り調整	磨減
0797	土師器 壺	器 5.0 底 4.4	-32.0 C	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部縦方向直削り調整 内面 胴部・底部直削り調整	内面磨減。外 面底部直削
0798	土師器 壺	器 5.0 底 4.4	-13.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部縦方向直削り調整 内面 胴部・底部直削り調整	外面一部黒 斑
0800	土師器 壺	器 1.7 底 2.8	-22.0 C	①粗砂 ②酸化 ③灰褐5 YR-4/2 ④破片(底部)	外面 胴部・底部直削り調整 内面 胴部・底部直削り調整	外面一部黒 斑
0801	須恵器 高台付鉢	器 5.7 口 (14.7)	-12.0 A	①粗砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④1/2	口縁部・高台部横線で底部回転糸切り	底8.0

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0803	須恵器 坏	器 4.6 口 (11.9) 底 6.4	+9.5 C	①細砂 ②還元 ③褐灰10 YR-4/1 ④△	口縁部横撫で底部左回転糸切り	10住出土遺物と接合
0804	須恵器 坏	器 3.9 口 (12.6) 底 (6.0)	-18.5 -23.5 B	①細砂 ②還元 ③暗灰黄 2.5YR-5/2 ④△	口縁部横撫で底部回転糸切り	磨減著しい 内外面炭素吸着
0805	須恵器 坏	器 4.6 口 13.5 底 6.8	-18.5 A	①細砂 ②還元 ③灰黄褐 10YR-6/2 ④△	口縁部横撫で底部手持ち篋削り調整	内外面一部 炭素吸着
0806	須恵器 坏	器 1.9 底 6.2	埋土	①細砂 ②還元 ③暗灰黄 2.5YR-5/2 ④破片(底部)	底部回転糸切り	
0807	須恵器 坏	器 <1.7 底 (8.0)	-1.5 B	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-5/1 ④破片(底部)	底部手持ち篋削り調整	
0808	須恵器 坏蓋	器 2.2 端 15.9	-5.5 B	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-5/1 ④△	ロクロ成形。端部横撫で天井部回転糸切り	高7.6
0809	須恵器 坏蓋	器 3.0 端 14.5	-1.0 B	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④破片	ロクロ成形。端部横撫で天井部回転糸切り	
0810	須恵器 坏蓋	器 1.9 底 4.1	埋土	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄橙10YR-7/3 ④破片(底部)	蓋はボタン状ロクロ成形。底部横撫で天井部回転を伴う篋削り調整	磨減

7区09号住居出土遺物 (第400図、PL210・211)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0812	須恵器 高台付坏	器 4.7 口 12.0 底 7.8	+12.0 C	①細砂 ②還元 ③灰10 YR-6/1 ④△	ロクロ成形。口縁部・高台部横撫で底部回転糸切り	04住出土遺物と接合
0814	須恵器 坏	器 <3.3 口 (13.4)	-5.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-6/2 ④△	口縁部横撫で底部回転糸切り	磨減著しい 底 (7.2)
0815	須恵器 篋	器 <5.6 口 (13.9)	±0埋土	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	
0817	土師器 坏	器 <4.0 口 (12.7)	-2.0 +2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④△(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部下方底部篋削り 内面 口縁部横撫で側で調整	
0818	土師器 坏	器 <3.2 口 (11.1) 底 (8.0)	+4.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部平気味篋削り 内面 口縁部横撫で側で調整	
0819	土師器 小型壺	器 <4.2 口 (11.6)	+1.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篋削り 内面 口縁部横撫で胴部上位横方向撫で	磨減
0820	平瓦	厚さ 2.0-2.5	埋土	①普通(砂礫少量含む) ② 酸化 ③にぶい黄橙10YR -7/3 ④破片	凸面側で整形か。側面は面取りを施す	高書き文字 瓦「平」か

7区10号住居出土遺物 (第405図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0821	須恵器 高台付篋	器 <2.2 高台径 7.0	±0 +1.0	①細砂 ②還元 ③にぶい 黄橙10YR-7/2 ④△(底部)	高台部横撫で底部回転糸切り	磨減著しい 一部炭素吸着
0822	土師器 壺	器 <16.5 口 (21.3)	+1.0 -4.0 -5.0 -16.0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④△(上半部)	口縁部横撫で胴上位横方向下方内方篋削り。胴部側状工具による撫で	外面胴部炭 素吸着
0823	土師器 壺	器 <5.3 口 (15.0)	±0 +1.0 +9.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向篋削り 内面 口縁部横撫で胴部上位横撫で調整	遺構外出土 遺物と接合
0824	灰釉陶器 高台付皿	器 <2.1 口 (16.0)	+1.0埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④破片(口縁部)	ロクロ整形。体部下位はヘラ削り。施釉方法不明。釉調は透明感のある緑灰色	
0825	須恵器 壺	器 <10.8	±0 +5.0 +10.5	①細砂 ②還元 ③褐灰5 YR-6/1 ④破片(口縁部・ 胴部)	口縁部横撫で外面平行平気目内面同心円打目で目	11・12住出土 遺物と接合

遺物観察表

7区11号住居出土遺物 (第410・411図、PL211)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0829	須恵器 環	器 3.8 口 (12.4)	-5.0 A	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-6/1 ④㊦	口縁部横撫で底部左回転糸切り	黒青「生」底6.8
0830	須恵器 環	器 <2.8> 口 (12.8)	-0.5 A	①細砂 ②還元 ③灰7.5Y-7/1 ④㊦	口縁部横撫で底部左回転糸切り	底 (7.1)
0831	須恵器 環蓋	器 4.2 蓋 17.7 底 4.0	-0.5 C	①細砂 ②還元 ③灰3Y-6/1 ④完形	紐はりリング状。端部・縁部横撫で天井部右回転旋削り調整	10住・01調出土遺物と接合
0832	須恵器 環蓋	器 4.8 環蓋 16.3	-0.5 A	①細砂 ②還元 ③灰3Y-5/1 ④ほぼ完形	紐はボタン状。端部・縁部横撫で天井部右回転旋削り調整	底みあり粗面4.1
0833	土師器 環	器 3.2 口 11.9 底 9.5	-11.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③焼5YR-6/8 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部平底気味手持り旋削り調整 内面 口縁部横撫で調整	底記号外面「×」
0834	土師器 環	器 3.9 口 12.2	-6.0 -7.0 -8.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にょい焼7.5YR-7/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で体部下位横方向底部旋削り。内面口縁部横撫で調整 内面 口縁部横撫で調整	内面底記号「×」
0835	土師器 環	器 2.9 口 11.8 底 10.3	-5.5 A	①粗砂 ②酸化 ③焼5YR-6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部平底気味手持り旋削り調整 内面 口縁部横撫で調整	磨滅外面口縁一部黒斑
0836	土師器 環	器 3.2 口 12.5	+20.5	①粗砂 ②酸化 ③にょい焼7.5YR-6/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で体部下位横方向底部旋削り。内面口縁部横撫で調整	内面底記号「×」
0837	土師器 環	器 <3.2> 口 (12.9)	-3.0 -8.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③にょい焼5YR-6/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で体部下位横方向旋削り 内面 口縁部横撫で調整	
0838	土師器 環	器 <3.2> 口 (13.7)	+15.0	①粗砂 ②酸化 ③にょい焼7.5YR-7/4 ④㊦	外面 口縁部横撫で体部横方向旋削り 内面 口縁部横撫で調整	磨滅著しい
0840	土師器 盤	器 <4.1> 口 (16.5)	+0.5 +6.0	①粗砂 ②酸化 ③焼2.5YR-6/6 ④㊦	外面 口縁部横撫で体部下位横方向底部手持り旋削り。内面口縁部横撫で調整	磨滅著しい
0841	土師器 鉢	器 8.8 口 18.7 底 9.5	+3.0 A	①粗砂 ②酸化 ③にょい焼2.5YR-6/4 ④㊦	外面 口縁部横撫で底部平底気味手持り旋削り調整 内面 口縁部横撫で調整	
0843	土師器 壺	器 <8.0> 口 (21.5)	-1.0 -6.0 -6.5 -7.0B	①粗砂 ②酸化 ③にょい黄緑10YR-7/3 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向旋削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向旋削り調整	内外面一部炭素附着
0844	土師器 壺	器 <9.1> 口 (19.2)	-5.5 -8.0 +20.5C	①粗砂 ②酸化 ③にょい焼5YR-6/4 ④㊦(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向旋削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向旋削り調整	磨滅。外面一部黒斑
0845	土師器 壺	器 <11.0> 底 (6.1)	+1.0 -2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にょい焼5YR-6/4 ④㊦(下半部)	外面 胴部・底部旋削り調整 内面 胴部・底部撫で調整	外面僅し状内面磨滅

7区12号住居出土遺物 (第418・419・421図、PL212)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0848	須恵器 環	器 4.1 口 (11.5)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-7/1 ④㊦	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅底 (5.2)
0849	須恵器 環	器 <2.5> 底 5.8	+2.5 +5.0	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④㊦	底部左回転糸切り	
0850	須恵器 環	器 3.5 口 (11.0) 底 (5.0)	-14.0 B	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④㊦	口縁部横撫で底部回転糸切り	13住出土遺物と接合
0851	須恵器 環	器 4.2 口 (12.4)	-32.5 埋土	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④㊦	口縁部横撫で底部左回転糸切り	底6.0
0852	須恵器 環	器 4.2 口 (12.0)	埋土	①細砂 ②還元 ③外面灰白10YR-7/1内面焼7.5YR-6/6 ④㊦	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい底6.4
0853	須恵器 環	器 <1.7> 底 6.2	-18.5 埋土	①細砂 ②還元 ③灰3Y-5/1 ④㊦(底部)	底部左回転糸切り	
0854	須恵器 環	器 3.6 口 (12.0) 底 (6.0)	+4.0 埋土	①細砂 ②還元 ③にょい赤褐5YR-5/4 ④㊦	口縁部横撫で底部回転糸切り	磨滅著しい外面僅し状
0856	須恵器 環	器 <3.1> 口 (12.0)	-4.5 B	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④破片(口縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②胎色 ③色質 ④斑存	成・整形技法の特徴	備考
0857	須恵器 坏	器口 径 13.0	②-9.0 B	①粗砂 ②還元 ③にぶい 槽7.5YR-6/4 ④破片(口 縁部)	ロクロ成形。口縁部横撫で	磨滅
0859	須恵器 坏	器口 径 13.0	埋土	①粗砂 ②還元 ③にぶい 槽7.5YR-7/3 ④破片(口 縁部・底部)	口縁部横撫で底部回転糸切り	磨滅甚 (7.5)
0860	須恵器 坏	器口 径 11.9 底 5.8	+3.0 A	①粗砂 ②還元 ③槽7.5 YR-6/6 ④完形	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅外面口 縁部横し状
0861	須恵器 坏	器口 径 11.4 底 5.7	+8.5 +22.0 埋土	①粗砂 ②還元 ③にぶい 黄2.5Y-6/3 ④にぶい	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅外面一 部横し状
0862	須恵器 坏	器口 径 12.0	+3.0 B	①粗砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④にぶい	口縁部横撫で底部左回転糸切り	底 (6.7)
0863	須恵器 坏蓋	器口 径 16.0	②-6.5 +24.5 埋土	①粗砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/2 ④にぶい	天井部回転旋削り調整。端部横撫で	03・09住出土 遺物と複合
0864	須恵器 坏蓋	器口 径 16.0	②-2.0 +2.5 B	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④にぶい(端部)	天井部右回転旋削り調整。端部・底部横撫 で	外面端部反 差显著
0865	須恵器 坏蓋	器口 径 16.0	③-4.0 B	①粗砂 ②還元 ③にぶい 黄緑10YR-7/2 ④破片(端 部)	天井部回転旋削り調整。端部横撫で	磨滅
0866	須恵器 高台付物	器口 径 8.6	+24.5 C	①粗砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④にぶい(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅
0868	土師器 坏	器口 径 12.7 底 6.7	-21.5 -27.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③槽7.5 YR-6/6 ④にぶい	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位 横方向底部旋削り調整 内面 口縁部横撫で体部調整	内面一部横 し状
0870	土師器 坏	器口 径 12.5	+3.5 -5.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5 YR-5/6 ④にぶい	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位 旋削り。内面口縁部横撫で体部調整	内外面一部 反差显著
0871	土師器 坏	器口 径 12.0 底 7.6	+8.0 +8.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 槽7.5YR-7/4 ④にぶい(口 縁部)	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位 横方向底部手持り旋削り調整 内面 口縁部横撫で体部調整	
0872	土師器 坏	器口 径 11.9 底 5.9	-2.5 -3.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5 YR-5/8 ④にぶい	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位 横方向底部手持り旋削り調整 内面 口縁部横撫で体部調整	磨滅
0873	土師器 坏	器口 径 11.7 底 7.6	-18.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③槽5YR -6/6 ④にぶい(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位 横方向底部手持り旋削り調整 内面 口縁部横撫で体部調整	
0874	土師器 坏	器口 径 12.3 底 8.7	-8.5 -13.5 B	①粗砂 ②酸化 ③槽7.5 YR-6/6 ④にぶい	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位 横方向底部手持り旋削り調整 内面 口縁部横撫で体部調整	磨滅
0875	土師器 坏	器口 径 12.0 底 9.3	-8.5 A	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 槽7.5YR-6/4 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持り旋削り調整 内面 口縁部横撫で底部調整	
0876	土師器 坏	器口 径 11.7 底 7.9	-9.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 槽7.5YR-6/4 ④にぶい	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位 横方向底部手持り旋削り調整 内面 口縁部横撫で底部調整	
0877	土師器 坏	器口 径 12.0 底 5.3	②-9.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 槽7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位 横方向底部手持り旋削り調整 内面 口縁部横撫で底部調整	磨滅著しい
0878	土師器 坏	器口 径 12.0 底 5.8	-12.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5 YR-5/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で底部平底気味体部下位 横方向底部手持り旋削り調整 内面 口縁部横撫で底部調整	
0879	土師器 甕	器口 径 21.6	-13.5 -15.3 -16.0 -18.5	①粗砂 ②酸化 ③にぶい 槽2.5YR-6/4 ④にぶい(上 半部)	外面 口縁部横撫で胴上位横。下位縦方向旋 削り。内面口縁部横撫で胴部調整	磨滅
0880	土師器 甕	器口 径 21.0	+2.0 +6.5 -2.0 -4.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③槽5YR -7/8 ④にぶい(口縁~胴下 半部)	外面 口縁部横撫で胴上位横。下位縦方向旋 削り。内面口縁部横撫で胴部調整	磨滅著しい外 面一部黒底
0881	土師器 甕	器口 径 19.4	+3.0 -14.5 B	①粗砂 ②酸化 ③槽5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向旋削り 内面 口縁部横撫で胴部調整	内外面一部 反差显著

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0882	土師器 土壺	器 (9.0) 口 (20.0)	+2.0 -3.0 -7.5B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で割上位横方向削削り 内面 口縁部横撫で割上位横方向削削り	外面一部炭素吸着
0883	土師器 土壺	器 (10.8) 口 (4.6)	-13.5 -15.5	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐2.5YR-5/6 ④ㄥ(下半部)	外面 胴部・底部縦方向削削り調整 内面 胴部・底部縦撫で調整	外面底部炭素吸着
0884	土師器 土壺	器 (4.0) 底 4.6	+10.0 -29.0 B	①粗砂 ②酸化 ③明赤褐5YR-5/8 ④破片(底部)	外面 胴部・底部縦方向削削り調整 内面 胴部・底部縦削削り調整	内外面一部炭素吸着
0885	土師器 土壺	器 (3.4) 底 4.0	+4.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④破片(底部)	外面 胴部・底部縦削削り調整 内面 胴部・底部縦撫で調整	
0888	土師器 台付壺	器 (4.3)	-8.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(底部)	外面 胴部下縦方向削削り。台部横撫で 内面 胴部下縦撫で調整	外面横し状
0889	土師器 台付壺	器 (2.5)	-1.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(底部)	外面 胴部下縦方向削削り。台部横撫で 内面 胴部下縦撫で調整	外面横し状
0890	土師器 台付壺	器 (2.0) 台径 (10.0)	-27.5 B	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/4 ④破片(胴部)	外面 台・胴部横撫で	
0891	土師器 壺	器 (4.7) 口 (11.2)	+19.5 埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で割上位横方向削削り 内面 口縁部横撫で割上位位置撫で	磨滅
1385	磁石	長さ 10.5 厚さ 3.7	+1.0	④ㄥ石材雲母石英片岩重さ475g	4面使用。上部欠損。広範囲U字状磨滅減あり	幅7.8
1416	円形 叩き石	長さ 14.0 厚さ 3.6	+5.0	④完形石材雲母石英片岩重さ1500g	隅丸形状を呈する。打痕不明瞭	幅14.6
1417	円形 叩き石	長さ 18.7 厚さ 5.1	+4.5	④完形石材砂岩重さ2320g	楕円形を呈する。打痕不明瞭	幅16.6
1658	打製石斧	長さ 14.7 厚さ 1.2	+7.5	④完形石材用色片岩重さ315g	片割縁部のみエグリ入る。両端部丸味持つ	幅1.7

7区13号住居出土遺物(第425・426図、PL213)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0722	須恵器 須恵壺	器 (4.2) 口 (14.0)	-6.0 -10.5 B	①粗砂 ②還元 ③灰白5Y-8/2 ④ㄥ	ロクロ成形。口縁部横撫で	磨滅著しい 一部炭素吸着
0892	須恵器 高台付皿	器 (1.9) 口 (12.5)	+8.0 +22.0 C	①細砂 ②還元 ③にぶい橙7.5Y-7/4 ④ㄥ	ロクロ成形。口縁部・高台部横撫で	磨滅著しい
0893	須恵器 坏	器 3.1 口 12.9 底 5.9	-1.0 +14.0 C	①細砂 ②還元 ③残黄2.5Y-7/4 ④ほぼ完形	口縁部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい 内外面一部炭素吸着
0894	須恵器 高台付椀	器 3.5 底 7.0	+8.0 +26.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④ㄥ(底部)	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい
0895	須恵器 高台付椀	器 (3.5) 高台径 (7.4)	+3.0 B	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/2 ④ㄥ(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい
0899	須恵器 高台付椀	器 (1.8) 底 7.2	+2.0 B	①細砂 ②還元 ③にぶい黄橙10YR-7/2 ④ㄥ(底部)	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨滅著しい
0901	須恵器 坏	器 (2.5) 底 6.2	+24.0 C	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-6/1 ④ㄥ(底部)	底部左回転糸切り	
0902	須恵器 坏	器 (2.1) 底 6.0	+8.5 C	①細砂 ②還元 ③褐灰10YR-5/1 ④ㄥ(底部)	底部左回転糸切り	
0903	須恵器 坏	器 (1.7) 底 6.0	+7.0 C	①細砂 ②還元 ③灰褐7.5YR-6/2 ④ㄥ(底部)	底部左回転糸切り	
0904	須恵器 高台付椀	器 (5.5) 口 (14.0)	+16.0 C	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5YR-6/1 ④破片(口縁部)	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	台部欠損後 も使用か
0907	須恵器 壺	器 (7.8) 口 (24.0)	+8.5 +20.0 C	①細砂 ②還元 ③明褐灰7.5YR-7/1 ④破片(口縁部)	ロクロ調整による横撫で	磨滅
0908	須恵器 壺	器 (14.6) 底 (15.0)	+0.5 +3.0 C	①細砂 ②還元 ③断面にぶい褐7.5YR-5/3 ④破片	内外面横撫で調整 内面 口縁部横撫で調整	01号溝出土 遺物と接合
0910	土師器 坏	器 6.2 口 17.1	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-7/4 ④ㄥ	外面 口縁部横撫で体部手持ち箇所削削り 内面 口縁部横撫で調整	
0911	土師器 土壺	器 3.6 穴径 0.4	埋土	①粗砂 ②酸化 ③にぶい橙5YR-6/6 ④完形重さ1.5g	外面 撫で調整	

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0912	土師器 壺	器 (24.2) 口 19.3	-3.0 +4.0 埋土	①粗砂 ②酸化 ③に 赤褐2.5YR-5/4 ④ㄥ(口 縁~胴下部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向瓦 削り、内面口縁部横撫で胴部無	
0913	土師器 壺	器 (7.3) 口 (18.2)	-2.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向瓦 削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向瓦 削り	磨減著しい
0914	土師器 壺	器 (13.0) 口 (18.0)	+4.0 +6.5 -11.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③に 橙7.5YR-7/4 ④破片(上 半部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向瓦 削り調整 内面 口縁部横撫で胴上位横方向瓦 削り調整	内面磨減
0915	土師器 壺	器 (6.3) 口 (20.0)	+1.0 -6.0	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向瓦 削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向瓦 削り	磨減
0916	土師器 小壺	器 (5.2) 口 (12.0)	-10.0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向瓦 削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向瓦 削り	磨減著しい
0917	土師器 台付壺	器 4.7 底 10.4	-14.5	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(台部)	外面 台部横撫で 内面 台部横撫で調整	
0918	土師器 台付壺	器 (4.5) 台径 (9.0)	+16.0	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(台部)	外面 台部横撫で 内面 台部横撫で調整	磨減
1386	硝石	長さ 15.2 厚さ 6.5	+1.5	④ほぼ正形石材変玄武岩 磨面不明瞭。埋込により片面変色		幅6.5
1390	縄文 陶鉢	厚さ 0.8	埋土	①粗砂 ③に 橙7.5YR-7/4 ④破片(胴部)	棒状貼布。平行沈線を施す	縄文前期
1639	釘	長さ (6.8) 厚さ 0.4	+25.0		基部を欠失する。しっかりとした厚手の造りである。基部に木質の遺存 は認められない	幅0.4

7区14号住居出土遺物 (第431図、PL213)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0919	土師器 坏	器 3.4 口 12.1	-1.5 A	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で底部手持ち 削り 内面 口縁部横撫で底部調整	12住出土 遺物と接合
0920	土師器 坏	器 3.4 口 12.5	-4.0 A	①粗砂 ②酸化 ③に 橙7.5YR-5/4 ④ㄥ	外面 口縁部横撫で底部手持ち 削り調整 内面 口縁部横撫で底部調整	
0921	土師器 坏	器 (3.3) 口 (14.7)	+1.5 -10.0 B	①粗砂 ②酸化 ③に 橙5YR-6/4 ④破片(口縁 部)	外面 口縁部横撫で体部削り調整 内面 口縁部横撫で体部調整	磨減
0923	土師器 小壺	器 (4.5) 口 (11.8)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向瓦 削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向瓦 削り	磨減
0924	須恵系 高台付椀	器 (1.8) 底 6.9	埋土	①細砂 ②還元 ③に 黄橙10YR-7/4 ④ㄥ(底 部)	高台部横撫で底部左回転削り	磨減著しい 一部灰吹着
0925	須恵系 壺	器 (5.8) C	+5.0	①細砂 ②還元 ③灰白7.5 Y-8/1 ④破片(胴部)	外面 平行叩き目の後撫で調整 内面 同心円当て目	
1387	硝石	長さ 9.8 厚さ 5.2	+5.0	④ほぼ正形石材角閃石安山 岩重さ240g	凹石。両面各1孔あり。両面磨面あり	幅8.4

7区15号住居出土遺物 (第436図、PL213)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0927	須恵系 高台付椀	器 5.1 口 12.7	+2.0 B	①細砂 ②還元 ③に 黄橙10YR-7/3 ④ㄥ	口縁部・高台部横撫で底部左回転削り	磨減著しい
0928	須恵系 高台付椀	器 (3.0) 底 (3.3)	+6.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/1 ④破片(底部)	口縁部成形。高台部横撫で底部回転削り	磨減著しい 灰吹着
0929	須恵系 高台付椀	器 (4.6) 口 (10.2)	-5.5 B	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④破片(口縁部)	口縁部成形。口縁部横撫で	内外面灰吹 着
0930	灰釉陶器 高台付坏	器 4.4 口 (14.0) 底 (8.0)	+4.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④ㄥ	口縁部成形。高台は貼付。施釉方法は 掛け。釉調は不透明な灰色。	大原2号窯 式路。重ね 焼き痕あり
0931	灰釉陶器 坏	器 (2.9) 口 (13.0)	+7.5 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④破片(口縁部)	口縁部成形。施釉方法は掛け掛け。釉調は 不透明な灰色	
0932	灰釉陶器 高台付坏	器 (2.8) 底 (7.0)	+5.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -7/2 ④破片(底部)	口縁部成形。高台は貼付。体部下位は回転 削り。施釉方法は掛け掛け	
0933	羽釜	器 (6.7) 口 (18.0)	+10.0 C	①粗砂 ②酸化 ③黄橙 10YR-8/4 ④破片(口縁 部)	口縁部横撫で胴の形状はCタイプ口縁部は Dタイプ内外面瓦による横撫で	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色黄 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0934	羽蓋か	器 (8.1) 底 (7.0)	+2.0 B	①粗砂 ②酸化 ③洗黄機 10YR-8/3 ④ㄥ(下半部)	外面 縦方向寛削り内面無調整 内面 縦方向寛削り内面無調整	磨減

7 区16号住居出土遺物 (第441図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色黄 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0826	土師器 壺	器 (6.7) 口 (10.4)	-1.5 +1.5 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横撫で胴上位横方向寛削り 内面 口縁部横撫で胴上位横方向寛削り	磨減
0827	土師器 壺	器 (1.2) 底 (4.2)	+3.0 B	①粗砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-7/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部寛削り調整 内面 胴部・底部寛削りで調整	磨減
0828	須恵器 高台付壺	器 (2.1) 底 (7.6)	+3.0 B	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④破片(底部)	高台部横撫で底部回転未切り	磨減著しい

7 区18号住居出土遺物 (第446図)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色黄 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0926	須恵器 高台付壺	器 (5.1) 口 (13.9)	-1.0 -3.0 B	①粗砂 ②還元 ③にょい 赤褐5YR-5/4 ④破片(口 縁部・底部)	ロクロ成形。口縁部・高台部横撫で。高台 欠損後も使用	内面横し状

7 区19号住居出土遺物 (第451・452図、Pl.213・214)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色黄 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0937	羽蓋	器 (10.2) 口 (20.0)	-1.5 -2.0 Ba	①粗砂 ②酸化 ③にょい 黄緑10YR-7/3 ④ㄥ(上半 部)	口縁部横撫で胴の形状はAタイプ口縁部は Dタイプ内外面無調整	磨減著しい外 面一部黒炭
0938	羽蓋	器 (20.0) 口 (19.0)	±0 +1.0 -0.5 +4.5埋土	①粗砂 ②酸化 ③にょい 黄緑10YR-7/3 ④ㄥ(口縁 へ胴下部)	口縁部横撫で胴の形状はAタイプ口縁部はB タイプ外面上半部で下半部削り	内外面一部 炭素吸着
0939	羽蓋	器 (15.0) 口 (20.0)	+1.0 +1.5 -5.0埋土	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙7.5YR-7/4 ④ㄥ(上半 部)	口縁部横撫で胴の形状はAタイプ口縁部は Dタイプ内外面無調整	磨減
0940	羽蓋	器 (10.0) 口 (21.6)	±0 -0.5 +5.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙7.5YR-7/4 ④破片(口 縁部)	口縁部横撫で胴の形状はAタイプ口縁部は Dタイプ内外面無調整	内面磨減。 炭素吸着
0941	羽蓋	器 (9.5) 口 (19.1)	+1.0 -1.0 B	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙5YR-7/4 ④破片(口縁 部)	口縁部横撫で胴の形状はAタイプ口縁部は Dタイプ内外面無調整	内面磨減
0942	羽蓋	器 (7.9) 口 (21.6)	+7.0 +16.0 C	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙7.5YR-7/3 ④破片(口 縁部)	口縁部横撫で胴の形状はCタイプ口縁部は Bタイプ内外面無調整	外面横し状 内面磨減
0943	羽蓋	器 12.2 底 7.4	-0.5 C	①粗砂 ②酸化 ③にょい 橙7.5YR-7/3 ④ㄥ(上半 部)	外面 下半部縦方向底部寛削り調整内面無 調整	出土遺物 と接合
0944	羽蓋	器 (6.0) 底 (9.0)	埋土 C	①粗砂 ②酸化 ③にょい 赤褐2.5 YR-5/3 ④破片 (底部)	外面 下半部縦方向底部寛削り調整内面無 調整	
0945	羽蓋	器 (3.3) 底 (9.0)	+5.0 C	①粗砂 ②酸化 ③灰褐 YR-6/2 ④破片(底部)	外面 下半部縦方向底部寛削り調整内面無 調整	
0947	羽蓋	器 (4.9) 底 (8.9)	-12.0 -19.0 C	①粗砂 ②酸化 ③洗黄機2.5 Y-8/3 ④破片(底部)	外面 下半部底部寛削り調整内面無調整	磨減著しい
0948	須恵器 杯	器 3.8 口 11.2	-11.0 A	①細砂 ②還元 ③にょい 橙7.5YR-7/4 ④突起	口縁部横撫で底部左回転未切り	内面煤付着
0950	須恵器 壺	長さ 7.2 厚さ 0.9	+24.0 +29.5 C	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 撫で調整	
0951	灰輪陶器 高台付杯	器 (3.3) 口 (8.9)	+17.0 C	①細砂 ②還元 ③灰白N -8/ ④破片(口縁部)	ロクロ整形。造胎方法不明。軸調は外面が 不透明な灰色、内面は緑灰色	重ね焼き痕 あり
0952	軒丸	長さ (12.5) 厚さ 1.3	-10.0 C	①やや細粒 ②酸化 ③にょい 黄緑10YR-7/4 ④破片	凸面は寛削り整形。側面は面取りを1面施 す	
0953	平瓦	長さ (12.1) 厚さ 1.7	-2.0 -20.0 +25.5	①青透 ②酸化 ③にょい 橙7.5YR-7/4 ④破片	凸面は横撫で整形。側面は面取りを3面施 す	
0954	丸瓦	長さ (7.9) 厚さ 1.1	-2.5 -3.0 C	①細砂 ②酸化 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片	凸面は無調整整形。側面は面取りを3面施す	

遺物観察表

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0955	丸瓦	長さ (11.7) 厚さ 1.7	-9.0 -9.5 -12.0	①細粒 ②酸化 ③灰白5YR-6/2 ④破片	凸面は楕で整形	
0956	瓦	長さ (6.0) 厚さ 2.0	埋土	①やや粗粒(砂礫少量含む) ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片	凸面は楕で整形。側面・端面は面取りをそれぞれ1箇所す	種別は不明
0957	丸瓦か	長さ (8.7) 厚さ 0.8	-1.5埋土	①やや粗粒(砂礫含む) ②酸化 ③にぶい橙7.5YR-7/4 ④破片	凸面は窪用り整形。端面は面取りを1箇所す	
0958	瓦	長さ (5.3) 厚さ 1.2	埋土	①普通 ②平造元 ③にぶい黄橙10YR-6/3 ④破片	凸面は楕で整形	種別は不明
1371	丸瓦	長さ (7.0) 厚さ 1.4	埋土	①やや粗粒 ②酸化 ③にぶい黄橙7.5YR-7/4 ④破片	凸面は楕で整形。側面・端面は面取りをそれぞれ1箇所す	
1640	鉄滓	縦 2.6 横 3.8	+0.5			厚さ1.6

7区20号住居出土遺物(第456図、PL214)

番号	器種・器形	大きさ	出土状態(タイプ)	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
0959	土師器 環	径 (2.5) 口 (12.0)	埋土	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR-7/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横断で底部手持ち寛削り 内面 口縁部横断で底部無調整	磨減著しい
0960	須恵器 壺	径 (4.4) 口 (12.0)	埋土	①細砂 ②還元 ③灰白2.5Y-7/1 ④破片(口縁部)	口縁調整による横断で	

7区溝出土遺物(第465・466図、PL214~216)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号溝	0977	須恵器 環	径 4.9 口 12.2	①細砂 ②還元 ③断面灰白10YR-8/2 ④片	口縁部横断で底部左回転赤切り	磨減。外面傾し状。底6.2
01号溝	0989	須恵器 環	径 (3.3) 口 (13.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y-7/2 ④破片(口縁部)	口縁部横断で	外面直取。磨減「☆」
01号溝	0981	須恵器 環蓋	径 (3.6)	①細砂 ②還元 ③灰白10YR-8/1 ④(口縁部)	天井部右回転寛削り端部・底部横断で	磨減著しい
01号溝	1023	須恵器 環	径 (1.8) 底 (6.0)	①細砂 ②還元 ③断面浅黄橙7.5 YR-8/4 ④破片	口縁部横断で底部回転赤切り	内面底部磨書「☆」
01号溝	1024	須恵器 壺	長さ 7.5 厚さ 1.5	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(側部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
01号溝	1025	須恵器 環蓋	径 (1.7) 底 3.4	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5Y-6/1 ④破片(底部)	蓋はボタン状口縁部成形。蓋部横断で天井部回転赤切り後右回転削り調整	
01号溝	1392	縄文 深鉢	厚さ 1.8	①粗砂 ②普通 ③橙7.5YR-6/6 ④破片(側部)	棒状打布。線形状平行比線跡す	縄文前期
01号溝	1403	縄文 深鉢	厚さ 1.2	①粗砂 ②普通 ③にぶい黄橙10YR-6/4 ④破片(側部)	刺突文	縄文中期
02号溝	0982	須恵器 環	径 (2.3) 底 7.4	①細砂 ②還元 ③灰白7.5YR-8/1 ④(口縁部)	底部手持ち寛削り調整	外面底部磨書
02号溝	0983	須恵器 環	径 3.4 底 5.7	①細砂 ②還元 ③黄橙2.5Y-3/2 ④片	口縁部横断で底部左回転赤切り	外面表面磨減著
02号溝	0985	須恵器 壺	径 (5.9)	①細砂 ②還元 ③にぶい黄7.5YR-6/3 ④破片(側部)	外面 平行叩き目の後調整 内面 同心円当て目	
03号溝	0961	須恵器 高台付椀	径 (5.4) 口 (15.0)	①細砂 ②還元 ③断面7.5YR-8/2 ④(口縁部)	口縁部・高台部横断で	磨減。外面炭索吸着
03号溝	0962	須恵器 高台付椀	径 (3.9) 高台径 (9.2)	①粗砂 ②還元 ③橙5YR-6/6 ④(底部)	高台部横断で底部回転赤切り	
03号溝	0966	土師器 台付壺	径 (4.5) 台径 (10.0)	①粗砂 ②酸化 ③橙2.5YR-6/6 ④破片(台部)	外面 高台横断で 内面 側部下半部無調整台部横断で	
03号溝	0968	平瓦か	長さ (3.7) 厚さ 1.1	①細砂 ②酸化 ③明褐7.5YR-5/6 ④破片	凸面は楕で整形	
03号溝	0969	須恵器 壺	長さ (11.2) 厚さ 1.3	①細砂 ②還元 ③断面灰白7.5 YR-8/1 ④破片(側部)	外面 平行格子状叩き目 内面 同心円当て目	
03号溝	0970	須恵器 壺	長さ (8.4) 厚さ 1.2	①細砂 ②還元 ③黄灰7.5YR-6/1 ④破片(側部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
03号溝	0971	須恵器 壺	径 (7.2) 口 (16.0)	①細砂 ②還元 ③黄灰7.5YR-6/1 ④破片(底部)	外面 平行叩き目の後調整 内面 無調整	

遺物観察表

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
03号溝	0973	須恵器 壺	長さ 7.8 厚さ 1.2	①細砂 ②還元 ③褐灰7.5 YR-5/1 ④破片(口縁部)	内外面横線で整形。外面口縁部は線2本装 状文飾す。	
03号溝	0975	灰胎陶器 台付壺	径 6.5	①細砂 ②還元 ③断面灰白 7.5 YR-8/2 ④破片(口縁部)	口ロコ整形。胎土方法不明。胎土はやや透 明感のある緑灰色	口縁部内外 面肩部に輪 筋あり
03号溝	1642	鉄製品	長さ 19.5 厚さ 0.4	用途不明の金具。L字状に屈曲し、共に 部材に取りつけた鎌金具の可能性があり		幅3.0
04号溝	0986	内耳鍋	径 9.9 口 (28.6)	①細砂 ②還元 ③におよび 黄 ④破片(口縁部)	口縁部横線で内外面無調整。内面、口縁 部に把手付	内外面横し 状
04号溝	0988	平瓦	長さ 9.3 厚さ 1.2	①普通 ②還元 ③黄灰2.5 Y-7/2 ④破片	凸面は無調整。端面は面取りが施されて いるが面の数は不明	
04号溝	1407	石臼	径 (33.9) 厚 9.9	④(上臼) 石材粗粒安山岩重き1900g	高面磨減。白目なし	
04号溝	1408	石臼	径 (34.0) 厚 7.8	④(下臼) 石材牛伏砂重き5300g	全体にザラついた石材。白目等磨耗により 消失。芯受孔径(3.2cm)	
04号溝	1409	石臼	径 (30.0) 厚 8.5	④(上臼) 石材牛伏砂重き2600g	表面面割磨。欠損。白目なし	
05号溝	0990	須恵器 高台付椀	径 (4.3) 底 (6.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/2 ④破片	高台部横線で底部回転糸切り	磨減著しい
05号溝	0991	須恵器 鉢	径 (6.3) 口 (24.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④破片	口ロコ成形。口縁部横線で	
05号溝	0992	土師器 盤	径 (4.4) 口 (22.0)	①粗砂 ②酸化 ③におよび 7.5YR-7/4 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で体部手持ち足削り調整 内面 口縁部横線で体部無調整	
07号溝	0976	須恵器 高台付椀	径 (4.1) 底 (9.0)	①粗砂 ②還元 ③灰白10 YR-8/2 ④破片(底部)	口ロコ成形。高台部横線で	内面黒色処 理。磨減少

7区粘土溜り出土遺物 (第474図、P.L215)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
01号粘土 溜り	1019	須恵器 高台付椀	径 7.2 底 8.2	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-4/1 ④(底部)	高台部横線で底部左回転糸切り	①3-8/7/7 F
01号粘土 溜り	1020	土師器 壺	径 5.1 口 21.2	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④破片(口縁部)	外面 口縁部横線で胴上位置方角削り 内面 口縁部横線で胴上位置方角削り	①3-9/6/7 F磨減著しい
01号粘土 溜り	1021	土師器 壺	径 3.9 底 4.4	①粗砂 ②酸化 ③灰白5 YR-5/2 ④破片(底部)	外面 胴部・底部両削り調整 内面 無調整	①3-9/7/7 F内外面横し

7区土坑出土遺物 (第474図、P.L216)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①胎土 ②焼成 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
21号土坑	1006	羽釜	径 (6.4) 口 (18.0)	①粗砂 ②還元気味 ③明 黄褐10YR-7/6 ④破片(口 縁部)	口縁部横線で胴の形状はAタイプ口縁部は Aタイプ内外面無調整	外面炭素吸 着
28号土坑	1007	灰胎陶器 高台付椀	径 (1.1) 底 (3.5)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④破片(底部)	口ロコ整形。高台は貼付、底部は回転ヘラ ナデ	
28号土坑	1008	須恵器 高台付椀	径 (7.5) 口 (16.2)	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④(口縁部・底部)	口縁部・高台部横線で底部回転糸切り	高台径7.6
28号土坑	1009	羽釜	径 (4.9) 底 (8.0)	①粗砂 ②酸化 ③明黄褐 10YR-7/6 ④破片(底部)	外面 胴部・底部両削り調整 内面 無調整	磨減
55号土坑	1010	須恵器 片蓋	径 5.2 端部 (17.9)	①細砂 ②還元 ③灰5Y -5/1 ④(片)	鈕はボタン状天井部回転糸切り後右回転 削り調整。端部・足部横線で	径4.3
55号土坑	1011	内耳鍋	径 (11.3) 口 (28.0)	①☆☆ ②☆☆ ③橙7.5 YR-6/6 ④破片(口縁部)	口縁部横線で内外面無調整	外面横し状
65号土坑	1012	瓦	厚さ 0.8	①やや細粒 ②酸化 ③橙7.5YR-7/6 ④破片	凸面は無調整	横割は不明
65号土坑	1013	須恵器 高台付椀	径 (1.0) 底 (6.0)	①細砂 ②還元 ③におよび 7.5YR-3/6 ④破片(底部)	底部左回転糸切り	
78号土坑	1014	須恵器 高台付椀	径 (4.0) 口 (11.4)	①細砂 ②還元 ③におよ 黄褐10YR-7/3 ④破片(口 縁部)	口ロコ成形。口縁部・高台部横線で。高台 欠損後も使用可	内面炭化物 付着
109号土坑	1016	須恵器 高台付椀	径 (1.5) 底 (8.5)	①細砂 ②還元 ③灰5Y -6/1 ④破片(底部)	高台部横線で底部左回転糸切り	
123号土坑	1017	羽釜	径 (5.8) 口 (21.0)	①粗砂 ②還元気味 ③淡 黄5Y-8/3 ④破片(口縁部)	口縁部横線で胴の形状はAタイプ口縁部は Dタイプ内外面無調整	

7区グリッド出土遺物 (第476図、PL215・216)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①粘土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
D13-83 グリッド	1022	須恵器 壺	口 4.1 口 14.0	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-6/1 ④破片(口縁部)	口縁調整。口縁部横撫で	外面肩部に 自然釉付着
a13-98 グリッド	1393	縄文 深鉢	厚さ 1.5	①砂粒 ②普通 ③にぶい 粒7.5YR-6/4 ④破片	棒状貼布。横方向平行沈線文施す	縄文前期2 個体
a13-98 グリッド	1396	縄文 深鉢	厚さ 1.8	①砂粒 ②普通 ③明赤褐6 YR-5/8 ④破片	平行沈線施す	縄文中期
a13-98 グリッド	1396	縄文 深鉢	厚さ 1.5	①砂粒 ②普通 ③橙5YR -6/6 ④破片	平行沈線施す	縄文中期
a13-98 グリッド	1397	縄文 深鉢	厚さ 1.8	①粗砂 ②普通 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片	平行沈線施す	縄文中期
a13-98 グリッド	1398	縄文 深鉢	厚さ 2.1	①砂粒 ②普通 ③にぶい 赤褐5YR-5/4 ④破片	平行沈線施す	縄文中期
a13-98 グリッド	1399	縄文 深鉢	厚さ 2.7	①☆☆ ②☆☆ ③橙5YR -6/6 ④☆☆	2本の帯形平行	縄文中期
a14-17 グリッド	1402	縄文 深鉢	厚さ 2.1	①砂粒 ②良好 ③明赤褐 2.5YR-5/6 ④破片	外面肩部隆帯に平行の僅きやふりあり内外 面。磨き施す	縄文中期
a14-18 グリッド	1389	縄文 深鉢	厚さ 2.1	①砂粒 ②やや軟 ③にぶい 粒7.5YR-6/4 ④破片	ボタン状貼布。平行沈線文施す	縄文前期
a14-18 グリッド	1391	縄文 深鉢	厚さ 1.2	①砂粒 ②普通 ③橙7.5 YR-6/6 ④破片	棒状貼布。平行沈線文施す	縄文前期
D14-25 グリッド	1318	土師器 鉢	径 (7.2) 口 19.6	①細砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④(口縁部)	口縁部横撫で底部平底気味体部横方向底部 磨削り。内面。撫で調整後磨き	内面一部黒 斑
a14-49 グリッド	1030	瓦	厚さ 1.7	①やや粗粒 ②酸化 ③に ぶい橙5YR-7/4 ④破片	凸面撫で整形	種別は不明

7区トレンチ・表採出土遺物 (第476・477図、PL215・216)

遺跡名	番号	器種・器形	大きさ	①粘土 ②酸化 ③色調 ④残存	成・整形技法の特徴	備考
02トレンチ	0994	須恵器 壺	長さ 8.4 厚さ 2.4	①細砂 ②還元 ③灰N-6/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
02トレンチ	0995	須恵器 壺	長さ 6.6 厚さ 1.5	①細砂 ②還元 ③黄灰2.5 Y-5/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫での後棒状工具による波状文を 施す	
02トレンチ	0996	須恵器 高台付椀	径 (7.7) 高台径 6.9	①細砂 ②酸化 ③にぶい 粒7.5YR-7/4 ④(底)	高台部横撫で底部左回転糸切り	磨減著しい
02トレンチ	0997	丸瓦	長さ (13.1) 厚さ 2.8	①普通(砂少量含む) ②還 元 ③黄灰2.5Y-5/1 ④破 片	凸面は磨撫で。端面は面取り1面施す	
04トレンチ	0999	須恵器 壺	径 (8.7) 口 19.2	①細砂 ②還元 ③灰N-5/ ④破片(口縁部)	口縁調整。棒状工具による波状文。外面 平行叩き目。内面同心円当て目	
07トレンチ	1001	須恵器 壺	長さ 11.1 厚さ 1.4	①細砂 ②還元 ③灰白N -8/ ④破片(胴部)	外面 平行叩き目 内面 同心円当て目	
08トレンチ	1002	土師器 杯	径 2.9 口 11.9 底 7.6	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④(底)	外面 口縁部横撫で底部平底気味手持り磨 削り調整 内面 口縁部横撫で撫で調整	磨減 著しい
08トレンチ	1003	須恵器 高台付椀	径 5.7 口 14.8	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 Y-7/1 ④(底)	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	磨減著しい 底6.4
Ⅲ-08・09 トレンチ	0993	土師器 杯	径 3.6 口 12.4	①粗砂 ②酸化 ③橙5YR -6/6 ④はば光形	外面 口縁部横撫で底部平底気味手持り磨 削り。内面口縁部横撫で	(内大溝)
Ⅲ-08・09 トレンチ	1004	灰輪陶器 高台付杯	径 (3.4) 口 (16.0)	①細砂 ②還元 ③灰白5Y -8/1 ④破片(口縁部)	口縁部横撫で	漬け掛け (内大溝)
Ⅲ-08・09 トレンチ	1005	丸瓦	長さ (13.9) 厚さ 1.6	①やや粗粒(砂含む) ②酸 化③にぶい橙5YR-6/4 ④ 破片	凸面は磨撫でか。側面は2面端面は1面の 面取りを施す	形状は行基 (内大溝)
表採	1027	須恵器 高台付椀	径 4.5 口 12.5	①細砂 ②還元 ③灰白2.5 YR-7/1 ④変形	口縁部・高台部横撫で底部左回転糸切り	磨減著しい 底5.6
表採	1028	須恵器 杯	径 4.3 口 12.8	①細砂 ②還元 ③灰白10 YR-7/1 ④(底)	口縁部横撫で底部左回転糸切り	底6.8
表採	1029	須恵器 杯	径 3.4 口 12.3	①細砂 ②還元 ③灰黄2.5 Y-7/2 ④破片(口縁部)	口縁調整。口縁部横撫で	
表採	1394	縄文 深鉢	厚さ 1.2	①☆☆ ③にぶい橙7.5YR -7/4 ④☆☆	平截竹管による平行沈線によって菱形文を 施す	縄文前期

写 真 图 版



1. 藪塚狐穴地区 (4 A 1区) 全景 東から



1. 篠塚狐穴地区 (4A I区) 全景 東から



2. 篠塚狐穴地区 (4A I区) 全景 東から



1・4AⅡ区01号住居全景 北から



2・4AⅡ区02号住居電 南から



3・4AⅡ区01号住居電 北から



4・4AⅡ区02号住居全景 南から



1・4AⅡ区03号住居全景 南東から



2・4AⅡ区03号住居遺物出土状態 南西から



3・4AⅡ区04号住居全景 西から



4・4AⅡ区04号住居電 西から



1・4 A II区06号住居全景 南西から



2・4 A II区07号住居電 南西から



3・4 A II区06号住居電 南西から



4・4 A II区07号住居 南西から



1・4 A II区08号住居全景 西から



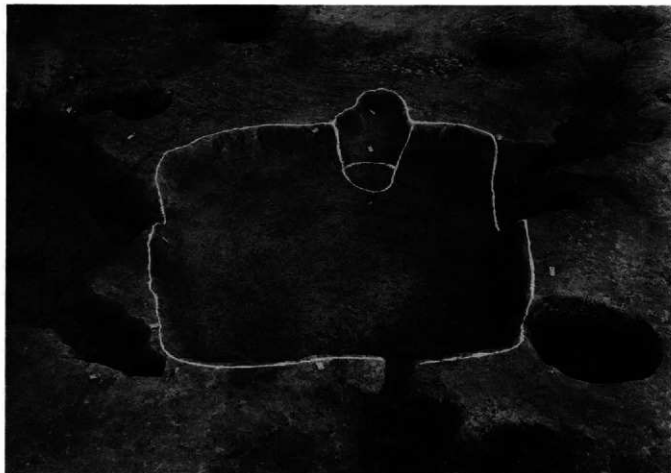
2・4 A II区09号住居全景 西から



1・4A1区10号住居全景 西から



2・4A1区11号住居全景 西から



1・4A1区12号住居全景 南西から



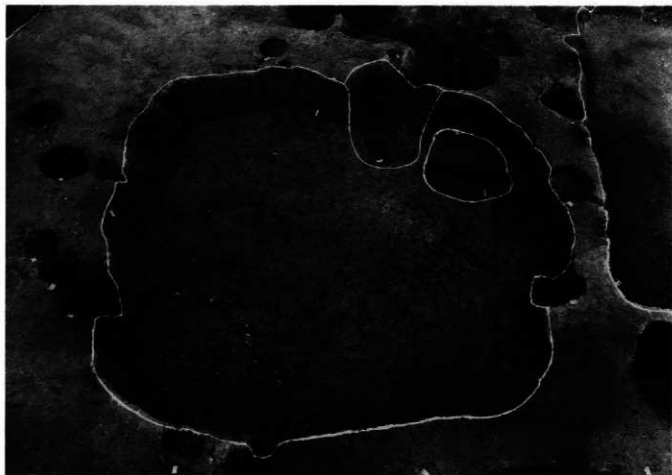
2・4A1区13号住居全景 南西から



1・4A1区14号住居全景 西から



2・4A1区15号住居全景 南西から



1・4A1区16号住居全景 南西から



2・4A1区17号住居全景 西から



1・4A1区18号住居全景 北から



2・4A1区19号住居全景 南西から



1・4A1区21号住居全景 南西から



2・4A1区22号住居全景 西から



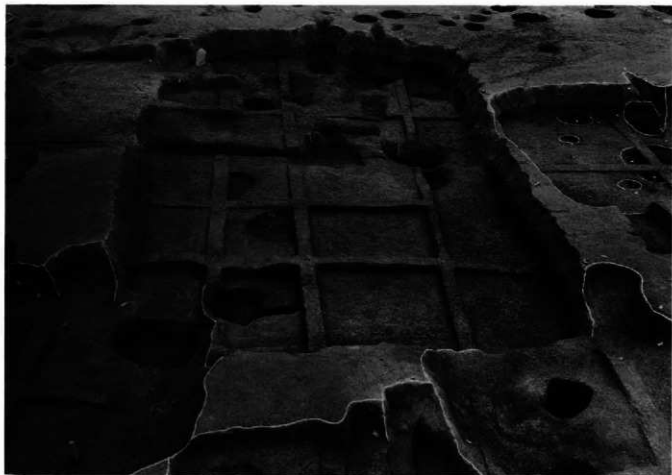
1・4A1区23・25号住居全景 南西から



2・4A1区24号住居瓦遺物出土状態 西から



3・4A1区24号住居全景 西から



1・4A1区26号住居全景 西から



2・4A1区27号住居全景 南西から



1・4A1区28号住居全景 西から



2・4A1区30号住居住居全景 南西から



1・4A1区32号住居全景 西から



2・4A1区33号住居全景 西から



1・4A1区34号住居全景 西から



2・4A1区34号住居遺物出土状態 北西から



3・4A1区34号住居貯蔵穴遺物出土状態



4・4A1区34号住居掘り方全景 西から



1・4A1区35号住居全景 南西から



2・4A1区36号住居全景 南西から



1・4A1区37号住居全景 南西から



2・4A1区38号住居全景 西から



1・4A1区39号住居全景 南西から



2・4A1区39号住居竈 南西から



3・4A1区40号住居竈遺物出土状態



4・4A1区40号住居全景 南東から



1・4A1区41号住居・03号竪穴状遺構全景 南西から



2・4A1区42号住居全景 西から



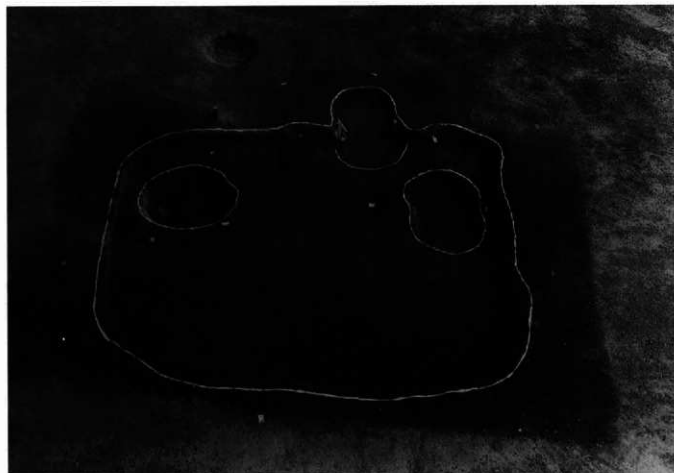
1・4A1区43号住居全景 南西から



2・4A1区44・56号住居全景 西から



1・4A1区45号住居全景 西から



2・4A1区46号住居全景 南西から



1・4A1区47号住居全景 南西から



2・4A1区48号住居全景 西から



1・4A1区52号住居全景 西から



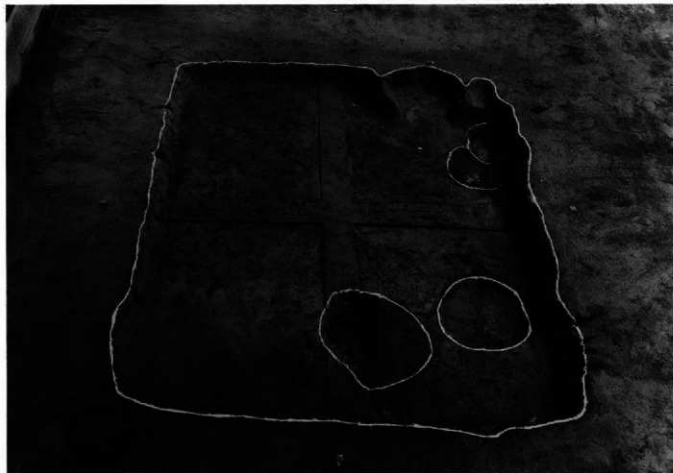
2・4A1区53号住居全景 西から



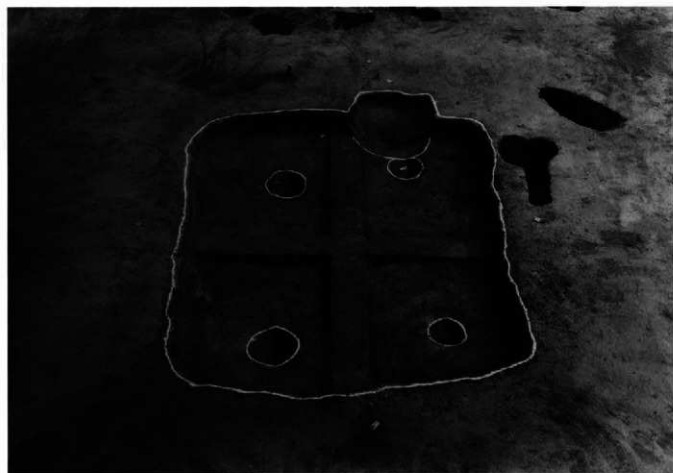
1・4A1区54号住居全景 南西から



2・4A1区55号住居全景 西から



1・4A1区57号住居全景 南西から



2・4A1区58号住居全景 南西から



1・4A1区59号住居全景 南西から



2・4A1区60号住居全景 西から



1・4A1区61号住居全景 西から



2・4A1区64号住居全景 北東から



1・4A1区65号住居全景 東から



2・4A1区65号住居電遺物出土状態 東から



3・4A1区66号住居電セクション



4・4A1区66号住居全景 南西から



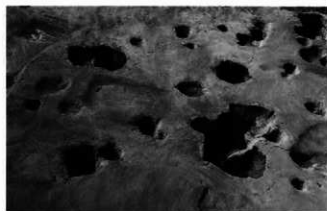
1・4A1区01号掘立柱建物全景 南東から



2・4A1区02号掘立柱建物全景 南東から



3・4A1区03号掘立柱建物全景 南東から



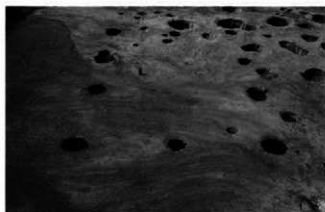
4・4A1区04号掘立柱建物全景 南東から



5・4A1区05号掘立柱建物全景 南東から



6・4A1区06号掘立柱建物全景 南東から



7・4A1区07号掘立柱建物全景 南東から



8・4A1区08号掘立柱建物全景 南東から



1・4 A I 区09号孤立柱建物全景 南東から



2・4 A I 区10号孤立柱建物全景 南東から



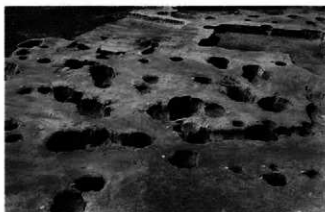
3・4 A I 区11号孤立柱建物全景 南東から



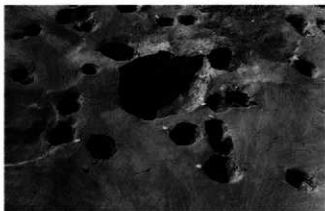
4・4 A I 区12号孤立柱建物全景 南東から



5・4 A I 区13号孤立柱建物全景 南東から



6・4 A I 区14号孤立柱建物全景 南東から



7・4 A I 区15号孤立柱建物全景 南東から



8・4 A I 区16号孤立柱建物全景 南東から



1・4A1区17号掘立柱建物全景 南東から



2・4A1区掘立柱建物・番列・垣根全景 東から



3・4A1区02号竪穴状遺構全景 南西から



4・4A1区03号竪穴状遺構全景 西から



4・4A1区04号竪穴状遺構全景 西から



5・4A1区05号竪穴状遺構全景 西から



1・4A1区01号溝全景 北東から



2・4AII区02号溝全景 北東から



3・4A1区04号溝全景 西から



4・4A1区01号土坑全景 北から



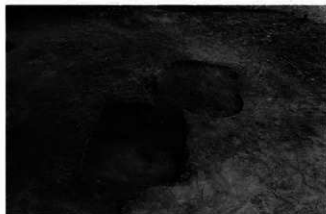
5・4A1区02号土坑全景 西から



6・4A1区03号土坑全景 北から



7・4A1区05号土坑全景 北から



1・4A1区07・08号土坑全景 北から



2・4A1区10号土坑全景 南から



3・4A1区19号墓坑全景 東から



4・4A1区206号土坑全景 東から



5・4A1区208号土坑全景 南から



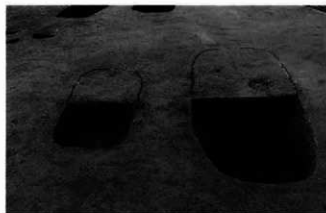
6・4A1区801号土坑全景 南西から



7・4A1区01・02号墓坑全景 東から



8・4A1区03号墓坑全景 南東から



1・4A1区04号墓坑全景 東から



2・4A1区05号墓坑全景 東から



3・4A1区07号墓坑全景 南から



4・4A1区08号墓坑全景 南から



5・4A1区10号墓坑全景 南から



6・4A1区11号墓坑全景 南から



7・4A1区12号墓坑全景 南西から



8・4A1区15号墓坑全景 南から



1・4AⅡ区01号井戸掘り方 南から



2・4AⅡ区01号井戸全景 北から



3・4AⅡ区01号井戸断面 南から



4・4AⅠ区02号井戸全景 西から



1・篠塚四反歩地区 (4B区) 全景 西から



1・森塚四反歩地区（4B区）全景 北東から



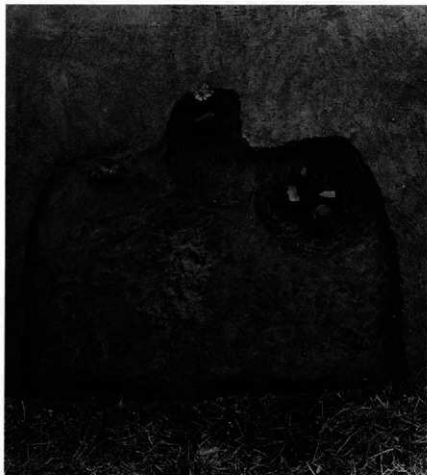
2・森塚四反歩地区（4B区）全景 南から



1・4B区01号住居全景 西から



2・4B区02号住居遺物出土状態 西から



3・4B区02号住居全景 西から



1・4B区03号住居全景 西から



2・4B区03号住居電 西から



3・4B区04号住居全景 西から



1・4B区05号住居電 西から



2・4B区05号住居全景 西から



3・4B区05号住居焼失状態 西から



4・4B区05号住居遺物出土状態 北東から



5・4B区05号住居遺物出土状態 東から



6・4B区05号住居炭化材出土状態 西から



1・4B区06号住居全景 西から



2・4B区06号住居竈 西から



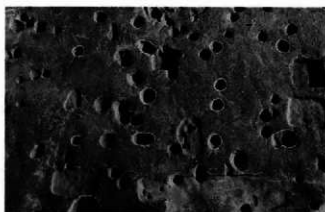
3・4B区06号住居遺物出土状態 西から



4・4B区06号住居遺物出土状態 西から



1・4B区掘立柱建物群全景 南から



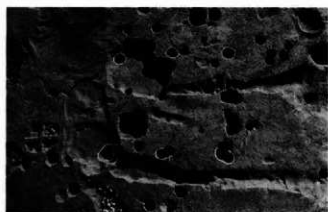
2・4B区01号掘立柱建物全景 西から



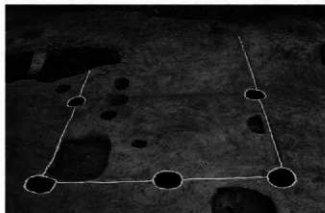
3・4B区02号掘立柱建物全景 西から



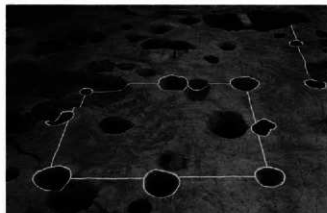
4・4B区03号掘立柱建物全景 西から



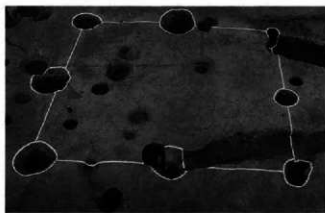
5・4B区04・05号掘立柱建物全景 西から



1・4B区08号掘立柱建物全景 南から



2・4B区09号掘立柱建物全景 南から



3・4B区10号掘立柱建物全景 南から



4・4B区11号掘立柱建物全景 南から



5・4B区08・09・10号掘立柱建物全景 南から



1・4B区01号溝全景 北から



2・4B区02号溝全景 北から



3・4B区03号溝全景 北から



4・4B区02号溝内集積出土状態 南から



5・4B区04号溝全景 南から



6・4B区04号溝内遺物出土状態 南から



7・4B区04号溝セクション 北から



8・4B区04号溝セクション 南から



1・4B区05号溝全景 南から



2・4B区05号溝遺物出土状態 南から



3・4B区06号溝全景 南西から



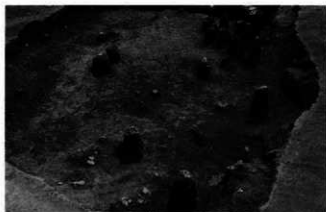
4・4B区08・09・10号溝全景 南西から



5・4B区11号溝全景 南から



6・4B区旧河道全景 西から



7・4B区旧河道遺物出土状態 西から



8・4B区旧河道遺物出土状態 東から



1・4B区01号土坑全景 西から



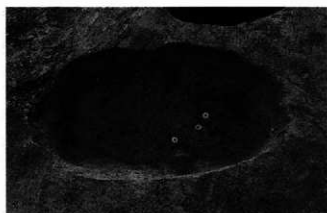
2・4B区03号土坑全景 北から



3・4B区03号土坑遺物出土状態 西から



4・4B区15・16・18・19・25号土坑全景 北から



5・4B区32号土坑全景 東から



6・4B区137号土坑全景 東から



7・4B区142・242号土坑全景 西から



8・4B区233・234号土坑全景 北から



1・4B区244・245号土坑全景 北から



2・4B区246号土坑全景 西から



3・4B区271～300号土坑群全景 南から



4・4B区327号土坑遺物出土状態 北から



5・4B区337号土坑全景 東から



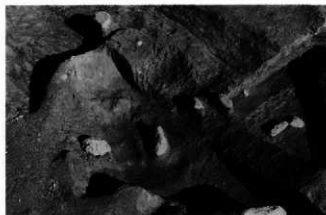
6・4B区337号土坑セクション 東から



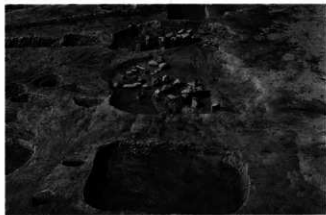
7・4B区375号土坑滑石出土状態 南西から



8・4B区385号土坑全景 南から



1・4B区386号土坑全景 西から



2・4B区429号土坑全景 南から



3・4B区430号土坑全景 南から



4・4B区431号土坑全景 南から



5・4B区432号土坑全景 南から



6・4B区433号土坑全景 東から



7・4B区436号土坑・1085～1088号土坑群全景 南から



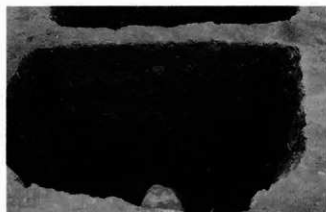
8・4B区442号土坑全景 西から



1・4B区478号土坑（19掘立-P4）遺物出土状態 南から



2・4B区469号土坑全景 南から



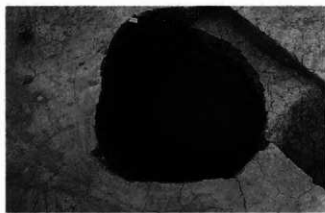
3・4B区551号土坑セクション 南から



4・4B区602号土坑全景 北から



5・4B区607・608号土坑全景 北から



6・4B区651号土坑全景 南から



7・4B区652号土坑全景 南から



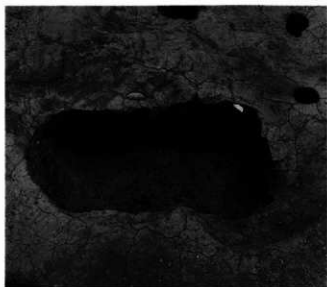
8・4B区673号土坑全景 南から



1・4B区672号土坑(23掘立P-8)全景 北西から



2・4B区705号土坑セクション 南から



3・4B区706号土坑全景 西から



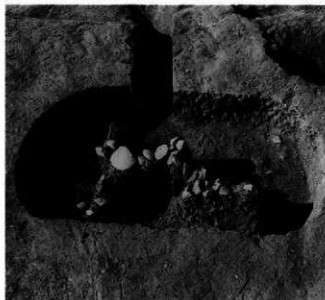
4・4B区721号土坑全景 東から



5・4B区830号土坑全景 南から



6・4B区838号土坑全景 北から



1・4B区01号墓坑全景 北西から



2・4B区05号墓坑全景 東から



3・4B区03号墓坑全景 南東から



4・4B区03号墓坑人骨出土状態 南東から



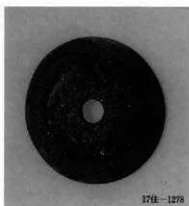
5・4B区04号墓坑全景 西から



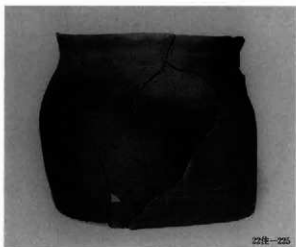
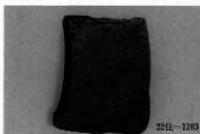
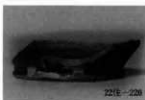
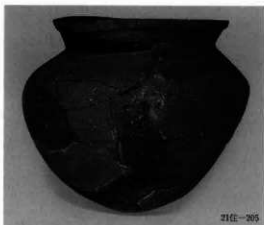
6・4B区04号墓坑人骨出土状態 西から

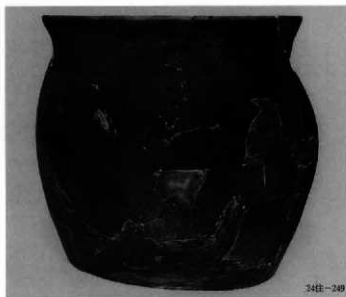




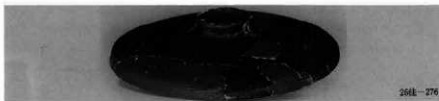








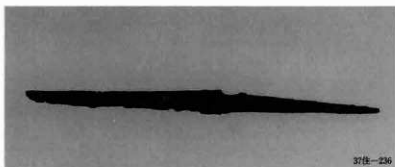




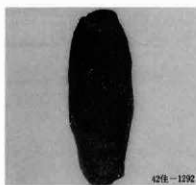
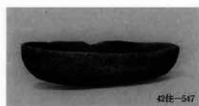


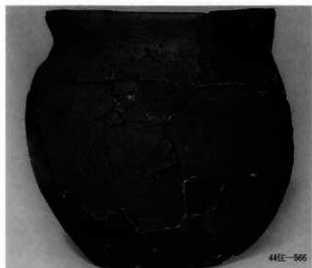
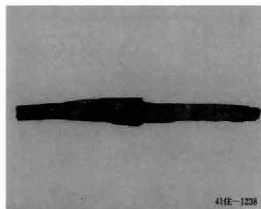
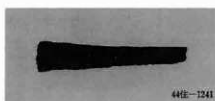




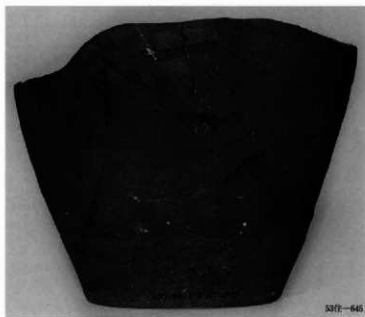


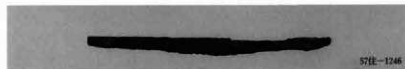
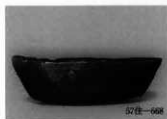
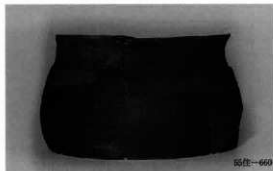


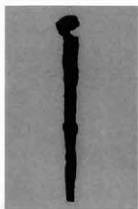




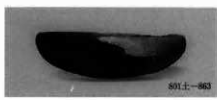
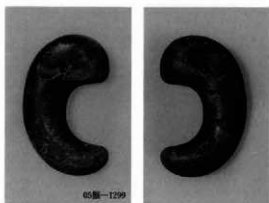


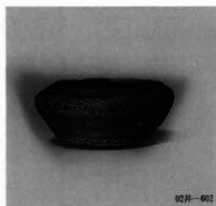


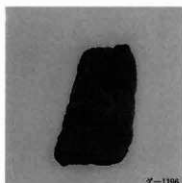
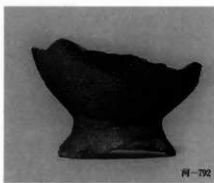










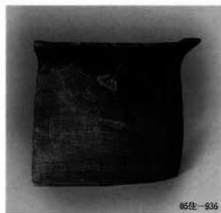




05住-927



05住-928



05住-936



05住-929



05住-930



05住-920



06住-919



06住-905



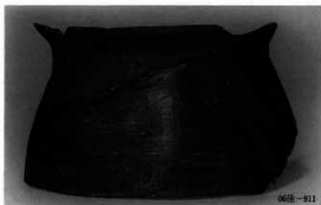
06住-907



06住-908



06住-906

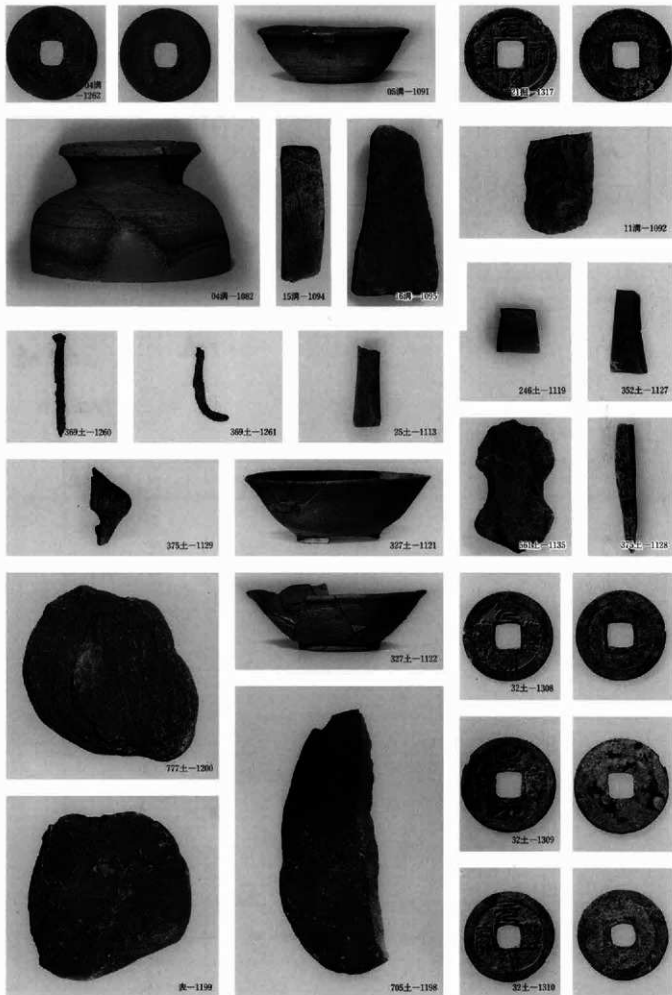


06住-911

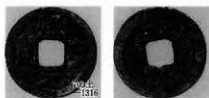


06住-909

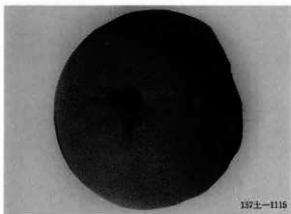




4 B区04·05·11·15·16号洞·31号甬立柱建物·25·32·246·327·352·361·369·375·561·705·777号土坑·表探出土遗物

137坑
—1229137坑
—1316

137土—1116



137土—1115



河—1049



河—1050



河—1051



河—1052



河—1053



河—1054



河—1141



河—1142



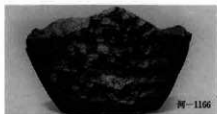
河—1109



河—1159



河—1161



河—1166



4溝—1098



グ—1190



グ—1177





1・5区全景 東から



2・5区東側三角地 西から



1・5区01号住居全景 西から



2・5区01号住居電 西から



3・5区01号住居電 南から



4・5区02号住居全景 西から



5・5区02号住居電 西から



1・5区03号住居全景 南西から



2・5区03号住居電 南西から



3・5区03号住居土層断面 南から



4・5区04号住居全景 西から



5・5区04号住居電 西から



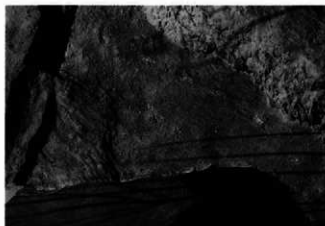
1・5区05号住居全景 南西から



2・5区05号住居電 南西から



3・5区06号住居全景 北から



4・5区06号住電 西から



5・5区07号住居全景 北から



1・5区08号住居全景 西から



2・5区09号住居全景 南西から



1・5区08号住居電 西から



2・5区09号住居電 南西から



3・5区10号住居土層断面 北から



4・5区11号住居電 西から



5・5区11号住居全景 西から



1・5区10・37号土坑全景 南から



2・5区11号土坑全景 南から



3・5区34号土坑全景 北西から



4・5区01号溜井全景 南西から



5・5区01号溜井全景 東から



6・5区01号焼土遺構断面 西から



7・5区02号焼土遺構断面 南西から



8・5区03号焼土遺構断面 南東から





1・5A区04号溝全景 北西から



2・5A区重複状態 13・15号住居 西から



1・5A区01号住居全景 西から



2・5A区01号住居遺物出土状態



1・5A区01号住居廻り方 西から



2・5A区02号住居遺物出土状態 西から



3・5A区02号住居遺物出土状態 西から



4・5A区02号住居遺物 西から



5・5A区03号住居全景 西から



1・5A区03号住居掘り方 西から



2・5A区03号住居電 西から



3・5A区03号住居貯蔵穴遺物出土状態 西から



4・5A区03号住居電掘り方 西から



5・5A区03号住居遺物出土状態 西から



6・5A区03号住居電セクション 西から



7・5A区03号住居柱穴セクション 南から



8・5A区03号住居電掘り方 西から



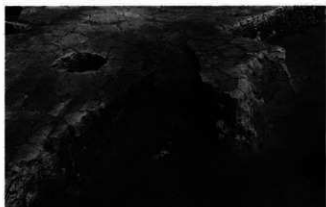
1・5A区04号住居全景 西から



2・5A区04号住居電 西から



3・5A区05号住居全景 南西から



4・5A区05号住居電 北西から



5・5A区06号住居全景 西から



6・5A区06号住居電遺物出土状態 西から



7・5A区06号住居貯蔵穴遺物出土状態 北から



8・5A区06号住居貯蔵穴土層断面 東から



1・5 A区07号住居全景 西から



2・5 A区07号住居掘り方 西から



3・5 A区08号住居電遺物出土状態 西から



4・5 A区08号住居電 西から



5・5 A区09号住居全景 西から



1・5A区09号住居掘り方 西から



2・5A区09号住居掘 西から



3・5A区10号住居全景 西から



4・5A区10号住居掘り方 西から



5・5A区10号住居遺物出土状態 西から



1・5A区10号住居電 西から



2・5A区10号住居電 西から



3・5A区11号住居 北西から



4・5A区11号住居電 北西から



5・5A区12号住居全景 西から



1・5A区12号住居掘り方 西から



2・5A区12号住居電 西から



3・5A区13号住居全景 西から



4・5A区13号住居電 西から



4・5A区13号住居貯蔵穴遺物出土状態 東から



1・5 A区14・15号住居全景 西から



2・5 A区14・15号住居掘り方 西から



3・5 A区14号住居電 西から



4・5 A区16号住居全景 東から



5・5 A区17号住居全景 西から



1・5A区18号住居・04号溝全景 北西から



2・5A区17号住居電 西から



3・5A区18号住居電 西から



4・5A区18号住居掘り方 西から



5・5A区18号住居04・06・07号溝全景 北西から



1・5A区02号溝 全景 西から



2・5A区02号溝 西から



3・5A区02号溝 東から



4・5A区08号住居・02号溝 西から



5・5A区03号溝 北から



6・5A区04号溝 南東から



7・5A区04号溝 北西から



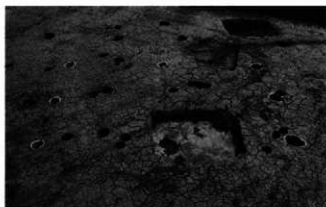
1・5A区04号溝全景 北西から



2・5A区05号溝 東から



3・5A区04・05・06・07号溝全景 東から



4・5A区01号掘立柱建物 北から



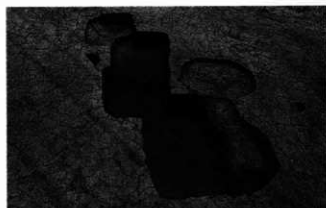
5・5A区02号掘立柱建物 北から



1・5A区土坑群 北から



2・5A区87号土坑全景 南西から



3・5A区201・202・203・204・205号土坑全景 西から



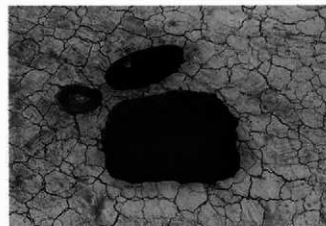
4・5A区206号土坑全景 西から



5・5A区221号土坑全景 南から



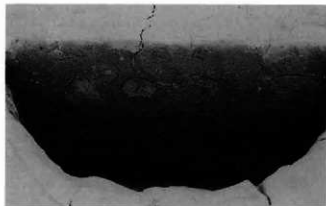
6・5A区241・242号土坑全景 西から



7・5A区247・248・249号土坑全景 北から



8・5A区251号土坑全景 東から



1・5 A区256号土坑断面 南から



2・5 A区257号土坑断面 西から



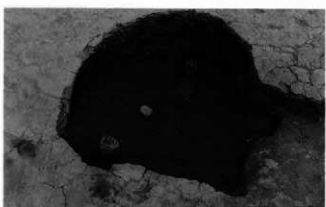
3・5 A区270号土坑全景 南東から



4・5 A区275号土坑全景 南東から



5・5 A区283・284号土坑全景 南から



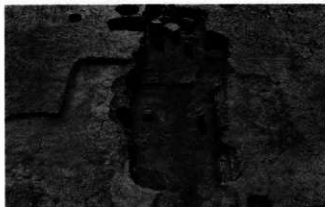
6・5 A区313号土坑全景 西から



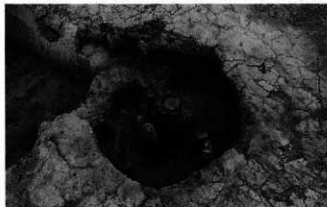
7・5 A区331・333号土坑全景 西から



8・5 A区289・290・292・293・334号土坑全景 西から



1・5A区378・379号土坑遺物出土状態 東から



2・5A区402号土坑遺物出土状態 東南から



3・5A区404号土坑残土 南から



4・5A区405号土坑全景 南から



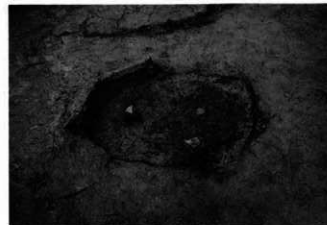
5・5A区406号土坑全景 東から



6・5A区413号土坑セクション 南から



7・5A区414号土坑断面 南西から



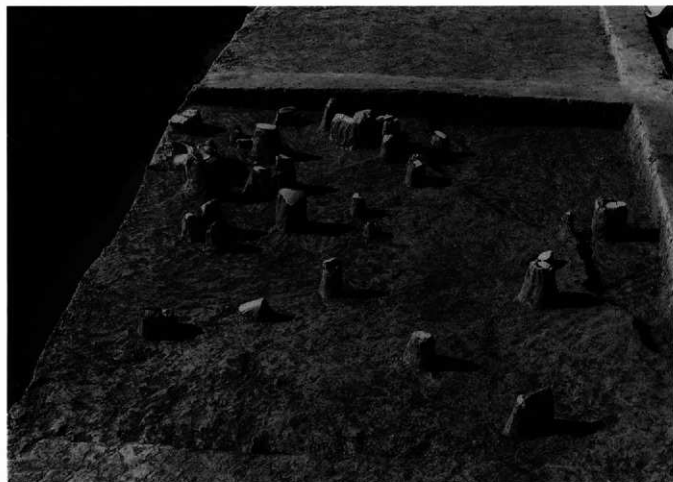
8・5A区01墓坑全景 東から



1・下大塚北原地区 (5B区) 全景 西から



1・5B区全景 東から



2・5B区グリッド遺物出土状態 東から



1・5B区01号住居遺物出土状態 西から



2・5B区01号住居掘り方 西から



3・5B区01号住居竈 西から



4・5B区01号住居内土坑遺物出土状態 北から



5・5B区01号住居遺物出土状態・No402 西から



1・5B区02号住居全景 西から



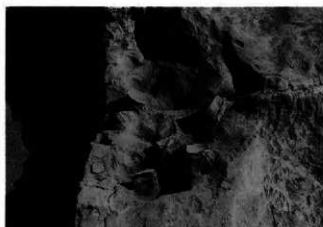
2・5B区02号住居電 西から



3・5B区03号住居電 西から



4・5B区03号住居全景 西から



5・5B区03号住居掘り方遺物出土状態 西から



6・5B区03号住居内土坑遺物出土状態 南から



1・5B区03号住居掘り方遺物出土状態 東から



2・5B区04号住居全景 西から



3・5B区05号住居遺物出土状態 東から



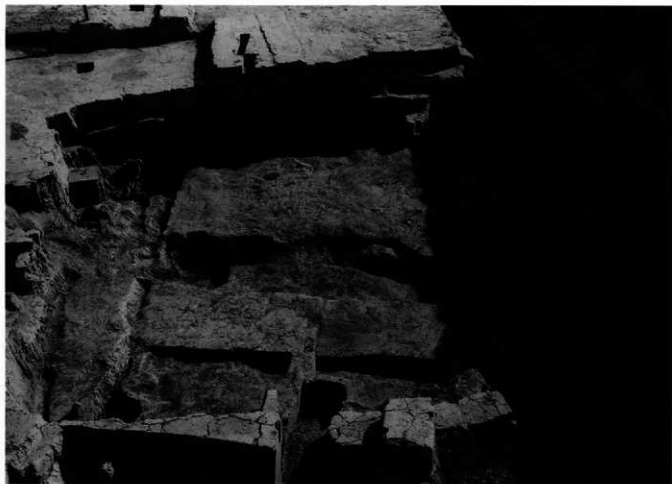
4・5B区05号住居全景 東から



5・5B区06号住居電出土状態 西から



6・5B区06号住居電線道部出土状態 西から



1・5B区06号住居全景 西から



2・5B区06号住居第1・2・3電 西から



3・5B区06号住居遺物出土状態 西から



4・5B区07号住居遺物出土状態 南から



5・5B区07号住居全景 東から



1・5B区08号住居竈出土状態 南から



2・5B区09号住居竈出土状態 南から



3・5B区10号住居全景 南から



4・5B区10号住居竈出土状態 南から



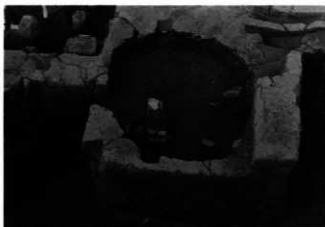
5・5B区10号住居竈断面 南から



1・5B区11号住居全景 西から



2・5B区11号住居竪出土状態 西から



3・5B区11号住居貯蔵穴遺物出土状態 南から



4・5B区12号住居竪 西から



5・5B区12号住居掘り方 西から



1・5B区12号住居全景 西から



2・5B区12号住居遺物出土状態 西から



3・5B区13号住居遺物出土状態 北から



4・5B区13号住居全景 南から



1・5B区14号住居電 東から



2・5B区14号住居電掘り方 東から



3・5B区14号住居全景 東から



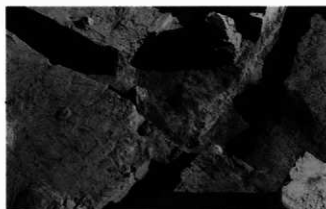
4・5B区15号住居全景 北西から



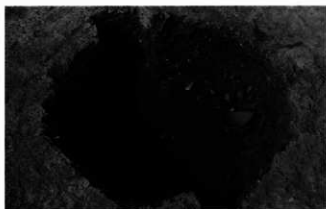
5・5B区15号住居断面 北西から



1・5B区01号独立柱建物全景 東から



2・5B区20号土坑全景 南西から



3・5B区59号土坑全景 東から



4・5B区18号土坑遺物出土状態 南東から



5・5B区01号土器置り全景 西から



1・下大塚北原地区 (6区) 全貌 東から



1・6区掘立柱建物群全景 西から



2・6区側道部分全景 東から



1・6区01号住居全景 南西から



2・6区01号住居電 南西から



3・6区01号住居貯蔵穴遺物出土状態 南西から



4・6区01号住居電遺物出土状態 西から



5・6区01号住居遺物(圓礫石) 西から



1・6区02号住居全景 南西から



2・6区02号住居竈遺物出土状態 南西から



3・6区02号住居竈 南西から



4・6区03a号住居竈遺物出土状態 南西から



5・6区3a号住居遺物出土状態 北西から



1・6区03a号住居全景 西から



2・6区03b号住居全景 西から



1・6区03b号住居貯蔵穴遺物出土状態 西から



2・6区03a・b号住居掘り方 西から



3・6区04号住居全景 南西から



4・6区04号住居竈 南西から



5・6区04号住居遺物出土状態№1119 西から



1・6区05号住居全景 西から



2・6区05号住居竈 西から



3・6区05号住居竈遺物出土状態 西から



4・6区05号住居遺物出土状態 西から



5・6区05号住居遺物出土状態№1132 西から



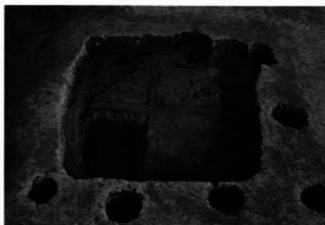
1・6区06号住居全景 西から



2・6区06号住居竈遺物出土状態 西から



3・6区06号住居竈 西から



4・6区06号住居掘り方 西から



5・6区06号住居内土坑 東から



1・6区07号住居全景 南西から



2・6区07号住居電 南西から



3・6区07号住居電遺物出土状態 西から



4・6区07号住居遺物出土状態 南西から



5・6区07号住居遺物出土状態 東から



1・6区08号住居全景 南西から



2・6区08号住居遺物出土状態 南西から



3・6区08号住居 南西から



4・6区08号住居遺物出土状態 南西から



5・6区08号住居遺物出土状態 西から



1・6区09号住居全景 西から



2・6区09号住居掘り方 西から



3・6区09号住居遺物出土状態 西から



5・6区09号住居遺物出土状態 西から



4・6区09号住居竈 西から



1・6区10号住居全景 南西から



2・6区10号住居電 南西から



3・6区10号住居遺物出土状態№1175 南西から



4・6区11号住居遺物出土状態 西から



5・6区12号住居遺物出土状態 西から



1・6区11号住居全景 南西から



2・6区12号住居全景 西から



3・6区13号住居竈内遺物出土状態 西から



4・6区13号住居掘り方 西から



1・6区13号住居全景 西から



2・6区14号住居全景 西から



1・6区14号住居電 西から



2・6区15号住居電 南西から



3・6区15号住居全景 南西から



4・6区16号住居電 西から



5・6区16号住居遺物出土状態 西から



1・6区16号住居全景 西から



2・6区16号住居貯蔵穴遺物出土状態 北西から



3・6区16号住居階段状遺構炭化材出土状態 西から



4・6区16号住居縦紐質敷物出土状態 北から



5・6区16号住居壁の屋根 西から



1・6区17号住居電崩塌断面 南西から



2・6区17号住居電 西から



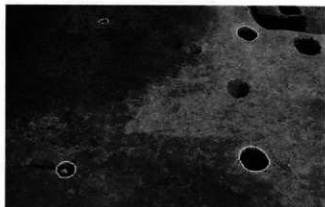
3・6区17号住居・247号土坑全景 西から



4・6区01号掘立全景 西から



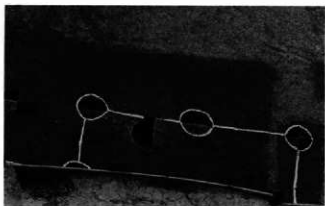
5・6区02号掘立、06号住居全景 西から



1・6区03号掘立柱建物全景 西から



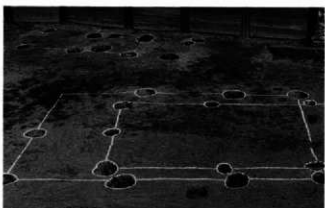
2・6区04号掘立柱建物全景 東から



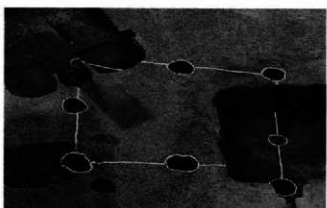
3・6区05号掘立柱建物 東から



4・6区05・06号掘立柱建物 西から



5・6区07・18号掘立柱建物全景 西から



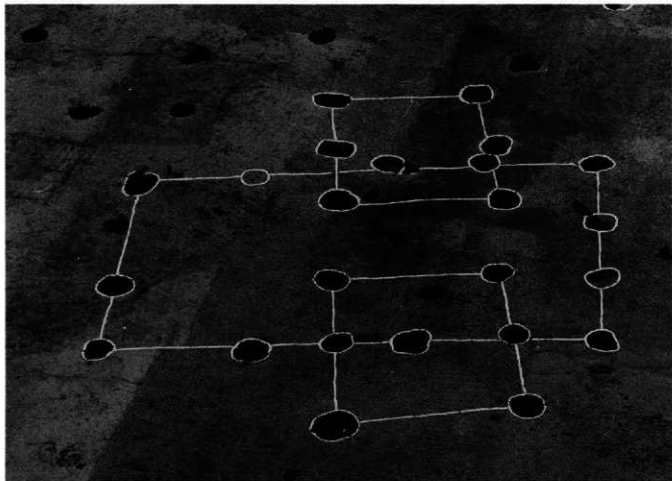
6・6区08号掘立柱建物全景 東から



7・6区12号掘立柱建物全景 東から



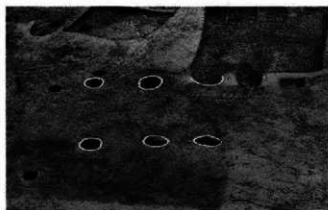
8・6区13・14号掘立柱建物全景 西から



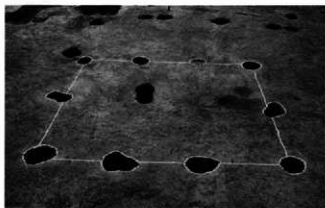
1・6区09・10・11号掘立柱建物全景 東から



2・6区15号掘立柱建物・01号溝全景 東から



3・6区16号掘立柱建物全景 東から



4・17号掘立柱建物全景 東から



5・6区19号掘立柱建物全景 西から



1・6区掘立柱建物群全景 東から



2・6区掘立柱建物群全景 東から



1・6区01号溝全景 西から



2・6区02号溝全景 南西から



3・6区04号溝全景 東から



4・6区04号溝分岐状態 北から



5・6区04号溝土層断面 東から



6・6区06号溝、247・248号土坑全景 北から



1・6区07・08号溝全景 北から



2・6区07・08号溝全景 西から



3・6区07号溝内離出土状態 東から



4・6区01号井戸土層断面 北から



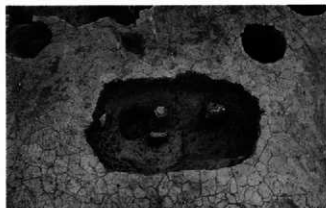
5・6区222号土坑内遺物出土状態 東から



1・6区247号土坑全景 東から



2・6区248号土坑全景 北から



3・6区249号土坑全景 東から



4・6区280号土坑全景 南から



5・6区01号墓坑全景 東から



6・6区02号墓坑全景 西から



7・6区03号墓坑全景 西から



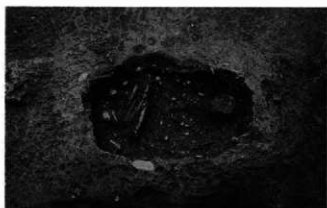
8・6区04号墓坑全景 西から



1・6区05号墓坑全景 東から



2・6区06号墓坑全景 南から



3・6区07号墓坑全景 東から



4・6区07号墓坑人骨出土状態 東から



5・6区墓坑群 南から



1・6区08号墓坑全景 南から



2・6区08・09号墓坑 西から



3・6区10号墓坑全景 南から



4・6区北壁基本土層 南から



5・6区水田址全景 西から



1・6区水田址 東から



2・6区水田址 西から





1・7区全景 西から



2・7区溝群 南から



1・7区01号住居全景 西から



2・7区01号住居掘り方 西から



3・7区01号住居電 西から



4・7区02号住居掘り方 西から



5・7区02号住居電 西から



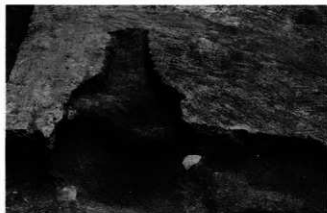
1・7区02号住居全景 西から



2・7区03号住居全景 西から



1・7区03号住居電 西から



2・7区03号住居電掘り方 西から



3・7区04号住居全景 西から



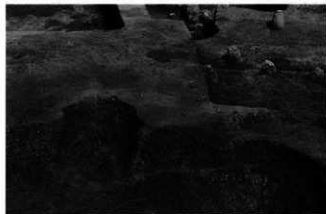
4・7区04号住居掘り方 西から



5・7区04号住居電 西から



1・7区04号住居遺物出土状態 西から



2・7区04号住居・貯蔵穴 西から



3・7区05号住居全景 西から



4・7区05号住居 西から



5・7区05号住居遺物出土状態 西から



1・7区06号住居全景 西から



2・7区06号住居掘り方 西から



3・7区06号住居遺物出土状態 西から



4・7区06号住居電 西から



5・7区06号住居電付近遺物出土状態 西から



1・7区07号住居全景 西から



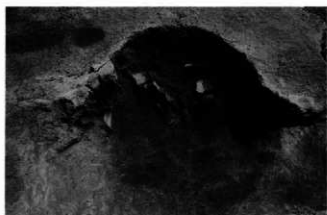
2・7区07号住居竈 西から



3・7区07号住居貯蔵穴遺物出土状態 北西から



4・7区07・08号住居掘り方 西から



5・7区08号住居竈 西から



1・7区01・08号住居遺物出土状態、07号住居出土状態 西から



2・7区09号住居全景 西から



1・7区10号住居全景 西から



2・7区10・11号住掘り方 西から



3・7区10号住居電 西から



4・7区10号住居・11号住居掘り方 西から



5・7区11号住居電 西から



1・7区11号住居全景 西から



2・7区12号住居全景 西から



1・7区12号住居掘り方 西から



2・7区12号住居竈 西から



3・7区13号住居全景 西から



4・7区13号住居掘り方 西から



5・7区13号住居遺物出土状態 西から



1・7区13号住居電 西から



2・7区13号住居電遺物出土状態 西から



3・7区14号住居全景 西から



4・7区14号住居掘り方 西から



5・7区14号住居電 西から



1・7区15号住居全景 西から



2・7区15号住居掘り方 西から



3・7区15号住居電 西から



4・7区16号住居全景 西から



5・7区16号住居電 西から



7区16号住居掘り方 西から



7区17号住居全景 西から



1・7区17号住竈 西から



2・7区17号住居竈出土状態 西から



3・7区18号住居全景 西から



4・7区18号住居掘り方 西から



5・7区18号住居竈 西から



1・7区19号住居全景 西から



2・7区19号住居掘り方 西から



3・7区19号住居遺物出土状態 西から



4・7区19号住居電 西から



5・7区19号住居電遺物出土状態 西から



1・7区19号住居竈・貯藏穴遺物出土状態 西から



2・7区20号住居掘り方 西から



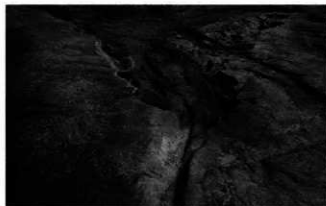
3・7区20号住居全景 東から



4・7区01号溝全景 西から



5・7区02号溝全景 北から



1・7区03号溝全景 北西から



2・7区04号溝全景 南から



3・7区04号溝内雑群 東から



4・7区06号溝全景 北から



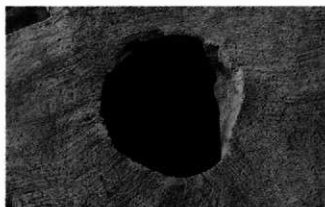
5・7区02・04号溝重複部分 南から



1・7区01号土坑断面 南東から



2・7区04号土坑全景 西から



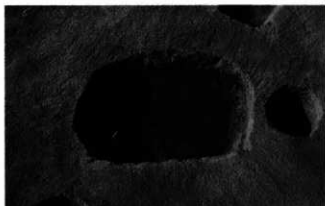
3・7区05号土坑全景 南から



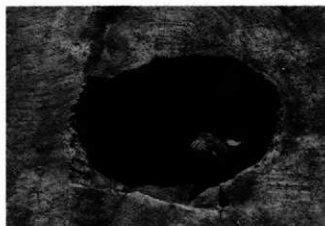
4・7区07号土坑全景 南から



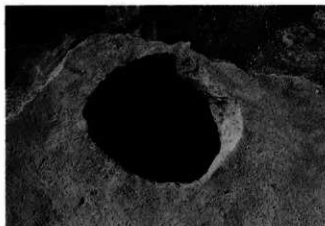
5・7区12号土坑全景 南から



6・7区14号土坑全景 南から



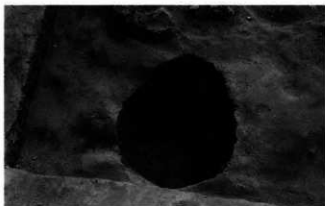
7・7区16号土坑全景 東から



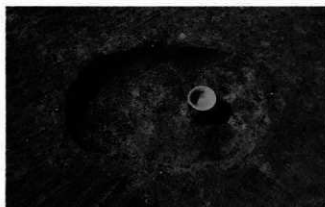
8・7区17号土坑全景 南から



1・7区21号土坑全景 東から



2・7区28号土坑全景 西から



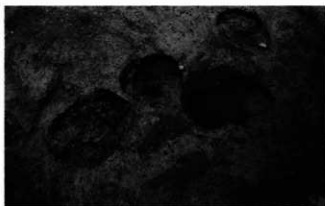
3・7区33号土坑全景 東から



4・7区34号土坑セクション 西から



5・7区35号土坑全景 西から



6・7区36号土坑全景 西から



7・7区37号土坑全景 西から



8・7区38号土坑全景 西から



1・7区43号土坑全景 南から



2・7区46号土坑全景 南から



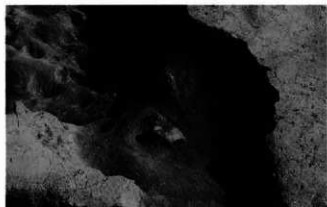
3・7区55号土坑全景 東から



4・7区65号土坑全景 北から



5・7区74号土坑全景 北から



6・7区79号土坑全景 南西から



7・7区113・114・115号土坑全景 南から



8・7区02号溝縁辺ビット群 南西から



1・7区02号溝縁辺ピット群 西から



2・7区02号溝縁辺ピット群 西から



3・7区103号土坑全景 北西から



4・7区02号溝縁辺ピット群 北西から



5・7区110号土坑全景 南から



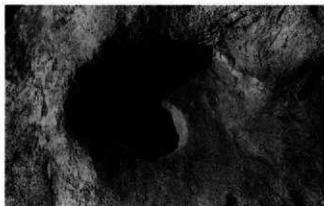
6・7区111・112号土坑全景 南から



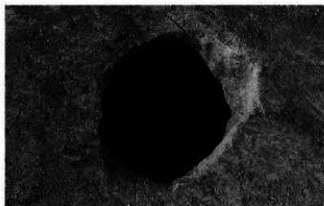
7・113・114・115号土坑全景 南から



8・7区116・117・118号土坑全景 南から



1・7区119号土坑全景 南から



2・7区120号土坑全景 南から



3・7区123号土坑全景 南から



4・7区02号溝縁辺ピット群部分 西から



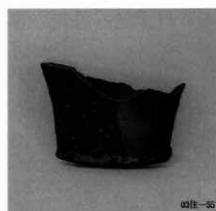
5・7区02号溝縁辺ピット群全景 西から

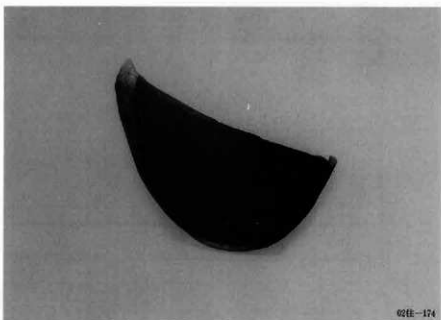
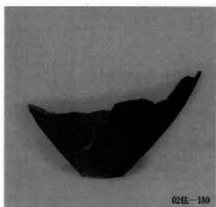
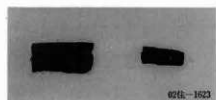
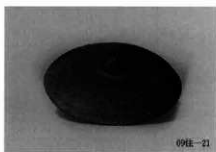
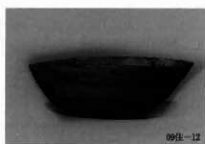


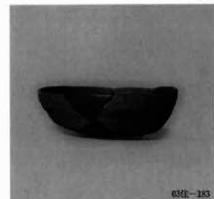
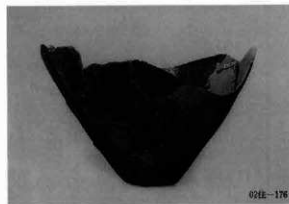
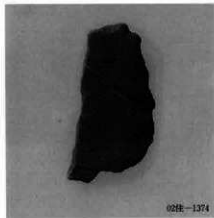
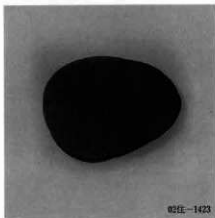
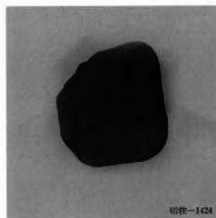
6・7区01号墓坑人骨出土状態 南西から

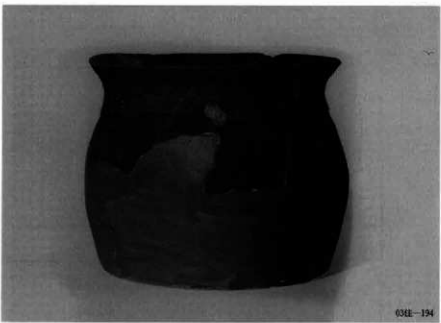
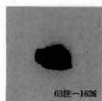
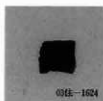
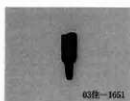


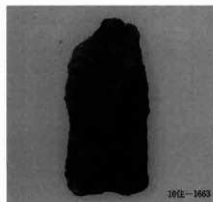
7・7区01号粘土瀝り全景 北から



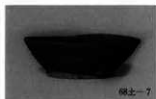
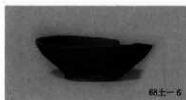
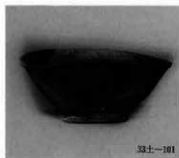
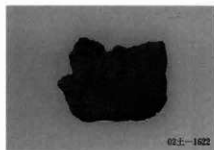




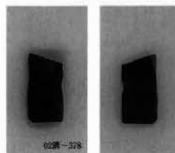
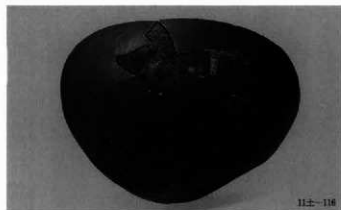








5A区14・17号住居、378土坑、5区02・11・33・68号土坑出土遺物





デ-119



デ-117



デ-119



デ-392



デ-294

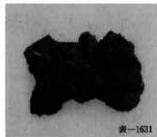


表-1631



01住-402



01住-418



01住-419



01住-420



01住-421



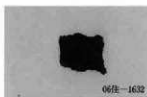
01住-423

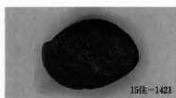
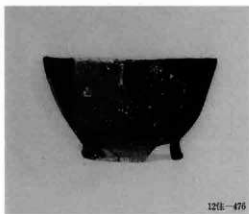
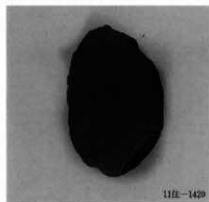


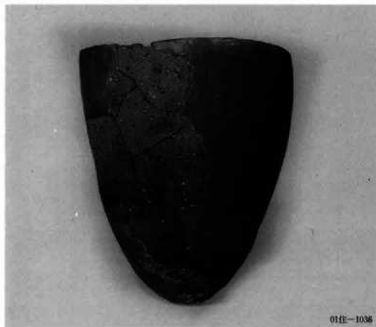
02住-433



02住-434









02住-1141



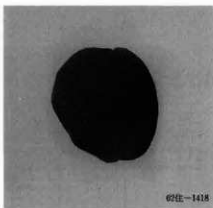
02住-1142



02住-1144



02住-1046



02住-1418



02住-1644



02住-1049



02住-1637



03住-1067



03住-1070



03住-1074



03住-1073



03住-1076



03住-1078



03住-1079



03住-1080



03住-1088



03住-1073



03住-1083



03住-1089



03住-1090



03住-1091



03住-1092



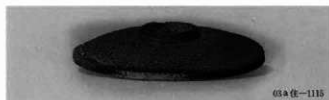
03住-1093



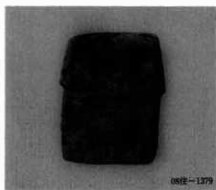
03住-1094

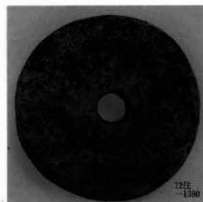
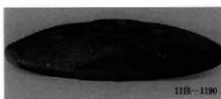
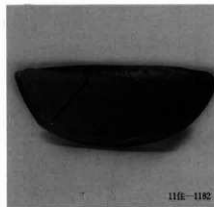
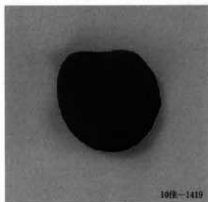
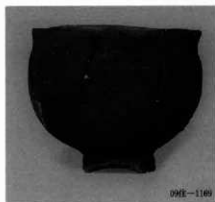


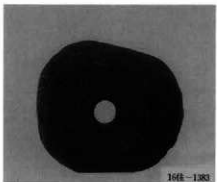
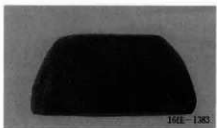
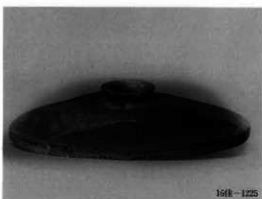
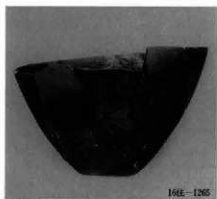
03住-1279

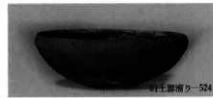
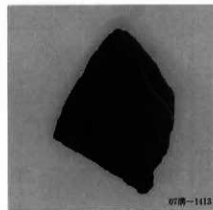
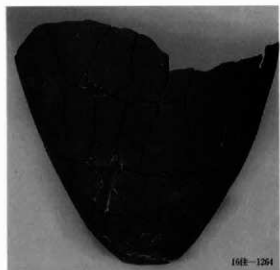
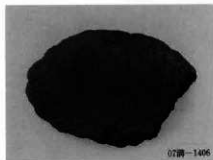




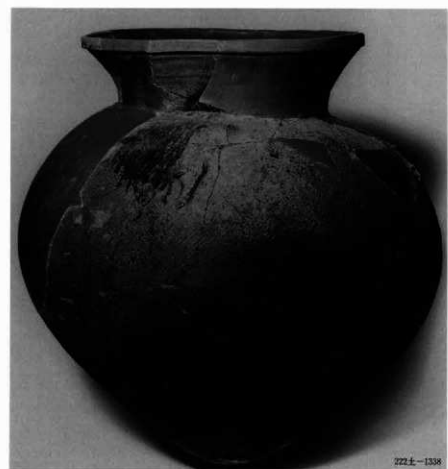
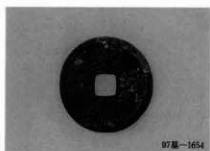
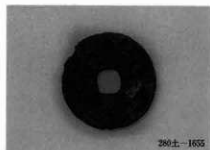


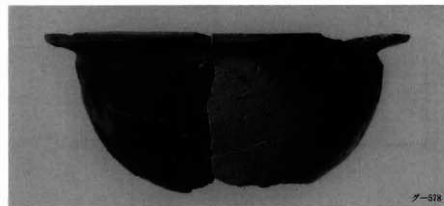
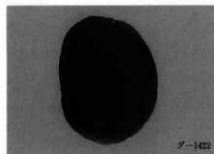
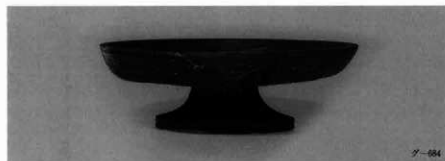
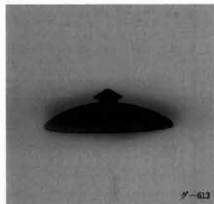
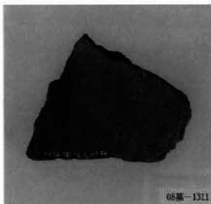
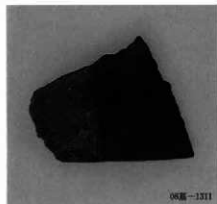
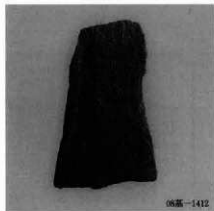


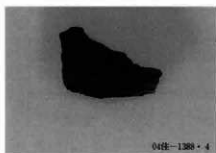
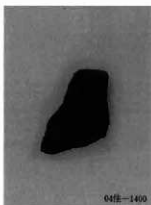
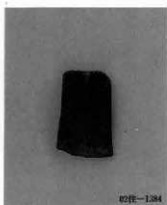
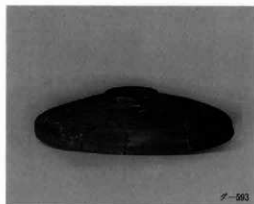


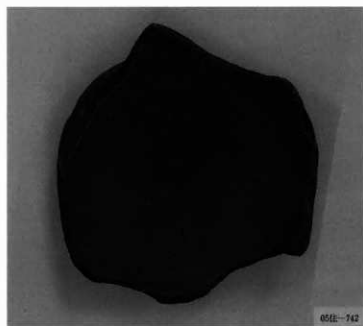
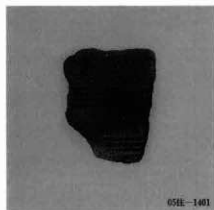
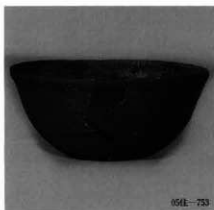


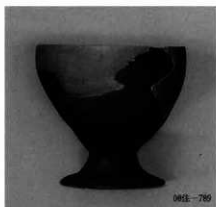
6区16号住居、07号溝、5B区01号土器壺リ出土遺物





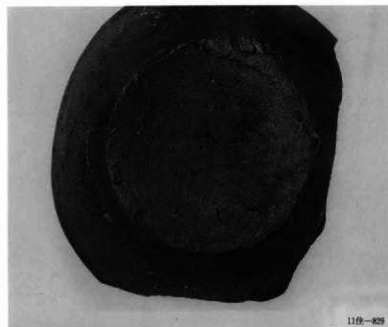


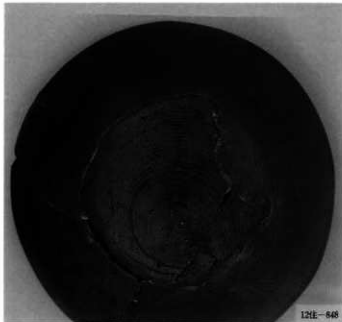


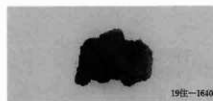
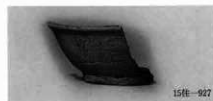
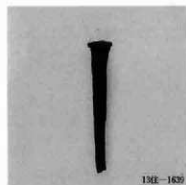


拡大写真

7区07・08・09号住居出土遺物









19住-943



19住-952



19住-963



19住-955



20住-磨石



01溝-1392



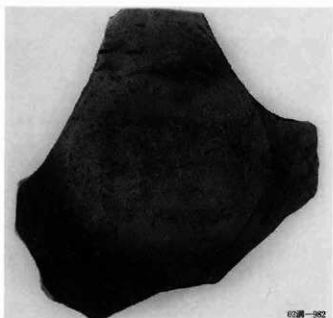
02溝-983



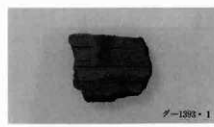
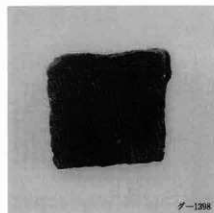
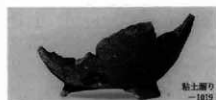
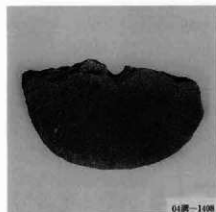
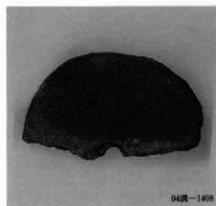
02溝-982



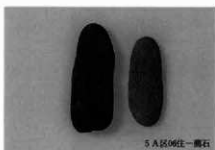
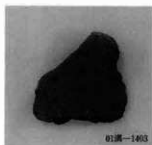
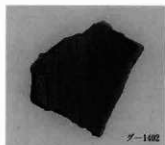
03溝-1642

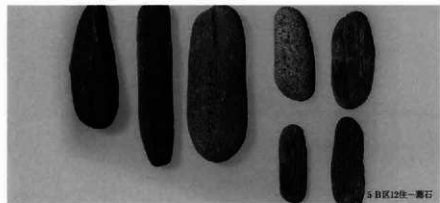
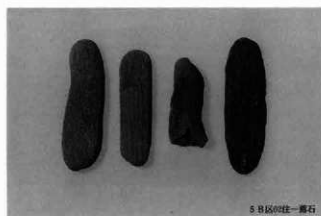
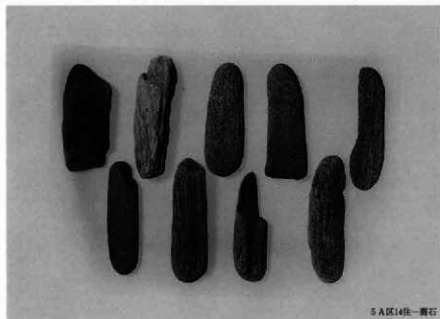


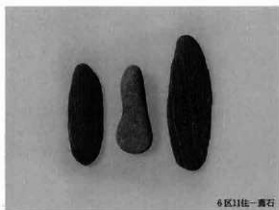
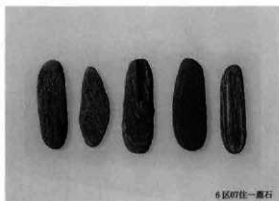
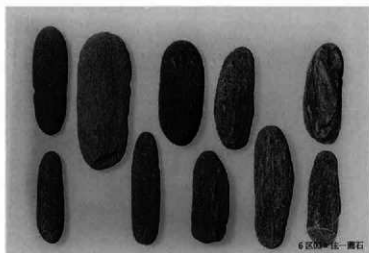
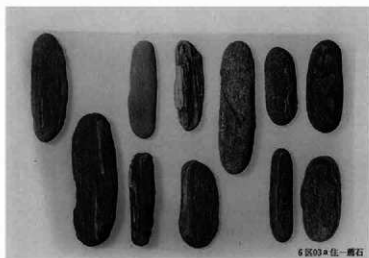
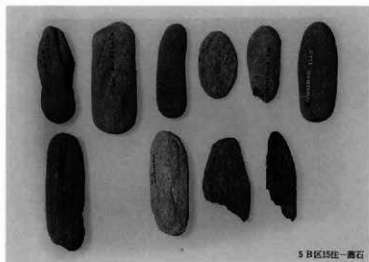
02溝-982



7区04号調、01号粘土層り、08・09トレンチ、グリッド出土遺物





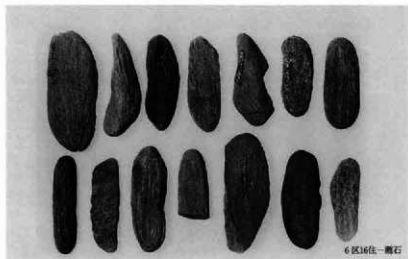




6区09住一磨石



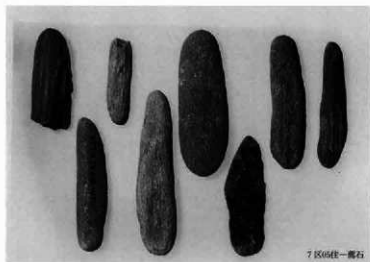
6区12住



6区16住一磨石



6区14住一磨石



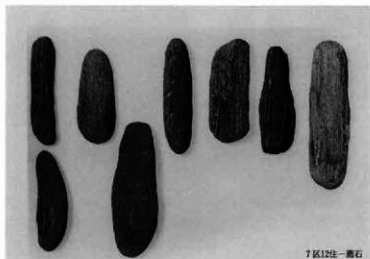
7区05住一磨石



7区02住一磨石



7区09住一磨石



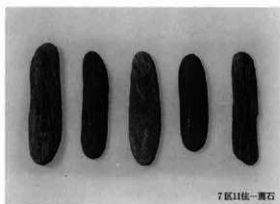
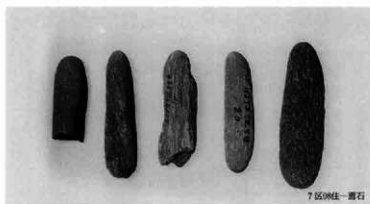
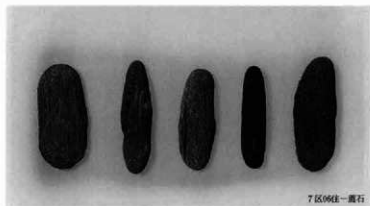
7区12住一磨石



7区04住一磨石



7区19住一磨石



群馬県埋蔵文化財調査事業団
調査報告 第 141 集

上栗須寺前遺跡群 I
第 3 分冊 (自然科学分析・写真図版編)

関越自動車道(上越線)地域埋蔵
文化財発掘調査報告書第13集

平成 6 年 3 月 20 日 印刷

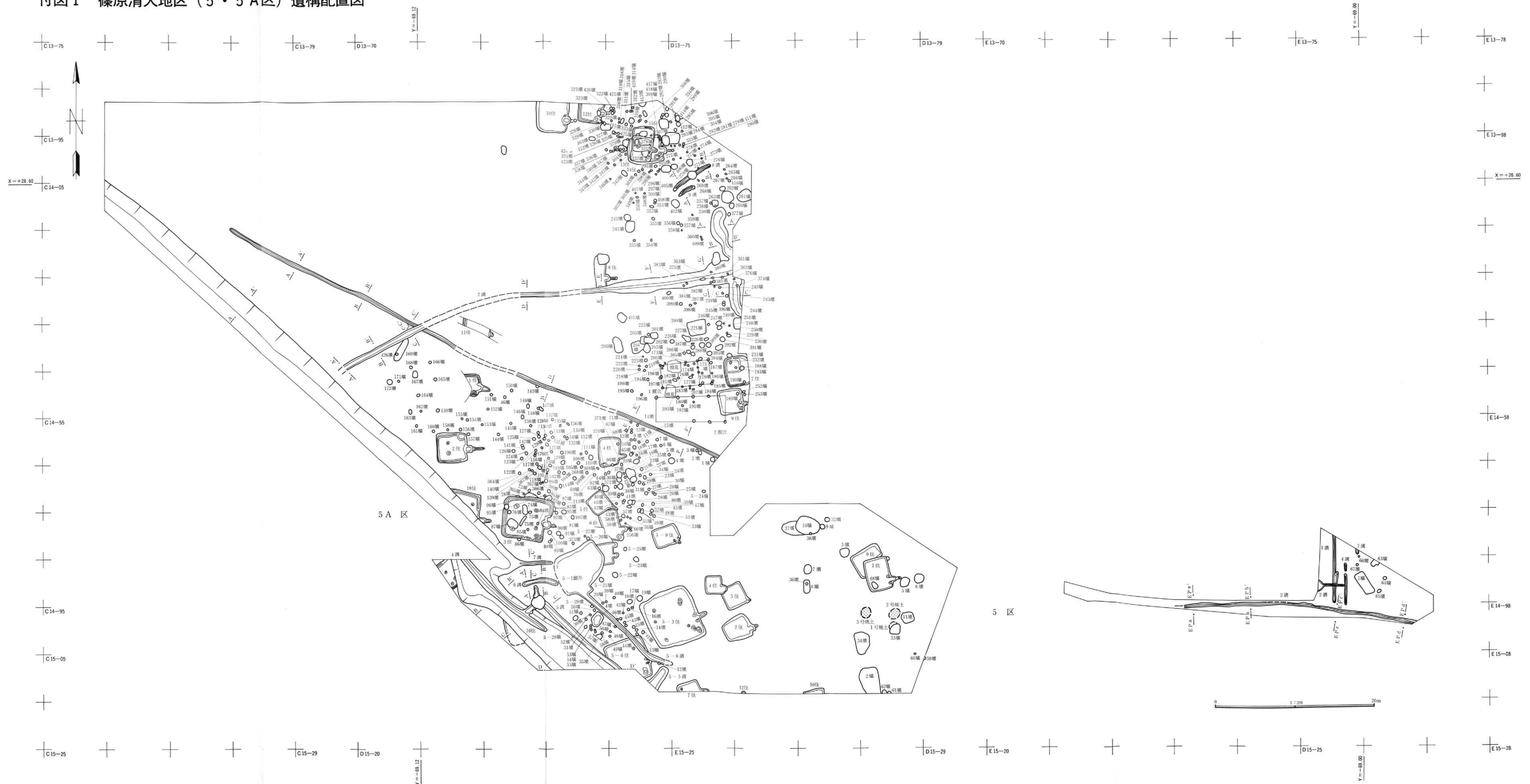
平成 6 年 3 月 25 日 発行

編集／群馬県埋蔵文化財調査事業団
勢多郡北橋村大字下箱田784-2
電話 (0279) 52-2511(代表)

発行／群馬県考古資料普及会
勢多郡北橋村大字下箱田784-2
電話 (0279) 52-2511(代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社

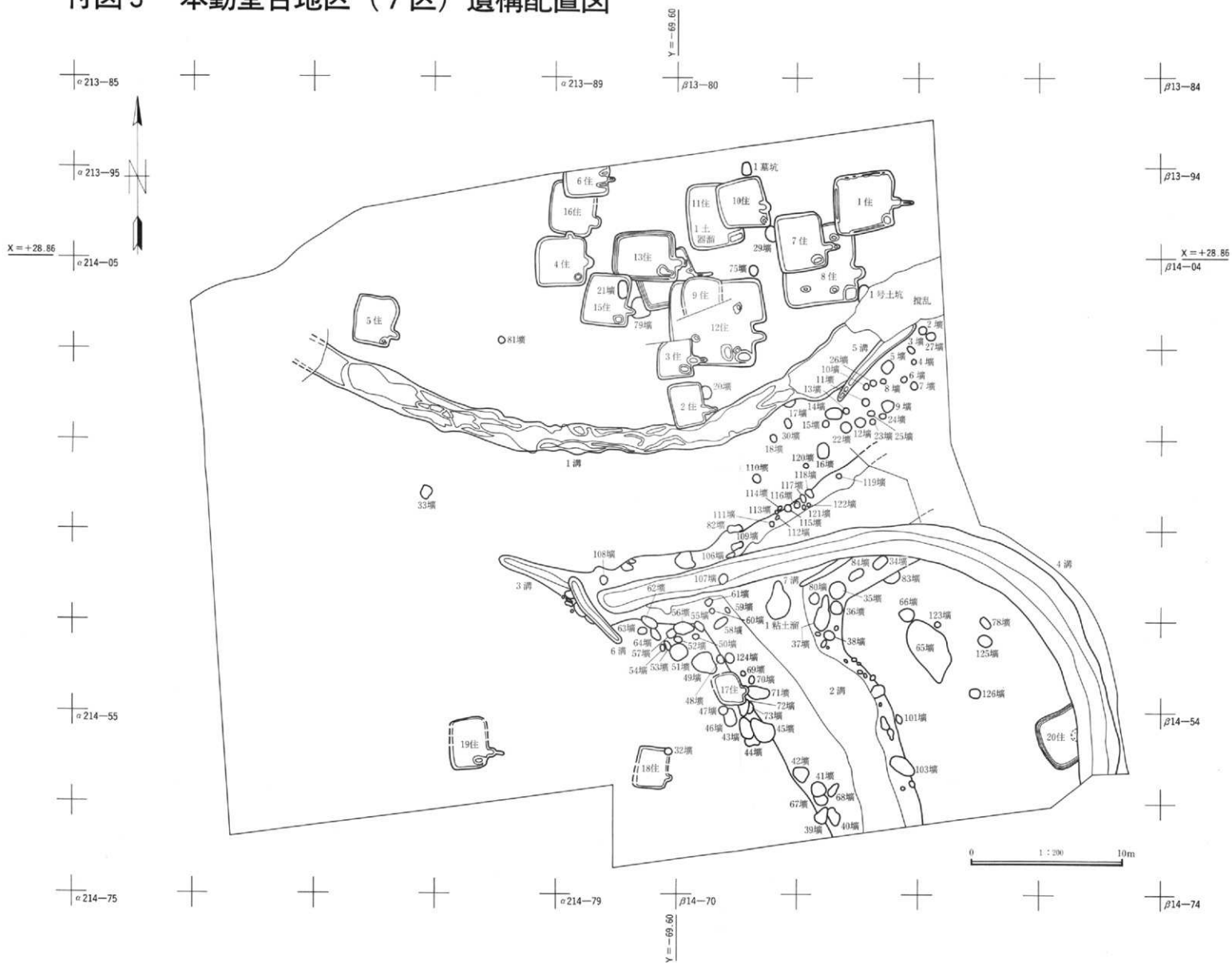
付図1 篠原清大地区 (5・5A区) 遺構配置図



付図2 下大塚北原地区 (6・5B区) 遺構配置図

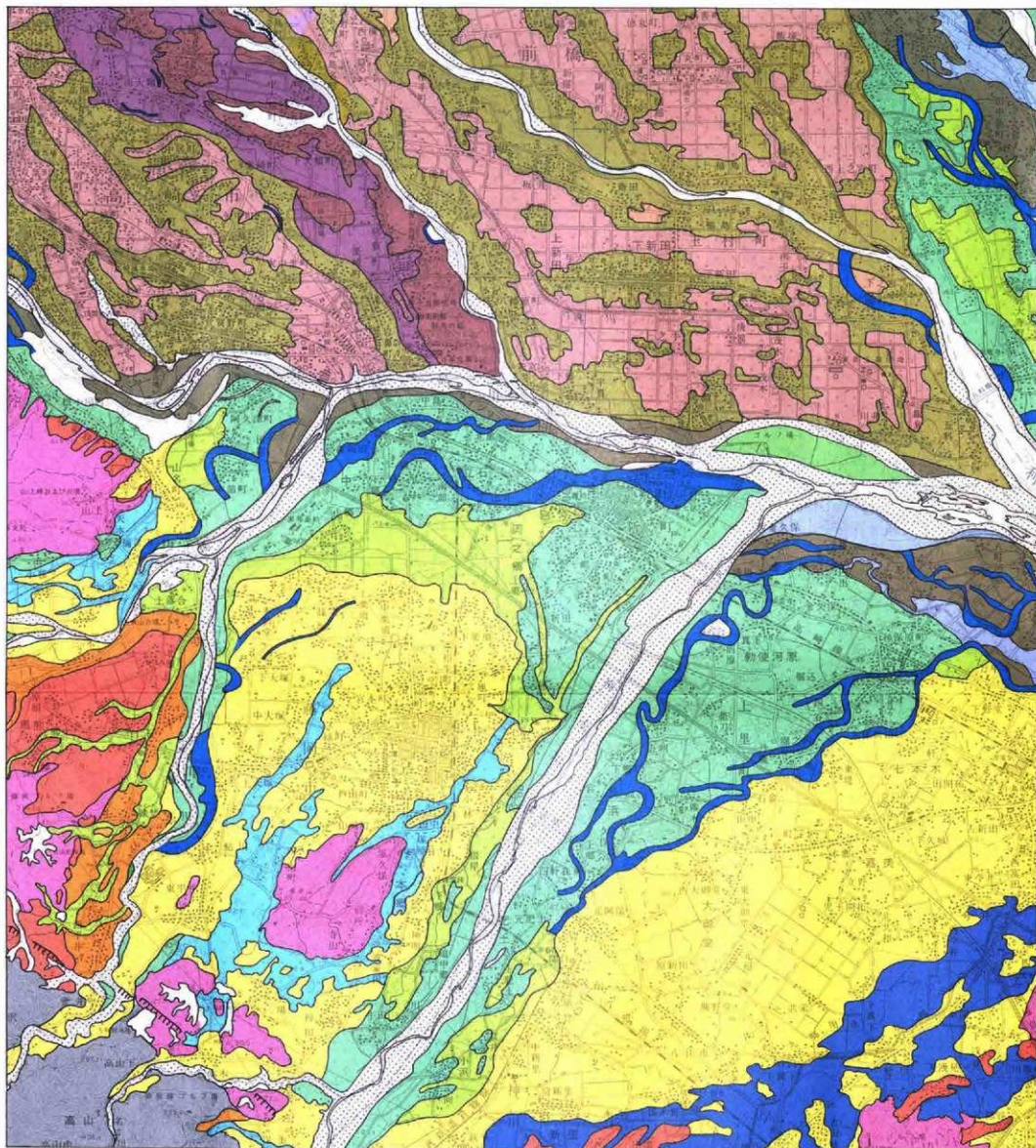


付図3 本動堂台地区 (7区) 遺構配置図



付図5 藤岡台地とその周辺の地形学図

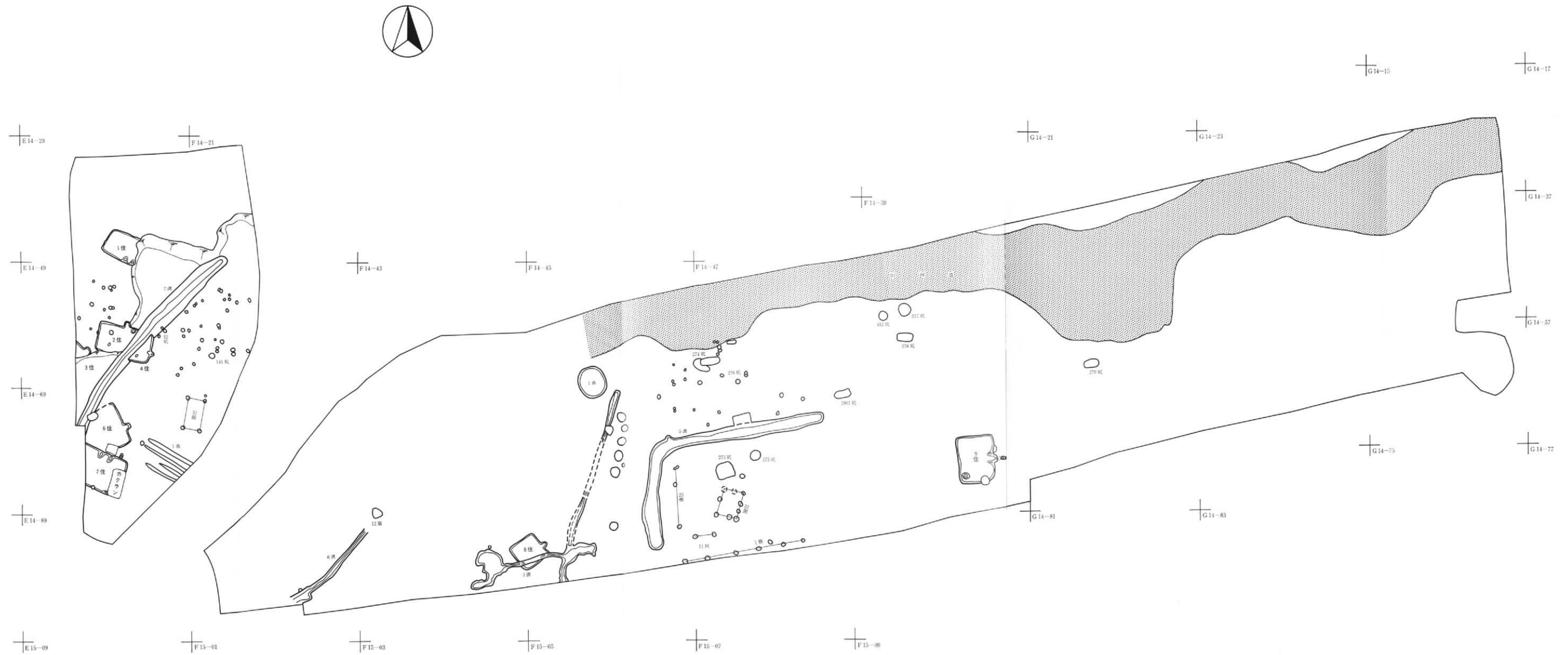
国土地理院「高峰」 1:50,000



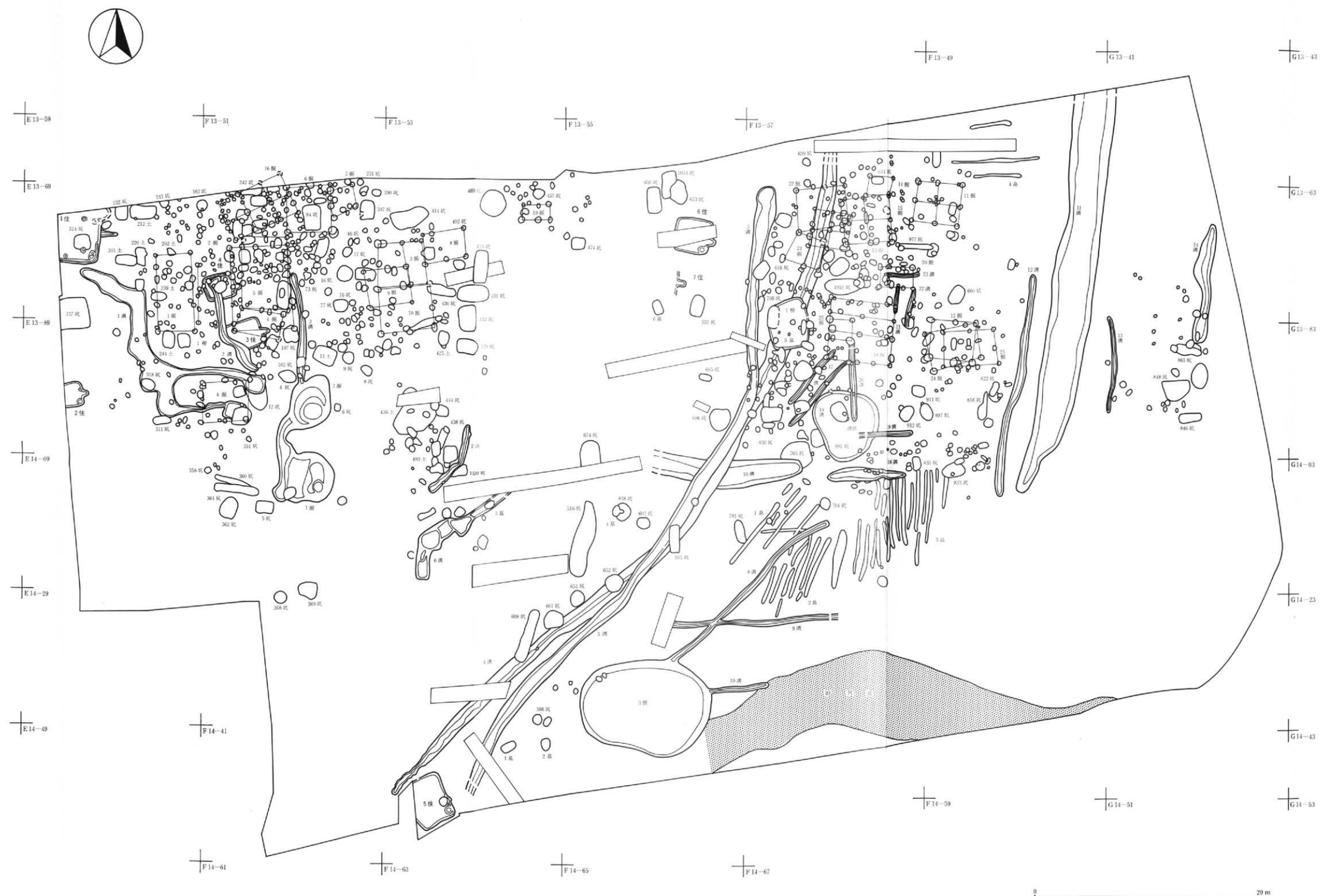
- | | | | |
|---|--|--|---|
|  山地 |  丘陵 |  高位段丘 |  中位段丘 |
|  下位段丘 (微高地) |  下位段丘 (低地部) |  前橋泥流堆積面
(自然堤防) |  前橋泥流堆積面
(後背湿地) |
|  井野川泥流堆積面
(微高地) |  井野川泥流堆積面
(低地部) |  沖積低地 (I面)
(中州・自然堤防) |  沖積低地 (I面)
(後背湿地) |
|  沖積低地 (II面)
(自然堤防) |  沖積低地 (II面)
(後背湿地) |  旧河道 |  活断層 |



付图1 篠塚狐穴地区(4A II区)



付図2 篠塚四反歩地区 (4 A I 区)



付図3 篠塚四反歩地区 (4B区)